

高野山大学・大学院
講義概要・授業計画

平成29年度



2017
KOYASAN UNIVERSITY
OVERVIEW LECTURE-LESSON PLANS

講義概要・授業計画

平成 29 年度（2017）

高野山大学

総 目 次

- 本誌の利用に際して
 - 入学から卒業までの履修について 密教学科・人間学科
 - 目的を持った学習生活を送ろう！－宗教的教養を持った社会人を目指して
 - 《僧侶実力養成プログラム》
 - カリキュラムマップ 密教学科・人間学科
 - 講義概要・授業計画
- | | |
|---------------|---------|
| 文学部／別科 | 文1～文63 |
| 大 学 院 | 院1～院11 |
| ■ 教員別索引（50音順） | 索引1～索引3 |

—— 本誌の利用に際して ——

この「講義概要・授業計画」は、平成 29 年度に開講される授業科目の講義内容を掲載したものです。

学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により、当該科目の頁を開くことで見るができます。

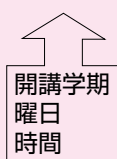
文 学 部

別 科

◆目次について

この『平成 29 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の学科のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	月	3	51351	空海の思想入門	乾 龍 仁	2	1 年次	—		1



◆講義コードについて

講義コードは5ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。

(5 ケタ)

課程

5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日

1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限

1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号

01 ~ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ~ 99 = 後期授業

◆受講登録について

- 1 受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月10日（月）から4月14日（金）午後5時までに**教務係へ提出してください。
- 2 履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。
 - ① 学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。
 - ② 履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成 29 年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（卒業論文も含む）を記入してください。
- 3 履修登録票を教務係へ提出した学生は、**4月20日（木）から4月26日（水）午後5時までに**、教務係で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務係へ提出してください。
- 4 最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。
- 5 後期（9月25日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月25日（月）から9月29日（金）午後5時までの**後期履修登録変更期間に、教務係へ申し出てください。ただし、通年科目の追加・変更・取消はできません。

◆出席票について

- 「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。
- それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」(999)になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加してください。午後の授業は実施されません。

入学から卒業までの履修について（密教学科）

文学部密教学科では卒業までに130単位以上の科目を履修することとしています（履修規程第3条）。

授業科目は、大きく**必修科目**と**選択科目**に分かれ、その中でいくつかはグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための**自由科目**が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは1年間に44単位までと上限が定められています（自由科目を除く）ので、4年で卒業するには1回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①1回生履修科目、②2回生履修科目、③3回生履修科目、④4回生履修科目があり、①～④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目には密教学科科目、総合科目などの種類がありますが、基本的には選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程 別表Ⅰに記載していますので参照してください。なお、原則として最終授業時に、期末試験・レポート試験の採点済み答案を返却します。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

必修科目とは、卒業までに必ず履修しなければならない科目のことです。学年が上がってくると、「○科目のうちから○科目以上履修すればよい」という場合もありますが、1、2回生では「指定された科目を必ず履修しなければならない」という場合がほとんどです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

1 回生必修科目

以下の1回生必修科目はすべて合格しないと卒業できない科目です。それだけ今後の学習において重要な位置を占めると考え、必ず1回生のうちに履修をすませてください。

1) 「建学の精神」科目

空海の思想入門

文字どおり本学の教育の基本となる科目で、学長が担当します。空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

2) 語学科目

英語Ⅰ

語学はコミュニケーションの手段としても、またそれを通じて世界の見方を広げる手段としても重要です。1回生では高校レベルの復習を中心に学びます。1回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

3) 導入科目

日本語

大学での筆記試験やレポート、ひいては4回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。1回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

4) 基礎講義

現代思想 人間と宗教 釈尊伝 弘法大師伝

本学で学び始めたみなさんに最低限知っておいてもらいたい、考えてもらいたい内容です。一方で、現代の抱える問題、人間が抱えてきた問題を学び、他方で仏教の開祖であるブッダや真言宗の開祖である弘法大師について、名前くらいしか知らないという人を想定して、その時代背景と生涯を学びます。

5) 古典語

漢文Ⅰ・Ⅱ

古典を学ぶのに必須となる漢文の力を養います。1回生では中学・高校レベルの復習を中心に学びます。

2回生必修科目

以下の2回生必修科目もほとんどが合格しないと卒業できない科目です。3回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず2回生のうちに履修をすませてください。

1) 語学科目

英語Ⅱ

2年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。2回生で不合格になった場合は次年度に再履修コースを受講します。

2) 講義Ⅰ

密教学概論 密教史概説 仏教学概論 仏教史概説

1年次の空海の思想入門、釈尊伝、弘法大師伝を基礎として、密教と仏教それぞれについて、その学問分野の全体像と歴史を学びます。

3) 2回生講読

祖典講読Ⅰ・Ⅱ

弘法大師の思想は本学での学習に欠かせない要素です。それを原典の漢文で読み進めていきます。弘法大師の思想に触れると共に、それが漢文でどのように表現されているかについても学びます。

3回生必修科目

いよいよ3回生から本格的な専門の内容を学びます。履修科目の選択にあたっては4回生になってどんな内容で卒業論文を書きたいか、その希望も踏まえてその領域の科目を重点的に学んでください。

1) 3回生講読

祖典講読Ⅲ・Ⅳ

2回生に引きつづき弘法大師の著作を原典で読み、その思想に触れます。漢文の勉強もしっかり進めてください。

2) 講読演習

密教学講読演習 仏教学講読演習 真言密教講読演習

講読演習は卒業論文作成の準備作業としての意義を持つ科目です。1冊または複数の文献を丁寧に読み、要点をまとめ、それを自分の考察や議論に生かしていくための方法を学びます。

3) 講義Ⅱ

密教学特殊講義 仏教学特殊講義 真言密教特殊講義

2回生までに学んだ密教、仏教の基礎的知識を踏まえ、担当教員がそれぞれの得意分野で専門的な講義を展開します。自分の興味や卒業論文のテーマに合わせ、3回生と4回生で必要単位がそろうように履修してください。

4) 演習Ⅰ

密教学演習

4回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。3回生のうちは特に、4回生の卒論報告を聞いて資料の集め方、議論の進め方、発表の仕方などを学びます。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

4 回生必修科目

1) 講読演習

密教学講読演習 仏教学講読演習 真言密教講読演習

3 回生必修科目と同じです。

2) 講義Ⅱ

密教学特殊講義 仏教学特殊講義 真言密教特殊講義

3 回生必修科目と同じです。

3) 演習Ⅱ

密教学演習

3 回生、大学院生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。4 回生の卒論報告は 3 回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。このほかに、卒論作成の力をつける課題に取り組むこともあります。

※ 演習の選択にあたって

演習は卒業論文を作成するための科目です。主にどの教員の指導を受けて卒論を書くか、3 回生までにいろいろな教員の授業を受けながらよく考えておいて下さい。何か書いてみたいテーマがぼんやりとでも見えてきたら、オフィスアワーや授業の前後の時間を利用して、教員に直接相談してみるのもよいでしょう。場合によっては、卒論はこの先生の指導で書くが、あの先生の演習も受けて参考にしたいという希望が出てくるかもしれません。その時にはそれぞれの教員にその希望を伝え、十分に相談してから受講して下さい。

選択科目

選択科目とは、本学での学びを支えるために用意された科目です。企画科目や総合科目などいくつかのグループがありますが、グループ分けにこだわらず興味のあるものを選び、卒業までに全体で 52 単位を履修することが必要です。

選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。1 学年で履修できる科目の上限が 44 単位ですから、月曜から金曜まで、1 講時から 4 講時（5 講時）まで、すべてを授業で埋めることはできません。受けている授業の予習・復習をしたり、図書館で調べ物をしたり、空き時間をうまく活用して勉強を進めてください。密教合同研究室を覗いて先輩たちにアドバイスをもらったり、学習・就職支援室で就職活動の準備をするのもいいでしょう。

資格科目について

密教学科では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

- ・教育職員免許（宗教中学校 1 種、宗教高等学校 1 種、国語中学校 1 種、国語高等学校 1 種）
- ・高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範
- ・社会福祉主事任用資格
- ・僧階

いずれも『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程および高野山大学履修要項を参考にしてください。特に教職免許は卒業単位以外に必要な科目が多いので、1 回生のうちから計画的に履修していくことが重要です。

入学から卒業までの履修について（人間学科）

文学部人間学科では卒業までに124単位以上の科目を履修することとしています（履修規程第3条）。

授業科目は、大きく**必修科目**と**選択科目**に分かれ、その中でいくつかはグループ分けされていて、グループごとに何単位を履修するかが定められています。また、必修・選択科目以外に資格取得や就職準備のための**自由科目**が用意されていますが、自由科目は卒業に必要な単位に算入されません。また履修できるのは**1年間に44単位まで**と上限が定められています（**自由科目を除く**）ので、4年で卒業するには1回生からコンスタントに学習することが重要です。

必修科目には、①1回生履修科目、②2回生履修科目、③3回生履修科目、④4回生履修科目があり、①～④で卒業に必要な単位数が決まっています。選択科目は、選択科目全体で卒業に必要な合計単位数が決まっています。それぞれの科目グループで単位をいくつ履修しなければならないかの詳細は、『高野山大学要覧』の**高野山大学履修規程 別表Ⅰ**に記載していますので参照してください。

以下では必修・選択科目それぞれの中にある科目グループについて説明します。これを参考に、各自の興味や関心に沿った履修を計画してください。

必修科目

卒業までに**必ず履修しなければならない科目**のことです。これを取り損ねると次年度からの履修にも支障を来しますので、必ず指定された学年で履修しましょう。

1 回生必修科目

以下の1回生必修科目はすべて合格しないと卒業できない科目です。必ず1回生のうちに履修をすませてください。

1)「建学の精神」科目

空海の思想入門

空海について名前くらいしか知らないという人を想定して、その思想を中心に基本的なことを学びます。

2) 語学科目

英語Ⅰ

1回生では高校レベルの復習を中心に学びます。

3) 学科基礎科目

人間学基礎ゼミⅠ、Ⅱ

大学での筆記試験やレポート、ひいては4回生での卒業論文の作成を念頭に、その準備として「読む・書く」を中心としたトレーニングをします。

4) 基礎講義

現代思想 人間と宗教

人間学科での学びの出発点となる、いろいろな問題を学びます。

5) キャリア教育

キャリアカウンセリングⅠ

働くことの意義を学ぶことで、社会に出る準備を始めます。

2 回生必修科目

以下の2回生必修科目も3回生から始まる専門科目を学ぶための基礎としても重要です。必ず2回生のうちに履修をすませてください。

1) 語学科目

英語Ⅱ

2年次には高校レベルをベースに長文を読み進める忍耐力を養います。

2) 講義

人間学概論Ⅰ・Ⅱ

哲学、歴史学、文学、心理学、社会学の連続講義で、一つのテーマを5つの学問の視点から考察します。さまざまな角度から人間を見ることを学びます。

3) ゼミ

人間学基礎ゼミⅢ、Ⅳ

人間学概論で学んだ知識を深めるための、人間学概論で取り上げられたテーマに関する文献講読、発表、話し合いを行います。

4) 伝統文化実習

茶道、民俗調査など

実際に体を使った学びを通して、たんなる座学に留まらない立体的学びを目指します。

5) キャリア教育

キャリアカウンセリングⅡ

職業世界について理解を深め、自己分析を通じた自分の職業的傾向を把握します。

3回生必修科目

いよいよ卒論に向けた準備が始まります。自分なりのテーマを見つけ、卒業論文作成に向けて、計画的に研究を進めましょう。

1) 語学科目

英語Ⅲ

3年次には、ネット上の時事英語の読解など、より実践的な英語を学びます。

2) ゼミ

人間学演習Ⅰ

3, 4年生共通の卒論作成ゼミです。先輩の卒論発表を聴き、議論に参加することで、卒論作成についての準備を開始します。

人間学特殊ゼミⅠ、Ⅱ

哲学、歴史学、文学、心理学、社会学のテーマごとに開講されます。自分の卒論テーマに近い特殊ゼミを受講し、それぞれの専門分野の理解を深めます。

3) キャリア教育

キャリアカウンセリングⅢ

就職活動に必要な知識、技能を学びます。

4回生必修科目

1) ゼミ

人間学演習Ⅱ

3回生と共に学びます。目標は卒業論文の作成で、その途中経過を報告して質問やコメントを受けたり、担当教員からアドバイスをもらったりします。4回生の卒論報告は3回生のための手本ともなります。必要に応じて担当教員に相談しながら、早めに準備を始めて納得のいく卒業論文を仕上げてください。

選択科目

選択科目とは、必修科目に加えて、より広い教養を身につけてもらうための科目です。なお、人間学科生が密教学科科目を履修した場合、選択科目にカウントされます。密教学科科目を含めた選択科目の中から、76単位を履修してください。

各種講座

MOS 検定講座、秘書検定講座、漢字検定講座、公務員試験対策講座、簿記講座

本学では、授業のほかに、さまざまな資格取得を応援する講座を開設しています。これらの講座は、卒業単位とは関係ありませんが、社会に出る準備として、積極的に活用してください。

* 時間割作成上の注意

選択科目と必修科目が重複して開講されている場合には必修科目を優先して履修してください。時間割をつくる際には、まず前の学年で履修できなかった必修科目があればそれを登録し、次に今の学年の必修科目を登録し、その後で空いている時間に選択科目を登録していくといいでしょう。

資格科目について

人間学科では、必要な科目を履修することによって、以下の免許・資格を取得できます。

- ・ 高野山金剛峯寺・高野山大学書道師範
- ・ 社会福祉主事任用資格
- ・ 僧階

いずれも『高野山大学要覧』の高野山大学履修規程および高野山大学履修要項を参考にしてください。

目的を持った学習生活を送ろう！——宗教的教養を持った社会人を目指して

副学長（教務担当）

本学のカリキュラムは「宗教的教養を持った社会人」を育成するよう設計されています。宗教的教養を持った社会人とは、宗教の知恵を人生の指針とし、それを社会で活かしていける力を持った社会人です。それは例えば、すべての「いのち」が平等だという弘法大師の教えを具体化し実践できる人です。

カリキュラムマップは、そうした人になるための学習の体系を図示したものです。弘法大師の教えを具体化し、実践するためには、密教・仏教の古典の知識はもちろん必要ですが、それだけでは足りません。人に教えを伝えるためには高いコミュニケーション能力も必要ですし、寺院を経営したり、福祉事業を展開するための社会活動力も必要です。哲学・歴史・文学といった広い教養も求められます。本学カリキュラムは、そうした勉強が段階を追って出来るようになっていきます。

また、こうした勉強を通して、社会人として必要な力も培われます。たとえば、古典を勉強することで古人の英知を身につけることができます。テキストを読解することで論理的に考える力が育ちます。語学の学習はコツコツと一つのことをやり遂げる根気を培います。ゼミでの討論は、人の話を理解し、自分の考えを人に説明する力を育てます。総じて学問を修めることは、何かを絶対視せず、批判的・総合的に物事を考察する習慣を育みます。

こうした力は、僧侶になる人にも一般企業に就職する人にも役に立ちます。こうした力を基礎に、僧侶を目指す人は僧侶実力養成プログラムを、一般企業を目指す人は就職支援授業をさらに活用してください。大学の学問は難しい。初めはまるでチンプンカンということもあるかもしれません。しかし、そこが大学の学問のいいところなのです。見通しがきかない未知の世界に身を投げ入れ、そこでもがき苦しんで、自分なりのなにかを見つけること、そこに大学の勉強の醍醐味があります。それは社会で生きることに似ていると思います。難しい勉強をあきらめずに続けることが、そのまま、社会に出るためのトレーニングなのです。

大学4年間という時間は、長いようで短いものです。ぼんやりしているとアッと言う間に過ぎてしまいます。しっかりと目的意識を持って、自分を鍛えてください。

《僧侶実力養成プログラム》

密教学科主任

僧階取得を目指す学生は、必ず得度、受戒、加行、灌頂を在学中におこなってください。詳しくは掲示に注意するとともに学生手帳「D 僧侶の道」をよく読んでおいてください。

二年次において専修学院（学外授業実施施設）にてこれらの行位を全て履修することもできます。

専修学院以外の場所で加行をする人は、「教学実習」科目、法式、声明、常用經典、布教を加行に入る前にできるだけ履修してください。特に、声明、常用經典は、加行をすすめるのには必要不可欠ですので必ず履修するとともに練習を積んでおいてください。

専修学院（学外授業実施施設）にて加行、灌頂と講義を受ける事を希望する学生は、学外施設において開講する指定科目を履修することにより本学の開講する必修科目・選択科目と同等の科目と見なし算入することができます。学外施設における指定された科目は毎年12月頃に掲示で告知しますので注意しておいてください。なお、『大学要覧』の「学外施設（高野山専修学院）における授業の単位取得」にも必ず目を通しておいてください。

密教学科の講義の中には灌頂を修した後に初めて受けることが出来る講義があります。早めに加行と灌頂を終わらせて積極的にこれらの講義を受講するようにしてください。

その他、僧侶として身につけておいた方が良い科目群を「僧侶実力養成プログラム」と題して選び出しています。これらの科目についても積極的に受講してください。

受講モデルケース

1 回生		
常用經典	阿字觀	声明
詠歌	法式	

2 回生		
布教	声明上級	梵字悉曇

3 回生 4 回生		
法式上級	密教学特殊講義（事相）	一流伝授

僧侶実力養成プログラム

【教学実習科目】

法式 声明 常用經典 布教

【企画科目】

詠歌 阿息觀 月輪觀と阿字觀 法式上級 声明上級 一流伝授

【選択科目】

梵字悉曇

【講義】

金剛界伝授次第 胎藏界伝授次第 事作法伝授 葬送儀礼 中院流三十三尊法の研究

カリキュラムマップ（密教学科）

建学の精神科目 空海の思想入門

		古典に学ぶ	伝統文化を学ぶ	人と関わる	社会に生かす	僧侶
1 回 生	必修	弘法大師伝 釈尊伝	漢文Ⅰ・Ⅱ	日本語 人間と宗教 英語Ⅰ	現代思想	
	選択	サンスクリット語Ⅰ チベット語 宗教思想史Ⅰ・Ⅱ 宗教学Ⅰ・Ⅱ 宗教史Ⅰ・Ⅱ 総合科目（書誌学） 総合科目（古文書入門）	日本文学Ⅰ・Ⅱ 国文法Ⅰ・Ⅱ 国語学Ⅰ・Ⅱ 漢字Ⅰ かなⅠ 企画科目（舞踊） 企画科目（華道） 企画科目（仏教芸術） 企画科目（芸能） 企画科目（詠歌） 企画科目（歴史学Ⅰ・Ⅱ）	心理学Ⅰ・Ⅱ 英会話 中国語（初級） 体育実技 企画科目（マインドフルネス） 企画科目（地域連携Ⅰ・Ⅱ） 企画科目（チベット語会話）	社会学Ⅰ・Ⅱ 現代の人権 日本国憲法 情報処理 社会保障総論Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ 企画科目（おもしろ数学思考力） 企画科目（地方行政論） 企画科目（地方自治法） 企画科目（社会調査入門） 企画科目（質的調査論） 企画科目（地域産業論）	梵字悉曇 常用經典 声明 法式 布教 企画科目（寺院経営） 企画科目（阿息観） 企画科目（月輪観と阿字観）
2 回 生	必修	密教学概論Ⅰ・Ⅱ 仏教学概論Ⅰ・Ⅱ 密教史概説Ⅰ・Ⅱ 仏教史概説Ⅰ・Ⅱ 祖典講読Ⅰ・Ⅱ		英語Ⅱ		
	選択	日本文学概論Ⅰ・Ⅱ 漢文学概論Ⅰ・Ⅱ	日本文学史概説Ⅰ・Ⅱ 日本文学史概説Ⅰ・Ⅱ 国語学講義Ⅰ・Ⅱ 漢字Ⅱ かなⅡ 篆刻Ⅰ・Ⅱ 書道史（日本） 伝統文化実習（茶道）	哲学方法論 中国語（上級）	社会福祉各論Ⅰ・Ⅱ（地域福祉） キャリアカウンセリングⅡ 伝統文化実習（民俗調査）	宗教学方法論 企画科目（声明上級） 企画科目（法式上級） 企画科目（一流伝授Ⅰ・Ⅱ）

3 ・ 4 回 生	必修	祖典講読Ⅲ・Ⅳ A（吽字義を読む） 祖典講読Ⅲ・Ⅳ B（般若心経秘鍵を読む）	
	講読 演習	密教学講読演習 A（密教図像①）	真言密教講読演習 A（密教図像②）
		密教学講読演習 B（金剛界伝授次第）	真言密教講読演習 B（十八道次第関連儀軌を読む）
		密教学講読演習 C（胎蔵界伝授次第）	真言密教講読演習 C（一尊法秘密儀軌を読む）
		仏教学講読演習 A（『続日本後記』を読む）	真言密教講読演習 D（『宗義決択集』を読む）
		仏教学講読演習 B（『日本霊異記』を読む）	真言密教講読演習 E（中院流三十三尊法の研究①）
		仏教学講読演習 C（日本仏教美術史）	真言密教講読演習 F（中院流三十三尊法の研究②）
		仏教学講読演習 D（日本美術史）	
	特殊 講義	密教学特殊講義 A（事作法伝授①）	仏教学特殊講義 A（スピリチュアルケア）
		密教学特殊講義 B（事作法伝授②）	仏教学特殊講義 B（仏像のかたち①）
密教学特殊講義 C（高野文化圏の生活文化）		仏教学特殊講義 C（仏像のかたち②）	
密教学特殊講義 D（高野文化圏の信仰生活）		仏教学特殊講義 D（慈悲について）	
密教学特殊講義 E（仏画①）		真言密教特殊講義 A（葬送儀礼①）	
密教学特殊講義 F（仏画②）		真言密教特殊講義 B（葬送儀礼②）	
密教学特殊講義 G（インド・チベット密教の図像研究）			
演習	密教学演習 A（中国書論を読む）	密教学演習 F（『宿曜經』を読む）	
	密教学演習 B（土宜法龍の研究）	密教学演習 G（卒業論文作成トレーニング）	
	密教学演習 C（仏教要語について）		
	密教学演習 D（『菜根譚』を読む）		
	密教学演習 E（『大日經』を読む）		
選択	日本文化特殊講義 A（鎌倉後期の王権と真言密教）	キャリアカウンセリングⅢ（就職活動に必要なスキルの修得①）	
	日本文化特殊講義 B（地蔵説話の世界）	就職スキル講座（就職活動に必要なスキルの修得②）	
	中国文化特殊講義 A（『説文解字』を読む）	中国文化講読演習（『漢文大系』を読む）	
	中国文化特殊講義 B（『新釈漢文大系』を読む）	条幅制作 A（条幅作品の創作①）	
	日本文化講読演習 A（『建礼門院右京大夫集』を読む）	条幅制作 B（条幅作品の創作②）	
	日本文化講読演習 B（慈円『愚管抄』とその周辺）		

卒 業 論 文

教員・就職（自由科目）			
1 回生	2 回生	3 回生	4 回生
教職入門 教育原論 教育社会学 教育課程論	教育心理学 宗教科教育法Ⅰ・Ⅱ 国語科教育法Ⅰ・Ⅱ 教育方法論 情報技術論 道德教育の研究 特別教育活動 生徒指導・進路指導	宗教科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅲ 国語科教育法Ⅳ 教育相談 教育実習Ⅰ 教育実習の研究	教職実践演習 教育実習Ⅱ

カリキュラムマップ（人間学科）

講義・実習をゼミ・卒業論文へつなぐ

- ・哲学、歴史学、文学、心理学、社会学という5つの学問の切り口から、人間性についての理解を深めます。人間学概論、人間学科特殊ゼミで、5つの学問の切り口を学びます。
- ・1回生～4回生までのゼミが学びの中心です。発表・議論を通してコミュニケーション能力を養うとともに、ゼミ生同士や教員とのふれあいによって人間力を向上させます。4年間の総括として卒業論文を作成します。コース毎に用意された選択科目を目安として履修し、専門性を深め、自分なりのテーマを見つけましょう。
- ・伝統文化実習では、茶道や民俗調査によって、体験的に伝統文化や地域の文化を学びます。
- ・キャリアカウンセリングは1回生から始まります。社会人基礎力の習得に向けた段階的指導を行います。
- ・1回生から、一人ひとりの学生にチューターを決め、個人学習支援を行います。個人学習支援では、修学に関することはもちろん、進路のことなども含めた支援を行います。

人間学科 コース制 カリキュラム（平成29年度入学生より）

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
必修科目	建学の精神科目	空海の思想入門			
	語学科目	英語Ⅰ	英語Ⅱ	英語Ⅲ	
	導入科目	人間学基礎ゼミⅠ	人間学基礎ゼミⅢ		
		人間学基礎ゼミⅡ	人間学基礎ゼミⅣ		
	演習			人間学演習Ⅰ	人間学演習Ⅱ
	特殊ゼミ			人間学特殊ゼミⅠ	
				人間学特殊ゼミⅡ	
	卒業論文				人間学科卒業論文
	講義Ⅰ		人間学概論Ⅰ		
			人間学概論Ⅱ		
選択科目	伝統文化		伝統文化実習		
	基礎講義	現代思想			
		人間と宗教			
	キャリア教育	キャリアカウンセリングⅠ	キャリアカウンセリングⅡ	キャリアカウンセリングⅢ	
	日本文化コース	日本文学Ⅰ	国文法	日本文化講読演習 A	
		日本文学Ⅱ	国語学	日本文化講読演習 B	
		歴史学Ⅰ	国語学講義Ⅰ	日本文化特殊講義 A	
		歴史学Ⅱ	国語学講義Ⅱ	日本文化特殊講義 B	
			日本文学史概説Ⅰ	中国文化特殊講義 A	
			日本文学史概説Ⅱ	中国文化特殊講義 B	
			日本文学概論Ⅰ	中国文化講読演習	
			日本文学概論Ⅱ		
			漢文学概論Ⅰ		
			漢文学概論Ⅱ		
	地域デザインコース	心理学Ⅰ	社会調査入門	※ インターンシップ	※
		心理学Ⅱ	質的調査論	※ 密教学特殊講義Ⅰ (高野文化圏の生活文化)	
		社会学Ⅰ	「高野山で学ぶ」キャリアと私	※ 密教学特殊講義Ⅱ (高野文化圏の信仰生活)	
		社会学Ⅱ	社会調査方法論	※ 社会保障総論Ⅰ	
			情報リテラシー論	※ 社会保障総論Ⅱ	
			心理統計学	※ 社会福祉各論Ⅰ	
			地方行政論	※ 社会福祉各論Ⅱ	
			地方自治法	※	
			地域連携Ⅰ（地域を知る）	※	
			地域連携Ⅱ（仕事を知る）	※	
	心理ケアコース		地域産業論	※	
		心理学Ⅰ	心理統計学	※ 心理検査法演習Ⅰ	※
		心理学Ⅱ	心理測定法	※ 心理検査法演習Ⅱ	※
		教育心理学	心理学基礎実験演習Ⅰ	※ 臨床心理学面接演習Ⅰ	※
		教育相談	心理学基礎実験演習Ⅱ	※ 臨床心理学面接演習Ⅱ	※
			発達心理学	※ 臨床心理学面接演習Ⅲ	※
			家族心理学	※ 臨床心理学面接演習Ⅳ	※
			社会心理学	※ スピリチュアルケア概論	※
			カウンセリング論	※	
			コミュニケーション演習Ⅰ	※	
			コミュニケーション演習Ⅱ	※	
			死生観	※	

※ 印は企画科目です。

文 学 部 目 次

文学部 密教学科

1. 必修科目

[密教学科 1 年次履修科目]

1) 「建学の精神」科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	月	3	51351	空海の思想入門	乾 龍 仁	2	1 年次	－		1

2) 語学科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	3	55301	英語 I A	高 倉 正 行	2	1 年次	教職基礎	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語 I B	静 春 樹	2	1 年次	教職基礎		1
通年	月	4	51403	英語 I (再履修)	高 倉 正 行	2	2 年次～	教職基礎		2

3) 導入科目 (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	4	51401	日本語 A	土 居 夏 樹	4	1 年次	－	クラス分け有り	2
通年	月	4	51402	日本語 B	櫻 木 潤	4	1 年次	－		2
通年	火	1	52101	日本語 (再履修)	櫻 木 潤	4	2 年次～	－		2

4) 基礎講義 (2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52304	弘法大師伝	櫻 木 潤	2	1 年次	－		3
前期	火	1	52103	釈尊伝	前 谷 彰	2	1 年次	－		3
前期	月	2	51201	現代思想	山 脇 雅 夫	2	1 年次	教免 (宗教)		3
後期	月	2	51251	人間と宗教	森 本 一 彦	2	1 年次	教免 (宗教)		3

5) 古典語 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	1	54101	漢文 I A	南 昌 宏	2	1 年次	教免 (国語)	A を優先して履修すること	4
後期	月	1	51151	漢文 I B	南 昌 宏	2	1 年次	教免 (国語)		4
後期	木	1	54151	漢文 II A	南 昌 宏	2	1 年次	教免 (国語)	受講資格：漢文 I の単位を修得していること	4
前期	月	1	51102	漢文 II B	南 昌 宏	2	2 年次	教免 (国語)		4

[密教学科 2 年次履修科目]

1) 語学科目 (2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	4	55401	英語 II A	高 倉 正 行	2	2 年次	教職基礎	クラス分け有り	4
通年	金	4	55402	英語 II B	静 春 樹	2	2 年次	教職基礎		4
通年	水	2	53201	英語 II (再履修)	高 倉 正 行	2	3 年次～	教職基礎		5

2) 講義 I (2+2+2+2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	2	51202	密教学概論 I A	佐 藤 隆 彦	2	2 年次	教免 (宗教)		5

後期	月	2	51252	密教学概論Ⅱ A	佐藤 隆彦	2	2年次	教免(宗教)		5
前期	火	4	52404	仏教学概論Ⅰ A	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		6
後期	火	4	52451	仏教学概論Ⅱ A	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		6
前期	金	1	55103	密教史概説Ⅰ A	奥山 直司	2	2年次	教免(宗教)		6
後期	月	3	51352	密教史概説Ⅱ A	櫻木 潤	2	2年次	教免(宗教)		6
前期	木	4	54402	仏教史概説Ⅰ A	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		7
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ A	前谷 彰	2	2年次	教免(宗教)		7

3) 2回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	2	52205	祖典講読Ⅰ A	松長 恵史	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7
前期	火	2	52206	祖典講読Ⅰ B	土居 夏樹	2	2年次	教免(宗教)		7
後期	火	2	52251	祖典講読Ⅱ A	松長 恵史	2	2年次	教免(宗教)	クラス分け有り	7
後期	火	2	52252	祖典講読Ⅱ B	土居 夏樹	2	2年次	教免(宗教)		7

[密教学科3年次履修科目]

1) 3回生講読(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	2	51203	祖典講読Ⅲ A	土居 夏樹	2	3年次	—		8
前期	火	1	52104	祖典講読Ⅲ B	松長 恵史	2	3年次	—		8
後期	月	2	51253	祖典講読Ⅳ A	土居 夏樹	2	3年次	—		8
後期	火	1	52151	祖典講読Ⅳ B	松長 恵史	2	3年次	—		8

2) 講読演習(2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	1	51103	密教学講読演習 A	松長 恵史	2	3年次	教免(宗教)		9
前期	金	1	55104	密教学講読演習 B	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	9
後期	金	1	55151	密教学講読演習 C	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	9
前期	水	1	53101	仏教学講読演習 A	櫻木 潤	2	3年次	教免(宗教)		9
後期	水	1	53151	仏教学講読演習 B	櫻木 潤	2	3年次	教免(宗教)		10
前期	水	4	53405	仏教学講読演習 C	和田 圭子	2	3年次	教免(宗教)		10
後期	水	4	53452	仏教学講読演習 D	和田 圭子	2	3年次	教免(宗教)		10
後期	月	1	51152	真言密教講読演習 A	松長 恵史	2	3年次	教免(宗教)		10
前期	木	1	54102	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	11
後期	木	1	54152	真言密教講読演習 C	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	11
前期	金	1	55105	真言密教講読演習 D	土居 夏樹	2	3年次	教免(宗教)		11
前期	金	2	55204	真言密教講読演習 E	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	11
後期	金	2	55253	真言密教講読演習 F	T.ドライトライン	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者	12

3) 講義Ⅱ(2+2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	1	51104	密教学特殊講義 A	中西 雄泰	2	3年次	教免(宗教)	已灌頂者、 前後期通して受講	12
後期	月	1	51153	密教学特殊講義 B	中西 雄泰	2	3年次	教免(宗教)		12
前期	月	3	51303	密教学特殊講義 C	森本 一彦	2	3年次	教免(宗教)		12
後期	月	3	51353	密教学特殊講義 D	森本 一彦	2	3年次	教免(宗教)		13
前期	月	4	51408	密教学特殊講義 E	静 慈圓	2	3年次	教免(宗教)		13
後期	月	4	51452	密教学特殊講義 F	静 慈圓	2	3年次	教免(宗教)		13

後期	金	2	55254	密教学特殊講義 G	奥 山 直 司	2	3 年次	教免 (宗教)		13
後期	火	4	52453	仏教学特殊講義 A	井上ウィマラ	2	3 年次	教免 (宗教)		14
前期	水	3	53305	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	3 年次	教免 (宗教)		14
後期	水	3	53351	仏教学特殊講義 C	和 田 圭 子	2	3 年次	教免 (宗教)		14
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義 D	前 谷 彰	2	3 年次	教免 (宗教)		14
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義 A	齋 藤 天 譽	2	3 年次	教免 (宗教)		15
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 B	齋 藤 天 譽	2	3 年次	教免 (宗教)		15

4) 演習 I (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52201	密教学演習 A	野 田 悟	4	3 年次	－		15
通年	火	3	52301	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	3 年次	－		15
通年	火	3	52302	密教学演習 C	前 谷 彰	4	3 年次	－		16
通年	水	2	53202	密教学演習 D	南 昌 宏	4	3 年次	－		16
通年	水	2	53203	密教学演習 E	佐 藤 隆 彦	4	3 年次	－		16

[密教学科 4 年次履修科目]

1) 講読演習 (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	1	51103	密教学講読演習 A	松 長 恵 史	2	4 年次	教免 (宗教)		9
前期	金	1	55104	密教学講読演習 B	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	9
後期	金	1	55151	密教学講読演習 C	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	9
前期	水	1	53101	仏教学講読演習 A	櫻 木 潤	2	4 年次	教免 (宗教)		9
後期	水	1	53151	仏教学講読演習 B	櫻 木 潤	2	4 年次	教免 (宗教)		10
前期	水	4	53405	仏教学講読演習 C	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		10
後期	水	4	53452	仏教学講読演習 D	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		10
後期	月	1	51152	真言密教講読演習 A	松 長 恵 史	2	4 年次	教免 (宗教)		10
前期	木	1	54102	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	11
後期	木	1	54152	真言密教講読演習 C	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	11
前期	金	1	55105	真言密教講読演習 D	土 居 夏 樹	2	4 年次	教免 (宗教)		11
前期	金	2	55204	真言密教講読演習 E	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	11
後期	金	2	55253	真言密教講読演習 F	T.ドライトライン	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者	12

2) 講義 II (2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	1	51104	密教学特殊講義 A	中 西 雄 泰	2	4 年次	教免 (宗教)	已灌頂者、 前後期通して受講	12
後期	月	1	51153	密教学特殊講義 B	中 西 雄 泰	2	4 年次	教免 (宗教)		12
前期	月	3	51303	密教学特殊講義 C	森 本 一 彦	2	4 年次	教免 (宗教)		12
後期	月	3	51353	密教学特殊講義 D	森 本 一 彦	2	4 年次	教免 (宗教)		13
前期	月	4	51408	密教学特殊講義 E	静 慈 圓	2	4 年次	教免 (宗教)		13
後期	月	4	51452	密教学特殊講義 F	静 慈 圓	2	4 年次	教免 (宗教)		13
後期	金	2	55254	密教学特殊講義 G	奥 山 直 司	2	4 年次	教免 (宗教)		13
後期	火	4	52453	仏教学特殊講義 A	井上ウィマラ	2	4 年次	教免 (宗教)		14
前期	水	3	53305	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		14
後期	水	3	53351	仏教学特殊講義 C	和 田 圭 子	2	4 年次	教免 (宗教)		14
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義 D	前 谷 彰	2	4 年次	教免 (宗教)		14
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義 A	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免 (宗教)		15
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義 B	齋 藤 天 譽	2	4 年次	教免 (宗教)		15

3) 演習Ⅱ (4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52201	密教学演習 A	野 田 悟	4	4 年次	－		15
通年	火	3	52301	密教学演習 B	奥 山 直 司	4	4 年次	－		15
通年	火	3	52302	密教学演習 C	前 谷 彰	4	4 年次	－		16
通年	水	2	53202	密教学演習 D	南 昌 宏	4	4 年次	－		16
通年	水	2	53203	密教学演習 E	佐 藤 隆 彦	4	4 年次	－		16
通年	火	2	52202	密教学演習 F	井上ウィマラ	4	4 年次	－		16

4) 卒業論文 (8)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	－	－	59001	卒業論文	密教学科主任	8	4 年次	－		－
前期	－	－	59002	卒業論文 (前期)	密教学科主任	8	4 年次	－	7月提出許可者に限る	－

2. 選択科目

1) 総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53102	総合科目 (書誌学)	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		17
後期	水	1	53152	総合科目 (古文書入門)	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		17

2) 企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	3	51302	企画科目 (舞踊)	高 祖 ・ 辻	2	1 年次～	－		17
前期	月	3	51304	企画科目 (寺院経営講座)	加 賀 博	2	1 年次～	－		17
前期	月	5	51502	企画科目 (おもしろ数学思考力)	木 地 茂 典	2	1 年次～	－		18
後期	火	2	52253	企画科目 (地方行政論)	笛 木 淳	2	1 年次～	－		18
後期	火	3	52351	企画科目 (地方自治法)	笛 木 淳	2	1 年次～	－		18
通年	火	4	52401	企画科目 (華道)	五 味 和 樹	2	1 年次～	－		18
前期	水	2	53206	企画科目 (仏教芸術)	和 田 圭 子	2	1 年次～	－		19
前期	水	2	53207	企画科目 (マインドフルネス)	井上ウィマラ	2	1 年次～	－		19
通年	水	3	53302	企画科目 (法式上級)	瀧 田 雲 溪	2	1 年次～	－		19
通年	水	4	53401	企画科目 (芸能)	梶 谷 有 桜	2	1 年次～	－		19
前期	木	2	54203	企画科目 (阿息観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	－		20
後期	木	2	54252	企画科目 (月輪観と阿字観)	佐 藤 隆 彦	2	1 年次～	－		20
前期	木	2	54204	企画科目 (社会調査入門)	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		20
後期	木	2	54253	企画科目 (質的調査論)	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		20
通年	木	3	54302	企画科目 (詠歌)	上山・辻・村上	2	1 年次～	－		21
前期	木	3	54305	企画科目 (地域連携Ⅰ)	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		21
後期	木	3	54352	企画科目 (地域連携Ⅱ)	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		21
前期	木	4	54403	企画科目 (歴史学Ⅰ)	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		21
後期	木	4	54452	企画科目 (歴史学Ⅱ)	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		22
通年	金	3	55303	企画科目 (声明上級)	辻 秀 道	2	1 年次～	－		22
通年	金	3	55304	企画科目 (チベット語会話)	テンジン・ウセル	2	1 年次～	－		22
後期	金	4	55452	企画科目 (地域産業論)	鈴 木 裕 範	2	1 年次～	－		22
通年	月	4	51404	企画科目 (日本語留学生中級 A)	五十嵐小優粒	2	1 年次～	－	外国人留学生に限る	23
通年	水	3	53303	企画科目 (日本語留学生中級 B)	松 本 貴 子	2	1 年次～	－	外国人留学生に限る	23

通年	月	5	51501	企画科目 (日本語留学生上級A)	五十嵐小優粒	2	1年次～	－	外国人留学生に限る	23
通年	水	4	53402	企画科目 (日本語留学生上級B)	松 本 貴 子	2	1年次～	－	外国人留学生に限る	23
集中	集中	集中	57001	企画科目 (一流伝授Ⅰ)	甲 田 宥 咩	2	1年次～	－	8/7～8/9、 已灌頂者	24
集中	集中	集中	57002	企画科目 (一流伝授Ⅱ)	甲 田 宥 咩	2	1年次～	－	9/13～9/15、 已灌頂者	24

3) 語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52203	サンスクリット語Ⅰ	前 谷 彰	2	1年次～	－		24
通年	月	4	51405	チベット語	徳 重 弘 志	2	1年次～	－		24
通年	金	2	55201	英会話	静 春 樹	2	1年次～	－		25
通年	火	1	52102	中国語 (初級)	土生川正賢	2	1年次～	－		25
通年	火	2	52204	中国語 (上級)	土生川正賢	2	1年次～	－		25

4) 健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54303	体育実技	加 陽 生 子	2	1年次～	教職基礎		25

5) 普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54306	宗教思想史Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1年次～	教免 (宗教)		26
後期	木	3	54353	宗教思想史Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1年次～	教免 (宗教)		26
前期	金	2	55205	心理学ⅠA	戸 來 知 子	2	1年次～	社会福祉主事		26
後期	金	2	55255	心理学ⅡA	戸 來 知 子	2	1年次～	社会福祉主事		26
前期	月	1	51105	社会学Ⅰ	森 本 一 彦	2	1年次～	社会福祉主事		27
後期	月	1	51154	社会学Ⅱ	森 本 一 彦	2	1年次～	社会福祉主事		27
前期	水	2	53208	日本文学Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	1年次～	教免 (国語)		27
後期	水	2	53252	日本文学Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	1年次～	教免 (国語)		27
前期	水	1	53103	国文法Ⅰ	下 西 忠	2	1年次～	教免 (国語)		28
後期	水	1	53153	国文法Ⅱ	下 西 忠	2	1年次～	教免 (国語)		28
前期	金	4	55403	国語学Ⅰ	上 田 恭 寿	2	1年次～	教免 (国語)		28
後期	金	4	55453	国語学Ⅱ	上 田 恭 寿	2	1年次～	教免 (国語)		28
後期	水	4	53452	現代の人権	竹 村 和 也	2	1年次～	－		29
後期	水	3	53352	日本国憲法	竹 村 和 也	2	1年次～	教職基礎 / 社会福祉主事		29
通年	火	4	52402	情報処理	野 口 博 司	2	1年次～	教職基礎		29
通年	金	2	55202	梵字悉曇	齋 藤 天 譽	2	1年次～	－		29

6) 教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	4	53403	常用經典	宮 田 永 明	2	1年次～	僧階補任		30
通年	金	1	55101	声明	辻 秀 道	2	1年次～	僧階補任		30
通年	月	1	51101	法式	内 海 周 浩	2	1年次～	僧階補任		30
通年	水	3	53304	布教	近 藤 堯 寛	2	1年次～	僧階補任		30

7) 教育職員免許状関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	2	54205	宗教学Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1年次～	教免 (宗教)		31
後期	木	2	54254	宗教学Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1年次～	教免 (宗教)		31

前期	木	1	54103	宗教史Ⅰ	川崎 一 洋	2	1 年次～	教免 (宗教)		31
後期	木	1	54153	宗教史Ⅱ	川崎 一 洋	2	1 年次～	教免 (宗教)		31
後期	木	4	54453	哲学方法論	山脇 雅 夫	2	2 年次～	教免 (宗教)		32
後期	水	1	53154	宗教学方法論	乾 龍 仁	2	2 年次～	教免 (宗教)		32
前期	月	4	51409	日本文学概論Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	教免 (国語)		32
後期	月	4	51453	日本文学概論Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	教免 (国語)		32
前期	火	3	52306	日本文学史概説Ⅰ	下 西 忠	2	2 年次～	教免 (国語)		33
後期	火	3	52352	日本文学史概説Ⅱ	下 西 忠	2	2 年次～	教免 (国語)		33
前期	木	3	54307	漢文学概論Ⅰ	南 昌 宏	2	2 年次～	教免 (国語)		33
後期	木	3	54354	漢文学概論Ⅱ	南 昌 宏	2	2 年次～	教免 (国語)		33
前期	金	3	55306	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	教免 (国語)		34
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	教免 (国語)		34
後期	火	2	52254	日本文化特殊講義 A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	教免 (国語)		34
後期	金	4	55454	日本文化特殊講義 B	坂 口 太 郎	2	3 年次～	教免 (国語)		34
前期	金	4	55405	中国文化特殊講義 A	野 田 悟	2	3 年次～	教免 (国語)		35
後期	月	3	51354	中国文化特殊講義 B	南 昌 宏	2	3 年次～	教免 (国語)		35
前期	火	2	52207	日本文化講読演習 A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	教免 (国語)		35
後期	金	4	55404	日本文化講読演習 B	坂 口 太 郎	2	3 年次～	教免 (国語)		35
前期	月	3	51305	中国文化講読演習	南 昌 宏	2	3 年次～	教免 (国語)		36

8) 書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	2	53204	漢字Ⅰ	野 田 悟	2	1 年次～	書道師範 / 教免 (国語)		36
通年	火	4	52403	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2 年次～	書道師範 / 教免 (国語)		36
通年	木	2	54201	かなⅠ	山 本 圭 子	2	1 年次～	書道師範 / 教免 (国語)		36
通年	木	3	54304	かなⅡ	山 本 圭 子	2	2 年次～	書道師範 / 教免 (国語)		37
前期	火	1	52105	篆刻Ⅰ	野 田 悟	2	2 年次～	書道師範		37
後期	火	1	52152	篆刻Ⅱ	野 田 悟	2	2 年次～	書道師範		37
通年	火	3	52303	条幅制作 A	木 本 滋 久	2	3 年次～	書道師範		37
通年	木	4	54401	条幅制作 B	山 本 圭 子	2	3 年次～	書道師範		38
通年	金	1	55102	書道史 (日本)	野 田 悟	4	2 年次～	書道師範		38

9) 社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54308	社会保障総論Ⅰ	福 本 幹 雄	2	1 年次～	社会福祉主事		38
後期	木	3	54355	社会保障総論Ⅱ	福 本 幹 雄	2	1 年次～	社会福祉主事		38
前期	木	4	54404	社会福祉各論Ⅰ (地域福祉Ⅰ)	福 本 幹 雄	2	2 年次～	社会福祉主事		39
後期	木	4	54454	社会福祉各論Ⅱ (地域福祉Ⅱ)	福 本 幹 雄	2	2 年次～	社会福祉主事		39

10) キャリア科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	金	2	55251	キャリアカウンセリングⅠ	田 村 美 幸	2	1 年次～	－	平成 27 年度以降の 入学生のみ履修可	39
後期	月	3	51355	キャリアカウンセリングⅡ	加 賀 博	2	2 年次～	－		39
後期	金	4	55451	キャリアカウンセリングⅢ	田 村 美 幸	2	3 年次～	－		40

11) 他学科科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	4	51406	伝統文化実習 (民俗調査)	森 本 一 彦	2	2 年次～	－	平成 27 年度以前の 入学生は企画科目 として履修	40
通年	水	3	53301	伝統文化実習 (茶道)	岡 本 文 音	2	2 年次～	－		40

3. 自由科目（卒業要件には参入されません）

1) 教職科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	2	53209	教職入門	嶋 田 博	2	1 年次～	教免必修		40
前期	木	4	54405	教育原論	山 脇 雅 夫	2	1 年次～	教免必修		41
後期	木	1	54154	教育心理学	戸 来 知 子	2	2 年次～	教免必修		41
後期	木	4	54455	教育社会学	森 本 一 彦	2	1 年次～	教免必修		41
後期	水	2	53253	教育課程論	嶋 田 博	2	1 年次～	教免必修		41
前期	月	1	51106	宗教科教育法Ⅰ	乾 龍 仁	2	2 年次～	教免（宗教）		42
後期	月	1	51155	宗教科教育法Ⅱ	乾 龍 仁	2	2 年次～	教免（宗教）		42
後期	月	4	51454	宗教科教育法Ⅲ	松 長 恵 史	2	3 年次～	教免（宗教）		42
前期	火	4	52406	国語科教育法Ⅰ	下 西 忠	2	2 年次～	教免（国語）		42
後期	火	4	52454	国語科教育法Ⅱ	下 西 忠	2	2 年次～	教免（国語）		43
前期	火	5	52501	国語科教育法Ⅲ	下 西・浜 畑	2	3 年次～	教免（国語）		43
後期	火	5	52551	国語科教育法Ⅳ	下 西・浜 畑	2	3 年次～	教免（国語）		43
後期	水	1	53155	教育方法論	山 脇・岡 本	2	2 年次～	教免必修		43
後期	金	3	55353	情報技術論	戸 来 知 子	2	2 年次～	教免必修		44
後期	月	3	51356	道德教育の研究	山 脇 雅 夫	2	2 年次～	教免必修		44
前期	木	2	54206	特別教育活動	戸 来 知 子	2	2 年次～	教免必修		44
後期	木	2	54255	生徒指導・進路指導	戸 来 知 子	2	2 年次～	教免必修		44
前期	金	3	55307	教育相談	戸 来 知 子	2	3 年次～	教免必修		45
後期	水	3	53353	教職実践演習	戸 来 知 子	2	4 年次	教免必修		45
実習	－	－	58001	教育実習Ⅰ	山 脇・戸 来	2	3 年次～	教免必修		－
実習	－	－	58002	教育実習Ⅱ	山 脇・戸 来	2	4 年次	教免必修		－
前期	木	1	54104	教育実習の研究	山 脇・戸 来	1	3 年次～	教免必修		45

2) 就職支援プログラム展開科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	金	2	55251	キャリアカウンセリングⅠ	田 村 美 幸	2	1 年次～	－	平成 26 年度以前の 入学生のみ履修可	39
後期	月	3	51355	キャリアカウンセリングⅡ	加 賀 博	2	2 年次～	－		39
後期	金	4	55455	就職スキル講座	田 村 美 幸	2	3 年次～	－		40

文学部 人間学科

1. 必修科目

〔人間学科 1 年次履修科目〕

1) 「建学の精神」科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	月	3	51351	空海の思想入門	乾 龍 仁	2	1 年次	－		1

2) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	3	55301	英語 I A	高 倉 正 行	2	1 年次	－	クラス分け有り	1
通年	金	3	55302	英語 I B	静 春 樹	2	1 年次	－		1
通年	月	4	51403	英語 I (再履修)	高 倉 正 行	2	2 年次～	－		2

3) 導入科目(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	4	51407	人間学基礎ゼミ I	山 脇 雅 夫	2	1 年次	－		45
後期	月	4	51451	人間学基礎ゼミ II	山 脇 雅 夫	2	1 年次	－		46

4) 基礎講義(2+2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	月	2	51201	現代思想	山 脇 雅 夫	2	1 年次	－		3
後期	月	2	51251	人間と宗教	森 本 一 彦	2	1 年次	－		3

5) キャリア教育(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	金	2	55251	キャリアカウンセリング I	田 村 美 幸	2	1 年次	－		39

〔人間学科 2 年次履修科目〕

1) 語学科目(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	金	4	55401	英語 II A	高 倉 正 行	2	2 年次	－	クラス分け有り	4
通年	金	4	55402	英語 II B	静 春 樹	2	2 年次	－		4
通年	水	2	53201	英語 II (再履修)	高 倉 正 行	2	3 年次～			5

2) 講義 I(4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	4	53404	人間学概論 I	山 脇・浜 畑	2	2 年次	－		46
後期	水	4	53451	人間学概論 II	森本・森崎・坂口	2	2 年次	－		46

3) 基礎ゼミ(4)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	2	54202	人間学基礎ゼミ III	坂 口 太 郎	2	2 年次	－		46
後期	木	2	54251	人間学基礎ゼミ IV	坂 口 太 郎	2	2 年次	－		47

4) 伝統文化実習(2)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	4	51406	伝統文化実習 (民俗調査)	森 本 一 彦	4	2 年次	－		40

通年	水	3	53301	伝統文化実習（茶道）	岡 本 文 音	2	2 年次	－		40
----	---	---	-------	------------	---------	---	------	---	--	----

5) キャリア教育（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	月	3	51355	キャリアカウンセリングⅡ	加 賀 博	2	2 年次	－		39

【人間学科 3 年次履修科目】

1) 語学科目（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	3	51301	英語Ⅲ	高 倉 正 行	2	3 年次	－		47

2) 演習（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54301	人間学演習Ⅰ A	山 脇 雅 夫	4	3 年次	－		47
通年	月	5	51503	人間学演習Ⅰ B	井上ウィマラ	4	3 年次	－		49
通年	火	7	52701	人間学演習Ⅰ C （臨床心理学演習）	森 崎 雅 好	4	3 年次	－	大阪サテライト 教室にて開講	49
通年	木	7	54701	人間学演習Ⅰ D （臨床心理学演習）	森 崎 雅 好	4	3 年次	－		49

3) 特殊ゼミ（4）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	4	52405	人間学特殊ゼミⅠ A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次	－		47
後期	火	4	52452	人間学特殊ゼミⅡ A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次	－		48
前期	水	2	53205	人間学特殊ゼミⅠ B	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		48
後期	水	2	53251	人間学特殊ゼミⅡ B	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		48
前期	金	2	55203	人間学特殊ゼミⅠ C	坂 口 太 郎	2	3 年次	－		48
後期	金	2	55252	人間学特殊ゼミⅡ C	坂 口 太 郎	2	3 年次	－		49
前期	月	6	51601	人間学特殊ゼミⅠ D （仏教心理学と事例検討）	井上ウィマラ	2	3 年次	－	大阪サテライト 教室にて開講	49
後期	月	6	51651	人間学特殊ゼミⅡ D （マインドフルネス）	井上ウィマラ	2	3 年次	－		50
前期	火	5	52502	人間学特殊ゼミⅠ E （宗教学入門）	山 脇 雅 夫	2	3 年次	－		50
後期	火	5	52552	人間学特殊ゼミⅡ E （現代日本と宗教）	山 脇 雅 夫	2	3 年次	－		50
前期	火	6	52601	人間学特殊ゼミⅠ F （悲嘆学）	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		50
後期	火	6	52651	人間学特殊ゼミⅡ F （自殺学）	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		51
前期	木	6	54601	人間学特殊ゼミⅠ G （悲嘆学）	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		50
後期	木	6	54651	人間学特殊ゼミⅡ G （自殺学）	森 崎 雅 好	2	3 年次	－		51

5) キャリア教育（2）

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	金	4	55451	キャリアカウンセリングⅢ	田 村 美 幸	2	3 年次	－		40

2. 選択科目

1) 総合科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	水	1	53102	総合科目（書誌学）	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		17
後期	水	1	53152	総合科目（古文書入門）	坂 口 太 郎	2	1 年次～	－		17
自主企画	自主企画	自主企画	57012	総合科目（聖地巡礼Ⅰ）	井上ウィマラ	2	3 年次～			51

自主企画	自主企画	自主企画	57013	総合科目（聖地巡礼Ⅱ）	井上ウイマラ	2	3年次～			51
------	------	------	-------	-------------	--------	---	------	--	--	----

2) 企画科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	月	3	51302	企画科目（舞踊）	高 祖 ・ 辻	2	1年次～	－		17
前期	月	3	51304	企画科目（寺院経営講座）	加 賀 博	2	1年次～	－		17
前期	月	5	51502	企画科目 （おもしろ数学思考力）	木 地 茂 典	2	1年次～			18
後期	火	2	52253	企画科目（地方行政論）	笛 木 淳	2	1年次～			18
後期	火	3	52351	企画科目（地方自治法）	笛 木 淳	2	1年次～			18
通年	火	4	52401	企画科目（華道）	五 味 和 樹	2	1年次～			18
前期	水	2	53206	企画科目（仏教芸術）	和 田 圭 子	2	1年次～			19
前期	水	2	53207	企画科目 （マインドフルネス）	井上ウイマラ	2	1年次～			19
通年	水	3	53302	企画科目（法式上級）	瀧 田 雲 溪	2	1年次～	－		19
通年	水	4	53401	企画科目（芸能）	梶 谷 有 桜	2	1年次～	－		19
前期	木	2	54203	企画科目（阿息観）	佐 藤 隆 彦	2	1年次～	－		20
後期	木	2	54252	企画科目 （月輪観と阿字観）	佐 藤 隆 彦	2	1年次～	－		20
前期	木	2	54204	企画科目（社会調査入門）	森 本 一 彦	2	1年次～			20
後期	木	2	54253	企画科目（質的調査論）	森 本 一 彦	2	1年次～			20
通年	木	3	54302	企画科目（詠歌）	上山・辻・村上	2	1年次～	－		21
前期	木	3	54305	企画科目（地域連携Ⅰ）	森 本 一 彦	2	1年次～	－		21
後期	木	3	54352	企画科目（地域連携Ⅱ）	森 本 一 彦	2	1年次～	－		21
前期	木	4	54403	企画科目（歴史学Ⅰ）	坂 口 太 郎	2	1年次～	－		21
後期	木	4	54452	企画科目（歴史学Ⅱ）	坂 口 太 郎	2	1年次～	－		22
通年	金	3	55303	企画科目（声明上級）	辻 秀 道	2	1年次～	－		22
通年	金	3	55304	企画科目 （チベット語会話）	テンジン・ウセル	2	1年次～			22
後期	金	4	55452	企画科目（地域産業論）	鈴 木 裕 範	2	1年次～			22
通年	月	4	51404	企画科目 （日本語留学生中級A）	五十嵐小優粒	2	1年次～		外国人留学生に限る	23
通年	水	3	53303	企画科目 （日本語留学生中級B）	松 本 貴 子	2	1年次～			23
通年	月	5	51501	企画科目 （日本語留学生上級A）	五十嵐小優粒	2	1年次～			23
通年	水	4	53402	企画科目 （日本語留学生上級B）	松 本 貴 子	2	1年次～			23
集中	集中	集中	57001	企画科目（一流伝授Ⅰ）	甲 田 宥 晔	2	1年次～	－	8/7～8/9、 已灌頂者	24
集中	集中	集中	57002	企画科目（一流伝授Ⅱ）	甲 田 宥 晔	2	1年次～	－	9/13～9/15、 已灌頂者	24
前期	月	7	51701	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅲ）	井上ウイマラ	2	3年次～		大阪サテライト 教室にて開講	51
後期	月	7	51751	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅳ）	井上ウイマラ	2	3年次～			52
前期	火	6	52602	企画科目 （心理検査法演習Ⅰ）	木 下 忠 恭	2	3年次～			52
後期	火	6	52652	企画科目 （心理検査法演習Ⅱ）	木 下 忠 恭	2	3年次～			52
前期	水	6	53602	企画科目（心理統計学）	五 明 優 介	2	2年次～			52
後期	水	6	53652	企画科目（心理測定法）	五 明 優 介	2	2年次～			53
後期	水	6	53651	企画科目（臨床死生学）	井上ウイマラ	2	3年次～			53
前期	水	7	53702	企画科目 （心理学基礎実験演習Ⅰ）	五 明 優 介	2	2年次～			53
後期	水	7	53752	企画科目 （心理学基礎実験演習Ⅱ）	五 明 優 介	2	2年次～			53
後期	水	7	53751	企画科目（災害心理学）	森 崎 雅 好	2	3年次～			54
前期	木	5	54501	企画科目 （こころのケアとは）	山 添 正	2	3年次～			54

後期	木	5	54551	企画科目（深層心理学）	山 添 正	2	3 年次～		大阪サテライト 教室にて開講	54
前期	木	6	54602	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅰ）	山 添 正	2	3 年次～			54
後期	木	6	54652	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅱ）	山 添 正	2	3 年次～			55
前期	金	6	55601	企画科目（発達心理学）	西川みち子	2	2 年次～			55
後期	金	6	55651	企画科目（家族心理学）	西川みち子	2	2 年次～			55
前期	金	7	55701	企画科目（学校心理学）	木 下 忠 恭	2	3 年次～			55
後期	金	7	55751	企画科目 （カウンセリング論）	木 下 忠 恭	2	2 年次～			56
前期	土	第1週	56001	企画科目 （メンタルヘルス）	根 岸 和 政	2	3 年次～			56
後期	土	第1週	56051	企画科目（社会心理学）	松 下 睦	2	2 年次～			56
前期	土	第2週	56002	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅰ）	山 添 正	2	3 年次～			54
後期	土	第2週	56052	企画科目 （臨床心理学面接演習Ⅱ）	山 添 正	2	3 年次～			55
前期	土	第3週	56003	企画科目 （スピリチュアルケア演習Ⅰ）	大河内大博	2	3 年次～			56
後期	土	第3週	56053	企画科目 （スピリチュアルケア演習Ⅱ）	大河内大博	2	3 年次～			57
集中	集中	集中	57008	企画科目（密教瞑想）	佐 藤 隆 彦	2	3 年次～			57
集中	集中	集中	57007	企画科目 （コミュニケーション演習Ⅰ）	橋本久仁彦	2	2 年次～			57
集中	集中	集中	57009	企画科目 （コミュニケーション演習Ⅱ）	橋本久仁彦	2	2 年次～			57
集中	集中	集中	57005	企画科目 （スピリチュアルケア概論）	窪 寺 俊 之	2	3 年次～			58
集中	集中	集中	57006	企画科目（死生観）	山本佳世子	2	2 年次～			58
集中	集中	集中	57104	企画科目（ものの語り心理学）	やまだようこ	2	3 年次～			58
実習	実習	実習	58003	企画科目（臨床実習Ⅰ）	森 崎 雅 好	2	3 年次～			－
実習	実習	実習	58004	企画科目（臨床実習Ⅱ）	森 崎 雅 好	2	3 年次～			－
実習	実習	実習	58005	企画科目（臨床実習Ⅲ）	森 崎 雅 好	2	3 年次～			－

3）語学科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	火	2	52203	サンスクリット語Ⅰ	前 谷 彰	4	1 年次～	－		24
通年	月	4	51405	チベット語	徳 重 弘 志	2	1 年次～	－		24
通年	金	2	55201	英会話	静 春 樹	2	1 年次～	－		25
通年	火	1	52102	中国語（初級）	土生川正賢	2	1 年次～	－		25
通年	火	2	52204	中国語（上級）	土生川正賢	2	1 年次～	－		25

4）健康実技

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	木	3	54303	体育実技	加 陽 生 子	2	1 年次～	－		25

5）普通科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54306	宗教思想史Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		26
後期	木	3	54353	宗教思想史Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		26
前期	金	2	55205	心理学Ⅰ A	戸 來 知 子	2	1 年次～	－		26
後期	金	2	55255	心理学Ⅱ A	戸 來 知 子	2	1 年次～	－		26
集中	集中	集中	57010	心理学Ⅰ B	上 野 和 久	2	3 年次～	－	大阪サテライト 教室にて開講	58
集中	集中	集中	57011	心理学Ⅱ B	上 野 和 久	2	3 年次～	－		59
前期	月	1	51105	社会学Ⅰ	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		27

後期	月	1	51154	社会学Ⅱ	森 本 一 彦	2	1 年次～	－		27
前期	水	2	53208	日本文学Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	－		27
後期	水	2	53252	日本文学Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	1 年次～	－		27
前期	水	1	53103	国文法Ⅰ	下 西 忠	2	1 年次～	－		28
後期	水	1	53153	国文法Ⅱ	下 西 忠	2	1 年次～	－		28
前期	金	4	55403	国語学Ⅰ	上 田 恭 寿	2	1 年次～	－		28
後期	金	4	55453	国語学Ⅱ	上 田 恭 寿	2	1 年次～	－		28
後期	水	4	53452	現代の人権	竹 村 和 也	2	1 年次～	－		29
後期	水	3	53352	日本国憲法	竹 村 和 也	2	1 年次～	－		29
通年	火	4	52402	情報処理	野 口 博 司	2	1 年次～	－		29
通年	金	2	55202	梵字悉曇	齋 藤 天 譽	2	1 年次～	－		29
前期	木	2	54205	宗教学Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		31
後期	木	2	54254	宗教学Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		31
前期	木	1	54103	宗教史Ⅰ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		31
後期	木	1	54153	宗教史Ⅱ	川 崎 一 洋	2	1 年次～	－		31
後期	木	4	54453	哲学方法論	山 脇 雅 夫	2	2 年次～	－		32
後期	水	1	53154	宗教学方法論	乾 龍 仁	2	2 年次～	－		32
前期	月	4	51409	日本文学概論Ⅰ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	－		32
後期	月	4	51453	日本文学概論Ⅱ	浜 畑 圭 吾	2	2 年次～	－		32
前期	火	3	52306	日本文学史概説Ⅰ	下 西 忠	2	2 年次～	－		33
後期	火	3	52352	日本文学史概説Ⅱ	下 西 忠	2	2 年次～	－		33
前期	木	3	54307	漢文学概論Ⅰ	南 昌 宏	2	2 年次～	－		33
後期	木	3	54354	漢文学概論Ⅱ	南 昌 宏	2	2 年次～	－		33
前期	金	3	55306	国語学講義Ⅰ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	－		34
後期	金	3	55352	国語学講義Ⅱ	上 田 恭 寿	2	2 年次～	－		34
後期	火	2	52254	日本文化特殊講義 A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	－		34
後期	金	4	55454	日本文化特殊講義 B	坂 口 太 郎	2	3 年次～	－		34
前期	金	4	55405	中国文化特殊講義 A	野 田 悟	2	3 年次～	－		35
後期	月	3	51354	中国文化特殊講義 B	南 昌 宏	2	3 年次～	－		35
前期	火	2	52207	日本文化講読演習 A	浜 畑 圭 吾	2	3 年次～	－		35
前期	金	4	55404	日本文化講読演習 B	坂 口 太 郎	2	3 年次～	－		35
前期	月	3	51305	中国文化講読演習	南 昌 宏	2	3 年次～	－		36

6) 教学実習科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	4	53403	常用經典	宮 田 永 明	2	1 年次～	僧階補任		30
通年	金	1	55101	声明	辻 秀 道	2	1 年次～	僧階補任		30
通年	月	1	51101	法式	内 海 周 浩	2	1 年次～	僧階補任		30
通年	水	3	53304	布教	近 藤 堯 寛	2	1 年次～	僧階補任		30

7) 書道師範関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
通年	水	2	53204	漢字Ⅰ	野 田 悟	2	1 年次～	書道師範		36
通年	火	4	52403	漢字Ⅱ	木 本 滋 久	2	2 年次～	書道師範		36
通年	木	2	54201	かなⅠ	山 本 圭 子	2	1 年次～	書道師範		36
通年	木	3	54304	かなⅡ	山 本 圭 子	2	2 年次～	書道師範		37
前期	火	1	52105	篆刻Ⅰ	野 田 悟	2	2 年次～	書道師範		37
後期	火	1	52152	篆刻Ⅱ	野 田 悟	2	2 年次～	書道師範		37

通年	火	3	52303	条幅制作A	木 本 滋 久	2	3 年次～	書道師範		37
通年	木	4	54401	条幅制作B	山 本 圭 子	2	3 年次～	書道師範		38
通年	金	1	55102	書道史（日本）	野 田 悟	4	2 年次～	書道師範		38

8) 社会福祉主事関係科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	木	3	54308	社会保障総論Ⅰ	福 本 幹 雄	2	1 年次～	社会福祉主事		38
後期	木	3	54355	社会保障総論Ⅱ	福 本 幹 雄	2	1 年次～	社会福祉主事		38
前期	木	4	54404	社会福祉各論Ⅰ（地域福祉Ⅰ）	福 本 幹 雄	2	2 年次～	社会福祉主事		39
後期	木	4	54454	社会福祉各論Ⅱ（地域福祉Ⅱ）	福 本 幹 雄	2	2 年次～	社会福祉主事		39

9) 他学科科目

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
前期	火	3	52304	弘法大師伝	櫻 木 潤	2	1 年次	－		3
前期	火	1	52103	釈尊伝	前 谷 彰	2	1 年次	－		3
前期	木	1	54101	漢文Ⅰ A	南 昌 宏	2	1 年次	－		4
後期	月	1	51151	漢文Ⅰ B	南 昌 宏	2	1 年次	－		4
後期	木	1	54151	漢文Ⅱ A	南 昌 宏	2	1 年次	－	受講資格：漢文Ⅰの単位を修得していること	4
前期	月	1	51102	漢文Ⅱ B	南 昌 宏	2	2 年次	－		4
前期	月	2	51202	密教学概論Ⅰ A	佐 藤 隆 彦	2	2 年次	－		5
後期	月	2	51252	密教学概論Ⅱ A	佐 藤 隆 彦	2	2 年次	－		5
前期	火	4	52404	仏教学概論Ⅰ A	前 谷 彰	2	2 年次	－		6
後期	火	4	52451	仏教学概論Ⅱ A	前 谷 彰	2	2 年次	－		6
前期	金	1	55103	密教史概説Ⅰ A	奥 山 直 司	2	2 年次	－		6
後期	月	3	51352	密教史概説Ⅱ A	櫻 木 潤	2	2 年次	－		6
前期	木	4	54402	仏教史概説Ⅰ A	前 谷 彰	2	2 年次	－		7
後期	木	4	54451	仏教史概説Ⅱ A	前 谷 彰	2	2 年次	－		7
前期	月	1	51103	密教学講読演習 A	松 長 恵 史	2	3 年次	－		9
前期	金	1	55104	密教学講読演習 B	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	9
後期	金	1	55151	密教学講読演習 C	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	9
前期	水	1	53101	仏教学講読演習 A	櫻 木 潤	2	3 年次	－		9
後期	水	1	53151	仏教学講読演習 B	櫻 木 潤	2	3 年次	－		10
前期	水	4	53405	仏教学講読演習 C	和 田 圭 子	2	3 年次	－		10
後期	水	4	53452	仏教学講読演習 D	和 田 圭 子	2	3 年次	－		10
後期	月	1	51152	真言密教講読演習 A	松 長 恵 史	2	3 年次	－		10
前期	木	1	54102	真言密教講読演習 B	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	11
後期	木	1	54152	真言密教講読演習 C	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	11
前期	金	1	55105	真言密教講読演習 D	土 居 夏 樹	2	3 年次	－		11
前期	金	2	55204	真言密教講読演習 E	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	11
後期	金	2	55253	真言密教講読演習 F	T.ドライトライン	2	3 年次	－	已灌頂者	12
前期	月	1	51104	密教学特殊講義 A	中 西 雄 泰	2	3 年次	－	已灌頂者	12
後期	月	1	51153	密教学特殊講義 B	中 西 雄 泰	2	3 年次	－	已灌頂者	12
前期	月	3	51303	密教学特殊講義 C	森 本 一 彦	2	3 年次	－		12
後期	月	3	51353	密教学特殊講義 D	森 本 一 彦	2	3 年次	－		13
前期	月	4	51408	密教学特殊講義 E	静 慈 圓	2	3 年次	－		13
後期	月	4	51452	密教学特殊講義 F	静 慈 圓	2	3 年次	－		13
後期	金	2	55254	密教学特殊講義 G	奥 山 直 司	2	3 年次	－		13
後期	火	4	52453	仏教学特殊講義 A	井上ウイマラ	2	3 年次	－		14
前期	水	3	53305	仏教学特殊講義 B	和 田 圭 子	2	3 年次	－		14

後期	水	3	53351	仏教学特殊講義C	和田圭子	2	3年次	—		14
後期	木	3	54351	仏教学特殊講義D	前谷彰	2	3年次	—		14
前期	金	3	55305	真言密教特殊講義A	齋藤天譽	2	3年次	—		15
後期	金	3	55351	真言密教特殊講義B	齋藤天譽	2	3年次	—		15
前期	月	4	51410	仏教学特殊講義E (心とは何かⅠ)	岡田英作	2	3年次～	—	大阪サテライト 教室にて開講	59
後期	月	4	51455	仏教学特殊講義F (心とは何かⅡ)	岡田英作	2	3年次～	—		59
前期	火	4	52407	密教学概論ⅠB	土居夏樹	2	3年次～	—		59
後期	火	4	52455	密教学概論ⅡB	土居夏樹	2	3年次～	—		60
前期	水	5	53501	真言密教特殊講義C (高野山の宗教文化)	北川真寛	2	3年次～	—		60
前期	水	7	53701	真言密教特殊講義D (高野山の宗教文化)	北川真寛	2	3年次～	—		60
後期	水	5	53551	真言密教特殊講義E (真言密教の儀礼)	北川真寛	2	3年次～	—		60
前期	水	6	53601	真言密教特殊講義F (真言密教の儀礼)	北川真寛	2	3年次～	—		60
前期	木	4	54406	真言密教特殊講義G (空海書論Ⅰ)	野田悟	2	3年次～	—		60
後期	木	4	54456	真言密教特殊講義H (空海書論Ⅱ)	野田悟	2	3年次～	—		61
前期	金	4	55406	祖典講読ⅠC (即身成仏義Ⅰ)	高柳健太郎	2	3年次～	—		61
後期	金	4	55456	祖典講読ⅡC (即身成仏義Ⅱ)	高柳健太郎	2	3年次～	—		61
前期	金	5	55501	密教史概説ⅠB	徳重弘志	2	3年次～	—		61
後期	金	5	55551	密教史概説ⅡB	櫻木潤	2	3年次～	—		62

別 科 目 次

別科

1. 必修科目

1) 基礎科目 (16)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
通年	月	2	81201	真言宗の教え (別)	密教学概論ⅠA 密教学概論ⅡA	佐藤隆彦	4	1年次		5
前期	火	1	82101	釈尊の生涯 (別)	釈尊伝	前谷 彰	2	1年次		3
前期	火	3	82301	弘法大師空海の生涯 (別)	弘法大師伝	櫻木 潤	2	1年次		3
通年	火	2	82201	真言宗典講読1 (別)	祖典講読ⅠA 祖典講読ⅡA	松長恵史	4	1～2年次		7
前期	月	1	81102	真言宗典講読2-1 (別)	密教学講読演習A	松長恵史	2	1～2年次	2-1、2-2は同年に履修すること	9
前期	金	1	85102	真言宗典講読2-2 (別)	真言密教講読演習D	土居夏樹	2	1～2年次		11

2) 実習科目 (14)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
通年	木	2	84201	観法の理論と実習 (別)	企画科目 (阿息観) 企画科目 (月輪観と阿字観)	佐藤隆彦	4	1年次～		20
通年	金	2	85201	梵字悉曇 (別)	梵字悉曇	齋藤天譽	2	1年次		29
通年	金	1	85101	声明 (別)	声明	辻 秀道	2	1年次		30
通年	水	4	83401	常用經典 (別)	常用經典	宮田永明	2	1年次		30
通年	月	1	81101	法式 (別)	法式	内海周浩	2	1年次		30
通年	水	3	83301	布教 (別)	布教	近藤堯寛	2	1年次		30

3) 選択科目 (18)

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	読 替 科 目	担 当 者	単位	履修年次	備 考	頁
後期	水	4	83451	人権と福祉 (別)	現代の人権	竹村和也	2	1～2年次		29
通年	木	2	84202	世界の宗教 (別)	宗教学Ⅰ 宗教学Ⅱ	川崎一洋	4	1～2年次		31
通年	木	1	84101	宗教の歴史 (別)	宗教史Ⅰ 宗教史Ⅱ	川崎一洋	4	1～2年次		31
通年	金	2	85202	心の科学 (別)	心理学ⅠA 心理学ⅡA	戸来知子	4	1～2年次		26
通年	月	4	81401	仏教芸術 (別)	密教学特殊講義E 密教学特殊講義F	静 慈圓	2	1～2年次		13
前期	月	2	81202	哲学A (別)	現代思想	山脇雅夫	2	1～2年次	A・Bは同年に履修すること	3
後期	木	4	84451	哲学B (別)	哲学方法論	山脇雅夫	2	1～2年次		32
通年	木	3	84301	社会保障 (別)	社会保障総論Ⅰ 社会保障総論Ⅱ	福本幹雄	4	1～2年次		38
通年	木	4	84401	地域福祉 (別)	社会福祉各論Ⅰ (地域福祉) 社会福祉各論Ⅱ (地域福祉)	福本幹雄	4	1～2年次		39
通年	火	2	82202	サンスクリット語 (別)	サンスクリット語Ⅰ	前谷 彰	2	1～2年次		24
通年	月	4	81402	チベット語 (別)	チベット語	徳重広志	2	1～2年次		24
通年	金	3	85301	声明上級 (別)	企画科目 (声明上級)	辻 秀道	2	1～2年次		22
通年	水	3	83302	法式上級 (別)	企画科目 (法式上級)	淵田雲溪	2	1～2年次		19
通年	金	3	85302	密教儀礼の理論と実習 (別)	真言密教特殊講義A 真言密教特殊講義B	齋藤天譽	4	2年次		15
通年	木	3	84302	事相研究 (聖教の伝授と実習) (別)	事相研究Ⅱ-1 (大) 事相研究Ⅱ-2 (大)	佐藤隆彦	4	2年次		院-7

講 義 概 要

•

授 業 計 画

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の密教思想を学ぶための基礎的な知識を身につける テーマ：弘法大師空海とその密教思想
空海の思想入門	授業の概要 本講義は文学部共通の「建学の精神」科目で、全学生必須である。本学でどのような分野を専攻するにしても、最初に弘法大師空海とその密教思想の概要を学んでおくことは、弘法大師の教育理念に基づく高野山大学で学ぶことの意義を確認でき、より実り多い勉学生活を過ごすことが可能であるからである。大師の著作のいくつかを具体的に取りあげて概観し、大師の密教思想を学ぶ。
学期	授業計画 1. はじめに（オリエンテーション） 2. 密教の種々相（日本密教とチベット密教） 3. 高野山の開創とその意義 4. 弘法大師の生涯（略説） 5. 〃 6. 大師の教育観（『綜芸種智院式』） 7. 三教の比較思想論（『譬喩指帰』『三教指帰』） 8. 真言密教の相承者の系譜と伝記（『広付法伝』『略付法伝』） 9. 顕教と密教（『弁顕密二教論』） 10. 密教の成仏論（『即身成仏義』） 11. 十段階の心のあり方（『十住心論』『秘藏宝鑰』） 12. 密教経典としての般若心経（『般若心経秘鍵』） 13. 大師の戒律思想（『三昧耶戒序』『梵網経解題』） 14. 〃 15. 筆記試験 16. おわりに（まとめ）
後期	テキスト 授業中に適宜指示する。
単位数	参考書・参考資料等 ① 松長有慶『密教』（岩波新書） ② 『弘法大師空海全集』（筑摩書房）など 授業中で適宜指示する。
2	学生に対する評価 期末の筆記試験（70%）、小テスト（30%）によって評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）弘法大師の思想の基本用語を覚えている。 （良）弘法大師の思想の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。 （優）弘法大師の思想の基本用語について、テキストを含む複数の参考書を見ながら自分の言葉で説明できる。
乾	その他 毎回休まずに出席することを望みます。少なくとも、授業実数の三分の一以上欠席すれば失格です。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp です。質問などに遠慮無く利用して下さい。
龍仁	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基礎的な英文法の理解。 テーマ：基礎的な英文理解を養う。
英語ⅠA	授業の概要 基本的な英文法を再確認するとともに、英語文の理解を養う。
授業計画	【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方、成績の出し方について説明する。 2. Chapter 1 Freeters and Neetst 3. 同上 4. Chapter 2 Low Birth Rate 5. 同上 6. Chapter 3 Working Poor 7. 同上 8. Chapter 4 Net Cafe Refugee 9. 同上 10. Chapter 5 Loser Dog 11. 同上 12. Chapter 6 False Accusation 13. 同上 14. Chapter 7 Hikikomori 15. 同上 16. 総括 【後期】 1. Chapter 8 Cults 2. 同上 3. Chapter 9 Baby Boomers Retire 4. 同上 5. Chapter 10 Immigration 6. 同上 7. Chapter 11 Telecommuting 8. 同上 9. Chapter 12 Buying Organs 10. 同上 11. Chapter 13 Surrogate Mothers 12. 同上 13. Chapter 14 Baby Hatch 14. 同上 15. Chapter 15 Eating Disorder 16. 総括
学期	テキスト Keywords for Japan Today（センゲージ ラーニング） ISBN 978-4-86312-043-3
通年	参考書・参考資料等
単位数	学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。
2	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基本的な英文法が理解できること （良）英文文章の構造が理解できること （優）パラグラフ単位で文章の内容を把握できること
担当者	その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること
高倉正行	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：1年間の授業で、それまでコマ付きの自転車に乗っていた子供が、コマを外してしばらく練習した後で、「今コマ無しで走っているよ」と実感できるような、その程度にまでもっていく。 テーマ：【前期】高校までに習った英語を活性化させる。 【後期】英文法の初歩習得
英語ⅠB	授業の概要 受講生は誰もが最低限6年間の英語学習を経ているはずである。本授業では受講生に関わった中学・高校英語教師の努力に報いるために尽力する。つまり勉強した事柄の想起・活性化・定着である。
学期	授業計画 テキストに沿って行う。
通年	テキスト 南雲堂 What a Story! （文法・単語で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング）。 テキストを持たない学生の受講は認めません。
単位数	参考書・参考資料等
2	学生に対する評価 前期テスト（50%）、後期テスト（50%）。出席日数が足りている学生のみ受験可能
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）頭からの「英語嫌い」が消えて、英語に触れることへの「拒否反応」が薄くなる。 （良）上記の「拒否反応」が消えている。 （優）自分から英語の四能力のすべて、あるいは何れかに向かって努力する姿勢が見られるようになる。
静春樹	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
英語Ⅰ (再履修)	到達目標：基本的な英文法の理解 テーマ：英文の基本的構文の習得	
	授業の概要 基礎英文法を学ぶ。	
	授業計画 【前期】 1. 授業の進め方、評価の仕方、予習・復習の仕方等について説明。 2. 動詞と文型 3. 同上 4. 文の種類 5. 同上 6. 動詞と時制 7. 同上 8. 完了形 9. 同上 10. 態 11. 同上 12. 不定詞 13. 同上 14. 動名詞 15. 同上 16. 総括 【後期】 1. 分詞 2. 同上 3. 分詞構文 4. 同上 5. 比較 6. 同上 7. 関係詞（1） 8. 同上 9. 関係詞（2） 10. 同上 11. 仮定法 12. 同上 13. 時制の一致と話法 14. 同上 15. 同上 16. 総括	
	学期	学期
通年		
単位数	テキスト 最初の授業で説明します。 *テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。	単位数
2	参考書・参考資料等	
担当者	学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。	担当者
高倉正行	ループリック（目標に準拠した評価） （可）文の構造が理解できること。 （良）五文型が理解できること。 （優）文章のつながりが理解できること。 その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
日本語A・B	到達目標：自分自身の考えを的確に表現できるとともに、他人の意見を的確に把握できるようになる。 テーマ：調べ、考え、まとめて、発表する	日本語（再履修）
	授業の概要 大学では、多くの専門的な本を読み、それをもとにレポートを書き、最終的には卒業論文に取り組みます。そのためには専門的知識を身につけると共に論理的に構成された文章を、正確に把握できるようにすることが不可欠です。この講義では新入生を対象として、そのためのトレーニングを実施します。	
	授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 自己紹介をする（1） 3. 自己紹介をする（2） 4. 要約文の作り方 5. 資料の探し方 6. 原稿用紙の使い方 7. 高野山について調べる（1） ※ 学外授業の予定 8. 高野山について調べる（2） ※ 学外授業の予定 9. グループ発表資料を作る（1） 10. グループ発表資料を作る（2） 11. グループ発表（1） 12. グループ発表（2） 13. グループ発表（3） 14. レポートを書く（1） 15. レポートを書く（2） 16. レポートを書く（3） 【後期】 1. ガイダンス 2. 論文を読む（1） 3. 論文を読む（2） 4. 論文を読む（3） 5. 論文を読む（4） 6. 論文を読む（5） 7. 専門用語を調べる（1） 8. 専門用語を調べる（2） 9. 専門用語を調べる（3） 10. 専門用語を調べる（4） 11. 専門用語を調べる（5） 12. 資料を探す（1） 13. 資料を探す（2） 14. レポートを書く（1） 15. レポートを書く（2） 16. レポートを書く（3）	
	学期	
通年		
単位数	テキスト 担当者で用意したものを配布します。	単位数
4	参考書・参考資料等 国語辞典・漢和辞典を持参してください。 ※ 電子辞書でもよいが本の辞書を推奨。	4
担当者	学生に対する評価 授業への参加態度（40%）、授業内発表（40%）、漢字テスト（20%）で評価します。	担当者
B A 櫻木土居夏潤	ループリック（目標に準拠した評価） （可）要約文・レポートを書くことができる。 （良）自分の意見を論理的に論じることができる。 （優）資料を用いつつ自分の意見を論じることができる。 その他 ・出席を重視します。遅刻は3回で欠席1回と見なします。 ・トレーニングは大変かもしれませんが、その成果は必ずみなさんの財産になります。へこたれず、楽しくやっていきましょう。 ・漢字テストは随時行います。	櫻木土居夏潤

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
日本語（再履修）	他人の言いたいことを的確に把握できるようにすること、自分の言いたいことを的確に、かつ論理的に展開できるようにすること。	日本語（再履修）
	授業の概要 卒業論文を作成するためには、自分のテーマに関する専門的な本を読んで思索をめぐらし、論理的に構成された文章により自分の考えを表明する力が不可欠です。この授業では、卒業論文作成のためのスキルを身につけます。	
	授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 「学問すること」とは？ 3. 「レポート」と「論文」 4. 論文の構成を学ぶ（1） 5. 論文の構成を学ぶ（2） 6. 論文の構成を学ぶ（3） 7. 論文の構成を学ぶ（4） 8. 論文の構成を学ぶ（5） 9. 注のつけ方（1） 10. 注のつけ方（2） 11. 引用の仕方 12. 文献表のつくり方 13. 原稿用紙の使い方 14. レポートを書いてみる（1） 15. レポートを書いてみる（2） 16. まとめ 【後期】 1. ガイダンス 2. 研究テーマの設定とは？（1） 3. 研究テーマの設定とは？（2） 4. 研究テーマの設定とは？（3） 5. なぜ本を読むのか？ 6. テキスト批評の方法（1） 7. テキスト批評の方法（2） 8. テキスト批評の方法（3） 9. テキスト批評の方法（4） 10. テキスト批評の方法（5） 11. 小論文を書いてみる（1） 12. 小論文を書いてみる（2） 13. 小論文を書いてみる（3） 14. 小論文を書いてみる（4） 15. 小論文を書いてみる（5） 16. まとめ	
	学期	
通年		
単位数	テキスト テキストとして、河野哲也『レポート・論文の書き方入門〈第三版〉』（慶應義塾大学出版会、2014年）を使用しますが、必要な部分をプリントとして配布します。	単位数
4	参考書・参考資料等 戸田山和久『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』（NHKブックス [1194]、2012年） 松本茂・河野哲也『大学生のための読む・書く・プレゼン・ディベートの方法 改訂第二版』（玉川大学出版部、2015年。初版は2007年） その他、授業において適宜紹介します。	4
担当者	学生に対する評価 毎回の授業で行う課題（60%）、前期のレポート・後期的小論文（各20%）で評価します。	担当者
櫻木土居夏潤	ループリック（目標に準拠した評価） （可）与えられたテーマについて自分の意見を論理的に論じることができる。 （良）テーマを自分で見つけ出し自分の意見を論理的に論じることができる。 （優）資料を用いつつ自分の意見を論じることができる。 その他 卒業論文を作成するスキルは、大学で学問すること、すなわち「研究すること」のノウハウを身につけることにはかきません。この授業は、再履修者を対象としていますが、「研究の方法を身につけたい」と思っている方は歓迎します。	櫻木土居夏潤

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の足跡をたどりながら、日本の仏教におけるご生涯の意義を考える。 テーマ：弘法大師空海の生涯とその時代
弘法大師空海の生涯（別）	授業の概要 高野山を開創し、真言密教を大成した弘法大師空海のご生涯を、時代背景をふまえながらたどります。弘法大師の足跡から、本学で学ぶことの意義と、将来への指針を見いだすことを目指します。
学期	授業計画 1. 授業ガイダンス 2. 弘法大師空海のイメージ 3. 奈良・平安時代の社会と仏教 4. 誕生と青年時代 5. 「沙門空海」の誕生 6. 山林修行と『聲替指帰』の撰述 7. 不空三蔵と恵果阿闍梨 8. 中国への留学 9. 頼朝の日々 10. 伝教大師最澄との交流 11. 高野山の開創 12. 天皇・太上天皇との交流 13. 満濃池と綜藝種智院 14. 真言宗の成立 15. 空海以後の密教と「弘法大師信仰」の成立 16. 期末試験
前期	テキスト テキストは使用せず、毎回の授業で配布するプリントをもとに進めます。
単位数	参考書・参考資料等 高木神元『空海 生涯とその周辺』（歴史文化セレクション、吉川弘文館、2009年） 高木神元・岡村圭真編『密教の聖者 空海』（日本の名僧4、吉川弘文館、2003年） 武内孝善『弘法大師空海の研究』（吉川弘文館、2006年） 武内孝善『空海伝の研究 後半生の軌跡と思想』（吉川弘文館、2015年） その他、毎回の授業中において適宜紹介します。
2	学生に対する評価 期末試験（60％）・毎回の授業中に行う課題（40％）によって評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）弘法大師空海のご生涯について理解する。 （良）弘法大師空海のご生涯が日本仏教の歴史の中でどのような歴史的意義があるのかを説明できる。 （優）弘法大師空海のご生涯から、本学で学ぶことの意義と将来への指針を見いだすことができる。
櫻木潤	その他 授業では、日本各地の弘法大師ゆかりの地を紹介します。積極的にその地を訪ね、弘法大師のご生涯について、さらに理解を深めることを望みます。希望があれば、高野山内などの見学会を行います。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：釈尊の思想とその生涯についての基礎知識の養成 テーマ：釈尊の思想とその生涯を概観することによって、初期仏教の思想と歴史についての知識を深める。
釈尊の生涯（別）	授業の概要 仏教の開祖であるゴータマブツダ（釈尊）の生涯を基本的仏伝資料によって概観し、その後は釈尊のことばが集成された最古層に属する經典とされる『スッタニパータ』から、幾つかの偈頌を抽出することによって、釈尊のことばの世界を通してその実像へ迫って行く。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 仏伝資料による釈尊の生涯概観。 3. 同上 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 『スッタニパータ』「蛇の章・慈しみ」を読み、同じ作業を行う。 8. 『スッタニパータ』「小なる章・宝」を読み、同じ作業を行う。 9. 『スッタニパータ』「小なる章・ダンミカ」を読み、同じ作業を行う。 10. 『スッタニパータ』「大いなる章・つとめはげむこと」を読み、同じ作業を行う。 11. 『スッタニパータ』「大いなる章・矢」を読み、同じ作業を行う。 12. 『スッタニパータ』「大いなる章・二種の観察」を読み、同じ作業を行う。 13. いくつかの仏伝記事を紹介・解説することによって、釈尊神格化のプロセスについて解説する。 14. 同上 15. 学習した内容に対する質問や意見を聞き、総まとめをする。
前期	テキスト 前谷 彰（恵紹）著『ブッダのおしえ ー真訳スッタニパーター』講談社
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて紹介する。
2	学生に対する評価 授業への参加度と学期末試験とで総合的に評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）「釈尊伝概要」に関する基本的知識を習得していること。 （良）「釈尊伝概要」をもとに、講義内容と関連付けて釈尊像を理解していること。 （優）（可）・（良）を踏まえて、個々の疑問を整理し、自分自身の見解で釈尊像を語る能力を持っていること。
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：人間観の基礎を構築する テーマ：人の間の哲学		
	授業の概要 「人の間」と書いて「人間」と読むことは、私たち人間にとって他の人とかかわりが本質的であることをよく示していると思われます。この授業では、人間関係に関する哲学的問題を中心に、現代に生きていくために必要な思想は何かを考えます。		
現代思想 哲学A（別）	授業計画 1. 赤ちゃんの人間認識 2. 対人関係と言葉 3. 自他の境界 4. いじめ 5. 「自分」の定義 6. 「愛」の諸相 7. 聴くことの力 8. 理解と誤解 9. 自己犠牲は可能か？ 10. 待つことの意味 11. 人間関係と時間 12. 死者との共存 13. 切れ字の存在論 14. 実存 15. 住まうこと 16. まとめ		
	テキスト 鷲田清一『聴くことの力』（ちくま文庫）		
学期	参考書・参考資料等 授業中に指示		
前期	学生に対する評価 期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点		
単位数	ルーブリック（目標に準拠した評価）		
2			
担当者			
山脇雅夫			
	その他		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：本学で密教を学ぶために、日本の民俗宗教の基礎知識を習得する。 テーマ：日本の民俗宗教
人間と宗教	授業の概要 日本の生活文化の中に根付いた日本の民俗宗教について解説する。
学期	授業計画 1. 民俗宗教とは 2. 神仏習合 3. 年中行事（1） 4. 年中行事（2） 5. 年中行事（3） 6. 通過儀礼（1） 7. 通過儀礼（2） 8. 通過儀礼（3） 9. 先祖祭祀（1） 10. 先祖祭祀（2） 11. 先祖祭祀（3） 12. 境界と信仰（1） 13. 境界と信仰（2） 14. 境界と信仰（3） 15. 民俗宗教を考える 16.
後期	テキスト 特になし
単位数	参考書・参考資料等 宮本契梁雄・谷口貢編著『日本の民俗信仰』八千代出版 宮家準『日本の民俗宗教』講談社学術文庫 宮田登『はじめての民俗学ー怖さはどこからくるのか』ちくま学芸文庫
2	その他授業中に紹介する
担当者	学生に対する評価 定期試験（70％）、授業中の小テストおよび小作文（30％）で評価する。
森本彦	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基本的用語の説明ができる。 （良）日本の民俗宗教について説明ができる。 （優）日本の民俗宗教の特徴について自身の考えを述べるができる。
	その他 祭礼や行事など伝統的社会についてのニュースに注意するのは勿論だが、現在の時事問題についても留意しておくこと。

科目名	漢文ⅠA・B
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける。 テ ー マ：漢文訓読の基礎（入門）
授業の概要	返り点のとおり読む練習、返り点を打つ練習から始める。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。また、仏教寓話集『百喻経』を読み、テキストを参照しながら、文法解説をする。
授業計画	1. 送りがな・返り点 2. 書き下し文（1） 3. 書き下し文（2） 4. 熟語の構造 5. 漢文の構造 6. 総合演習（1） 7. 再読文字（1） 8. 再読文字（2） 9. 総合演習（2） 10. 否定の形（1） 11. 否定の形（2） 12. 否定の形（3） 13. 否定の形（4） 14. 総合演習（3） 15. 期末試験 16. 答案返却
テキスト	佐藤雅一『発展 30 日完成（33） 漢文 高校初級用』（日栄社）書店等で購入。
参考書・参考資料等	加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）訓点を機械的に扱うことができる。 （良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。 （優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。
その他	Bは再履修用。

科目名	漢文ⅡA・B
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：訓点を正しく使う能力を養い、漢文訓読の基礎を身に付ける。 テ ー マ：漢文訓読の基礎（初級）
授業の概要	I の続き。テキストの問題は毎回の宿題とし、提出を義務とする。仏教寓話集『百喻経』を読み、テキストを参照しながら、文法解説をする。
授業計画	1. 疑問・反語の形（2） 2. 疑問・反語の形（3） 3. 総合演習（4） 4. 使役・受身の形 5. 比較選択・願望の形 6. 仮定・抑揚の形 7. 限定・累加の形 8. 総合演習（5） 9. 文字の整理（1） 10. 文字の整理（2） 11. 文字の整理（3） 12. 文字の整理（4） 13. 文字の整理（5） 14. 文字の整理（6） 15. 漢詩 16. 期末試験
テキスト	佐藤雅一『発展 30 日完成（33） 漢文 高校初級用』（日栄社）書店等で購入。
参考書・参考資料等	加地伸行『漢文法基礎』（講談社学術文庫）など。
学生に対する評価	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。期末試験の素点を評点とする。合格点に満たない者には、宿題1回を1点として加算する。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）訓点を機械的に扱うことができる。 （良）訓点を機械的に扱い、基本的な文法を修得している。 （優）訓点を自在に扱い、高校程度の漢文を十分に理解できる。
その他	漢文Ⅰに合格した者のみ、受講を許可する。ただし、4年次生は、その限りではない。Bは再履修用。

科目名	英語ⅡA
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：英文内容の理解。 テ ー マ：長文を読みこなす。
授業の概要	基礎的な英文の読解・聴解、語彙力強化、質疑応答、および作文・発表を通じて、総合的な英語力を養う。
授業計画	【前期】 1. 予習、復習、授業の進め方について説明する。 2. Chapter 1 The Friendlier the Better 3. 同上 4. Chapter 2 Single at Last 5. 同上 6. Chapter 3 Kids Will Be Kids 7. 同上 8. Chapter 4 School Days 9. 同上 10. Chapter 5 Growing, Growing 11. 同上 12. Chapter 6 DVital Signs 13. 同上 14. Chapter 7 I Protest! 15. 同上 16. 総括 【後期】 1. Chapter 8 Good Job 1 2. 同上 3. Chapter 9 Good Job 2 4. 同上 5. Chapter10 A Matter of Class 6. 同上 7. Chapter11 The Text is the Message 8. 同上 9. Chapter 12 Crime Doesn't Pay 10. 同上 11. Chapter 13 Everyday Sociology 1 12. 同上 13. Chapter 14 Everyday Sociology 2 14. 同上 15. Chapter 15 Everyday Sociology 3 16. 総括
テキスト	Everyday Sociology (Jim Knudsen, 南雲堂、ISBN 978-4-523-17719-7)
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）基本的な英文法が理解できること （良）英文章の構造が理解でき、内容を把握できること （優）パラグラフ単位で内容を把握でき、著者の主張を読み取れること
その他	必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	英語ⅡB
授業の到達目標及びテーマ	到達目標： 【前期】「文法」つまり基本的な「文のしくみ」に焦点を合わせる。 【後期】英語に限らずすべての言語は「音声」「文法」「語彙（単語力）」の三つのアプリケーションから成ると言っても過言ではない。授業では「文のしくみ」に焦点を合わせる。 テ ー マ： 【前期】高校までに習った英語を活性化する。 【後期】英文法の初歩習得。
授業の概要	授業計画が成立するのは受講生の習得水準が一定の幅に揃っている場合である。本授業の場合、プレイスメントテストがなく、およそ「不揃いな受講生」を相手にしなければならない。従って、授業はあくまで各受講生の力に合わせた個別的な指導となる。 勉学の基礎は自学自習である。教師は各受講生の力量・つまずきの箇所・壁を判断し個別に指導する。
授業計画	テキストをユニット0から各自が徹底的に勉強し、教師に理解したと判断された場合に次のユニットへ進む。
テキスト	南雲堂 First Voyage（大学基本英文法&リーディング）。 テキストを持たない学生の受講は認めません。
参考書・参考資料等	
学生に対する評価	前期テスト（50%）、期末テスト（50%）
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）頭からの「英語嫌い」が消えて、英語に触れることへの「拒否反応」が薄くなる。 （良）上記の「拒否反応」が消えている。 （優）自分から英語の四能力のすべて、あるいは何れかに向かって努力する姿勢が見られるようになる。
その他	「文の仕組み」は人体に喩えると、骨格に相当します。習得言語の場合（母語でないこと）、これをインストールしないと自力で歩くことが出来ません。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中級程度の英文法の理解。 テーマ：英文の基本的構文の習得。
英語Ⅱ (再履修)	授業の概要 英文の基本構造を学びつつ、練習問題を行います。
学期	授業計画 【前期】 1. 不定詞（1） 2. 不定詞（2） 3. 分詞 4. 動名詞 5. 動名詞と不定詞 6. 時制 7. 未来時を表す表現 8. 進行形 9. 完了形 10. 態 11. 仮定法（1） 12. 仮定法（2） 13. 比較構文 14. 否定 15. 名詞 16. 総括 【後期】 1. 代名詞（1） 2. 代名詞（2） 3. 形容詞 4. 冠詞 5. 数量詞 6. 副詞 7. 動詞 8. 法助動詞（1） 9. 法助動詞（2） 10. 前置詞（1） 11. 前置詞（2） 12. 前置詞（3） 13. 接続詞 14. 関係詞（1） 15. 関係詞（2） 16. 総括
通年	テキスト 最初の授業で説明します。 ＊テキスト購入に関しては教員の指示に従うこと。
単位数	参考書・参考資料等
2	学生に対する評価 予習状況と授業態度、前期・後期試験を加味して行う。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）文の構造が理解できること。 （良）五文型が理解できること。 （優）文章のつながりが理解できること。
高倉正行	その他 必ず予習を行って授業に臨むこと。 授業には、テキストとノート、辞書を持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。 テーマ：密教の基礎知識を養成する。
真言宗の教論ⅠA (別)	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。
前期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 密教とは：①密教・真言宗の意味、密教の分類 3. 密教経典の成立と特色：①密教の源流 4. 密教経典の成立と特色：②仏教のなかでの密教の発展過程 5. 密教経典の成立と特色：③密教経典の分類 6. 密教経典の成立と特色：④密教経典の特色 7. 中国密教の成立：①密教経典の訳出 8. 中国密教の成立：②唐代密教の展開 9. 奈良時代の密教と空海請来の密教 10. 密教思想の教判：①真言密教の教判・顕密二教の教判 11. 密教思想の教判：③顕密二教の教判 12. 十住心の思想：①十住心思想の構成 13. 十住心の思想：②十住心思想の特徴 14. 十住心の思想：③②十住心思想の特徴 15. 試験 16. 試験問題の解答と確認
学期	テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫 佐和隆研編『密教辞典』法蔵館 中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店
2	学生に対する評価 試験（80％）、授業参加への積極性（20％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本的な用語を理解している。 （良）配布した資料の説明ができる。 （優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。
佐藤隆彦	その他 講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。 テーマ：密教の基礎知識を養成する。
真言宗の教論ⅡA (別)	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。
後期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 真言密教の仏陀観：①釈迦如来から大日如来へ 3. 真言密教の仏陀観：②大日如来と四仏（五仏）・密教の仏身観 4. 真言密教の仏陀観：③様々な信仰の対象、密教の祖師 5. 曼荼羅：①両部曼荼羅の成立 6. 曼荼羅：②四種曼荼羅とは 7. 真言密教の人間観：①空海と心の本性の探求 8. 真言密教の人間観：②心性本淨思想の源流 9. 即身成仏への道：①密教の三昧耶戒、②四重禁戒と十善戒 10. 即身成仏への道：③淨菩提心と観法 11. 即身成仏思想：①六大・四曼・三密1 12. 即身成仏思想：①六大・四曼・三密2 13. 即身成仏思想：②即身の意味と三種即身成仏 14. 密教の特性 15. 試験 16. 試験の解答と確認
学期	テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫 佐和隆研編『密教辞典』法蔵館 中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店
2	学生に対する評価 試験（80％）、授業参加への積極性（20％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本的な用語を理解している。 （良）配布した資料の説明ができる。 （優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。
佐藤隆彦	その他 講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インドでうまれた仏教の基礎知識を学ぶ。その歴史と思想を習得し、さらに仏教思想を将来に向けてどのように生かすことができるか深く考える態度を養う。 テーマ：仏教とは何か
仏 教 学 概 論 Ⅰ A	授業の概要 仏教とは何か。一朝一夕には解決しないこの根本的な問いに向き合うために授業では、仏教が初期、大乘、密教と歴史展開してきた足跡を追い、使い古された俗説を改めながら、仏教の多様なありかたを学ぶ。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 仏教とは何か？－様々な仏教のありかた－ 3. 仏教が誕生した時代とその背景－パラモンと沙門の宗教－ 4. ゴータマ・シッダールタの生涯 5. 最古層の仏典－釈迦の直説は現存するか－ 6. 初期仏教の理念 7. アビダルマ仏教の思想体系－説一切有部と範疇論の世界観－ 8. アビダルマ仏教の思想体系－説一切有部の心の分析－ 9. アビダルマ仏教の思想体系－経量部の世界不可知論－ 10. 仏教説話の成立と展開－仏の神格化－ 11. 大乘仏教の起源－釈迦の生涯を辿り直す－ 12. 大乘仏典の教え－般若空、久遠仏、欣求浄土－ 13. 大乘仏典の教え－如来蔵と理念先行型一元論－ 14. 大乘仏教の哲学－龍樹－ 15. 大乘仏教の哲学－空と中観派－ 16. 総括
前期	テキスト 担当者がコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 竹村牧男『入門 哲学としての仏教』（講談社現代新書）、田中正人『哲学用語図鑑』（プレジデント社）。大竹晋『宗祖に訊く』（国書刊行会）、『俱舎一絶ゆることなき法の流れ』（自照社）。佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』（化学同人）。大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編』（大正大学）、佐々木閑『日々是修行』（ちくま新書）。川合伸幸『ヒトの本性』（講談社学術新書）、前谷 彰『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』（講談社）。
2	学生に対する評価 授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50％）、学期末のレポート（50％）によって評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）仏教の基礎語彙を抑えている。 （良）仏教の基礎語彙を歴史の流れに沿って説明できる。 （優）仏教思想を現代の諸問題に応用して、説明することができる。
前 谷 彰	その他 ノートを漏らさずとり、欠席しないこと。予習・復習を欠かさない。 その他参考書、『シリーズ大乘仏教』全10巻（春秋社）、『仏教の思想』1-4巻（角川文庫ソフィア）、『講座・大乘仏教』全10巻（春秋社）。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インドでうまれた仏教の基礎知識を学ぶ。その歴史と思想を習得し、さらに仏教思想を将来に向けてどのように生かすことができるか深く考える態度を養う。 テーマ：仏教とは何か
仏 教 学 概 論 Ⅱ A	授業の概要 仏教とは何か。一朝一夕には解決しないこの根本的な問いに向き合うために授業では、仏教が初期、大乘、密教と歴史展開してきた足跡を追い、使い古された俗説を改めながら、仏教の多様なありかたを学ぶ。
学期	授業計画 1. 大乘仏教の哲学－唯識の世界－ 2. 大乘仏教の哲学－唯識と成仏－ 3. 大乘仏教の哲学－如来蔵思想と密教の萌芽－ 4. 仏教の認識論・論理学－歴史と人物の紹介－ 5. 仏教の認識論・論理学－諸行無常は論証できるか－ 6. 密教とその成立背景－ヒンドゥー・タントリズム－ 7. 密教の展開－儀礼空間の仏教化－ 8. インド仏教の終焉－ヴィクラマシーラ大僧院－ 9. チベットの仏教－吐蕃王国の仏教－ 10. チベットの仏教－仏教の復活－ 11. チベットの仏教－諸宗派概観－ 12. 東アジアのなかの日本仏教 13. 日本の仏教 1 14. 日本の仏教 2 15. 現代への応用および従来の方法論への反省 16. ふりかえりと総括
後 期	テキスト 担当者がコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 竹村牧男『入門 哲学としての仏教』（講談社現代新書）、田中正人『哲学用語図鑑』（プレジデント社）。大竹晋『宗祖に訊く』（国書刊行会）、『俱舎一絶ゆることなき法の流れ』（自照社）。佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』（化学同人）。大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編』（大正大学）、佐々木閑『日々是修行』（ちくま新書）。川合伸幸『ヒトの本性』（講談社学術新書）、S・ラーダークリシュナン著・三枝充真訳『インド仏教思想史』大蔵出版。
2	学生に対する評価 授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50％）、学期末のレポート（50％）によって評価する。
前 谷 彰	ループリック（目標に準拠した評価） （可）仏教の基礎語彙を抑えている。 （良）仏教の基礎語彙を歴史の流れに沿って説明できる。 （優）仏教思想を現代の諸問題に応用して、説明することができる。
その他	その他 ノートを漏らさずとり、欠席しないこと。予習・復習を欠かさない。 その他参考書、『シリーズ大乘仏教』全10巻（春秋社）、『仏教の思想』1-4巻（角川文庫ソフィア）、『講座・大乘仏教』全10巻（春秋社）。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド・チベット密教史に関する基礎的な知識を身につける。 テーマ：インド・チベット密教史
密 教 史 概 説 Ⅰ A	授業の概要 インド密教がどのようにして形成され、発展したか。そしてそれがどのような過程を経てチベットに伝えられ、チベット密教として展開したか。チベット密教の特色は何か。これらの点について映像資料などをまじえながら立体的に講義する。
学期	授業計画 1. イントロダクション 2. インド・チベット仏教における密教経典分類法 3. インド初期密教 萌芽から形成へ 4. インド中期密教 組織化の時代 1 5. インド中期密教 組織化の時代 2 6. インド後期密教 新たな展開 1 7. インド後期密教 新たな展開 2 8. 古代チベット王国と仏教の伝来 9. 仏教国教化への道のり 10. 古代チベット王国の崩壊と仏教の復興 11. 諸宗派の形成 1 12. 諸宗派の形成 2 13. ゲルク派の覇権 14. ダライ・ラマ法王とは何か 15. 筆記試験 16. まとめ
前期	テキスト 特になし。
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶『密教の歴史』平楽寺書店 奥山直司『チベット [マンダラの国]』小学館
2	学生に対する評価 課題レポート（20％）、期末試験（80％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）仏教、大乘仏教、密教、上座部仏教の関係が説明できる。 （良）インド・チベット仏教における密教経典分類法が説明できる。 （優）チベット仏教の四大宗派の特徴が説明できる。
奥 山 直 司	その他 遅刻 3 回で 1 欠席と見なすので注意。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インドに生まれた密教が、唐代の中国で隆盛し、弘法大師空海によって日本に伝えられた後、日本仏教の中でどのように根付き、展開を遂げるのかについて、その歴史的変遷を理解する。 テーマ：中国密教・日本密教の歴史的変遷を知るとともに、真言宗の歴史を知る。
密 教 史 概 説 Ⅱ A	授業の概要 中国・日本の密教と真言宗の歴史をテキストにもとづきながら、最新の研究成果をふまえて概説する。
学期	授業計画 1. 授業ガイダンス 2. 西域から中国への伝来 3. 唐代の密教 4. 古密教の世界 5. 弘法大師空海による密教の請来 6. 真言宗の成立 7. 空海の後継者たち 8. 天台宗の密教化 9. 密教修法の隆盛 10. 覚鑠の改革と挫折 11. 密教と『鎌倉新仏教』 12. 密教と戒律復興運動 13. 根来教団の成立 14. 江戸時代の戒律復興運動と密教 15. 近代社会と密教 16. 期末試験
後 期	テキスト 松長有慶『密教の歴史（サーラ叢書 19）』（平楽寺書店、2007 年。初版は 1969 年）
単位数	参考書・参考資料等 立川武蔵・頼富本宏編『中国密教 〈シリーズ密教 3〉』（春秋社、2005 年。初版は 1999 年） 立川武蔵・頼富本宏編『日本密教 〈シリーズ密教 4〉』（春秋社、2005 年。初版は 2000 年） その他、授業中に適宜紹介します。
2	学生に対する評価 期末試験（60％）、毎回の授業で行う課題（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）中国密教と日本密教、真言宗の歴史を理解する。 （良）密教が日本仏教の歴史の中でどのような役割を担ってきたのかを説明できる。 （優）日本密教と真言宗の歴史をふまえて、これからの密教や真言宗のあり方を展望することができる。
櫻 木 潤	その他 授業では、中国密教や日本密教、真言宗にゆかりの深い寺院なども紹介します。積極的にその地を訪ね、日本密教や真言宗の歴史について、さらに理解を深めることを望みます。希望があれば、高野山内などの見学会を行います。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教がインドのいかなる思想を背景に誕生し、いかなる歴史の変容を被りながら展開して行ったかについての基本的知識を身につける。 テーマ：インドにおける仏教誕生とその後の展開
仏教史概説ⅠA	授業の概要 仏教が興起する以前に存在したインドの思想体系の概説を行った上で、仏教がインドにおいてどのような歴史の変容を被りながら展開して行ったかについて概説する。
前期	授業計画 1. 導入：仏教が興起する以前のインド 2. パラモン教の思想：ヴェーダの思想的特徴 3. ヴェーダの思想的特徴 4. 古ウパニシャッドの思想 5. 古ウパニシャッドの思想 6. 反ヴェーダ思想（六師外道） 7. ジャイナ教の思想 8. 釈尊の誕生から成道までの歴史概観 9. 初期仏教思想の特徴 10. 初期仏教思想の特徴 11. 初期仏教思想の特徴 12. 大乘諸派の思想的特徴 13. 中国仏教の特徴 14. 大乘非仏説論 15. 初期仏教と大乘の思想的相違点 16.
学期	テキスト 担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。
単位数	2
参考書・参考資料等	前谷 彰（恵紹）著『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』講談社
学生に対する評価	期末試験（100%）
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価） （可）ヴェーダの基本的思想を理解し、ウパニシャッドにおける梵我一如の思想を理解していること。 （良）（可）の理解を踏まえ、初期仏教における「縁起」の思想を理解していること。 （優）（可）・（良）の理解に加え、初期仏教と大乘の思想の違いについて、自身の見解を明らかにし得る能力を有していること。
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本仏教の時代的特徴についての基本的知識を身につける。 テーマ：日本仏教思想の特徴
仏教史概説ⅡA	授業の概要 日本仏教を時代を追って概観し、その思想的かつ歴史的特徴について解説する。
後期	授業計画 1. 仏教伝来 2. 奈良仏教の特徴 3. 奈良仏教の特徴 4. 平安仏教の特徴概観 5. 最澄の思想的特徴 6. 弘法大師の思想 7. 弘法大師の思想 8. 弘法大師の思想 9. 鎌倉仏教の特徴概観 10. 法然の生涯概観 11. 親鸞の生涯概観 12. 浄土思想と真言密教 13. 道元・日蓮・栄西の思想 14. 仏教における救済論 15. 総まとめ 16.
学期	テキスト 担当者作成の『仏教概要』をコピーして配布する。
単位数	2
参考書・参考資料等	前谷 彰（恵紹）著『ブッダのおしえ～真訳スッタニパータ』講談社
学生に対する評価	期末試験（100%）
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価） （可）奈良・平安・鎌倉仏教の特徴を理解していること。 （良）弘法大師と最澄の思想的相違点について理解していること。 （優）浄土教と真言宗の基本的思想の相違点について、自身の見解を明確にできること。
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真祖言宗講義ⅠA・ⅠB（別）	授業の概要 密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典（漢文）の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。
前期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 成仏思想とは？－三劫成仏と即身成仏－ 3. 『即身義』の撰述時期と異本『即身義』 4. 『即身成仏義』を読む（1）発端問答 5. 〃（2）二経一論八箇の証文① 6. 〃（3）二経一論八箇の証文② 7. 〃（4）二経一論八箇の証文③ 8. 〃（5）二頌八句① 9. 〃（6）二頌八句② 10. 〃（7）二頌八句③ 11. 〃（8）「六大無碍にして常に瑜伽なり」① 12. 〃（9）「六大無碍にして常に瑜伽なり」② 13. 〃（10）「六大無碍にして常に瑜伽なり」③ 14. 〃（11）「六大無碍にして常に瑜伽なり」④ 15. 前期まとめとテスト① 16. 前期まとめとテスト②
学期	テキスト 高野山大学編『十卷章』、高野山大学出版部
単位数	2
参考書・参考資料等	その他、授業において指示します。
学生に対する評価	授業中の素読・発表など（40%）、テスト（60%）
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価） （可）発端問答と二頌八句を暗誦できる。 （良）即身成仏思想の特徴を、自分の言葉で説明できる。 （優）即身成仏思想の特徴を、資料に基づいて説明できる。
BA土松居長夏恵樹史	その他 毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握することを目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む
真祖言宗講義ⅡA・ⅡB（別）	授業の概要 『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカバーして、テキストの続きをさらに読みすすめる。『即身成仏義』を読了した後は、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。
後期	授業計画 1. 概論と前期の復習 2. 『即身成仏義』を読む（12）「六大能生」① 3. 〃（13）「六大能生」② 4. 〃（14）「六大の顕密／無碍自在の身」 5. 〃（15）「四種曼荼各不離」① 6. 〃（16）「四種曼荼各不離」② 7. 〃（17）「三密加持速疾顕」① 8. 〃（18）「三密加持速疾顕」② 9. 〃（20）「三密加持速疾顕」③ 10. 〃（21）「三密加持速疾顕」④ 11. 〃（22）「法然具足薩般若」① 12. 〃（23）「法然具足薩般若」② 13. 〃（24）「心教心王過利塵／各具五智無際智」 14. 〃（25）「円鏡力故実覚智」 15. 後期まとめとテスト① 16. 後期まとめとテスト②
学期	テキスト 高野山大学編『十卷章』、高野山大学出版部
単位数	2
参考書・参考資料等	授業において指示します。
学生に対する評価	授業中の素読・発表など（40%）、テスト（60%）
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価） （可）『即身成仏義』全体を素読できる。 （良）六大・四曼・三密の関係を、自分の言葉で説明できる。 （優）即身の頌と成仏の頌の関連を、資料に基づいて説明できる。
BA土松居長夏恵樹史	その他 毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、真言密教の教理と実践との関連を理解する。 テーマ：『卍字義』を読む（1）
祖典講読Ⅲ A	授業の概要 この講義では、『即身成仏義』『声字実相義』とともに三部書に数えられる『卍字義』を原典から読み進め、真言密教の教学における真言の意味と教理が、実践行とどのように関連しているのかについて、受講生とともに考えていきます。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 仏教の言語観と真言 3. 『卍字義』概要① 4. 『卍字義』概要② 5. 『卍字義』を読む（1） 卍字の字相① 6. 〃（2） 卍字の字相② 7. 〃（3） 訶字の字義① 8. 〃（4） 訶字の字義② 9. 〃（5） 阿字の字義① 10. 〃（6） 阿字の字義② 11. 〃（7） 阿字の字義③ 12. 〃（8） 汙字の字義① 13. 〃（9） 汙字の字義② 14. 〃（10） 汙字の字義③ 15. 前期テスト 16. 前期のまとめ
前期	テキスト 高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977年 小田慈舟『十巻章講説』上巻、高野山出版社、1985年 宮坂有勝監修『空海コレクション』2、ちくま学芸文庫、2004年 ※その他、授業において指示します。
2	学生に対する評価 授業内での素読（40%）、期末試験（60%）で評価します。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）『卍字義』の素読ができる。 （良）字相と字義の違いを理解している。 （優）密教の因果論を理解している。
土居夏樹	その他 ・素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。 ・わからない単語に出会ったら、辞書などを引くこと。 ・毎回資料を配布します。万が一欠席した場合は、次回までに土居研究室に取りに来てください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講読Ⅲ B	授業の概要 『般若心経』は、人々に最もよく知られている大乘仏教の代表的な経典である。弘法大師空海は、『般若心経』に関して独自の見解を披瀝する著作として『般若心経秘鍵』を著した。『般若心経秘鍵』は、『般若心経』の秘められた本質を解き明かす鍵になる書物という意味を持つ。授業では、この思想の背景にある思想を確認しつつ、『般若心経秘鍵』の原典を読み進めていく。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色① 3. 『般若心経秘鍵』の特色② 4. 『般若心経』の基礎知識 5. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 6. 序「題目・帰敬序・発起序・大綱序・大意序」 7. 正宗分「『般若心経』の題号の釈」 8. 「『般若心経』の要旨」 9. 「『般若心経』の五分科」 10. 「人法総通分」 11. 「分別諸乗分・普賢菩薩の悟り」 12. 「文殊菩薩の悟り」 13. 「弥勒菩薩の悟り」 14. 「声聞と縁覚の悟り」 15. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性 16. 記述試験
前期	テキスト 高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部
単位数	参考書・参考資料等 宮坂有勝監修『空海コレクション2』筑摩書房
2	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習で判断する 試験（50%）授業中の演習（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）原典の音読ができる （良）原典の内容を部分的に理解できる （優）『般若心経秘鍵』を体系的に理解できる
松長恵史	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみつつ、真言密教の教理と実践との関連を理解する。 テーマ：『卍字義』を読む（2）
祖典講読Ⅳ A	授業の概要 この講義では、前期に続いて『卍字義』を原典から読み進めます。真言密教の教学における真言の意味と教理が、実践行とどのように関連しているのかについて、受講生とともに考えていきます。
学期	授業計画 1. 前期のまとめと概論（講義の進め方等） 2. 『卍字義』を読む（11） 汙字の字義④ 3. 〃（12） 汙字の字義⑤ 4. 〃（13） 汙字の字義⑥ 5. 〃（14） 摩字の字義① 6. 〃（15） 摩字の字義② 7. 〃（16） 摩字の字義③ 8. 〃（17） 卍字の合説① 要略・別相・通相 9. 〃（18） 卍字の合説② 字相・字義 10. 〃（19） 卍字の合説③ 諸乗 11. 〃（20） 卍字の合説④ 諸経論 12. 〃（21） 卍字の合説⑤ 余義 13. 〃（22） 卍字の合説⑥ 余義 14. 〃（23） 卍字の合説⑦ 余義 15. 後期テスト 16. 後期のまとめ
後期	テキスト 高野山大学編『十巻章』高野山大学出版部
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『漢和対象十巻章』、高野山出版社、1977年 小田慈舟『十巻章講説』上巻、高野山出版社、1985年 宮坂有勝監修『空海コレクション』2、ちくま学芸文庫、2004年 ※その他、授業において指示します。
2	学生に対する評価 授業内での素読（40%）、期末試験（60%）で評価します。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）『卍字義』の素読ができる。 （良）字相と字義の違いを理解している。 （優）密教における「心」・「我」について理解している。
土居夏樹	その他 ・素読や基礎用語の解説など、授業内で指名しますので、必ず予習をしてきてください。 ・わからない単語に出会ったら、辞書などを引くこと。 ・毎回資料を配布します。万が一欠席した場合は、次回までに土居研究室に取りに来てください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の著作に親しみ、その思想の特質を理解する テーマ：『般若心経秘鍵』を読む
祖典講読Ⅳ B	授業の概要 『般若心経秘鍵』についての概論と、前期の授業で扱った内容の復習から始め、前期に引き続いて『般若心経秘鍵』を講読する。前期に引き続き授業を行うので、「祖典講読Ⅲ B」を受講することが望ましい。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 『般若心経秘鍵』の特色 3. 『般若心経』の基礎知識 4. 『般若心経秘鍵』の歴史的背景と内容構成 5. 「分別諸乗分・観音菩薩の悟り」 6. 「行人得益分」 7. 「総持明分」 8. 「秘蔵真言分」 9. 「問答形式の補説」 10. 「流通分」 11. 「上表分」 12. 『般若心経秘鍵』のまとめ① 13. 『般若心経秘鍵』のまとめ② 14. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性① 15. 弘法大師空海の『般若心経』理解の独自性② 16. 記述試験
後期	テキスト 高野山大学編『十巻章』高野山大学出版
単位数	参考書・参考資料等 宮坂有勝監修『空海コレクション2』筑摩書房
2	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習および試験で判断する 試験（50%）授業内演習（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）原典の音読ができる （良）原典の内容を部分的に理解できる （優）『般若心経秘鍵』を体系的に理解できる
松長恵史	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
真言密教 宗典講読演習A 2ー1(別)	到達目標：密教尊像の基本的な智識を身につけ、漢訳図像資料を研究資料として扱えるようになることを目的とする。 テーマ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
	授業の概要
	インドに興り、東南アジア・中国を経由し、日本に流布した密教は、その発展過程において様々な尊格を生み出した。当授業では密教図像に基づいて、大乘仏教の尊格をも含め、それぞれの密教尊格の形成と発展について、主として漢訳資料の像造表現を中心に考察を加える。インドの図像資料としては、『サーダナマラー』や『ニシュパンナヨーガーヴァリー』等が基本的な資料であるが、まず、漢訳密教経典・儀軌、ならびに我が国に現存する図像資料を講読し、それぞれの図像的特徴からその尊格の展開をたどる。
	授業計画
	1. 概論（講義の進め方等） 2. 漢訳資料の基本的な扱い方 3. 漢文資料の基本的な講読練習① 4. 漢文資料の基本的な講読練習② 5. 尊格表現方法の基本知識① 6. 尊格表現方法の基本知識② 7. 尊格表現方法の基本知識③ 8. 尊格表現方法の基本知識④ 9. 漢訳図像資料講読① 10. 漢訳図像資料講読② 11. 密教尊像の基本的な知識を深めるための密教経典・儀軌の考察 12. 図像資料講読演習① 13. 図像資料講読演習② 14. 図像資料講読演習③ 15. 図像資料講読演習④ 16. レポート試験
学期	テキスト
前期	大正新脩大藏経 図像部
単位数	参考書・参考資料等
2	松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995年 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典』人文書院 1994年 佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館 1962年
担当者	学生に対する評価
松長恵史	授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内での演習およびレポートで判断する レポート 60% 授業内演習 30% ノート作成 10%
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 漢訳資料を扱える (良) 密教尊像に関する知識を得る (優) 密教図像に関する資料を扱える
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教学 講読演習B	到達目標：中院流の金剛界の伝受次第の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。 テーマ：中院流の金剛界の伝受次第の伝受と講義
	授業の概要
	中院流の金剛界の伝受次第は淳祐の『金剛界念誦次第 石山中院』（石山二巻次第）という中院流の本次第と宥快の『金剛界念誦頌次第 中院』（宥快和会次第）である。宥快和会次第を中心に伝受し、四度加行の『金剛界念誦次第』（大門寺次第）の理解を深める。
	授業計画
	1. 金剛界次第の種類と概略 2. 金剛界伝受次第の講義 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 同上 7 9. 同上 8 10. 同上 9 11. 同上 10 12. 同上 11 13. 同上 12 14. 同上 13 15. 同上 14 16. 同上 15
学期	テキスト
前期	高岡隆心編『金剛界念誦次第 石山中院』と『金剛界念誦頌次第 中院』
単位数	参考書・参考資料等
2	『中院流聖教』3・4、『真言宗全書』24、『中院流四度宥快口傳』、『中院流四度長淳口訣』、『中院流四度宥勢口説』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、大山公淳『中院流の研究』、他
担当者	学生に対する評価
T・ドライライン	レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 (良) 中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 (優) 中院流の各種の金剛界次第の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
その他	
已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。 授業は伝受形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密教学 講読演習C	到達目標：中院流の胎藏界の伝受次第の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。 テーマ：中院流の胎藏界の伝受次第の伝受と講義
	授業の概要
	中院流の胎藏界の伝受次第は淳祐の『胎藏界念誦次第 石山中院』（石山次第）という中院流の本次第と宥快の『胎藏界念誦頌次第 中院』（宥快和会次第）である。宥快和会次第を中心に伝受し、四度加行の『胎藏界念誦次第』（大門寺次第）の理解を深める。
	授業計画
	1. 胎藏界次第の種類と概略 2. 金胎藏界伝受次第の講義 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 同上 7 9. 同上 8 10. 同上 9 11. 同上 10 12. 同上 11 13. 同上 12 14. 同上 13 15. 同上 14 16. 同上 15
学期	テキスト
後期	高岡隆心編『胎藏界念誦次第 石山中院』と『胎藏界念誦頌次第 中院』
単位数	参考書・参考資料等
2	『中院流聖教』3・5、『真言宗全書』25、『中院流四度宥快口傳』、『中院流四度長淳口訣』、『中院流四度宥勢口説』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、大山公淳『中院流の研究』、他
担当者	学生に対する評価
T・ドライライン	レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 中院流の各種の胎藏界次第の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 (良) 中院流の各種の胎藏界次第の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 (優) 中院流の各種の胎藏界次第の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
その他	
已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。 授業は伝受形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏教学 講読演習A	到達目標：弘法大師空海の時代を記述した歴史書の講読を通じて、歴史学の研究手法を身につける。 テーマ：『続日本後紀』を読み、弘法大師空海の活躍した時代を知る。
	授業の概要
	歴史学は、史料にもとづいて歴史的事実を解明する学問です。本授業では、『続日本後紀』を輪読しながら、歴史学の研究手法と、史料としての歴史書の読み方を身につけることを目指します。
	授業計画
	1. 授業ガイダンス 2. 歴史学とはどのような学問か？ 3. 歴史学研究における史料 4. 『続日本後紀』とはどのような史料か？ 5. 史料を読むための工具書 6. 史料を読むための漢文の練習 (1) 7. 史料を読むための漢文の練習 (2) 8. 『続日本後紀』を読む① 9. 『続日本後紀』を読む② 10. 『続日本後紀』を読む③ 11. 『続日本後紀』を読む④ 12. 『続日本後紀』を読む⑤ 13. 『続日本後紀』を読む⑥ 14. 『続日本後紀』を読む⑦ 15. 『続日本後紀』を読む⑧ 16. まとめ
学期	テキスト
前期	テキストとして、黒板勝美編『新訂増補国史大系 続日本後紀』（吉川弘文館、1981年）を用いますが、プリントとして配布します。
単位数	参考書・参考資料等
2	小山田和夫『入門 史料を読む 古代・中世』（吉川弘文館、1995年） その他、授業中に適宜紹介します。
担当者	学生に対する評価
櫻木潤	輪読担当部分の発表 (40%)・予習・復習などの授業への参加度 (60%) によって評価する。 全授業の3分の2以上 (10回以上) に出席した者のみを成績評価の対象とする。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 歴史学の研究手法と史料としての歴史書の読み方について理解する。 (良) 辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を読むことができる。 (優) 辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を解釈することができる。
その他	
卒業論文で歴史に関わるテーマに取り組もうと考えている場合は、必ず受講すること。各自に担当箇所を割り当てて史料を読み進めていきます。仏教学講読演習Dとあわせて受講することを勧めます。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：弘法大師空海の時代に成立した仏教説話の講読を通じて、歴史学の研究手法を身につける。 テーマ：『日本霊異記』を読み、弘法大師空海の活躍した時代の人びとの心のあり様を知る。
仏 教 学 講 読 演 習 B	授業の概要 歴史学は、史料にもとづいて歴史的事実を解明する学問です。本授業では、『日本霊異記』を読みながら、歴史学の研究手法と、史料としての説話や縁起の読み方を身につけることを目指します。
	授業計画 1. 授業ガイダンス 2. 史料としての説話・縁起の読み方 3. 『日本霊異記』とはどのような史料か？ 4. 史料を読むための漢文の復習 5. 『日本霊異記』を読む① 6. 『日本霊異記』を読む② 7. 『日本霊異記』を読む③ 8. 『日本霊異記』を読む④ 9. 『日本霊異記』を読む⑤ 10. 『日本霊異記』を読む⑥ 11. 『日本霊異記』を読む⑦ 12. 『日本霊異記』を読む⑧ 13. 寺社の縁起を読む① 14. 寺社の縁起を読む② 15. 寺社の縁起を読む③ 16. まとめ
	テキスト テキストとして、『新日本古典文学大系 30 日本霊異記』（岩波書店、1996 年）などを用いますが、プリントとして配布します。
	参考書・参考資料等 大隅和雄『日本の中世 2』信心の世界、通世者の心』（中央公論新社、2002 年） その他、授業中に適宜紹介します。
	学生に対する評価 担当の説話についての発表（40%）・予習・復習などの授業への参加度（60%）によって評価する。 全授業の 3 分の 2 以上（10 回以上）に出席した者のみを成績評価の対象とする。
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
櫻木潤	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）歴史学の研究手法と、史料としての説話や縁起の読み方について理解する。 （良）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を読むことができる。 （優）辞書などを調べて予習・復習をし、漢文で書かれた史料を解釈することができる。 その他 卒業論文で歴史に関わるテーマに取り組もうと考えている場合は、必ず受講すること。各自に担当する説話を割り当てて史料を読み進めていきます。仏教学講読演習 C とあわせて受講することを勧めます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：代表的な仏教美術を中心に、飛鳥時代前期から平安時代前期までの日本美術の歴史を概観し、仏教美術の基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。 テーマ：日本仏教美術史－飛鳥時代前期～平安時代前期－
仏 教 学 講 読 演 習 C	授業の概要 寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、飛鳥時代前期から平安時代前期までの仏教彫像、絵画、工芸の代表的な作品について、画像を提示し、その歴史的背景を踏まえつつ概観する。
	授業計画 1. 日本美術史の基礎知識 2. 仏教美術の基礎知識 3. 飛鳥時代前期の仏像 1 4. 飛鳥時代前期の仏像 2 5. 飛鳥時代後期の仏像 6. 飛鳥時代の絵画・工芸 7. 奈良時代の仏像 1 8. 奈良時代の仏像 2 9. 奈良時代の絵画 10. 奈良時代の工芸（正倉院宝物等） 11. 平安時代前期の絵画 1（曼荼羅等） 12. 平安時代前期の絵画 2（仏画等） 13. 平安時代前期の仏像 1 14. 平安時代前期の仏像 2 15. 平安時代前期の工芸 16. レポートの課題に関する解説と講評
	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
	参考書・参考資料等 水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社 『日本美術全集』講談社
	学生に対する評価 授業参加への積極度（40%）・期末レポート（60%）の比率で評価する。 前期授業終了までに各自テーマを設定し、それについて 4000 字程度のレポートを提出する。
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日本美術史や仏教美術についての基礎知識を理解している。 （良）各時代の歴史的背景や仏教美術の特徴を理解している。 （優）各時代に代表的な作品を見ながらその特徴について説明できる。 その他 仏教美術講読演習 D（後期）を履修・聴講することが望ましい。 日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持ってほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：代表的な仏教美術を中心に、平安時代後期から江戸時代に至る日本美術の歴史を概観し、仏教美術を中心とした基礎的知識の理解と習得を到達目標とする。 テーマ：日本美術史－平安時代後期～江戸時代－
仏 教 学 講 読 演 習 D	授業の概要 寺院に祀られる仏像や仏画は崇高な礼拝対象である一方、歴史的文化遺産としても重要な意義を持つ。授業では、平安時代後期から江戸時代までの仏教美術や、その他の絵画、工芸の代表的な作品について、画像を提示し、その歴史的背景や時代の特徴を踏まえつつ概観する。
	授業計画 1. 平安時代後期の仏像 1 2. 平安時代後期の仏像 2 3. 平安時代後期の仏画 4. 平安時代後期の絵巻 5. 平安時代後期の工芸 6. 鎌倉時代の仏像 1 7. 鎌倉時代の仏像 2 8. 鎌倉時代の仏画 9. 鎌倉時代の絵画・工芸 10. 室町～江戸時代の仏像 11. 室町時代的美術 1 12. 室町時代的美術 2 13. 桃山時代的美術 14. 江戸時代的美術 1（絵画） 15. 江戸時代的美術 2（工芸） 16. レポートの課題に関する解説と講評
	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
	参考書・参考資料等 水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』美術出版社 『日本美術全集』講談社
	学生に対する評価 授業参加への積極度（40%）・期末レポート（60%）の比率で評価する。 講義終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日本美術史や仏教美術についての基礎知識を理解している。 （良）各時代の歴史的背景や仏教美術の特徴を理解している。 （優）各時代に代表的な作品を見ながらその特徴について説明できる。 その他 仏教美術講読演習 C（前期）を履修・聴講することが望ましい。 日本史に関する基礎知識を確認しておくこと。また、授業中に提示する仏教美術作品に興味を持ち、展覧会等を利用して実際に見学する機会を持ってほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：各種曼荼羅における密教尊像の基本構成を学習し、図像学の立場から密教の流伝を学ぶことを目的とする。 テーマ：図像学における密教尊格の表現、および尊格構成とその譜系について学ぶ。
真 言 密 教 講 読 演 習 A	授業の概要 密教学講読演習真言宗典講読 2・1（別）で学んだ知識を基本とし、図像学的見地から各種曼荼羅の尊像の成立に関して様々な角度から比較研究を行う。 本授業では、前期で行った図像資料講読演習を基礎とし、曼荼羅に登場する尊格についての譜系を総合的に学習する。そのため、基礎知識として前期の授業での講読演習が不可欠となるので通期で受講することが望ましい。
	授業計画 1. 概論（講義の進め方等） 2. 曼荼羅尊像に関する基礎知識① 3. 曼荼羅尊像に関する基礎知識② 4. 曼荼羅尊像に関する基礎知識③ 5. 曼荼羅尊像に関する基礎知識④ 6. 曼荼羅尊像に関する基礎知識⑤ 7. 曼荼羅尊像に関する基礎知識⑥ 8. 密教の流伝に関する基礎知識① 9. 密教の流伝に関する基礎知識② 10. 密教の流伝に関する基礎知識③ 11. 密教の流伝に関する基礎知識④ 12. 密教の流伝に関する基礎知識⑤ 13. 密教の流伝に関する基礎知識⑥ 14. 密教の流伝に関する基礎知識⑦ 15. 密教の流伝に関する基礎知識⑧ 16. レポート試験
	テキスト 大正新脩大藏經 図像部
	参考書・参考資料等 松長有慶編『密教を知るためのガイドブック』法蔵館 1995 年 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典』人文書院 1994 年 佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館 1962 年
	学生に対する評価 授業内で講読演習を行うので、出席を重視する。また、各自の授業内の演習およびレポートで判断する レポート 60% 授業中の演習 30% ノート作成 10%
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
松長恵史	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）曼荼羅に関する基礎知識を習得する （良）密教尊像に関する基礎知識を習得する （優）尊像の流伝に関して理解する その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。 テーマ：十八道次第の関連儀軌を読む
真言密教講読演習B	授業の概要 十八道次第の本となった请来された漢文の秘密儀軌を読みながら、十八道次第の理解を深める。『如意輪儀軌』、『無量寿儀軌』、『甘露軍荼利儀軌』、『烏芻盧麼儀軌』、『阿閼法』等を平行して解説しながら比較研究を行う。
学期	授業計画 1. 秘密儀軌、十八契印、十八道次第について 2. 十八道関連の秘密儀軌の講読・比較1 3. 同上2 4. 同上3 5. 同上4 6. 同上5 7. 同上6 8. 同上7 9. 同上8 10. 同上9 11. 同上10 12. 同上11 13. 同上12 14. 同上13 15. 同上14 16. 同上15
前期	テキスト 浄厳の木版『秘密儀軌』からコピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 『真言宗全書』、『続真言宗全書』、『大正新脩大藏經』、『大日本校訂大藏經』、『定本国訳秘密儀軌』、など
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）秘密儀軌の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 （良）秘密儀軌の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 （優）秘密儀軌の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
Ｔ・ドライライン	その他 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。 別に課題を与えて受講生による発表を行う。 プログラムは改訂される場合がある。 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。 テーマ：大日経系と金剛頂経系の一尊法を収録した秘密儀軌を読む
真言密教講読演習C	授業の概要 一尊法に関する漢文の秘密儀軌を読みながら、金剛界と胎藏界次第の理解を深める。大日経系の『七支念誦法』と『聖観自在儀軌』等と、金剛頂経系の『如意輪瑜伽』、『文殊儀軌』、『蓮華部心軌』等を解説し比較する。
学期	授業計画 1. 大日経系の一尊法の秘密儀軌について 2. 大日経系の一尊法の秘密儀軌の講読・比較1 3. 同上2 4. 同上3 5. 同上4 6. 金剛頂経系の一尊法の秘密儀軌の講読・比較1 7. 同上2 8. 同上3 9. 同上4 10. 同上5 11. 同上6 12. 同上7 13. 同上8 14. 同上9 15. 同上10 16. 同上11
後期	テキスト 浄厳の木版『秘密儀軌』からコピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 『真言宗全書』、『続真言宗全書』、『大正新脩大藏經』、『大日本校訂大藏經』、『定本国訳秘密儀軌』、など
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）秘密儀軌の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 （良）秘密儀軌の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 （優）秘密儀軌の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
Ｔ・ドライライン	その他 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。 別に課題を与えて受講生による発表を行う。 プログラムは改訂される場合がある。 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中院流の現代における主要の諸尊法次第と『中院流三十三尊法聞書』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。 テーマ：中院流三十三尊法の研究
真言密教講読演習D（別）	授業の概要 三十三尊法は中院流の一流伝受の領域において重要な位置にある。この授業では、『中院流三十三尊法聞書』を講読しながら前期・後期にわたって三十三尊の各一尊法の次第のすべてを伝授する。
学期	授業計画 1. 中院流三十三尊法と『中院流三十三尊法聞書』 2. 別尊次第について1 3. 別尊次第について2 4. 「金輪」 5. 「佛眼」 6. 「薬師」 7. 「阿弥陀」 8. 「釈迦」 9. 「尊勝」 10. 「聖観音」 11. 「千手」 12. 「十一面」 13. 「馬頭」 14. 「準胝」 15. 「如意輪」 16. 「白衣」
前期	テキスト 高野山大学編集『中院流三十三尊』、高岡隆心『中院流三十三尊法聞書』、高岡隆心『中院流三十三尊法全』をコピーで配布
単位数	参考書・参考資料等 『中院流聖教』10、中川善教『諸尊通用次第』と『諸尊通用次第入句』、大山公淳『中院流の研究』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、その他
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）『聞書』の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 （良）『聞書』の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 （優）『聞書』の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
土居夏樹	その他 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。 授業は伝受形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。 内容は後期に続くため、『真言密教講読演習E』を続けて受講することを推薦する。 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中院流の現代における主要の諸尊法次第と『中院流三十三尊法聞書』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。 テーマ：中院流三十三尊法の研究
真言密教講読演習E	授業の概要 三十三尊法は中院流の一流伝受の領域において重要な位置にある。この授業では、『中院流三十三尊法聞書』を講読しながら前期・後期にわたって三十三尊の各一尊法の次第のすべてを伝授する。
学期	授業計画 1. 中院流三十三尊法と『中院流三十三尊法聞書』 2. 別尊次第について1 3. 別尊次第について2 4. 「金輪」 5. 「佛眼」 6. 「薬師」 7. 「阿弥陀」 8. 「釈迦」 9. 「尊勝」 10. 「聖観音」 11. 「千手」 12. 「十一面」 13. 「馬頭」 14. 「準胝」 15. 「如意輪」 16. 「白衣」
前期	テキスト 高野山大学編集『中院流三十三尊』、高岡隆心『中院流三十三尊法聞書』、高岡隆心『中院流三十三尊法全』をコピーで配布
単位数	参考書・参考資料等 『中院流聖教』10、中川善教『諸尊通用次第』と『諸尊通用次第入句』、大山公淳『中院流の研究』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、その他
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）『聞書』の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 （良）『聞書』の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 （優）『聞書』の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
Ｔ・ドライライン	その他 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。 授業は伝受形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。 内容は後期に続くため、『真言密教講読演習E』を続けて受講することを推薦する。 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中院流の現代における主要の諸尊法次第と『中院流三十三尊法聞書』の研究を通じて、真言密教が社会に提供できるものを考察する。 テーマ：中院流三十三尊法の研究
真言密教講読演習F	授業の概要 三十三尊法は中院流の一流伝受の領域において重要な位置にある。この授業では、『中院流三十三尊法聞書』を講読しながら前期・後期にわたって三十三尊の各一尊法の次第のすべてを伝授する。
後期	授業計画 1. 「弥勒」 2. 「五字文殊」 3. 「八字文殊」 4. 「延命」 5. 「地藏」 6. 「愛染」 7. 「不動」 8. 「降三世」「軍荼利」 9. 「大威徳」「金剛夜叉」「烏樞沙摩」 10. 「法華」 11. 「舍利」「光明真言」 12. 「毘沙門」 13. 「炎魔天」 14. 「水天」 15. 「聖天」 16. 「訶利帝」
学期	テキスト 高野山大学編集『中院流三十三尊』、高岡隆心『中院流三十三尊法聞書』、高岡隆心『中院流三十三尊法全』をコピーで配布
単位数	参考書・参考資料等 『中院流聖教』10、中川善教『諸尊通用次第』と『諸尊通用次第入句』、大山公淳『中院流の研究』、高見寛恭『中院流院家相承伝授録上』、その他
2	学生に対する評価 レポート（50％）、発表（20％）、授業参加の積極性（30％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）『聞書』の漢文を読み上げることができ、用語を説明できる。 （良）『聞書』の漢文を読み上げ、意味を解説できる。 （優）『聞書』の漢文を読み上げ、真言密教におけるその意義について説明できる。
T・ド・ライライン	その他 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。 授業は伝受形式なので、受講者は一回目の授業から黒衣に如法依で受講する。 後期から受講できるが、前期の「真言密教講読演習D」から続く内容のため、前期からの受講を推薦する。 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山真言宗の教師（住職）として必要な作法の習得 テーマ：事作法の伝授を通して教師（住職）の役割を理解する
密教学特殊講義A	授業の概要 高野山真言宗の教師（住職）として必要な別行次第、引導作法等の日用小作法の伝授
前期	授業計画 1. 授業の概要説明 2. 中院流の成り立ちについて（1） 3. 中院流の成り立ちについて（2） 4. 中院流の成り立ちについて（3） 5. 別行次第（理趣法）伝授説明（1） 6. 別行次第（理趣法）伝授説明（2） 7. 別行次第（理趣法）伝授（1） 8. 別行次第（理趣法）伝授（2） 9. 別行次第（理趣法）伝授（3） 10. 別行次第（理趣法）伝授（4） 11. 別行次第（理趣法）伝授（5） 12. 別行次第（理趣法）導師作法（1） 13. 別行次第（理趣法）導師作法（2） 14. 別行次第（理趣法）導師作法（3） 15. 16.
学期	テキスト 中川善教師編『理趣経法』三井英光編『加持祈祷の原理と実習』 岩原諦信師編『真言宗壇用經典』 入手方法は授業で説明します。
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じてコピーを配布
2	学生に対する評価 授業態度出席率（100％） 伝授の為試験は行いません。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）出席60％以上 （良）出席80％以上 （優）出席90％以上
中西雄泰	その他 ・受講者は伝法灌頂受了者に限る。 ・衣体は黒衣、如法衣着用。改良服、作務服は不可。 ・前期・後期を通して受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山真言宗の教師（住職）として必要な作法の習得 テーマ：事作法の伝授を通して教師（住職）の役割を理解する
密教学特殊講義B	授業の概要 高野山真言宗の教師（住職）として必要な別行次第、引導作法等の日用小作法の伝授
後期	授業計画 1. 真言宗の葬儀について（1） 2. 真言宗の葬儀について（2） 3. 引導作法 説明（1） 4. 引導作法 説明（2） 5. 引導作法 伝授（1） 6. 引導作法 伝授（2） 7. 引導作法 伝授（3） 8. 無常導師作法 伝授（1） 9. 無常導師作法 伝授（2） 10. 開眼等小作法伝授（1） 11. 開眼等小作法伝授（2） 12. 開眼等小作法伝授（3） 13. 開眼等小作法伝授（4） 14. 開眼等小作法伝授（5） 15. 16.
学期	テキスト 中川善教師編『理趣経法』 三井英光編『加持祈祷の原理と実習』 岩原諦信師編『真言宗壇用經典』 入手方法は授業で説明します。
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じてコピーを配布
2	学生に対する評価 授業態度出席率（100％） 伝授の為試験は行いません。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）出席60％以上 （良）出席80％以上 （優）出席90％以上
中西雄泰	その他 ・受講者は伝法灌頂受了者に限る。 ・衣体は黒衣、如法衣着用。改良服、作務服は不可。 ・前期・後期を通して受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野文化圏の生活文化について理解し、説明できる。 テーマ：高野文化圏の生活文化
密教学特殊講義C	授業の概要 高野山およびその周辺地域によって形成された高野文化圏の実態について生活文化を中心に検討する
前期	授業計画 1. 高野文化圏研究の意義 2. 高野文化圏をめぐる環境（1） 3. 高野文化圏をめぐる環境（2） 4. 景観の諸問題（1） 5. 景観の諸問題（2） 6. 生業（1） 7. 生業（2） 8. 生業（3） 9. 交通・交易（1） 10. 交通・交易（2） 11. 交通・交易（3） 12. 社会生活（1） 13. 社会生活（2） 14. 社会生活（3） 15. 高野文化圏の生活文化の特徴
学期	テキスト プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 高野町史編集委員会編『高野町史』民俗編 高野町 2012.3 その他授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 定期試験（70％）、授業時の小テストおよびコミュニケーションカード（30％）で評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）高野文化圏の生活文化について基本的事項を説明できる。 （良）授業内容を理解した上で、高野文化圏の生活文化について説明できる。 （優）高野文化圏の生活文化について自己の意見を述べることができる。
森本一彦	その他 授業の最初に小テストを行い、前回の授業内容の復習の程度を確認する。授業の終わりに、コミュニケーションカードを記入することによって、授業内容の理解度および授業への参加度を確認する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山およびその周辺地域も含んだ高野文化圏の信仰生活について理解し、説明できる。 テーマ：高野文化圏の信仰生活
密教学特殊講義D	授業の概要 高野山およびその周辺地域によって形成された高野文化圏の実態について信仰生活を中心に検討する。
学期	授業計画 1. 高野文化圏の信仰生活について 2. 年中行事（1） 3. 年中行事（2） 4. 年中行事（3） 5. 年中行事（4） 6. 社寺の行事（1） 7. 社寺の行事（2） 8. 社寺の行事（3） 9. 人の一生（1） 10. 人の一生（2） 11. 人の一生（3） 12. 高野山をめぐる信仰（1） 13. 高野山をめぐる信仰（2） 14. 高野山をめぐる信仰（3） 15. 定期試験 16. 高野文化圏の信仰生活の特徴
後期	テキスト プリントを配付する。
単位数	参考書・参考資料等 高野町史編纂委員会編『高野町史』民俗編 高野町 2012.3 その他授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 定期試験（70%）、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード（30%）評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）高野文化圏の社会生活について基本的事項を説明できる。 （良）授業内容を理解した上で、高野文化圏の社会生活について説明できる。 （優）高野文化圏の社会生活について自己の意見を述べることができる。
森本一彦	その他 授業の最初に小テストを行い、前回の授業内容の復習の程度を確認する。授業の終わりに、コミュニケーションカードを記入することによって、授業内容の理解度および授業への参加度を確認する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくこと テーマ：仏画を描く
密教学特殊講義E	授業の概要 まず筆を持って描くことから始めよう。白描画像の制作である。敦煌の仏画を中心に、特色のあるものを時代別に選んで、その形を意識しながら線を書く。受講する者は、筆を持って線を書くことによって、その画像が「なぜ素晴らしいといえるのか」を発見するだろう。芸術作品の素晴らしさを味わい、その深さを見つけ出す自分に気づくように指導したい。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習Ⅰ・Ⅱ 3. 基礎1 手の形、顔の形の線の練習Ⅲ・Ⅳ 4. 基礎1 仏・菩薩等の全体を描くⅠ 5. 基礎1 仏・菩薩等の全体を描くⅡ 6. 基礎1 仏・菩薩等の全体を描くⅢ 7. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描くⅣ 8. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描くⅤ 9. 基礎2 仏・菩薩等の全体を描くⅥ 10. 作品 紺地金泥の作品を作るⅠ 11. 作品 紺地金泥の作品を作るⅡ 12. 作品 紺地金泥の作品を作るⅢ 13. 作品 紺地金泥の作品を作るⅣ 14. 高野山霊宝館の見学 15. 総括
前期	テキスト 以下の教材は担当者が用意する。 書写手本作品はコピーを配布。面相筆。薄美濃紙。墨液。色紙。チョコペーパー。パール粉（金・銀）
単位数	参考書・参考資料等 授業で指示する。
1:2	学生に対する評価 書写作品・毎回の授業時に提出する課題（70%） 授業参加への積極性（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可） （良） （優）
静慈圓	その他 筆・紙等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたも受講できます。すでに後期を終えた者の受講も可能。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：彩色の方面から芸術品の深さを知る。 テーマ：仏画を彩色する。
密教学特殊講義F	授業の概要 ここでは仏画を描く基本（線描）を修得した上で、彩色を習います。彩色は説明だけでは理解できませんので、全て実践です。自分で彩色をしながら、各種の仏画を鑑賞し、彩色の方面から芸術品の深さを知ることを目標にします。
学期	授業計画 1. シラバスの説明、講義の進め方について説明する。 2. 用具をそろえる。 3. 膠の溶かし方 4. 絵の具を選ぶ 5. 平塗りとはかしの技法 6. はかしの技法 1 7. はかしの技法 2 8. 暈綯彩色の実習 1 9. 暈綯彩色の実習 2 10. 暈綯彩色の実習 3 11. 暈綯彩色の実習 4 12. 暈綯彩色の実習 5 13. 暈綯彩色の実習 6 14. 鑑賞（1） 15. 鑑賞（2）
後期	テキスト 以下の教材は担当者が用意する。 彩色手本。彩色筆。薄美濃紙。絵具（彩色顔料）。絵皿。鹿膠。墨液。チョコペーパー。色紙。
単位数	参考書・参考資料等 授業で指示する。
1:2	学生に対する評価 彩色作品（70%） 授業参加への積極性（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可） （良） （優）
静慈圓	その他 絵の具・絵の具皿・彩色筆等の教材費として5,000円個人負担となります。初回に納入してください。 どなたでも受講できます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： ①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。 ②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する。 テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究
密教学特殊講義G	授業の概要 チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解読の練習を行う。あわせてインド・チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。
学期	授業計画 1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式 2 4. 河口慧海とそのコレクション 5. 河口慧海コレクション 1 6. 河口慧海コレクション 2 7. 河口慧海コレクション 3 8. 河口慧海コレクション 4 9. 『三百尊図像集』 1 10. 『三百尊図像集』 2 11. 『三百尊図像集』 3 12. 『三百尊図像集』 4 13. 『三百尊図像集』 5 14. 『三百尊図像集』 6 15. 『三百尊図像集』 7 16. まとめ
後期	テキスト 『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社 『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブツディカ）
単位数	参考書・参考資料等 頼富本宏・下泉全暁『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』人文書院
2	学生に対する評価 提出物の評価を含む授業参加状況（60%）、期末レポート（40%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）チベット仏教と日本仏教の尊各分類法の違いを述べることができる。 （良）資料を参照しながら、チベット仏教の尊像を同定できる。 （優）チベットの尊像の特徴が大体において頭に入っている。
奥山直司	その他 遅刻3回で1欠席と見なす。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルなケアを展開するために必要な諸理論を学び、支援技法の基本について理解を育む。 テーマ：理論と実践をつなぐための学び
仏教学特殊講義A	授業の概要 スピリチュアルケアの歴史的背景とその本質を概観し、仏教理論と瞑想実践が内包しているケアの可能性を検討する。人間の発達の諸段階を知り、理論と実践とのつながりを実感するためのディスカッションやロールプレイを交えながら授業を展開する。
学期	授業計画 1. ホスピス運動の歴史的背景 2. 律蔵に見られる看病の実践 3. 解脱と悟り 4. 悲しむ力と育む力 5. 愛着理論 6. ライフサイクル論 7. 自己実現と欲求の5段階説 8. 人生で大切な5つの仕事 9. 四摂法 10. 移行対象と祈りの力 11. アンビバレンスを受けとめる器 12. 見守る息づかいとしてのスピリチュアリティ 13. ケアが循環する社会へ 14. マインドフルネスの可能性 15. レポート作成のためのふりかえり 16. レポート講評
後期	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウィマラ 青海社（書店で購入） 『看護と生老病死』井上ウィマラ 三輪書店（書店で購入）
単位数	参考書・参考資料等 『仏教心理学キーワード事典』春秋社
2	学生に対する評価 授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）によって評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教瞑想ならびにスピリチュアルケアについて基本的な理解ができている。 （良）自分の言葉で仏教瞑想やスピリチュアルケアについて説明できる。 （優）臨床現場で実践できるであろうことが感じられる程度に理解が深められている。
井上ウィマラ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―その姿と意味 如来・菩薩編
仏教学特殊講義B	授業の概要 仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。
学期	授業計画 1. はじめに：仏教美術の基礎知識 2. 釈迦如来 3. 薬師如来 4. 阿弥陀如来 5. 毘盧遮那仏と大日如来 6. 弥勒仏と弥勒菩薩 7. 十一面観音 8. 千手観音 9. 不空絹索観音等 10. 如意輪観音等 11. 文殊菩薩 12. 普賢菩薩 13. 地藏菩薩 14. 虚空蔵菩薩 15. 妙見菩薩等 16. レポートの課題に関する解説と講評
前期	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
単位数	参考書・参考資料等 至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社 『日本美術全集』講談社
2	学生に対する評価 授業参加への積極度(40%)、期末レポート(60%)の比率で評価する。後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する4000字程度のレポートを提出する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教美術に関する基礎的な知識がある。 （良）各尊像の基本的な姿や形について特徴を理解している。 （優）各尊像の代表的な作例を挙げ、その特徴について自分の言葉で説明できる。
和田圭子	その他 仏教美術特殊講義C（後期）を履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―その姿と意味 明王・天・その他編
仏教学特殊講義C	授業の概要 仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。
学期	授業計画 1. 不動明王 2. 五大明王1 3. 愛染明王 4. 孔雀明王 5. 梵天・帝釈天 6. 吉祥天・弁才天 7. 四天王 8. 毘沙門天 9. 十二天 10. 十二神将 11. 八部衆等 12. 閻魔・十王 13. 仏弟子・祖師等 14. 垂迹神等 15. その他 16. レポートの課題に関する解説と講評
後期	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
単位数	参考書・参考資料等 水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』 至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 『日本美術全集』講談社
2	学生に対する評価 授業参加への積極度(40%)、期末レポート(60%)の比率で評価する。後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する4000字程度のレポートを提出する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教美術に関する基礎的な知識がある。 （良）各尊像の基本的な姿や形について特徴を理解している。 （優）各尊像の代表的な作例を挙げ、その特徴について自分の言葉で説明できる。
和田圭子	その他 仏教美術特殊講義B（前期）を履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基礎知識を徹底的に習得する テーマ：慈悲について
仏教学特殊講義D	授業の概要 慈悲という心の働きについて、様々な視点から考察する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『スッタニパータ』「慈しみの経」について解説する。 3. 同上 4. 片山一良「四梵住―仏の無量心」を読んで解説する 5. 同上 6. 一色順心「入法界品」における慈悲と善知識」を読んで解説する。 7. 同上 8. 鳥 義厚「四無量心と廻向」を読んで解説する。 9. 同上 10. 則武海源「アジアにおける慈悲の精神」を読んで解説する。 11. 同上 12. 立川武蔵「悲とマンドラ」を読んで解説する。 13. 同上 14. 総まとめ 15. 総まとめ
後期	テキスト 前谷 彰（恵紹）著『ブッダのおしえ〜真訳スッタニパータ』講談社、 『慈悲』日本仏教学会編（平楽寺書店）
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。
2	学生に対する評価 学期末のレポート（100%）によって評価する。
担当者	養成をめざす力 仏教思想の基礎知識を養う。日本語を読む力・聴く力
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
真言密教の特殊講義A 密教儀礼の理論と実習1(別)	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. 4. 5. 6. 7. 導師と職衆の心得 8. 高野山の寺家の葬儀(1)～(9) 9. 戒名について 10. 葬儀に用いる梵字と書き様(塔婆等) 11. 葬儀に関する質疑応答 12. 13. 14. 15. 16.
学期	
前期	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂
単位数	参考書・参考資料等 自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。
2	学生に対する評価 レポート提出により採点(100%)
担当者	ルーブリック(目標に準拠した評価) (可)「高野山の寺家と在家の葬儀」について理解している。 (良)「高野山の寺家と在家の葬儀」について大まかに説明できる。 (優)「高野山の寺家と在家の葬儀」についてよく理解し、詳しい説明が出来る。
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちりと区別して講義します。(詳細は開講時に説明します)

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
真言密教の特殊講義B 密教儀礼の理論と実習2(別)	授業の概要 『引導署作法(二巻疏)』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。
	授業計画 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 『引導署作法(二巻疏)』の伝授と解説(1)～(15) 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16.
学期	
後期	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集(上・下)』松本日進堂
単位数	参考書・参考資料等 自習は不要・予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。
2	学生に対する評価 レポート提出により採点(100%)
担当者	ルーブリック(目標に準拠した評価) (可)「二巻疏」と「葬儀の構成」を理解している。 (良)「二巻疏」について説明が出来る。 (優)「二巻疏」の詳しい説明を後進の者に伝えられる。
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。(詳細は開講時に)

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：唐代の中国書論の重要性を理解し、読解を通じて議論し合い、書学における論文執筆のための研究ノウハウの習得。卒業制作の指導。 テーマ：中国書論を読み、討論し合う。
密教教学演習A	授業の概要 長安へ留学した空海が、中国式仏教ではなくインド仏教を学んだのは、それが原点だからである。書においても、中国最古の書体、篆書を学び、正鋒と呼ばれる筆法を日本に伝えた事を念頭に、当時空海が読んだとされる中国書論を輪読し、書の各分野における本質を分析する。その他、随時受講者の卒論進捗状況をうかがう。
	授業計画 1. オリエンテーション 2. 中国の書論について① 3. 中国の書論について② 4. 中国の書論について③ 5. 孫過庭『書譜』① 6. 孫過庭『書譜』② 7. 孫過庭『書譜』③ 8. 孫過庭『書譜』④ 9. 孫過庭『書譜』⑤ 10. 孫過庭『書譜』⑥ 11. 孫過庭『書譜』⑦ 12. 孫過庭『書譜』⑧ 13. 孫過庭『書譜』⑨ 14. 孫過庭『書譜』⑩ 15. 研究発表 16. 総括 1. 卒業論文の中間報告① 2. 卒業論文の中間報告② 3. 空海の書論① 4. 空海の書論② 5. 空海の書論③ 6. 空海の書論④ 7. 空海の書論⑤ 8. 空海の書論⑥ 9. 空海の書論⑦ 10. 空海の書論⑧ 11. 空海の書論⑨ 12. 空海の書論⑩ 13. 空海の書論⑪ 14. 空海の書論⑫ 15. 研究発表 16. 総括
学期	
通年	テキスト 『精萃図説書法論』(西東書房)、『中国書画全書』(上海書画出版社)、『(宋)陳思『書苑菁華』(北京國書館出版社)、『歷代書法論文選』(上海書画出版社)等からコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 『書譜序注疏』(上海古籍出版社)、中国書法ガイド38『書譜』(二玄社)、『中国書論大系』【第二巻、第三巻】(二玄社)
4	学生に対する評価 ・定期試験(60%) + それぞれの発表及び提出物(40%)での評価。 ・それぞれの発表を10点満点とする。 ・授業失数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・欠席(各-3点)、遅刻・欠席(-1点)を素点から引く計算で成績をつける。 ・上記は前期・後期でそれぞれ計算し、最終的にその平均点の成績となる。
担当者	ルーブリック(目標に準拠した評価) (可)書論の原文を自分自身の解釈で発表できる。 (良)自分自身の研究課題を提示し、先人研究者のそれぞれの見解の違いを細かく分析することができる。 (優)研究執筆において、目新しい独自の観点を見出すことができる。
野田悟	その他 ・書または篆刻に関する論文を希望する受講生が望ましく、書道史を受講していることが相応しい。 ・随時、書道作品に関する課題を課し、授業の中でその進行状況を確認する。 ・人数や能力によっては相談により、テキスト等を変更する場合もある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的 文脈に当てはめて解釈できるようになること。 テーマ：土宜法龍の研究
密教教学演習B	授業の概要 土宜法龍(どぎ・ほうりゅう、1854 - 1923)は日本近代の代表的な真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探ってゆく。基本的には、当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。
	授業計画 前期 1. ガイダンス 2～4. 土宜法龍の生涯 5～15. 『木母堂全集』を読む 16. まとめ 後期 1. ガイダンス 2. 土宜法龍と近代真言宗史 3～15. 『木母堂全集』を読む 16. まとめ
学期	
通年	テキスト 宮崎忍海編『木母堂全集』
単位数	参考書・参考資料等
4	学生に対する評価 予習・発表準備状況(60%)、授業参加状況(40%)
担当者	ルーブリック(目標に準拠した評価) (可)法龍の書いた文章を声に出して正確に読むことができる。 (良)法龍の書いた文章の内容を理解し、まとめることができる。 (優)法龍の書いた文章の内容を分析し、そこに込められた思想のアウトラインを描くことができる。
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基礎知識を養う。 テーマ：仏教要語の意味を徹底的に探究する。
密 教 学 演 習 C	授業の概要 前期は仏教要語の基礎知識を養い、後期は学術論文の書き方や個々の論文指導卒論指導を行う。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2～15回（前期）は、仏教要語を原語から掘り出し、その意味を解説する。 後期15回分は論文指導を行う。
通 年	テキスト 担当者がコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。
4	学生に対する評価 学期末のレポート（100％）によって評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義で指示する課題をこなすこと。 （良）仏教要語に関して、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。 （優）講義を通して、学術論文の書き方を習得すること。
前 谷 彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査手法を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。 テーマ：『菜根譚』を読む。
密 教 学 演 習 D	授業の概要 『菜根譚』を読んで、現代的な問題に対し、処世訓として、どのように活かせるかを考える。考えた内容を文章にすることを通じて、作文能力・技術を養う。受講生には、毎回の予習・発表を求める。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 『菜根譚』前集の読解（1） 3. 『菜根譚』前集の読解（2） 4. 『菜根譚』前集の読解（3） 5. 『菜根譚』前集の読解（4） 6. 『菜根譚』前集の読解（5） 7. 『菜根譚』前集の読解（6） 8. 『菜根譚』前集の読解（7） 9. 『菜根譚』前集の読解（8） 10. 『菜根譚』前集の読解（9） 11. 『菜根譚』前集の読解（10） 12. 『菜根譚』前集の読解（11） 13. 『菜根譚』前集の読解（12） 14. 『菜根譚』前集の読解（13） 15. 『菜根譚』前集の読解（14） 16. 期末試験 17. 『菜根譚』後集の読解（1） 18. 『菜根譚』後集の読解（2） 19. 『菜根譚』後集の読解（3） 20. 『菜根譚』後集の読解（4） 21. 『菜根譚』後集の読解（5） 22. 『菜根譚』後集の読解（6） 23. 『菜根譚』後集の読解（7） 24. 『菜根譚』後集の読解（8） 25. 『菜根譚』後集の読解（9） 26. 『菜根譚』後集の読解（10） 27. 『菜根譚』後集の読解（11） 28. 『菜根譚』後集の読解（12） 29. 『菜根譚』後集の読解（13） 30. 『菜根譚』後集の読解（14） 31. 『菜根譚』後集の読解（15） 32. 期末試験
通 年	テキスト 今井字三郎訳注『菜根譚』（岩波文庫）
単位数	参考書・参考資料等 『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。
4	学生に対する評価 発表50％。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50％。授業中に発言しなかった者は欠席とする。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）著者の意図を正確に理解できる。 （良）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを文章化できる。 （優）著者の意図を正確に理解し、自分の考えを説得力ある文章にできる。
南 昌 宏	その他 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と卒業論文を作成するための力を養いたい。 テーマ：『宿曜經』を読む。
密 教 学 演 習 E	授業の概要 『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身につけてもらいたい。あわせて、卒業論文についての個別指導を行う。
学期	授業計画 【前期】 1. オリエンテーション 2. 『宿曜經』講読演習 3. 『宿曜經』講読演習 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論中間発表 8. 卒論中間発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. レポート、論文の書き方 14. レポート、論文の書き方 15. レポート提出 16. 講評 【後期】 1. オリエンテーション 2. 卒論目次の作成 3. 卒論目次の作成 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 卒論発表 8. 卒論発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. 卒論発表 14. 卒論発表 15. レポート提出 16. 講評
通 年	テキスト 『宿曜經』（大正21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
単位数	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 矢野道雄『密教占星術』（東洋書院） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
4	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）漢文を辞書を引ながら読める。 （良）『宿曜經』の大意を把握し説明できる。 （優）先行研究を調べた上で『宿曜經』の内容を合理的に解説することが出来る。
佐 藤 隆 彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。 【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。 テーマ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング 【後期】：卒業論文作成の実際
密 教 学 演 習 F	授業の概要 前期は、各自の研究テーマについて情報を集めるためのブレイン・ストーミングやKJ法によるマッピングなどを紹介する。その後、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションすることで知識が有機的につながってゆくように工夫する。 後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 書いてみたいテーマについて 3. ブレイン・ストーミング 4. KJ法によるマッピング 5. アイディアを膨らませるために 6. 図書館の利用法 7. インターネットの利用法 8. 先行研究を知る 9. 資料の読み込み方 10. 分析と構成 11. プレゼンテーションとディスカッション1 12. プレゼンテーションとディスカッション2 13. プレゼンテーションとディスカッション3 14. 目次作成 15. レポート作成のためのふりかえり 16. レポート講評 1. 授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり 2. タイトルについて 3. 章立てについて 4. 序章の意味について 5. 論文の格闘技的側面について 6. 資料の活かし方 7. 引用法 8. 論旨の浮かび上がらせ方 9. 書きながら修正していくこと 10. 読み合わせ1 11. 読み合わせ2 12. 個人指導1 13. 個人指導2 14. 個人指導3 15. ふりかえりとまとめ（諮問に向けて） 16. レポート講評
通 年	テキスト 『仏教心理学キーワード事典』春秋社（書店で購入）
単位数	参考書・参考資料等 『災害時のこころのケア』医学書院、その他適宜コピーを配布する。
4	学生に対する評価 授業への参加態度（30％）と期末レポート（70％）で評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）テーマを選び、論理的な展開でレポートが書ける。 （良）自分の主張を浮かび上がらせるために、先行研究を使いこなせている。 （優）論考のオリジナリティと未解決の課題を含めた将来への展望が明確になっている。
井 上 ウ イ マ ラ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古典籍をめぐる諸問題を通して、古典籍を調査・研究する上での学問的素地をつちかう。 テーマ：「古典籍と書誌学・文献学」
総合科目（書誌学）	授業の概要 古典籍の伝来過程、卷子装・折本装などの諸形態を学ぶとともに、著名な冤書家とその蔵書、古典籍の収蔵機関とその調査方法についての専門的知識を習得する。また、文献学に必要な本文批判の技法についても学ぶ。
学期	授業計画 1. 書誌学と古典籍 2. 古典籍の諸形態 3. 古典籍の保存と伝来の原因 4. 古典籍と紙・筆 5. 近世の冤書家たち① 6. 近世の冤書家たち② 7. 近現代における古典籍① 8. 近現代における古典籍② 9. 卷子装と冊子装 10. 古典籍の書き方と種類 11. 古典籍の取り扱い方 12. 文献学と本文批判① 13. 文献学と本文批判② 14. 文献学と本文批判③ 15. 高野山霊宝館の見学 16. まとめ ※内容は進度によって変わる場合がある。
前期	テキスト プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。
単位数	参考書・参考資料等 橋本不美男『原典をめざして』（笠間書院、1974年） 山岸徳平『書誌学序説』（岩波書店、1977年） 川瀬一馬『日本における書籍蒐蔵の歴史』（ベリかん社、1999年） 藤本孝一『日本の美術 古写本の姿』（至文堂、2002年） 藤本孝一『日本の美術 文書・写本の作り方』（至文堂、2008年） 藤本孝一『本を千年伝える』（朝日新聞出版、2012年）
2	学生に対する評価 レポート（100%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）古典籍について基礎的な知識を習得している。 （良）古典籍の諸形態について理解し、系統的に説明できる。 （優）古典籍について幅広い専門的知識を持ち、原本調査や文献研究に必要な見識を習得している。
坂口太郎	その他 講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳格な注意を与える）。 必要に応じて、参考書や講義で紹介する論著を読むこと。なお、本講義は、専門性の高い書誌学を扱うので、内容は高度である。そのため、1・2回生の履修はおすすしめない（できれば、3・4回生の履修が望ましい）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の古文書に関する基礎知識や読解能力を身につける。 テーマ：「日本の古文書を読む」
総合科目（古文書入門）	授業の概要 この授業では、中世・近世の古文書を教材として、「変体漢文」やくずし字を理解する基礎を養う。
学期	授業計画 1. 古文書序説 2. 〔古文書とは何か、辞典の使い方、史資料の調査方法など〕 3. 〔くずし字〕に親しむ① 4. 〔くずし字〕に親しむ② 5. 〔くずし字〕に親しむ③ 6. 近世文書を読む① 7. 近世文書を読む② 8. 近世文書を読む③ 9. 中世文書を読む① 10. 中世文書を読む② 11. 中世文書を読む③ 12. 古文書の「かたち」① 13. 古文書の「かたち」② 14. 古文書の原本を熟覧する① 15. 古文書の原本を熟覧する② 16. 期末試験 17. 試験解説 ※内容は、進度や受講生の関心に応じて変わる場合がある。
後期	テキスト 兄玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』（東京堂 出版、1993年） 書店で購入
単位数	また、教材プリントを配布する。
2	参考書・参考資料等 佐藤進一『〔新版〕古文書学入門』（法政大学出版局、1997年） 日本歴史学会編『演習古文書選 古代・中世編』（吉川弘文館、1971年） 『演習古文書選 近世編』（吉川弘文館、1976年） 青木和夫ほか編『文献史料を読む－古代から近代－』（朝日新聞社、2000年）
担当者	学生に対する評価 授業中の参加態度（予習および発言、50%） 期末試験（50%）
坂口太郎	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基礎的なくずし字を理解している。 （良）くずし字で書かれた古文書の内容を理解できる。 （優）古文書の読解能力を習得するとともに、古文書の形態に関する専門的な知識を習得している。
	その他 講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳格な注意を与える）。 毎回、宿題としてプリントを配付するので、必ず答案を作成して次の授業に臨むこと。また、『くずし字用例辞典 普及版』を購入し、授業に持参すること。（類似の『くずし字解説辞典』と間違えやすいので、購入の際には要注意）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教舞踊の基礎を身につけ、練習を積み重ねることにより、心、技、体を磨く。 テーマ：御詠歌に合わせて舞い、宗教舞踊の楽しさを感得する。
企画科目（舞踊）	授業の概要 宗教舞踊の基本的な身体の動かし方・理念・法具の扱い方・教典の譜の見方等基本を学ぶ。 御詠歌の歌詞の意味、舞踊で表現されている意味を学び、心の表現の仕方について学ぶ。
学期	授業計画 1. 宗教舞踊を見てみる。基本的な理念・法具（持ち物）の扱い方の解説。「めぐみの光かがやきて」 2. 「同行二人」により身体の動かし方の基本を学ぶ。 3. 「同行二人」① 4. 「同行二人」② 5. 「同行二人」③ 6. 「同行二人」の歌詞を学ぶ 7. 「同行二人」の仕上げ 8. 「玉藻」① 9. 「玉藻」② 10. 「玉藻」③ 11. 「玉藻」④ 12. 「玉藻」の歌詞を学ぶ 13. 「玉藻」⑤ 14. 「玉藻」の仕上げ 15. 教典の譜の見方を学ぶ。 16. 「高野山奥の院和讃」① 17. 「高野山奥の院和讃」② 18. 「高野山奥の院和讃」③ 19. 「高野山奥の院和讃」④ 20. 「高野山奥の院和讃」⑤ 21. 「高野山奥の院和讃」⑥ 22. 「高野山奥の院和讃」⑦ 23. 「高野山奥の院和讃」⑧ 24. 「高野山奥の院和讃」⑨ 25. 「高野山奥の院和讃」⑩ 26. 「高野山奥の院和讃」の歌詞を学ぶ 27. 「高野山奥の院和讃」の仕上げ① 28. 「高野山奥の院和讃」の仕上げ② 29. 登壇の仕方を学ぶ 30. 実技試験
通年	テキスト 高野山宗教舞踊会師範会監修教典（1曲ずつの教典）を大師教会で購入
単位数	参考書・参考資料等 高野山金剛流宗教舞踊基本教典 『はじめての「高野山宗教舞踊」入門』セルバ出版
2	学生に対する評価 授業中の技術の習熟度（30%） 努力度（30%） 実技試験（40%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基本的動作（合掌の形・立座の仕方・法具の扱い方）が出来る （良）御詠歌に合わせて舞う事が出来る （優）歌詞を理解し、心を表現しながら舞う事が出来る
辻高祖佐彩恵子	その他 単位取得者は希望により『高野山金剛流宗教舞踊会』の〔入門〕と〔初伝〕が取得出来る

科目名	授業の到達目標及びテーマ 21世紀に期待される寺院の経営マネジメントの基本知識を学び、今後の寺院経営に必要な経営戦略の立て方とマネジメントの方法を修得する。
企画科目（寺院経営講座）	授業の概要 現在の寺院の経営課題の分析方法を学び、解決方法として期待される寺院の経営理念設計および経営戦略の具体的立案方法と寺院経営マネジメントの方法を講義とグループワーク方式で実践的に学ぶ。
学期	授業計画 1. 21世紀寺院の抱える問題と課題 2. 21世紀寺院の重要性と期待される役割 3. 寺院の経営戦略①－寺院の経営戦略の重要性と立て方 4. 寺院の経営戦略②－寺院の期待されるビジネスモデルの設計方法 5. 寺院の経営戦略③－寺院の広報戦略の重要性と方法 6. 寺院の経営戦略④－寺院の経営組織戦略の重要性と方法 7. 寺院の経営戦略⑤－寺院の人材採用戦略と育成方法 8. 寺院の経営マネジメント①－寺院の総資産内容とマネジメント方法 9. 寺院の経営マネジメント②－寺院の会計内容とマネジメント方法 10. 寺院の経営マネジメント③－寺院のキャッシュフロー内容とマネジメント方法 11. 寺院の経営マネジメント④－寺院の税務内容とマネジメント方法 12. 寺院の経営マネジメント⑤－寺院のコンプライアンス内容とマネジメント方法 13. 寺院の経営マネジメント⑥－寺院の経営チェック診断の内容と方法 14. 寺院の経営マネジメント⑦－寺院のアントレプレナーの重要性と内容 15. 寺院の経営マネジメントの総合レポート 16. 期末試験
後期	テキスト 講師作成資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 「せとぎわの仏教」－僧侶と寺院の未来－ 財団法人 全国青少年教化協議会 編（鎌倉新書 発行） 他は講師が授業内で紹介する。
2	学生に対する評価 授業態度・自己チェックレポート（毎回提出）（40%） 期末試験（60%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）講義内容を理解でき、積極的意見発表、質問ができる。 （60～69点） （良）講義テーマについてセルフワークが十分でき、グループワークで議論ができる。（70～79点） （優）講義テーマについてプレゼンテーションやマネジメントができる。（80点以上）
加賀博	その他 将来寺院を継承したり、就業したりするためのモチベーションを高め、21世紀寺院に求められる社会的役割を自覚し、積極的に将来ビジョンを考え、学生相互に刺激し合い、啓発し合うことを望みます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：数学がこんなところにもという感性づくり、何よりも数学的判断により事がすんだという実践感をもてることであり、志向性が感じられることを目標に考えています。 テーマ：人間学部のなかで自然科学の基礎となる教養をこの大学で哲学・宗教の枠を超えた森羅万象すべてに通じる数学の概念を解いていく。の概念を解いていく。
企画科目（おもしろ数学思考力）	授業の概要 人間が生きていく上で知っておきたい概念のひとつに数学の考え方がある。それが大学でも必要としてほしい概念のひとつでもあります。日常の生活の中でも【こんなところにも数学が！】を感じながら自然と使われている考え方をこの講座を通して知っていき楽しさを得られる感性づくりを学び理解していくことを目標として計画していく。そのうえで【人生になぜ数学が必要か】をまとめていきたいと考えている
学期	授業計画 1. 高野山大学における数学の必要性（序章） 2. 教養の数学（基礎）～代数編（1） 3. 教養の数学（基礎）～代数編（2） 4. 教養の数学（基礎）～幾何編（1） 5. 教養の数学（基礎）～幾何編（2） 6. 教養の数学（基礎）～確率編（1） 7. 教養の数学（基礎）～確率編（2） 8. 日常的なもののとの対比編（1） 9. 日常的なもののとの対比編（2） 10. 論理編（1） 11. 論理編（2） 12. 論理編（3） 13. 総括まとめ（1） 14. 総括まとめ（2） 15. 総括まとめ（終章） 16.
前期	テキスト 秋山仁著【こんなところにも数学が！】扶桑社文庫
単位数	参考書・参考資料等 秋山仁著【数学ワンダーランド一日冒険旅行】近代科学社
2	学生に対する評価 数学的思考力という堅いイメージですが、日常【こんなところにも数学が！】を認識していくと意外なことに気づくはずです。そこから数学がスウガクに変換されて興味関心がわいてきます。それを期待して講座を展開していきます。その理解度が評価に繋がっていきますが、それに対する関心度も重要と考えます。積極的な意見を期待します。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日常【こんなところにも数学が！】を授業を通じて認識・理解できること。 （良）積極的に日常【こんなところにも数学が！】を認識・理解し探究できること。 （優）日常【こんなところにも数学が！】をより一層調査研究し求める姿勢が感じられること。
木 地 茂 典	その他 数学的な活動を含めた内容を提示していきます。思考力ということを認識していく中で【こんなところにも数学が！】を日常のなかで感じる必要がある。テキストにあげた本は必需必読を心がけること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地方自治の在り方について関心を深め、その在り方を考察するの基本的な議論を理解する。 テ　　マ：地方自治とは何か、自治体が私たちの暮らしにおいてどのような働きをしているか。
企画科目（地方行政論）	授業の概要 地方自治は私たちの生活において欠くことのできない働きをしている。この地方自治がどのように機能しているのかについて、地方自治がおかれる様々な文脈に即しつつ、その基本的事項を把握する。
学期	授業計画 第一部 地方自治の制度 1. オリエンテーション、地方自治の意義 2. 地方自治の発展（1） 明治の地方自治制度と戦後の地方自治制度 3. 地方自治の発展（2） 地方分権改革 4. 都道府県と市町村 第二部 地方自治の機構 5. 自治体の機関 6. 自治体の組織 第三部 管理の在り方 7. 公務員制度 8. 国による行政統制 9. 地方税財政 第四部 自治体の政策プロセス 10. 自治体の政策プロセス（1） 11. 自治体の政策プロセス（2） 12. 自治体の政策プロセス（3） 13. 自治体の政策プロセス（4） 第五部 自治体と住民 14. 「住民」の意義と、市民参加 15. 自治体におけるコミュニティ 16. 期末テスト
後期	テキスト 稲継裕昭「地方自治入門」（有斐閣、2011年） ＊書店にて購入可能。また、授業ではこのテキストに書かれていない範囲も扱う。足りない部分は毎回配付するレジュメ等でこちらが補う。
単位数	参考書・参考資料等 磯崎初仁＝金井利之＝伊藤政次『ホーンブック 地方自治』（北樹出版、第3版、2014年） 松村岐夫編『テキストブック 地方自治』（東洋経済新報社、第2版、2010年） ＊参考書は、必要に応じ、その内容を配付レジュメに盛り込むか、または必要な箇所のコピーを配付する。
2	学生に対する評価 小レポート（＝40%）、期末テスト（＝60%）＊テストは持込み不可とする予定。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）地方行政の基本的な用語を正確に覚えている。 （良）地方行政の重要な用語（概念）を自分の言葉で短く説明することができる。 （優）自治体の働きについて、具体例に即して自分の言葉で説明できる。
笛 木 淳	その他 授業の形式は、毎回配付するレジュメに沿って内容を説明する講義形式で行い、原則としてディスカッション等は行わない。授業の最後では毎回小レポートを書くこととする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地方自治法制への関心を深め、基礎知識を身につけ、制度の全体像を把握する。 テ　　マ：地方自治にかかわる法制度の基本的な事項。
企画科目（地方自治法）	授業の概要 地方自治体は、ある一部の領域における統治団体である。したがって、これを法によって基礎づけ、法に依って拘束する必要がある。この授業では、そうした役割を担う地方自治法の概要を理解する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション、「地方自治」と「法」 2. 地方自治に関わる具体的な法令 3. 地方公共団体の意義と種類 4. 地方公共団体の機関（1） 5. 地方公共団体の機関（2） 6. 地方公共団体の事務 7. 自治立法（1） 8. 自治立法（2） 9. 住民 10. 住民監査請求と住民訴訟 11. 地方税財政（1） 12. 地方税財政（2） 13. 監査制度 14. 国と地方公共団体の関係（1） 15. 国と地方公共団体の関係（2） 16.
後期	テキスト 指定なし。
単位数	参考書・参考資料等 宇賀克也『地方自治法概説』（有斐閣、第6版、2015年） 兼子仁『新 地方自治法』（岩波新書、1999年） ＊参考書は、必要に応じ、その内容を配付レジュメに盛り込むか、または必要な箇所のコピーを配付する。
2	学生に対する評価 レポート（＝40%）、期末テスト（＝60%） ＊テストは持込み不可とする予定。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）地方自治法の基本的な用語を正確に覚えている。 （良）地方自治法の重要な概念を自分の言葉で短く説明することができる。 （優）地方自治法制が実際に機能する場面を、具体例に即して自分の言葉で説明できる。
笛 木 淳	その他 授業の形式は、毎回配付するレジュメに沿って内容を説明する講義形式で行い、原則としてディスカッション等は行わない。授業の最後では毎回小レポートを書くこととする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】日本の伝統文化である華道の歴史の理解と基本的実技の修得。 【後期】高野山の伝統行事（年中行事）に生けられる伝統華・荘厳真華の理解 テ　　マ：【前期】日本の華道史と華道実技の基本 【後期】華道高野山の代表華である真華の修得
企画科目（華道）	授業の概要 【前期】仏様にお花をお供えたのが始まりとされる日本の華道の歴史を現代まで解説すると共に、華道の基本の解説と実技の実習を行なう。 【後期】高野山の伝統行事が行なわれる会場を荘厳する真華の解説と真華の実技実習。
学期	授業計画 【前期】 1. ガイダンス 2. 華道高野山についての解説 3. 供華様式から投入花の解説 4. 投入花から現代花の解説 5. 盛花の解説 6. 盛花の実技実習 7. 盛花の変化態の解説と実習 8. 投入花の解説と実習 9. 投入花の変化態の解説と実習 10. 格花の解説と実習 11. 格花の変化態の解説と実習 12. 自由化の解説と実習 13. 自由化のテーマのもとも方と実習 14. 実技テスト 15. 格花 寸胴での実習 16. 前期全体の補足 【後期】 1. 真華の解説 2. 五段華の解説 3. 五段華の実技実習 4. 真華実習（1） 5. 真華実習（2） 6. 二つ真の解説 7. 仏生会の華の解説 8. 白羽の矢竹の解説 9. 小品真華の解説と実習 10. 法印転衣式の華の解説 11. 合真の解説 12. 元三の花の開設 13. 万年青の解説と実技 14. 実技テスト 15. 水仙の葉組 16. 後期全体の補足
通年	テキスト 華道高野山教本
単位数	参考書・参考資料等 特に無し
2	学生に対する評価 実技定期試験（60%）、小試験（40%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）盛花・自由花・格花の基本を理解し、生けられる。 （良）作品に創意・工夫が見られる。 （優）高野山の伝統華である真華を理解し、生けられる。
五 味 和 樹	その他 実技実習時に花材費 800 円～ 1,000 円必要です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山内に伝わる仏教美術について学び、さらに実地に仏像、仏画等に接することによって、より深い仏教美術の知識を学び、培うことを到達目標とする。 テーマ：高野山における仏教美術研究
企画科目（仏教芸術）	授業の概要 高野山霊宝館の所蔵品を中心に、高野山における仏教美術、特に密教美術について作品の特徴や歴史的意義について学ぶ。特に高野山霊宝館において実際に仏像、仏画等を鑑賞しつつ知識を深める。
学期	授業計画 1. はじめに：仏教美術作品鑑賞に関する基礎知識 2. 高野山の仏教美術の歴史 3. 高野山霊宝館での作品研究（1） 4. 高野山の仏教美術1：両界曼荼羅 5. 高野山の仏教美術2：別尊曼荼羅 6. 高野山の仏教美術3：一切経等 7. 高野山霊宝館での作品研究（2） 8. 高野山の仏教美術4：如来 9. 高野山の仏教美術5：菩薩 10. 高野山の仏教美術6：明王 11. 高野山霊宝館での作品研究（3） 12. 高野山の仏教美術7：天部 13. 高野山の仏教美術8：祖師等 14. 高野山の工芸：密教法具等 15. 高野山霊宝館での作品研究（4） 16. レポートの課題に関する解説と講評
前期	テキスト 授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
単位数	参考書・参考資料等 『日本古寺美術全集』集英社、『高野山秘宝大観』フジタ
2	学生に対する評価 期末レポート（60%）、霊宝館見学と授業への参加度（40%）の比率で評価する。 霊宝館において見学した作品を1点選び、それに関する4000字程度のレポートを提出する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教美術鑑賞に関する基礎知識を理解している。 （良）高野山の仏教美術作品について概略を簡単に説明できる。 （優）高野山の仏教美術作品を見ながら自分の言葉で説明することができる。
副担任・田圭子	その他 履修する学生は社会経験と就業経験を身につけるために、授業とは別に指示に従って高野山霊宝館の受付や案内業務を体験する。 様々な観点から積極的に作品を鑑賞する態度が望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：マインドフルネスの基盤となっている仏教のヴィパッサナー（観）瞑想による意識の保ち方を学ぶことによって、自分を知る能力（自己覚知）を養う。 テーマ：自分を知ることにについて
企画科目（マインドフルネス）	授業の概要 最初にみんなの息を合わせるために「三宝帰依の歌」を歌い、Ānāpānasati-suttaの「16の観察法」を説誦し、15分ほど呼吸瞑想をする。その後で瞑想的エクササイズを行い、ふりかえりをしながら体験学習を深めてゆく。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方について（仏教瞑想について） 2. 如実知見と自分を知ることの大切さ 3. Ānāpānasati-sutta（出入息念経）から学ぶ 4. 身体感覚に心を開く：Vedanā（受）を理解する 5. 呼吸に触れる 6. 呼び名の息遣い 7. 瞑想中の雑念への対処法：気づきの作法 8. 自尊心について 9. 食べる瞑想：Āhāra（四つの栄養素）の教えについて 10. マインドフルネス瞑想の射程 11. 三業の心理学 12. 思いやりの育み方：慈悲喜捨の教えについて 13. 神秘体験について 14. 悟りと解脱 15. ふりかえりとまとめ 16. レポート返却と講評
前期	テキスト 井上ウィマラ『呼吸による気づきの教え』佼成出版社（書店で購入）
単位数	参考書・参考資料等 『仏教心理学キーワード事典』春秋社 井上ウィマラ『人生で大切な5の仕事』春秋社（書店で購入）
2	学生に対する評価 授業への参加態度（30%）と期末レポート（70%）で評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）授業の内容が理解できている。 （良）授業内容をよく理解し、自分を見つめることにつなげることができている。 （優）授業内容に基づき、自己覚知を育て、日常生活に応用する術がわかっている。
井上ウィマラ	その他 動きやすい服装で参加すること。 仏教瞑想を学びたいという明確な動機を持ち、体験学習に積極的に参加する心構えを持っていることが望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：修法における次第の組み立てを理解し、その行法をより深めることを目的とし、重ねて代表的な密教法会である理趣三昧法会を実修し、職業及び導師の心得を身につける。 テーマ：行法や荘嚴の理解と理趣三昧法会の実修
企画科目（別）（法式上級）	授業の概要 四度の加行において自らが実践した所の十八道や金剛・胎藏の両部の次第、護摩の次第における行法の展開や内容を考察し、行法をより深く実践できるように試みる。 また、理趣三昧法会について実際の法要の流れを理解し、導師や職業としての作法を習熟する。
学期	授業計画 【前期】 道場や壇上の荘嚴の解説・実践をし、加えて行法の基本たる十八道の次第を解説する。 また、法会における作法等を解説し、職業として法会を務められるようになる。 【後期】 理趣三昧を解説する。 また、伝法灌頂に入壇後、理趣経法の伝授を受け、導師の作法が務められるようになる。 【その他】 追悼法会、また報恩日の法会に職業としての積極的な参加（出仕）を求める。
通年	テキスト 『真言宗常用經典』、『四度加行 次第』、中川善教編『理趣経法』
単位数	参考書・参考資料等 『声明類聚』等 他は授業中で紹介し、適宜コピー等を配布する
2	学生に対する評価 期末の課題レポートと法要作法の習熟度
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）加行等とおして実習した、密教における道場や壇上の荘嚴を理解できる。 （良）加行等において実習する行法の組み立てを理解できる。 （優）行法や法会における荘嚴や所作の意味付けを理解できる。
刈田雲溪	その他 ・空衣（尼僧は編衫でも可）・白袈裟（または如法衣）を着しての受講となる。 ・以下の事項を受講の条件とする。 ①法式A またはB の単位を取得しておくこと。 ②伝法灌頂を終えていること。少なくとも前期加行（十八道・金剛界）を受けた上で受講し、今年度内に伝法灌頂に入壇すること。 ・学内での追悼法会や報恩日など、積極的な出仕をお願いする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：初年度は基本的な奏法の習得・初歩的な曲の合奏と、邦楽の歴史・日本音楽の特徴理解。 二年目履修の際は「六段の調べ」を習得し、初伝免許取得相当の技術を身に付ける事。 テーマ：地歌・浄土門一（琴）を弾いてみよう。日本音楽の素晴らしさに触れてみよう。
企画科目（芸能）	授業の概要 音楽楽理と、邦楽の歴史に関する講義を交えながら、箏の演奏実習を中心に進めていく。箏に触れ、演奏することで、伝統文化に共通する精神性へと、学生諸氏の思考深化を促したい。
学期	授業計画 【前期】 1. 爪をつけて、箏をならしてみよう。 2. 柱の立て方、はずし方。 3. 楽譜の見方、楽器の扱い方を学ぼう。 4. 箏とは、楽器の部位の名称等。 5. ビデオ鑑賞。 6. 「さくら」・「荒城の月」を弾こう。（1） 7. 「さくら」・「荒城の月」を弾こう。（2） 8. 「さくら」・「荒城の月」を弾こう。（3） 9. 邦楽の歴史を学ぼう（講義）。 10. 「三段の調べ」を弾こう。（1） 11. 「三段の調べ」を弾こう。（2） 12. 「三段の調べ」を弾こう。（3） 13. 「三段の調べ」を弾こう。（4） 14. 邦楽の歴史を学ぼう（講義）。 15. 筆記・実技試験 16. 前期の復習 【後期】 1. 「三段の調べ」の復習をしよう。 2. 「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。（1） 3. 「三段の調べ」の他パートと合奏しよう。（2） 4. 邦楽の歴史を学ぼう（講義）。 5. 「さくら変奏曲」を弾こう。（1） 6. 「さくら変奏曲」を弾こう。（2） 7. 「さくら変奏曲」の他パートと合奏しよう。 8. 邦楽の楽理を学ぼう（講義）。 9. 「箏の音」を弾こう。（1） 10. 「箏の音」を弾こう。（2） 11. 「箏の音」を三味線と合奏しよう。 12. 試験に向けての復習。（1） 13. 試験に向けての復習。（2） 14. 試験に向けての復習。（3） 15. 実技試験 16. 後期の復習
通年	2年目の受講生は、全回「六段の調べ」の実習。
単位数	テキスト 楽譜は講師を通じて随時一括購入する。爪は初回授業で各自の指の号数を確認して注文する。
2	参考書・参考資料等 吉川英史『日本音楽の歴史』創元社。他は授業で紹介する。
担当者	学生に対する評価 音楽を真剣に楽しむ授業態度（70%）演奏技術（10%）筆記・実技試験（20%） 但し、上記 1 に関係なく、欠席 1 回マイナス 5 点とする。
糀谷有桜	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）音楽を楽しみ、楽器の特徴や扱い方を習得している。 （良）箏（琴）の基本的な奏法を習得し、楽譜を見ながら演奏することができる。 （優）他パートの音を聞きながら、自分の奏でる音楽を表現することができる。
	その他 「箏は女性が弾くもの」という誤った通念があるようだが、実態は全く異なる。偏見を捨てて、音楽好きな学生は、男女を問わず、積極的に受講してほしい。 二年目の単位を取得した場合、本人が希望し、かつ技能が相当と認められる者には、有料で、絃楽教育奨励会認定の「初伝」免許を認免する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿息観の修得 テーマ：阿息観の理論と実習
企画科目（阿息観） （別）	授業の概要 阿字観の前行と位置づけられている阿息観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。 テキストにしたがって講義を進める。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観と悟り 3. 真言密教と釈迦 4. 瞑想の目的と種類 5. 修行の基本 6. 弘法大師空海の宗教体験 7. 阿息観について 8. 阿息観について 9. 阿息観の実習 10. 阿息観の実習 11. 討論 12. 阿息観の実習 13. 阿息観の現代的意義 14. 阿息観の現代的意義 15. レポート作成 16. 講評
前期	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）
単位数	参考書・参考資料等 『密教福祉Ⅰ』『密教福祉Ⅱ』（密教福祉研究会編）
2	学生に対する評価 期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）瞑想の三要素について説明できる。 （良）阿息観の特徴について説明できる。 （優）阿息観の現代的意義について理解し説明できる。 その他
佐藤隆彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：阿字観の修得 テーマ：阿字観の理論と実習
企画科目（月輪観と阿字観） （別）	授業の概要 阿息観を踏まえて、月輪観と阿字観について、その理論を解説するとともに実習をおこなう。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 阿息観について 3. 阿息観の実習 4. 月輪観について 5. 月輪観について 6. 月輪観実習 7. 『大日経』と阿字 8. 阿字観について 9. 阿字観について 10. 阿字観実習 11. 自由討論 12. 阿字観の口訣 13. 阿字観の口訣 14. 阿字観実習 15. レポート作成 16. 講評
後期	テキスト 山崎泰廣『阿字観瞑想入門』（春秋社）
単位数	参考書・参考資料等
2	学生に対する評価 期末レポート（80%）、討論小テスト（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）月輪の意味について説明できる。 （良）実習を通して月輪の意味をより深く説明できる。 （優）密教瞑想法の思想的背景について説明できる。 その他
佐藤隆彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会調査の基礎・概要を理解する。 テーマ：社会調査士科目A
企画科目（社会調査入門）	授業の概要 社会調査の基礎・概要について学ぶとともに、社会調査がなぜ必要であり、なぜ基礎的な技法を学ばなければならないのかを考える。
学期	授業計画 1. 社会調査の必要性 2. 質的調査・量的調査の特徴 3. インタビュー調査の事例（1） 4. インタビュー調査の事例（2） 5. 観察法 6. ドキュメント分析（1）文字記録 7. ドキュメント分析（2）画像記録 8. ドキュメント分析（3）映像記録 9. ドキュメント分析（4）歴史資料 10. 質問紙調査の事例（1） 11. 質問紙調査の事例（2） 12. 既存統計資料 13. 社会調査の倫理 14. 社会調査を設計する 15. 社会調査を設計する 16.
前期	テキスト 特になし
単位数	参考書・参考資料等 プリントを配布する。
2	学生に対する評価 レポート（80%）、小レポートと授業参加の積極性（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）社会調査の基礎的な用語について説明ができる。 （良）社会調査の各方法について説明ができる。 （優）社会調査の設計ができる。 その他
森本一彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：質的調査の基礎・概要を理解する。 テーマ：質的調査士科目A
企画科目（質的調査論）	授業の概要 質的調査を概説することを通して、データの収集能力を涵養することをめざす。状況によっては質的調査を実体験し、それを報告してもらうこともある。
学期	授業計画 1. 質的調査法とは何か 2. 報告書を読む（1） 3. 報告書を読む（2） 4. 面接法（1） 5. 面接法（2） 6. 参与観察（1） 7. 参与観察（2） 8. ライフヒストリー（1） 9. ライフヒストリー（2） 10. ドキュメント分析（1） 11. ドキュメント分析（2） 12. 会話分析法 13. フィールドワーク（1） 14. フィールドワーク（2） 15. 質的分析と量的分析の交流 16.
後期	テキスト 特になし
単位数	参考書・参考資料等 プリントを配布する。
2	学生に対する評価 レポート（80%）、小レポートと授業参加の積極性（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）質的調査の基礎的な用語について説明ができる。 （良）質的調査の各方法について説明ができる。 （優）質的社会調査の設計ができる。 その他
森本一彦	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：将来の御詠歌指導者の養成を目指す。 テーマ：高野山が伝承する心の宗教音楽「御詠歌」を学ぶ。
企画科目（詠歌）	授業の概要 【前期】 プロジェクター等で譜の見方、楽理等解りやすく解説する。 詠歌と和讃の歌詞・旋律から作者の意図を汲み取り自分なりに表現しその方法を研鑽させる。 【後期】 前期の目標、テーマの完成を目指す。決して急がずに一曲を時間を掛けて指導し習得させる。 そして一曲は得意な曲を持たせて詠歌、和讃を積極的に唱えられる様に研鑽を深めさせる。
学期	授業計画 【前期】 1. 詠歌、和讃の概要（譜の見方、歴史など）いろは歌（解説・曲） 2. いろは歌－1（曲） 3. いろは歌－2（曲・所作） 4. 追弔和讃－1（解説・曲） 5. 追弔和讃－2（曲・所作） 6. 愛別離苦和讃－1（解説・曲） 7. 愛別離苦和讃－2（曲・所作） 8. 愛別離苦和讃－3（いろは歌・追弔和讃の復習） 9. 高野の四季－1（解説・曲） 10. 高野の四季－2（曲・所作） 11. 高野の四季－3（曲・所作） 12. 入定和讃－1（解説・曲） 13. 入定和讃－2（龍華含む・曲・所作） 14. 入定和讃－3（龍華含む・曲・所作） 15. 前期履修曲復習 16. 実技及び筆記試験 【後期】 1. 前期総括 2. 金剛和讃－1（解説・曲） 3. 金剛和讃－2（曲） 4. 金剛和讃－3（曲・所作） 5. 金剛和讃－4（曲・所作） 6. 八葉－1（解説・曲） 7. 八葉－2（光明を含む・所作・曲） 8. 八葉－3（光明を含む・所作・曲） 9. 心経和讃－1（解説・曲） 10. 心経和讃－2（曲・所作） 11. 心経和讃－3（金剛和讃・八葉の復習） 12. 楊柳－1（解説・曲） 13. 楊柳－2（曲・所作） 14. 前期履修曲復習（曲・所作） 15. 後期履修曲復習（曲・所作） 16. 実技、筆記試験
単位数	テキスト 高野山金剛流御詠歌教典 同和讃集、楽理教典、法具（鈴鉦）（鈴鉦は教務課にて貸出し有り）
2	参考書・参考資料等 金剛講必携、鈴鉦のひびき 高野山金剛流和讃の解説 楽理入門 金剛和讃と曼荼羅 Q & A
担当者	学生に対する評価 実技、筆記試験（70％） 技術の習熟度（30％）
村辻上上 山	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）曲の最後までお唱え出来る。 （良）お唱え・所作が少し出来る。 （優）身・口・意（所作・お唱え・気持ち）が合致している。
公秀雄 教道慈	その他 1. 後期履修希望者は前期履修の後、受講すること 2. 詠階は一年間履修し合格点に達すれば准教師、二年間履修し合格点に達すれば詠修、三年間履修し合格点に達すれば詠歌、四年間履修し合格点に達すれば詠範の申請資格を与える。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山大学が立地する地域に関する理解を深める。 テーマ：地域社会を知ろう
企画科目（地域連携Ⅰ）	授業の概要 高野町の職員や関わりのある方をゲストスピーカーとして招き、話題提供をしていただき、その後質疑応答、ディスカッションを行う。 テーマによっては現地見学も実施する。
学期	授業計画 1. 地域社会から考える 2. 地方行政－高野町の事例 3. 高野町の財政（ふるさと納税） 4. 高野町の上下水道とごみ処理 5. 高野町の観光と産業 6. 参拝と観光 7. 高野町の文化財行政 8. 高野町の町並み（建築） 9. 高野町の防災対策 10. 高野町の福祉 11. 地域と教育 12. 集落支援の実態 13. 高野町の地方創生（人口問題） 14. 地方自治 15. 地域社会の課題 16.
前期	テキスト テキストを指定せず、プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 最終レポート（70％）、小レポートと授業参加の積極性（30％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）地域社会に関する基本用語を説明できる。 （良）地域社会がどのような状況にあるかを説明できる。 （優）地域社会に対して自分の考えを提案できる。
森本一彦	その他 ・将来公務員などの職に就き、地域社会で活躍したいという強い希望を持ち、真面目に受講することが必要である。 ・高野町役場のインターンシップを希望する者は、必ず受講すること。 ・授業内容・日程・ゲストスピーカーなど詳細については、第1回目の授業において指示をする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山大学が立地する地域に関する理解を深める。 テーマ：仕事をを知る
企画科目（地域連携Ⅱ）	授業の概要 キャリア教育の一環として、さまざまな仕事が存在していることを知ることを目的とする。大学が立地する高野山および周辺の地域を中心に活躍している方をゲストスピーカーとして招へいすることで、仕事について考える。
学期	授業計画 1. キャリアとは 2. 職人① 3. 職人② 4. 職人③ 5. 職人④ 6. 農林業① 7. 農林業② 8. 飲食業 9. 製造業 10. 写真家 11. 政治家 12. 小説家 13. 博物館 14. 銀行員 15. 進路決定に向けて 16.
後期	テキスト テキストを指定せず、プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 最終レポート（70％）、小レポートなどの課題（30％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）地域の仕事に関する基本用語を説明できる。 （良）地域の仕事がどのような状況にあるかを説明できる。 （優）地域の仕事に対して自分の考えを提案できる。
森本一彦	その他 ・高野山周辺を中心として就職したいという強い希望を持ち、真面目に受講することが必要である。 ・各種インターンシップを希望する者は、必ず受講すること。 ・授業内容・日程・ゲストスピーカーなど詳細については、第1回目の授業に指示する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：鎌倉時代の政治史の流れや鎌倉仏教の実態を学習し、その歴史的特徴を理解する。 テーマ：「鎌倉時代の政治と文化」
企画科目（歴史学Ⅰ）	授業の概要 本講義では、朝廷と幕府の関係（公武関係）を通して鎌倉時代の政治史の流れを概観する。また、顕密仏教と新仏教との関係や、蒙古襲来が鎌倉仏教に与えた影響、女性と仏教との関係についても考えたい。
学期	授業計画 1. 鎌倉時代の政治構造 2. 源頼朝の上洛 3. 建久七年政変 4. 後鳥羽院政 5. 執権政治の成立 6. 承久の乱 7. 九条道家政権と鎌倉幕府 8. 得宗専制政治の成立 9. 蒙古襲来 10. 両統迭立と鎌倉幕府 11. 鎌倉仏教論の現状 12. 鎌倉時代の寺社勢力 13. 鎌倉時代の女性と仏教 14. 蒙古襲来と鎌倉仏教 15. 期末試験 16. 試験解説 ※内容は進度によって変わる場合がある。
前期	テキスト プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。
単位数	参考書・参考資料等 上横手雅敬ほか『日本の中世 8 院政と平氏、鎌倉政権』第2部（中央公論新社、2002年） 村井章介『北条時宗と蒙古襲来』（日本放送出版協会、2001年） 平雅行『親鸞とその時代』（法蔵館、2001年） 川添昭二『日蓮と鎌倉文化』（平楽寺書店、2002年）
2	学生に対する評価 期末試験（100％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）鎌倉時代に関する基礎的事項を理解している。 （良）鎌倉時代の政治過程や鎌倉仏教について、講義の内容を踏まえて説明できる。 （優）鎌倉時代の政治構造や鎌倉仏教の特徴について、講義の内容や参考文献を踏まえ、総合的かつ論理的に説明できる。
坂口太郎	その他 講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。また、参考書や講義で紹介する論者を読むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：南北朝動乱の政治過程について学習し、その歴史的意義について考える。 テーマ：南北朝動乱の政治過程
企画科目（歴史学Ⅱ）	授業の概要 本講義では、後醍醐天皇による建武政権の成立・崩壊から、足利義満の権力確立に至るまでの政治史を概観する。とくに、近年研究の盛んな室町幕府だけではなく、これまで実態が不明とされてきた南朝の動向にも焦点を当てたい。
学期	授業計画 1. 建武政権の成立 2. 建武政権の崩壊 3. 室町幕府の成立 4. 初期室町幕府と南北朝の分裂 5. 南朝の劣勢 6. 後醍醐天皇の死と室町幕府 7. 北畠親房と『神皇正統記』府 8. 親応の擾乱と正平一統 9. 北朝の再建と京都争奪戦 10. 征西府と室町幕府の再編 11. 応安大法と康暦の政変 12. 義満政権の確立 13. 南朝の衰退と南北朝合一 14. 南北朝内乱と『太平記』 15. 期末試験 16. 試験解説 ※ 内容は進度によって変わる場合がある。
後期	テキスト プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める。
単位数	参考書・参考資料等 佐藤進一『日本の歴史9 南北朝の動乱』（中央公論新社、2005年。初刊1965年） 村井章介『日本の中世10 分裂する王権と社会』（中央公論新社、2003年） 森茂悦『皇子たちの南北朝』（中央公論新社、1988年） 小川剛生『南北朝の宮廷誌』（臨川書店、2003年）
2	学生に対する評価 期末試験（100%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）南北朝動乱に関する基礎的事項を理解している。 （良）南北朝動乱の政治過程や関係史料について、講義の内容を踏まえて説明できる。 （優）南北朝動乱の歴史的意義について、講義の内容や自分の見解を踏まえて論ずることができる。
坂口太郎	その他 講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳烈な注意を与える）。熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。また、参考書や講義で紹介する論者を読むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：常楽会法則に使われる声明（前半）及び理趣法表白・神分 テーマ：常楽会法要及び理趣法に現れる声明を通じて種々の声明を研鑽する
企画科目（声明上級）（別）（声明上級）	授業の概要 常楽会法則を通じて、初級で学べなかった種々の声明及び法要を研鑽して声明の視野を広める。 導師作法で必要な理趣法の表白・神分を研鑽する。
学期	授業計画 【前期】 1. オリエンテーション（テキスト解説） 2. 勧請 3. 総礼（伽陀）（1） 4. 総礼（伽陀）（2） 5. 称名礼・金剛業 6. 涅槃講祭文（1） 7. 涅槃講祭文（2） 8. 涅槃講祭文（3） 9. 別礼（伽陀） 10. 梵音（1） 11. 梵音（2）三條錫杖（1） 12. 三條錫杖（2） 13. 佛名 14. 讃歎（伽陀）1段目 15. 前期テスト 16. 讃歎（伽陀）2段目・3段目 【後期】 1. 讃歎（伽陀）4段目・5段目 2. 涅槃講和讃（1） 3. 涅槃講和讃（2） 4. 涅槃講和讃（3） 5. 釈迦念仏 6. 駄部（讃）・心略漢語 7. 合殺 8. 哭佛讃 9. 云何唄 出家唄（1） 10. 云何唄 出家唄（2） 11. 云何唄 出家唄（3） 12. 如来唄 13. 理趣法表白・神分（1） 14. 理趣法表白・神分（2） 15. 後期テスト 16. 理趣法表白・神分（3）
通年	テキスト ・「常楽会法則」－高野山住職会発行＝各自高野山出版社で購入すること。（オリエンテーションで説明） ・「祭文集」－高野山出版社発行＝各自高野山出版社で購入すること。（オリエンテーションで説明） ・「理趣法」は講義中に伝達する
単位数	参考書・参考資料等 宮野有智編「南山進流声明類聚」
2	学生に対する評価 前期末テスト（50%）後期末テスト（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）南山進流声明上級として、理解は十分ではないが、複数の人と一緒に唱える事が出来る。 （良）南山進流各種声明を概ね理解し、複数の人と合わせて唱える事が出来る。 （優）南山進流声明上級として理論・唱え方を十分理解し、一人で唱える事が出来る。
辻秀道	その他 受講資格を下記の通り設ける 1. 本学「声明」初級を習得した者 2. 高野山専修学院及び尼僧学院を終了した者 3. 高野山高等学校宗教科を終了した者 4. その他同等以上の研鑽を終了した者

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】文字（ウチェン）と発音、あいさつの習得、チベット語会話の基礎的学習 【後期】文字（ウメー）の修得とチベット語会話の応用的学習 【前後期】チベット語会話
企画科目（チベット語会話）	授業の概要 チベット仏教の最高学位（ゲシェーハランパ）を持つチベット僧が、やさしく丁寧にチベット語の会話とチベット文字を教えます。だれでも参加できる入門クラスです。「チベット語」の授業といっしょに受けることが望ましい。
学期	授業計画 【前期】 1. オリエンテーション、チベット語のあいさつ（1） 2. 文字（ウチェン）と発音（1）、あいさつ（2） 3. 文字と発音（2）、あいさつ（3） 4. 文字と発音（3）、1から20まで 5. 私は日本人です 6. 「あなたはチベット人ですか」 7. 「私たちは先生ではありません」 8. 「彼はよい犬を一匹飼っています」 9. 「彼女は多分今授業中でしょう」 10. 私は遊びに行きます 11. 「このカメラはあそこの女の子のものです」 12. 「あなたはお食事を召し上がりますか」 13. 「あの新しい家の屋根」 14. 「私はチベットのチャンも好きです」 15. 復習 16. 復習 【後期】 1. オリエンテーション 2. 文字（ウメー）（1） 3. 文字（2） 4. 文字（3） 5. 「これは何ですか」 6. 「あなたはいついらっしゃるでしょうか」 7. 「あなたはどこの方ですか」 8. 「この本はだれが書きましたか」 9. 「私は見ます」 10. 「彼には見えています」 11. 数の数え方 12. 会話練習（1） 13. 会話練習（2） 14. 会話練習（3） 15. 会話練習（4） 16. 会話練習（5） 17. 会話練習（6）
通年	テキスト ロサン・トンデン著、石濱裕美子、ケルサン・タウワ訳『現代チベット語会話』Vol.1（世界聖典刊行協会）その他。
単位数	参考書・参考資料等 松本栄一・奥山直司『チベット [マンダラの国]』（小学館） ※ その他、必要に応じて講義の中で指示する。
2	学生に対する評価 授業参加状況（80%）、試験（20%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）チベット語であいさつができる。 （良）チベット語であいさつでき、チベット文字が読み書きできる。 （優）チベット語で日常会話ができ、チベット語の短い文章を読むことができる。
テンジン・ウセル	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：和歌山県における地域産業の興隆と消長の歴史に学びながら、地域産業と街（地域）との関係日本経済と地域経済の変化、コミュニティの変容を考察し、地方創生と持続可能な地域社会を構想する。 テーマ：地方創生と地域産業の復権。地域における産業の存在意味と経済的・文化的価値を捉え直し、地域主体の地方創生のあり方を探求する。キーワードは地域・ひと・暮らし。
企画科目（地域産業論）	授業の概要 魅力がある街の条件の一つは、地域をつくる産業の有無にある。地域産業をとらえて地域の特徴、コミュニティがみえてくる。人口減少・少子高齢化、社会が縮小に向かういま、和歌山県をモデルに地域産業の特色と存在意味、地域の価値と魅力あるまちづくりについて考える。
学期	授業計画 1. 城下町和歌山にみる産業の興亡 2. No.1 企業島精機を生んだ風土とニット産業 3. 家庭日用品の街海南市と日方商人 4. 田辺・みなべの梅産業にみる産業クラスター形成と可能性 5. 日本の味を作った湯浅と醤油産業 6. 発酵食品産業と和歌山県の伝統 7. 木材産地の衰退と挑戦 8. 家具業界と紀州の伝統産業桐ダンス 9. 伝統とファッション、皮革業界の挑戦 10. 高野山のモノづくり産業と彦根の伝統的地域産業 11. 地域資源の産業化をはかる龍神村の女性たち 12. 地域内循環型経済の衰退と復活 和歌浦 13. 変わる観光と観光産業 白浜町 14. 和歌山の先端企業と産地の形成 15. 金沢市に学ぶ。文化創造都市の地域産業 16. 試験
後期	テキスト 『産業と文化の息づく街へ 創造都市への挑戦』（岩波現代文庫 佐々木雅幸著 岩波書店） 『地域再生入門』（山浦晴男著 ちくま新書 筑摩書房）
単位数	参考書・参考資料等
2	学生に対する評価 成績評価は期末レポート、授業中任意の時期に実施する課題レポート、授業中の発表など授業参加の積極性で行なう。レポート（70%）、発表・課題レポート（20%）、授業参加の積極性（10%）
鈴木裕範	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）60～69点 和歌山県の代表的な地域産業の特色と概要を覚えている （良）70～79点 地域産業の活力と地域の発展について具体的なモデルを説明できる （優）80点以上 地域産業がもたらす地域の活力と価値の創出について説明できる
	その他 授業は担当教員の研究調査を踏まえた資料に基づきパワーポイントで進行します。したがって、その資料を印刷配布します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：レポートをはじめとした、大学生活に必要な記述ができる文章構成能力を身に付ける。 テーマ：最初は短文作成から、複文へ。複文から段落構成へ。段落から複段落へ。そして最終的には小論文やレポートが書けるレベルまで少しずつ段階を追って文章力を高めて行く。
企画科目（日本語留學生中級A）	授業の概要 各書式の記入、Eメール作成、レポート作成など、大学生活で必要とされるアカデミック・ライティングのスキルを幅広く習得する。受講生には毎回何らかの記述課題が課される。
学期	授業計画 【前期】 1. 日本語の記述のルール（1） 2. 日本語の記述のルール（2） 3. 短文作成から複文へ（1） 4. 短文作成から複文へ（2） 5. 短文作成から複文へ（3） 6. 複文から段落構成へ（1） 7. 複文から段落構成へ（2） 8. 複文から段落構成へ（3） 9. 段落から複段落へ（1） 10. 段落から複段落へ（2） 11. 段落から複段落へ（3） 12. 小論文・レポートの作成（1） 13. 小論文・レポートの作成（2） 14. 小論文・レポートの作成（3） 15. 期末試験 16. 試験の解説 【後期】 1. 日本語の記述のルール・応用編（1） 2. 日本語の記述のルール・応用編（2） 3. 日本語の記述のルール・応用編（3） 4. 様々な書式の記入（1） 5. 様々な書式の記入（2） 6. Eメール作成（1） 7. Eメール作成（2） 8. 文章の要約（1） 9. 文章の要約（2） 10. 説明文（1） 11. 説明文（2） 12. 意見文（1） 13. 意見文（2） 14. 意見文（3） 15. 期末試験 16. 試験の解説
通年	テキスト 毎時、担当者が用意したものを配布します。
単位数	参考書・参考資料等 アカデミック・ジャパニーズ研究会 『大学・大学院 留学生の日本語』②作文編 アルク その他は授業中に提示します。
4	学生に対する評価 毎回課される課題の提出と期末試験に、授業態度と発言の積極性を加味して行う。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習した内容を最低限理解できている。 （良）学習した内容に基づいて、おおむね正しく記述できている。 （優）学習した内容を応用・発展させ、自分の言葉として記述できている。
五十嵐小優粒	その他 ・日本語を書くことに自信のない方は、是非受講してください。 ・最初はとても簡単なところから、徐々に長文が書けるレベルに高めて行きます。 ・毎回の課題を欠かさず遂行すれば、着実にライティング力を身に付けられる講義内容です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：大学生活に必要な日本語能力を総合的に身に付ける。 テーマ：日本語の語彙・文法の基礎知識と、読解力・聴解力・会話を総合的に伸ばす。 また、日本語能力試験N3レベルの日本語をほぼ完全に習得し、応用できるようになる。
企画科目（日本語留學生中級B）	授業の概要 日本語の「読む、聞く、話す」のスキルをバランスよく身に付けながら、大学生活を送るのに支障のない運用能力の育成を目指す。また、日本語能力試験のN3高得点合格レベル達成をサブ目標とする。
学期	授業計画 【前期】 1. テキスト第1課 2. テキスト第2課 3. テキスト第3課 4. テキスト第4課 5. テキスト第5課 6. テキスト第6課 7. テキスト第7課 8. テキスト第8課 9. 日本語能力試験対策（1） 10. 日本語能力試験対策（2） 11. 日本語能力試験対策（3） 12. 日本語能力試験対策（4） 13. テキスト第9課 14. テキスト第10課 15. 期末試験 16. 試験解説 【後期】 1. テキスト第11課 2. テキスト第12課 3. テキスト第13課 4. テキスト第14課 5. テキスト第15課 6. 日本語能力試験対策（1） 7. 日本語能力試験対策（2） 8. 日本語能力試験対策（3） 9. 日本語能力試験対策（4） 10. テキスト第16課 11. テキスト第17課 12. テキスト第18課 13. テキスト第19課 14. テキスト第20課 15. 期末試験 16. 試験解説
通年	テキスト 『学ぼう！にほんご』初中級 専門教育出版、その他（担当者の指示に従うこと）
単位数	参考書・参考資料等 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ』シリーズ アスク出版 その他、必要に応じて授業中に提示する。
4	学生に対する評価 毎回の確認テストと期末試験に、授業態度や発言の積極性を加味して行う。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習した文型や表現を理解できている。 （良）学習した文型や表現を実際に使用できている。 （優）学習した文型や表現を応用し、自分の言葉としてアウトプットできている。
松本貴子	その他 ・受講生の日本語力は問いません。日本語を学びたい方は、どんなでも歓迎します。 ・ただ、学習効果を最大限に高めるため、毎回の予習・復習を欠かさないようにしてください。 ・日本語学習について要望があれば、いつでもどんなことでも可能な限り対応します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：大学生活に必要な日本語能力を総合的に身に付ける。 テーマ：日本語の語彙・文法の基礎知識と、読解力・聴解力・会話を総合的に伸ばす。 また、日本語能力試験N3レベルの日本語をほぼ完全に習得し、応用できるようになる。
企画科目（日本語留學生上級A）	授業の概要 日本語の「読む、聞く、話す」のスキルをバランスよく身に付けながら、大学生活を送るのに支障のない運用能力の育成を目指す。また、日本語能力試験のN3高得点合格レベル達成をサブ目標とする。
学期	授業計画 【前期】 1. テキスト第1課 2. テキスト第2課 3. テキスト第3課 4. テキスト第4課 5. テキスト第5課 6. テキスト第6課 7. テキスト第7課 8. テキスト第8課 9. 日本語能力試験対策（1） 10. 日本語能力試験対策（2） 11. 日本語能力試験対策（3） 12. 日本語能力試験対策（4） 13. テキスト第9課 14. テキスト第10課 15. 期末試験 16. 試験解説 【後期】 1. テキスト第11課 2. テキスト第12課 3. テキスト第13課 4. テキスト第14課 5. テキスト第15課 6. 日本語能力試験対策（1） 7. 日本語能力試験対策（2） 8. 日本語能力試験対策（3） 9. 日本語能力試験対策（4） 10. テキスト第16課 11. テキスト第17課 12. テキスト第18課 13. テキスト第19課 14. テキスト第20課 15. 期末試験 16. 試験解説
通年	テキスト 『学ぼう！にほんご』初中級 専門教育出版、その他（担当者の指示に従うこと）
単位数	参考書・参考資料等 『日本語能力試験対策 日本語総まとめ』シリーズ アスク出版 その他、必要に応じて授業中に提示する。
4	学生に対する評価 毎回の確認テストと期末試験に、授業態度や発言の積極性を加味して行う。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習した文型や表現を理解できている。 （良）学習した文型や表現を実際に使用できている。 （優）学習した文型や表現を応用し、自分の言葉としてアウトプットできている。
五十嵐小優粒	その他 ・受講生の日本語力は問いません。日本語を学びたい方は、どんなでも歓迎します。 ・ただ、学習効果を最大限に高めるため、毎回の予習・復習を欠かさないようにしてください。 ・日本語学習について要望があれば、いつでもどんなことでも可能な限り対応します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の執筆を視野に入れて、それに耐え得る文章構成能力を身に付ける。 テーマ：話し言葉と書き言葉の違いといった基礎事項の徹底から、論文執筆に必要な文献検索の方法や、ゼミでの研究発表のやり方まで幅広く内容を展開する。
企画科目（日本語留學生上級B）	授業の概要 最終的に卒業論文の執筆ができるレベルまでにライティング力を高めて行く。受講生には毎回何らかの記述課題が課される上、必要に応じて発表の練習も行なう。
学期	授業計画 【前期】 1. 日本語の表記法（1） 2. 日本語の表記法（2） 3. 日本語の表記法（3） 4. 論文執筆の概要 5. 参考文献の検索法 6. 参考文献の引用法 7. 本論文を批判的に読み取る（1） 8. 本論文を批判的に読み取る（2） 9. 書評を書く（1） 10. 書評を書く（2） 11. 反論を想定して書く（1） 12. 反論を想定して書く（2） 13. 論文のテーマの決め方（1） 14. 論文のテーマの決め方（2） 15. 期末試験 16. 試験の解説 【後期】 1. オリエンテーション・発表の順番決め 2. 履歴書の書き方 3. ビジネスメールの基本（1） 4. ビジネスメールの基本（2） 5. エントリーシートの書き方（1） 6. エントリーシートの書き方（2） 7. 報告文の書き方（1） 8. 報告文の書き方（2） 9. 卒業論文の発表（1） 10. 卒業論文の発表（2） 11. 卒業論文の発表（3） 12. 卒業論文の発表（4） 13. 総括（1） 14. 総括（2） 15. 期末試験 16. 試験の解説
通年	テキスト 毎時、担当者が用意したものを配布します。
単位数	参考書・参考資料等 アカデミック・ジャパニーズ研究会 『大学・大学院 留学生の日本語』④論文作成編 アルク その他は授業中に提示します。
4	学生に対する評価 毎回課される課題の提出と期末試験に、授業態度と発言の積極性を加味して行う。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習した内容を最低限理解できている。 （良）学習した内容に基づいて、おおむね正しく記述できている。 （優）学習した内容を応用・発展させ、自分の言葉として記述できている。
松本貴子	その他 ・日本語を書くことに自信のない方は、是非受講してください。 ・特に、卒業論文を執筆する留学生の方には欠かせない内容を徹底指導します。 ・毎回の課題を欠かさず遂行すれば、着実にライティング力を身に付けられる講義内容です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
企画科目（一流伝授Ⅰ）	到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。
	テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
	授業の概要
	真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
	授業計画
学期	1. 講義の概要、略許可 2. 伝授についての序説 3. 一座行法の伝授・解説 (1) 4. 一座行法の伝授・解説 (2) 5. 一座行法の伝授・解説 (3) 6. 一座行法の伝授・解説 (4) 7. 一座行法の伝授・解説 (5) 8. 一座行法の伝授・解説 (6) 9. 一座行法の伝授・解説 (7) 10. 一座行法の伝授・解説 (8) 11. 一座行法の伝授・解説 (9) 12. 一座行法の伝授・解説 (10) 13. 一座行法の伝授・解説 (11) 14. 一座行法の伝授・解説 (12) 15. 一座行法の伝授・解説 (13) 16. テスト
(前集期中)	テキスト
単位数	中川善教編『諸尊通用次第 (中院)』3 帖 1 帙 東方出版 価格 10,000 円程度 (※ 入手方法に就いては、事前に公示する)
2	参考書・参考資料等
担当者	中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
	学生に対する評価
	講義に臨む姿勢（出欠席を含む）(50%)、テストによる採点 (50%)
甲田宥畔	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 密教及びその実践法についての基礎的な知識を習得している。 (良) 密教の実践法についての基礎的な知識を有するのみならず、その内容をよく理解している。 (優) 密教の実践法についての教理的な理解を自分の言葉・文章で説明することができる。
	その他
	1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。 2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褌衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
企画科目（一流伝授Ⅱ）	到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。
	テーマ：密教の修法を実践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
	授業の概要
	真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
	授業計画
学期	1. 一座行法の伝授・解説 (14) 2. 一座行法の伝授・解説 (15) 3. 一座行法の伝授・解説 (16) 4. 一座行法の伝授・解説 (17) 5. 一座行法の伝授・解説 (18) 6. 一座行法の伝授・解説 (19) 7. 一座行法の伝授・解説 (20) 8. 一座行法の伝授・解説 (21) 9. 一座行法の伝授・解説 (21) 10. 諸尊法の伝授 (1) 11. 諸尊法の伝授 (2) 12. 諸尊法の伝授 (3) 13. 諸尊法の伝授 (4) 14. 諸尊法の伝授 (5) 15. 諸尊法の伝授 (6) 16. テスト
(後集期中)	テキスト
単位数	中川善教編『諸尊通用次第 (中院)』3 帖 1 帙 東方出版 価格 10,000 円程度 (※ 入手方法に就いては、事前に公示する)
2	参考書・参考資料等
担当者	中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
	学生に対する評価
	講義に臨む姿勢（出欠席を含む）(50%)、テストによる採点 (50%)
甲田宥畔	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) 密教及びその実践法についての基礎的な知識を習得している。 (良) 密教の実践法についての基礎的な知識を有するのみならず、その内容をよく理解している。 (優) 密教の実践法についての教理的な理解を自分の言葉・文章で説明することができる。
	その他
	1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者（※伝法灌頂修了者）に限る。 2、受講時は高野山における平衣（空衣・白袈裟等）又は黒衣・如法衣（尼僧は灰色の褌衫も可）を必ず着用すること。改良服・作務衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
サンスクリット語Ⅰ（別）	到達目標：サンスクリット語の短文読解能力を身につける。
	テーマ：サンスクリット語音論トレーニング
	授業の概要
	サンスクリット語における音論を中心にして、サンスクリット語という古典言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的な世界の楽しさを味わい、様々な言語に対する豊かな感性を養う。
	授業計画
学期	1. 導入：サンスクリット語とは？ 2. アルファベットとデーヴァナーガリー文字 3. Guza・V3ddhi法則 4. 動詞の現在組織 5. 語根類推トレーニング 6. 語根類推トレーニング 7. 語根類推トレーニング 8. 連声 (Sandhi) 法則 9. Sandhi法則トレーニング 10. Sandhi法則トレーニング 11. 代名詞、前置詞、副詞 12. 名詞造語法 13. 動詞組織 14. 動詞組織 15. 複合語トレーニング
通年	16. 複合語トレーニング 17. 短文読解トレーニング 18. 短文読解トレーニング 19. 短文読解トレーニング 20. 短文読解トレーニング 21. 仏教文献読解トレーニング 22. 仏教文献読解トレーニング 23. 仏教文献読解トレーニング 24. 仏教文献読解トレーニング 25. 仏教文献読解トレーニング 26. 『ヨーガスートラ』読解トレーニング 27. 『ヨーガスートラ』読解トレーニング 28. 『ヨーガスートラ』読解トレーニング 29. 『ヨーガスートラ』読解トレーニング 30. 仏教文献読解トレーニング
単位数	テキスト
2	担当者作成『サンスクリット語サブグラマー』 辻直四郎『サンスクリット文法』 (絶版のため、担当者がコピーして配布する)
担当者	参考書・参考資料等
前谷彰	必要に応じて担当者が指示する。
	学生に対する評価
	課題に対する予習・復習 (30%)、期末試験 2 回 (70%)
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) Guza・V3ddhi法則に基づく語根類推能力を身につける。 (良) (可) の能力に加え、Sandhi法則を理解し、複合語を分ける能力を身につける。 (優) (可) (良) の基礎知識をもとに、短文読解能力を持つこと。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
チベット語Ⅰ（別）	到達目標：古典チベット語の文法を学び、チベット語資料を解説する上で必要な基礎知識を養う。
	テーマ：チベット語の基礎文法を学ぶ。
	授業の概要
	明治以後、チベット大蔵経がわが国に将来され、仏教および密教の研究にチベット語訳やチベット撰述の資料の研究は不可欠となった。その後、内外の研究者による文献研究が飛躍的に進められてきたが、研究され尽くしている訳ではなく、今後もチベット語資料の研究は、仏教・密教の研究発展にとって必要なものである。ここでは、チベット語を習得するための入門編として、その基礎文法を学ぶ。前期は文法事項の説明を中心にし、後期の後半には長文の文章も取り上げて、チベット語の理解を深めていきたい。
	授業計画
学期	【前期】 1. 講義内容の説明と参考文献の紹介 2. 文字・綴字法・綴字法・語の構成法 1 3. 語の構成法 2 4. 語尾辞・梵語とチベット語の関係 5. 名詞・助辞 1 6. 助辞 2 7. 助辞 3 8. 形容詞 9. 数詞 10. 代名詞・副詞 11. 動詞 12. 助動詞・敬語法 13. 試験 14. 試験の答え合わせ
通年	【後期】 1. 講義内容の説明と教材の配布 2. チベット語訳『般若心経』の解説 1 3. 同 上 2 4. 同 上 3 5. 同 上 4 6. チベット語訳『般若心経』の読誦 7. ターラナータ仏教史の一節 1 8. 同 上 2 9. 同 上 3 10. 同 上 4 11. 同 上 5 12. 同 上 6 13. 同 上 7 14. 同 上 8 15. 試験 16. 試験の答え合わせ
単位数	テキスト
2	初級チベット語文法 (高野山大学、2002 年) コピー配布 その他、授業中に使用する資料は配布する。
担当者	参考書・参考資料等
徳重弘志	チベット語の辞典としては、イエシュケ『蔵英辞典』(臨川書店)、またはチャンドラ・ダース蔵英辞典』(臨川書店) のどちらかを購入することが望ましい。その他、授業中に紹介する。
	学生に対する評価
	試験 (80%)、授業参加の積極性 (20%)
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	(可) チベット文字を発音できる。 (良) チベット文字の読み書きができる。 (優) 辞書を引きながらチベット文を読むことができる。
	その他
	チベットおよびチベット語に関心のある方はぜひ受講ください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
英会話	到達目標：【前期】外国人旅行者と接する状況で簡単な会話ができるようになる。 【後期】高野山で外国語旅行者を案内する際に使える英語を身につける。 テーマ：【前期】高野山で外国人旅行者に英語で「おもてなし（合掌）」 【後期】英語で外国人と高野山めぐり
	授業の概要
	【前期】外国人旅行者が困っているとき何か手助けできるのは嬉しいことです。必要な情報を英語で提供できれば、相手は喜び、自分も世界が広がるチャンスにもなります。練習しましょう。 【後期】高野山を訪れた外国人旅行者に伽藍・奥の院などの案内で使える英語を勉強しましょう。
	授業計画
	【前期】 1. ガイダンス 2. もう一度と聞き返すには 3. I would like to～ 4. Would you～ 5. ～を英語でどう言いますか。 6. 高野山はいかがですか。 7. どこが？何が？ 8. どちらからお越しですか？ 9. 各国・地域名を英語で言えるようにしたい。 10. 道を尋ねられたら（1） 11. 道を尋ねられたら（2） 12. これまで日本のどこへ行きましたか？ 13. これからどこへ行きますか？ 14. ロールプレイで練習しよう（1） 15. ロールプレイで練習しよう（2） 16. まとめのフリートーキング 前期の総括 ※プログラムは改訂される場合があります。
学期	【後期】 1. ガイダンス 2. 英語で日本について話す（1） 3. 英語で日本について話す（2） 4. 自己紹介（1） 5. 自己紹介（2） 6. 英語で高野山について話す（1） 7. 英語で高野山について話す（2） 8. 英語で仏教について話す（1） 9. 英語で仏教について話す（2） 10. 英語で空海について話す（1） 11. 英語で伽藍を案内する（1） 12. 英語で伽藍を案内する（2） 13. 英語で奥の院を案内する（1） 14. 英語で奥の院を案内する（2） 15. まとめの英語スピーチ（2） 16. 後期の総括
通年	
単位数	テキスト 必要に応じて担当者からプリントを配布します。
2	参考書・参考資料等 英和辞典を持参してください（電子辞書も可）。
担当者	学生に対する評価 会話練習の積極性（40%）、試験（60%）で評価します。
静	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）外国人から逃げる気持ちになる。 （良）外国人に話しかけてみたくなる。 （優）機会を逃さず会話がしたくなる。会話がラリーのようにつづく感じがする。
春樹	その他 【前期】恥ずかしがってはいは上達しません。教室でたくさん失敗し、覚えた表現は積極的に実地で使ってみましょう。ためらいなく、Do you need any help? と言えるようにしましょう。 【後期】普段からインターネットのラジオを利用し、英語音声に耳を慣らしておきましょう。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国語（初級）	到達目標：「学問のための学問」ではなく、実社会で使える語学の習得。 外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解した国際的視野を有する人材を育成。 テーマ：中国語の基礎学習
	授業の概要
	視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく、「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。 正確な発音を習得し、日常の挨拶語など平易な文を用いて基本的文型の修得を目指す。
	授業計画
	【前期】 1. 年間授業計画。中国に関する一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義。 2. 「四声」と呼ばれる声調と、中国語発音記号「ピンイン」の母音の習得。 3. 「四声」と「ピンイン」の子音の習得。 4. 中国特有の漢字「簡体字」の学習。 5. 電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。 6. 「簡体字」と「ピンイン」で書いた受講者のネームカードを配布。名前を使った発音練習。以後出欠は中国語でとする。 7-14. 「四声」「ピンイン」「簡体字」を学びつつ、テキストに従って挨拶や基本文型を学習。 前期はテキスト第1～4課を学習。文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業。常用文の暗誦（文章丸暗記こそ語学習得の近道！）を義務付け、実際に使える中国語の習得をめざす。 15. 前期試験について。アンケート。 16. 前期試験（筆記）。
学期	【後期】 1. 前期の復習と前期試験の反省 2-14. テキストを中心とした授業。後期はテキスト第5～8課を学習予定。 文法解説を加えつつも煩雑にならない程度とし、既習文が実際に通じるかを詳細に検証する。 学生の発言機会を増やし、発音・文法を正しつつ、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。 常用文の暗誦を義務付け、実際に「聞ける」「話せる」中国語の習得をめざす。 15. 後期試験について。アンケート。 16. 後期試験（筆記）。
通年	
単位数	テキスト 喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社
2	参考書・参考資料等 辞書（小学館『中日辞典』等）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。
担当者	学生に対する評価 ①試験（評価60%）②受講姿勢（評価20%）③既習項目の習熟度（評価20%）
土生川正賢	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）中国語の四声とピンインを見て正しい発音ができ、簡体字を理解している。 （良）挨拶語や基礎的な構文を正しく発音でき、基本的な文法を理解している。 （優）基礎的な文法を理解した上で、自己紹介や教科書程度の内容を聞いて話せる会話力がある。
	その他 聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に取り組む姿勢を要求したい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国語（上級）	到達目標：国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。 我が国の歴史・文化・伝統・政治的立場等を中国語で堂々と主張できる国際人の養成。 テーマ：実践的中国語 中国語で意思表示！
	授業の概要
	基本的には初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。
	授業計画
	【前期】 1. 年間授業計画。初級クラス程度の語学力チェック。 2. 初級クラスの基礎復習。発音再チェック。辞書・参考文献の紹介。 3-8. 初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置く。文法の基礎固めをしながら、初級クラスで未習のテキスト単元を学習。 9-14. 受講生の語学力に適した教材を配する学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、実際に使える中国語の習得をめざす。 常用文の暗誦を活用し、学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。 ヒアリング能力向上のため、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。 15. 前期試験について。アンケート。 16. 前期試験。
学期	【後期】 1. 前期既習単元と試験内容、基本文型の総復習。 2-14. 受講生の語学力に適した教材を配布。 学生による中国語作文発表やディクテーション強化等、前期同様実際に使える中国語の習得をめざす。 常用文の暗誦を義務付け、それを基礎に段階的に応用を磨く。 学生個々が中国語で自己の意思表現ができるようにつとめたい。 各人がレベルアップを実感できるよう、可能な限り中国語を用いて授業をすすめたい。 15. 後期試験について。アンケート。 16. 後期試験（面接）。 年間を通して、日中間係など国際社会における中国の立場を検証し。現代中国の抱える諸問題や時事問題にも言及するので、共に考えてもらいたい。
通年	
単位数	テキスト 初級クラスで用いた教科書の未修単元 今年度は喜多山幸子・鄭幸枝『はじめまして！中国語』白水社
2	参考書・参考資料等 上記テキスト修了後は、その都度必要な教材・資料を配布。 辞書は毎回必携（電子辞書可）。電子辞書や参考書籍は随時紹介。
担当者	学生に対する評価 筆記試験と中国語による個別面接試験、授業中の発表やレポート、受講態度等を加味して総合的に判定。
土生川正賢	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）正しい発音ができ、自己紹介など簡単な会話ができる。 （良）中国語の基礎的な文法を理解し、正しい発音で教科書程度の内容について会話ができる。 （優）新聞講読に必要な最低限の語彙力と日常会話能力、「聴・説・読・写」の総合的な力がある。
	その他 受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるのでご心配なく！ 諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国の一流の大学院に国費留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
体育実技	様々なスポーツを通して基本技術を学習すると同時に仲間とのコミュニケーション能力を高め、生涯スポーツに活かしていく。
	授業の概要
	【前期】様々なスポーツを楽しみながら仲間作りと基本的技術の習得。 【後期】様々なスポーツを楽しみながら仲間作りと基本的技術の習得。
	授業計画
	【前期】 バレーボール 1. 指導概要についての説明 2. ルール、基本動作の徹底 3. 個人的技能の習得（1） 4. 個人的技能の習得（2） 5. 試験（ラリー） 6. 個人的技能の習得（1） 7. 個人的技能の習得（2） 8. 個人的技能の習得（3） 9. 試験（アタック） 10. 集団的技能の習得（1）（連携プレー） 11. 集団的技能の習得（2）（連携プレー） 12. 集団的技能の習得（3）（連携プレー） 13. 集団的技能の習得（4）（連携プレー） 14. 集団的技能の習得（5）（連携プレー） 15. 試験（連携プレー） 16.
学期	【後期】 フットサル 1. フットサルのルールとボール慣れ 2. チーム作り・個人的技能の習得 3. ゲーム、技術の向上（1） 4. ゲーム、技術の向上（2） 5. ゲーム、技術の向上（3） 6. ゲーム、技術の向上（4） 7. ゲーム、技術の向上（5） 8. ゲーム、技術の向上（6） 9. ゲーム、技術の向上（7） 10. ゲーム、技術の向上（8） 11. ゲーム、技術の向上（9） 12. ゲーム、技術の向上（10） 13. ゲーム、技術の向上（11） 14. ゲーム、技術の向上（12） 15. ゲーム、技術の向上（13） 16.
通年	
単位数	
2	テキスト なし
担当者	参考書・参考資料等 なし
加陽生子	学生に対する評価 実技試験（100%）
	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）ルールを理解し、意欲的に参加している。 （良）基本的な技術を身に付け、ルールを理解している。 （優）ルールを理解し、仲間と協力し合いながら連携プレーが出来る。

科目名	宗教思想史Ⅰ
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
川崎一洋	
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：ヒンドゥー教の代表的な神々の姿と性格を理解する。 テーム：ヒンドゥー教の神様を知る	授業の概要 ヒンドゥー教ではたくさんの神々が信仰されており、それらの神々はユニークでバラエティーに富んだ個性を有しています。また、ヒンドゥー神は密教にも取り入れられ、天部の尊として日本でも盛んに信仰されています。この講義では、ヒンドゥー神話をひもときながら、インドやネパールに残る神像や日本の密教図像を紹介しつつ、個々のヒンドゥー神の図像学的特徴と性格を学びます。
授業計画 1. オリエンテーション 2. ヒンドゥー教とヒンドゥー神話 3. ヴェーダの神々① 4. ヴェーダの神々② 5. ブラフマー 6. ヴィシュヌとその化身 7. シヴァの諸相 8. シヴァの家族 9. ヒンドゥーの女神たち① 10. ヒンドゥーの女神たち② 11. 天体の神々 12. その他のヒンドゥー神 13. 胎蔵曼荼羅のヒンドゥー神 14. 金剛界曼荼羅の五類諸天 15. 日本における天部信仰 16. まとめ	授業計画 1. オリエンテーション 2. いろいろな曼荼羅を見てみよう 3. 曼荼羅の思想的基盤① 4. 曼荼羅の思想的基盤② 5. 曼荼羅の象徴性① 6. 曼荼羅の象徴性② 7. 曼荼羅の象徴性③ 8. 曼荼羅の儀礼① 9. 曼荼羅の儀礼② 10. 曼荼羅の儀礼③ 11. 身体曼荼羅 12. 胎蔵曼荼羅と『大日経』の思想 13. 金剛界曼荼羅を読み解く① 14. 金剛界曼荼羅を読み解く② 15. 『理趣経』の曼荼羅を読み解く 16. まとめ
テキスト なし（プリントを配布）	テキスト 正木見著『楽しくわかるマンドラ世界』（春秋社） ※ 入手困難な場合、コピーを配布
参考書・参考資料等 立川武蔵『ヒンドゥー神話の神々』（せりか書房） 立川武蔵・石黒淳・菱田邦男・島岩『ヒンドゥーの神々』（せりか書房） 立川武蔵『女神たちのインド』（せりか書房）	参考書・参考資料等 マルティン・ブラウエン著・森雅秀訳『曼荼羅大全』（東洋書林） 立川武蔵編『マンドラ宇宙論』（法蔵館） 立川武蔵編『曼荼羅と輪廻』（佼成出版社） 森雅秀『マンドラの密教儀礼』（春秋社） など
学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
ループリック（目標に準拠した評価） （可）ヒンドゥー教諸神の図像学的特徴を理解している。 （良）ヒンドゥー教諸神の図像学的特徴と出自や性格を理解している。 （優）ヒンドゥー教諸神の特徴を、インドの文献と照らし合わせながら説明できる。	ループリック（目標に準拠した評価） （可）曼荼羅とは何か？を説明できる。 （良）曼荼羅の象徴性と、曼荼羅の儀礼について、密教経典を参照しながら説明できる。 （優）種々の密教経典を参照しながら、インドにおける曼荼羅の思想的展開を説明できる。
その他 インドやネパールなど、ヒンドゥー教が信仰されている地域に旅行し、その文化に肌で触れることをお勧めします。	その他 日本全国の密教寺院や博物館、壁画の作例が多く残るチベットなどを訪れて、実際に、曼荼羅を自分の目で見てみることをお勧めします。高野山大学の図書館や高野山霊宝館にも、多くの曼荼羅の資料があります！

科目名	心理学ⅠA（別）
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
戸来知子	
授業の目的及び概要 一般に「心理学」ときくと、血液型や人の心を読むといったものを思い浮かべる方が多いだろう。しかし、「心理学」という学問領域は、私たちが「心」と名付けるところの「理」についての働きやその過程を幅広く研究する領域である。この講義（心理学Ⅰ）では、まず、個人の心理について、特に、情報を受け取り処理し、思考するという認知的な観点から、これまでの研究知見を紹介する。尚、対人関係や発達の視点からの心理学に関する講義は、心理学Ⅱで取り扱う。	授業の到達目標及びテーマ テーム：心理学の基礎的な知識を身に付ける。
授業計画及び授業方法 1. 心理学についてのガイダンス 2. 心理学の歴史と研究の方法 3. 感覚と知覚① 4. 感覚と知覚② 5. 記憶① 6. 記憶② 7. 記憶③ 8. 学習① 9. 学習② 10. 学習③ 11. 言語と思考① 12. 言語と思考② 13. 言語と思考③ 14. 意識と認知システム 15. まとめ	授業の目的及び概要 私たちは、一人で生きることではできず、必ず他者との関係性をもって社会の中で生きている。また、生まれてから死ぬまでの間という時間の中で生きている、すなわち、私たちは発達し続ける存在として生を全うする。この講義では、社会と発達という視点から、人間の心理活動についてこれまでの研究知見を紹介する。尚、心理学Ⅰを受講していることが望ましい。
テキスト 特に指定しない。	テキスト 特に指定しない。
参考書・参考資料等 随時、紹介する。	参考書・参考資料等 随時、紹介する。
学生に対する評価 小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）	学生に対する評価 小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）
ループリック（目標に準拠した評価） （可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。 （良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。 （優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。	ループリック（目標に準拠した評価） （可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。 （良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。 （優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。
その他	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会学の基礎を学ぶことを通して、大学教育で必要とされる考え方を習得する。また公務員試験に対応する基本的な力を養成する。 テーマ：社会学の基礎（Ⅰ）
社会学Ⅰ	授業の概要
	授業計画 1. 社会学とは 2. 社会集団（1） 3. 社会集団（2） 4. 家族（1） 5. 家族（2） 6. 労働 7. 階級・階層 8. 社会組織 9. 逸脱行動（1） 10. 逸脱行動（2） 11. 社会変動（1） 12. 社会変動（2） 13. 都市（1） 14. 都市（2） 15. 社会学の見方
学期	テキスト プリントを配布する。
前期	参考書・参考資料等 作田啓一・井上俊編『命題コレクション 社会学』ちくま文庫 竹内洋『社会学の名著 30』ちくま新書 井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス 全10巻+別巻1』世界思想社
単位数	その他授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 定期試験（70%）、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）社会学の基本用語を説明できる。 （良）社会学の理論を自分の言葉で説明できる。 （優）現実の現象を社会学の理論を使いながら説明できる。
森本一彦	その他 ・公務員や就職試験に対応することを目指すので、真面目に受講することが必要である。 ・日ごろからニュースや新聞などに触れ、時事問題にも興味を持ち、現在何が起きているのかを確認しておくこと。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会学の基礎を学ぶことを通して、大学教育で必要とされる考え方を習得する。また公務員試験に対応する基本的な力を養成する。 テーマ：社会学の基礎（Ⅱ）
社会学Ⅱ	授業の概要
	授業計画 1. 社会心理（1） 2. 社会心理（2） 3. 文化（1） 4. 文化（2） 5. マスメディア（1） 6. マスメディア（2） 7. 古典理論（1） 8. 古典理論（2） 9. 中期理論（1） 10. 中期理論（2） 11. 現代理論（1） 12. 現代理論（2） 13. 基礎概念 14. 社会調査 15. 社会学の考え方
学期	テキスト プリントを配布する。
後期	参考書・参考資料等 作田啓一・井上俊編『命題コレクション 社会学』ちくま文庫 竹内洋『社会学の名著 30』ちくま新書 井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス 全10巻+別巻1』世界思想社
単位数	その他授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 定期試験（70%）、授業中の小テストおよびコミュニケーションカード（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）社会学の基本用語を説明できる。 （良）社会学の理論を自分の言葉で説明できる。 （優）現実の現象を社会学の理論を使いながら説明できる。
森本一彦	その他 ・公務員や就職試験に対応することを目指すので、真面目に受講することが必要である。 ・日ごろからニュースや新聞などに触れ、時事問題にも興味を持ち、現在何が起きているのかを確認しておくこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『発心集』の構造を理解する。また、仏教と文学の関わりについても理解する。 テーマ：仏教説話の魅力
日本文学Ⅰ	授業の概要 『方丈記』で知られる鴨長明の説話集『発心集』の巻7と巻8を読む。毎回いくつかの説話を取りあげ、その説話の背景や魅力について考えてみる。「発心とは」「出家者はどうあるべきか」といった問題意識を持っていた長明の思想を学ぶ。
	授業計画 1. ガイダンスー講義の進め方、『発心集』序文を読むー 2. 巻7を読む① 3. 巻7を読む② 4. 巻7を読む③ 5. 巻7を読む④ 6. 巻7を読む⑤ 7. 巻7を読む⑥ 8. 巻7を読む⑦ 9. 巻8を読む① 10. 巻6を読む② 11. 巻6を読む③ 12. 巻6を読む④ 13. 巻6を読む⑤ 14. 巻6を読む⑥ 15. 巻6を読む⑦ 16. まとめ
学期	テキスト 教員が用意する。
前期	参考書・参考資料等 上川通夫『平安京と中世仏教』（吉川弘文館）
単位数	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
2	ループリック（目標に準拠した評価） （可）『発心集』巻7、8の内容を理解している。 （良）『発心集』巻7、8のテーマ、仏教と文学の関わりについて理解している。 （優）『発心集』巻7、8について、他文献を参考にして、その特徴を説明できる。
担当者	その他 私語厳禁。講義形式であるが、わからならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。
浜畑圭吾	
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：芥川文学の魅力を知る。この講義をきっかけにして、様々な文学作品を読んでもらいたい。 テーマ：芥川文学の魅力
日本文学Ⅱ	授業の概要 芥川龍之介には、雑誌『赤い鳥』などに載せた「年少物」と呼ばれる作品群がある。年少者を対象とした短編とはいえ、「蜘蛛の糸」のように芥川の代表作となったものもあり、その魅力は現代でも色あせてはいない。また、『今昔物語集』などの古典に取材した一連の作品群（『王朝物』）には、名作と呼ばれるものが多い。そこで本講義では、「年少物」と『王朝物』を中心に、同時代の他の作家の作品なども読み比べながら、芥川文学の魅力に迫ってみたい。
	授業計画 1. ガイダンス 2. 芥川龍之介概説 3. 芥川作品を読む① 4. 芥川作品を読む② 5. 芥川作品を読む③ 6. 芥川作品を読む④ 7. 芥川作品を読む⑤ 8. 芥川作品を読む⑥ 9. 芥川作品を読む⑦ 10. 芥川作品を読む⑧ 11. 芥川作品を読む⑨ 12. 芥川作品を読む⑩ 13. 芥川作品を読む⑪ 14. 芥川作品を読む⑫ 15. 芥川作品を読む⑬ 16. まとめ
学期	テキスト 教員が用意する。
後期	参考書・参考資料等 数研出版『クリアカラー国語便覧』 『文豪ナビ 芥川龍之介』（新潮文庫）
単位数	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
2	ループリック（目標に準拠した評価） （可）作品のテーマを理解することができる。 （良）作品の魅力について、他文献を参考にしながら意見を述べることができる。 （優）作品の魅力について、独自の意見を述べることができる。
担当者	その他 私語厳禁。講義形式だが、わからならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。
浜畑圭吾	

科目名	国文法Ⅰ
国文法Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：古文を正しく解釈できるように、古典（文語）文法の正しい知識を得ること。 テーマ：用言の活用 授業の概要 文語文法（古典文法）の知識を習得する。前期はおもに用言、つまり述語になる動詞・形容詞・形容動詞の活用とその種類を中心にそれぞれの品詞の特質を考える。 授業計画 1. 古典文法は何のために学ぶのか 2. 文語文法と口語文法のちがい 3. 文節とはなにか 4. 動詞とはどのような品詞か 自動詞と他動詞 5. 動詞の活用（１）四段活用 6. 動詞の活用（２）上二段活用と上二段活用 7. 動詞の活用（３）下二段活用と下二段活用 8. 動詞の活用（４）変格活用 ナ変とラ変 9. 動詞の活用（５）変格活用 サ変とカ変 10. 形容詞とはどのような品詞か 11. 形容詞のク活用とシク活用 12. 形容動詞とはどのような品詞か 13. ナリ活用とタリ活用 14. 用言の総合問題 15. まとめ 16. 確認テスト テキスト 教員が作成した教材を配布する。 参考書・参考資料等 （１）高校で使った「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可） （２）古語辞書（電子辞書でも可） 学生に対する評価 （１）定期試験（50%） （２）2回の小テスト（50%） ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）動詞の活用の種類についての基礎的知識 （良）上記に加えて形容詞についての基礎的知識 （優）上記二つに加えて、形容動詞についての基礎的知識 その他 受講者についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。
学期	前期
前期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	

科目名	国文法Ⅱ
国文法Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：助動詞の正しい知識と敬語の基礎、とりわけ敬意の対象を理解すること。 テーマ：文語の助動詞と敬語法 授業の概要 古典（漢文もふくめて）を正しく解釈するためには、古典文法の正しい知識は必須条件である。 とくに助動詞の知識は大切である。接続・活用形などの正しい理解に注意しながら、丁寧に講義をすすめていく。途中で理解度を確かめる意味で小テストを3回、また敬語の基礎も1回の小テストを実施する。 授業計画 1. 助動詞とはどのようなものか 2. 受身・尊敬・自発・可能の助動詞 「る」「らる」、打消「ず」、打消推量の助動詞「じ」 3. 使役・尊敬の助動詞 「す」「さす」「しむ」、願望の助動詞「まほし」 4. 推量の助動詞（１）「む」「けむ」「らむ」 5. 推量の助動詞（２）「らし」「めり」、反実仮想「まし」 6. 推量の助動詞（３）「べし」 7. 完了の助動詞（１）「つ」「ぬ」 8. 完了の助動詞（２）「たり」「り」 9. 過去の助動詞「き」「けり」、願望の助動詞「たし」 10. 伝聞・推定の助動詞「なり」 11. 断定の助動詞「なり」「たり」、比況の助動詞「ごとし」 12. 敬語の基礎 尊敬語・謙譲語・丁寧語とはどのようなものか 13. 敬意の主体と対象 14. 「給ふ」「奉る」「聞こゆ」の識別 15. 敬語の課題 16. 確認テスト テキスト 教員が作成した教材を配布する。 参考書・参考資料等 （１）高校で使った「古典文法」の本（どこの出版社のものでも可） （２）古語辞書（電子辞書でも可） 学生に対する評価 （１）4回の小テスト（80%） （２）定期試験（20%） ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）推量の助動詞の基礎的知識 （良）上記に加えて、時制にかかわる助動詞の基礎的知識 （優）上記二つに加えて敬語の基礎的知識 その他 受講生についてはとくに限定しないが、国語の教育免許状を取得しようとする学生は必ず受講してください。
学期	後期
後期	
単位数	
2	
担当者	
下西忠	

科目名	国語学Ⅰ
国語学Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語 授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な講義を行う。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらう。 授業計画 1. 言語と人間 二重分節性、言語の機能（１） 2. 言語と人間 二重分節性、言語の機能（２） 3. 日本語の音声・音韻 音声と音韻、単音の分類、母音（１） 4. 日本語の音声・音韻 音声と音韻、単音の分類、母音（２） 5. 日本語の音声・音韻 音声器官、子音の基本事項（１） 6. 日本語の音声・音韻 音声器官、子音の基本事項（２） 7. 日本語の音声・音韻 清濁、拗音（１） 8. 日本語の音声・音韻 清濁、拗音（２） 9. 日本語の音声・音韻 拍と音節、特殊拍、アクセントとその役割（１） 10. 日本語の音声・音韻 拍と音節、特殊拍、アクセントとその役割（２） 11. 日本語の文字表記 日本語の表記の特色、漢字の将来（１） 12. 日本語の文字表記 日本語の表記の特色、漢字の将来（２） 13. 日本語の文字表記 漢字の構造と用法（六書）、音と訓、国字・国訓（１） 14. 日本語の文字表記 漢字の構造と用法（六書）、音と訓、国字・国訓（２） 15. 日本語の文字表記 平仮名・片仮名、ローマ字 16. 試験 テキスト 藤田保幸『緑の日本語学教本』和泉書店、2010年 書店で購入 参考書・参考資料等 ジョージ・ユール『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店） 小泉保『教養のための言語学コース』（大修館書店） 他は授業中に紹介。 学生に対する評価 都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。 ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）言語としての日本語の基本的な理解を達成している。 （良）言語としての日本語の知識を用いて日常観察される日本語の言語現象を説明する。 （優）言語としての日本語に関して自身で課題を設定して考察する。 その他 授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。
学期	前期
前期	
単位数	
2	
担当者	
上田恭寿	

科目名	国語学Ⅱ
国語学Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：言語としての日本語について基本的な理解を深める。 テーマ：言語としての日本語 授業の概要 テキストに使う、藤田（2010）に沿って、日本語についての基礎的な講義を行う。授業は、原則的に講義形式とするが、できる限り、都度の小課題等、受講者に積極的に参加してもらうようにする。 授業計画 1. 日本語の語彙 語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（１） 2. 日本語の語彙 語彙の概念、語彙量、理解語彙等、語彙調査（２） 3. 日本語の語彙 語種（和語・漢語・外来語）（１） 4. 日本語の語彙 語種（和語・漢語・外来語）（２） 5. 日本語の語彙 語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（１） 6. 日本語の語彙 語彙と位相（位相とは、女性語、隠語）（２） 7. 日本語の文法 学校文法とその限界、文法と言語生活（１） 8. 日本語の文法 学校文法とその限界、文法と言語生活（２） 9. 日本語の文法 現代の文法の考え方、隣接分野としての語用論（１） 10. 日本語の文法 現代の文法の考え方、隣接分野としての語用論（２） 11. 日本語の方言 方言とは、東西差、方言区画、方言周囲論（１） 12. 日本語の方言 方言とは、東西差、方言区画、方言周囲論（２） 13. 日本語の位置 世界の中の日本語の位置、日本語の特質（１） 14. 日本語の位置 世界の中の日本語の位置、日本語の特質（２） 15. まとめ 16. 試験 テキスト 藤田保幸、『緑の日本語学教本』、和泉書店、2010年 書店で購入 参考書・参考資料等 ジョージ・ユール、『現代言語学 20 章－言葉の科学－』（大修館書店） 小泉保、『教養のための言語学コース』（大修館書店） 他は授業中に紹介。 学生に対する評価 都度の課題（30%）、ディスカッションへの参加度（10%）、および期末の試験（60%）による。 ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）言語としての日本語の基本的な理解を達成している。 （良）言語としての日本語の知識を用いて日常観察される日本語の言語現象を説明する。 （優）言語としての日本語に関して自身で課題を設定して考察する。 その他 授業の進行の都合により、一部の変更があり得る。
学期	後期
後期	
単位数	
2	
担当者	
上田恭寿	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
現代の人権（別）	到達目標：現代において特に論争の焦点となっている法的権利について、その法的背景なども視野に入れた上で理解すること、及び批判的思考ができること。 テーマ：現代社会における人権
	授業の概要
	授業はパワーポイントを利用し講義形式とします。 現代社会においては憲法に規定された従来の伝統的な人権の枠組みでは捉えきれない新たな人権が重要となってきました。本講義は、憲法上の権利、特に新しい人権と、権利の現代的展開に焦点を当てながら、法的な側面から現代社会を理解しようとする試みです。 講義形式での授業ですが、授業の中で議論を試みます。
	授業計画
	社会において現代の人権に関わる新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、参加する学生諸君の関心にもなるべく、応えていこうと思いますので、適宜変更の可能性あります。 1. イントロダクション（人権概念） 2. 国際的人権保障（紛争と人権） 3. 国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）① 4. 国際的人権保障（国際的な人権保障の枠組み）② 5. 憲法総論（幸福追求権・自己決定権） 6. 医療における自己決定権（治療選択の権利・死ぬ権利） 7. 新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）① 8. 新たな医療技術とそれを用いる権利（子どもを産む権利）② 9. 臓器移植と臓器の売買？ 10. クローン技術規制法 11. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）① 12. 人の選別と優生思想（選択的堕胎と受精卵診断）② 13. 公害問題と環境権（日本の環境保護法制） 14. 地球温暖化問題と京都議定書（国際社会の取り組み） 15. 新しい家族と法（家族と平等権） 16. まとめ
	テキスト
	特に指定しない。
	参考書・参考資料等
	竹下賢・沼口智剛・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第四版）2014 年
	学生に対する評価
	定期試験もしくは最終レポートにより（80％） 授業中のミニッツ・ペーパーや持ち帰りの課題提出、授業への積極的な参加により（20％） 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	期末筆記試験の形式やレポート課題により若干異なりますが、 （可）授業で扱ったテーマについて十分な論述がされている、または十分な理解が示されている場合 （良）内容を概ね理解したと思われる場合 （優）それなりの努力が読み取れる場合
	その他
	受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
日本国憲法	到達目標：憲法の基本的な枠組みと幾つかの権利に関して基本的な理解を得ること、及び批判的思考ができること。 テーマ：憲法と人権
	授業の概要
	憲法は国の基本的なあり方を定めた法であり、また守るべき理念や価値を定めた法です。本講義では憲法の中の人権規定とそれに関連するほかの法分野について、特に現代社会において問題となっている権利に焦点を当てます。特に、裁判員制度の導入とともに刑事裁判に社会の関心が集まり、またこの数年冤罪問題がクローズアップされているために、捜査・裁判における人権である身体的自由権に焦点を当てる予定です。さらに、財産権との関係で経済的自由権、家族関係における法との関係で平等権も取り扱う予定です
	授業計画
	社会的に注目される新たな法的問題が発生すれば、それを優先的に扱いますし、進捗により適宜変更の可能性はありますから、あくまで目安として、 1. イントロダクション（法の体系と憲法の特徴及び財産権） 2. 財産権と私法①（物権） 3. 財産権と私法②（契約） 4. 財産権と私法③（消費者契約） 5. 財産権と私法④（不法行為） 6. 平等権と家族①（家族法） 7. 平等権と家族②（家族法） 8. 刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と憲法上の被疑者の権利）① 9. 刑事司法の過程と身体的自由権（捜査と憲法上の被疑者の権利）② 10. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と憲法上の被告人の権利）① 11. 刑事司法の過程と身体的自由権（裁判と憲法上の被告人の権利）② 12. 国民の司法参加①（陪審制度・参審制度） 13. 国民の司法参加②（裁判員制度） 14. 犯罪被害者の権利と立憲主義 15. 中間評価 16. まとめ
	テキスト
	特に指定しない。
	参考書・参考資料等
	竹下賢・沼口智剛・角田猛之・竹村和也『入門法学』（第四版）2014 年
	学生に対する評価
	定期試験により（80％） 授業中のミニッツ・ペーパーや小テスト、授業への積極的な参加により（20％） （昨年度は、学期途中で前半の試験、学期末に後半の試験と、2度の試験を実施しています。） 授業参加は単位取得の必要条件であり、十分条件ではありません。 授業に真剣に参加していない学生には別途個別に課題を課す場合があります。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	期末筆記試験の形式により若干異なりますが、 （可）授業で扱ったテーマについて十分な論述がされている、または十分な理解が示されている答案 （良）内容を概ね理解したと思われる答案 （優）それなりの努力が読み取れる答案
	その他
	受講者は（あるいは大学生はそもそも）新聞や毎日のニュースに関心を持つことが必要です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
情報処理	到達目標：【前期】画像処理スキルの体得とプレゼンテーション。 【後期】動画処理スキルの体得とプレゼンテーション。 テーマ：情報メディアの進化についての動向ふまえ、編集についてのスキルを養成する。
	授業の概要
	【前期】画像情報編集。（I：Photoshop：Illustrator） （画像処理編集の過程でドロー系、レタッチ系のアプリケーションなどのスキルを習得する。） 【後期】電子メディアの活用及び、編集・発信。動画編集及び、撮影のスキル 個人動画チャンネル ソーシャルメディアの活用、及び映像編集いての一連のスキルを習得する。 （I：EDIUS II：Premiere：AfterEffect）
	授業計画
	【前期】 1. ガイダンス 2. ソーシャルメディアの活用 3. メディア論Ⅰ（前） 4. メディア論Ⅱ（後） 5. 画像編集基礎Ⅰ 6. 画像編集基礎Ⅰ 7. 画像編集基礎Ⅰ 8. 画像編集基礎Ⅰ 9. 完成プレゼンテーション（1） 10. 完成プレゼンテーション（2） 11. 画像編集基礎Ⅱ 12. 画像編集基礎Ⅱ 13. 画像編集応用 14. 画像編集応用 15. 完成プレゼンテーション（3） 16. 完成プレゼンテーション（4）
	【後期】 1. メディア論Ⅱ（前） 2. メディア論Ⅱ（後） 3. Google Apps 活用（予定） 4. 映像編集基礎（ビデオ） 5. 映像編集基礎（動画サイト） 6. 映像編集（編集ソフト基礎） 7. 映像編集（編集ソフト基礎） 8. 映像編集応用 9. 映像編集応用 10. 映像編集 11. 映像編集 12. 映像編集 13. 映像編集 14. 映像編集及び、動画サイトアップ 15. 完成プレゼンテーション（1） 16. 完成プレゼンテーション（2）
	テキスト
	必要に応じてクラウドにて資料、素材データを共有する。
	参考書・参考資料等
	『記憶のゆくたて』武邑光裕著 東京大学出版会 2003
	学生に対する評価
	通年評価：画像処理Ⅰプレゼン 25点、画像処理Ⅱプレゼン 25点、動画プレゼン 50点 ※詳細はガイダンスで説明する。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）作品の完成度、及びプレゼン能力 （良）制作に対する取り組み方、作品の完成度、及びプレゼン能力 （優）作品の総合的なデレクション能力とデザイン力、及びプレゼン能力
	その他
	その他使用予定アプリケーション 【前期】：画像処理ソフト（Photoshop：Illustrator） 【後期】：画像編集ソフト（EDIUS Premiere AfterEffect）

科目名	授業の到達目標及びテーマ
梵字悉曇（別）	到達目標：【前期】梵字悉曇の基礎知識の修得 【後期】梵字悉曇（応用編）・真言、陀羅尼の書法実践 テーマ：【前期】梵字悉曇の基礎知識 【後期】梵字悉曇の応用
	授業の概要
	【前期】摩多・体文・切継など、書法を実践しながら基礎知識を修得する。 【後期】前期で修得した文字を基本に、常用經典にある真言・陀羅尼を学び、その書法を実践する
	授業計画
	【前期】 1. 年間授業計画の説明 2. 梵字悉曇の歴史と筆記用具（1） 3. 梵字悉曇の歴史と筆記用具（2） 4. 5. 6. 7. 8. 9. 文字の修得（1）～（12） 10. （字母五十一字（摩多・体文）） 11. （悉曇十八章（切継について）） 12. 13. 14. 15. 16.
	【後期】 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16.
	文字の修得（13）～（22） 常用經典所載の真言・陀羅尼 塔婆の書様 葬儀に用いる梵字 以上の書法を実践する。
	テキスト
	児玉義隆著『梵字必携』朱鷺書房 「小堀南岳堂」で購入 中川善教 編『真言宗常用諸経要纂』「中本名玉堂」で購入
	参考書・参考資料等
	静慈圓著『梵字悉曇』朱鷺書房
	学生に対する評価
	作品提出 100% 「毎回の授業時に提出する作品」
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）習った「梵字」を書くことが出来る （良）文字の上達はまだであるが「梵字」の基礎は理解している。 （優）真言・陀羅尼についても「文字」との関連を理解し、きれいな梵字を書くことが出来る。
	その他
	筆と半紙を準備（授業の最初に説明します）

科目名	授業の到達目標及びテーマ
常用經典（別）	到達目標：『理趣經』、『梵網經』、礼懺、三陀羅尼、般若心經、立義分、諸真言等が読誦できる様に務めます。 テーマ：真言宗の常用經典の読誦法（お経の読み方）の習得（他）
	授業の概要
	『理趣經』、『観音經』、『梵網經』を中心に、寺院日常の勤行・法要などに用いる諸經典の読誦法を習得し、順次『般若心經』や『立義分』など短い偈文などを暗誦できるように務めます。 『真言宗常用諸經要聚』等の經典に用いられている仏教用語の基礎的理解を助け、經典が深く仏教・密教的世界観が理解しやすくなるようなるべく簡単に用語の概説をおこないます。 また、僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『観音經』、『梵網經』、『金胎礼懺』、『三陀羅尼』、『梵讃』に務めます。
	授業計画
	【前期】 『真言宗常用諸經要聚』に収録される經典や偈文の読誦法を順次教授し、稽古します。また、読誦する經典や偈文の内容（意味）基礎的知識を簡単に概説します。 僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』、『三陀羅尼』、『諸真言』読誦に務めます。 1『開經偈』、2『懺悔文』3『回向文』4『礼文』5『般若心經』、6『立義分』7『観音經』8『梵網經』9『理趣經』10『三陀羅尼』、11『九条錫杖』12『舍利礼』13『梵讃』 14. 15. 16. 読誦の稽古
学期	【後期】 『理趣經』を中心に、前期に学んだ諸經典の読誦の稽古を、引き続き行います。 僧侶志望者の必要性を鑑み、四度加行に用いる『金胎礼懺』、『三陀羅尼』、『諸真言』読誦に務めます。
通年	
単位数	テキスト 中川善教編『真言宗常用諸經要聚』を用います。 その他、資料を配布する。
2	参考書・参考資料等 必要に応じて講義の中で指示します。
学生に対する評価	授業態度（30%）、実技（70%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）『理趣經』が滞りなく読める。 （良）可は当然として、三陀羅尼が読め、梵讃が暗唱できる。 （優）常用經典が全てスラスラ読める。
宮田永明	その他 講義には、念珠と輪契袋、中川善教編『真言宗常用諸經要聚』を持参してください。經典の所持は、出席を認めません。また、伽藍の金堂で開壇される「結縁灌頂」に入壇することを原則として義務付けます。 ICレコーダー等の用意が有れば使用を許可します。なるべく持って来ることを勧めます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
法法式式（別）	到達目標：僧侶としての基礎を学ぶ テーマ：道場莊嚴の基礎
	授業の概要
	真言宗の僧侶として必要な道場莊嚴の基礎知識と道場莊嚴の意識を解説する。
	授業計画
	【前期】 1. 講義内容の説明 2. 道場莊嚴の解説について（1） 3. 道場莊嚴の解説について（2） 4. 道場莊嚴の解説について（3） 5. 道場莊嚴の解説について（4） 6. 道場莊嚴の解説について（5） 7. 道場莊嚴の解説について（6） 8. 道場莊嚴の解説について（7） 9. 道場莊嚴の解説について（8） 10. 道場莊嚴の解説について（9） 11. 道場莊嚴の解説について（10） 12. 六種供養について（1） 13. 六種供養について（2） 14. 道場見学（1） 15. 前期試験
学期	【後期】 1. 講義内容の説明 2. 壇莊嚴の解説（1） 3. 壇莊嚴の解説（2） 4. 壇莊嚴の解説（3） 5. 壇莊嚴の解説（4） 6. 壇莊嚴の解説（5） 7. 壇莊嚴の解説（6） 8. 壇莊嚴の解説（7） 9. 壇莊嚴の解説（8） 10. 壇莊嚴の解説（9） 11. 壇莊嚴の解説（10） 12. 壇莊嚴の解説（11） 13. 壇莊嚴の解説（12） 14. 壇莊嚴の解説（13） 15. 後期試験
通年	
単位数	テキスト 『真言宗の事作法』 教務課にて購入の事 大山公淳著『真言宗法儀解説』書店で購入の事 その他参考資料をコピーして配布します
2	参考書・参考資料等
学生に対する評価	定期試験（80%） 授業参加の積極性（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）道場莊嚴・壇莊嚴に関する基本用語の理解が出来ている。 （良）道場莊嚴・壇莊嚴の様式について理解が出来ている。 （優）道場莊嚴・壇莊嚴の基礎を理解した上で、説明することが出来る。
内海周浩	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
声声明明（別）	到達目標：法要の基本となる「理趣三昧法会」で使われる声明を研鑽する テーマ：僧侶として必ず必要な声明を基礎から学ぼう
	授業の概要
	日本音楽の基礎となった仏教音楽の「声明」。我々が法要などで用いる「南山進流」声明を基礎（楽理を含む）の導入部分から学ぶ。
	授業計画
	【前期】 1. 声明の楽譜、音階、唱え方（旋律型）の解説 及びオリエンテーション 2. 三礼 3. 四智梵語（1） 4. 四智梵語（2） 5. 大日讃（1） 6. 大日讃（2） 7. 不動讃 8. 四智漢語（1） 9. 四智漢語（2） 10. 心略漢語（1） 11. 心略漢語（2） 12. 仏讃（1） 13. 仏讃（2） 14. 散華（初段目）（1） 15. 前期テスト 16. 散華（初段目）（2）
学期	【後期】 1. 散華（二段目）（1） 2. 散華（二段目）（2） 3. 散華（二段目）（3） 4. 散華（三段目）（1） 5. 散華（三段目）（2） 6. 対揚（1） 7. 対揚（2） 8. 対揚（3） 9. 対揚（4） 10. 唱礼（金剛界）（1） 11. 唱礼（2） 12. 唱礼（3） 13. 唱礼（4） 14. 唱礼（5） 15. 後期テスト 16. 理趣經（中曲）
通年	
単位数	テキスト 宮野有智編『南山進流声明類聚・附伽陀』を松本日進堂にて事前購入しておくこと。 （注、必ず同一内容の声明類聚で、できるだけ新しく購入した本を準備する事）
2	参考書・参考資料等 小山公淳著『真言宗法儀解説』
学生に対する評価	前期・後期の小テスト（50%） 期末試験（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）南山進流声明の習熟度は不十分だが、複数の人と一緒に唱える事が出来る。 （良）南山進流声明を概ね理解し、複数の人と一緒に唱える事が出来る。 （優）南山進流声明の理論・唱え方を理解し、一人でも唱える事が出来る。
辻秀道	その他 筆記用具は鉛筆（シャープペンシル）等、後で修正出来る筆記用具を必ず持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
布布教教（別）	到達目標：布教原理の学習と実習を通して伝道の重要性を認識し、真言法語を語れるようにする。 テーマ：空海の名言を語る
	授業の概要
	本講義は布教初心者の科目である。布教の知識と方法を学び、空海名言に基づいた法話づくりの授業である。
	授業計画
	【前期】 1. 布教の原理 2. 世界宗教者サミット 3. 宗教と科学 4. 釈尊成道と初転法輪 5. 説法の方法 6. 弘法大師胎動 7. 弘法大師入唐の準備 8. 入唐の風景 9. 師資相承 10. 密教伝来 11. 真言密教の宣布 12. 即身成仏 13. 供養と信仰 14. 遍路・巡礼 15. 原稿の書き方① 16. 原稿の書き方②
学期	【後期】 1. 威儀・態度・発声（実習） 2. 駐在布教の見学 3. 提出レポートの感想 4. 話題のまとめ方（実習） 5. 三分法話（実習） 6. 布教の心得 7. 発表布教① 8. 発表布教② 9. 発表布教③ 10. 発表布教④ 11. 発表布教⑤と再発表 12. 発表布教⑥と再発表 13. 発表の所感 14. 般若心經の法話① 15. 般若心經の法話② 16. 講義の総括
通年	
単位数	テキスト 近藤堯寛著『空海名言辞典』高野山出版社／配布プリント
2	参考書・参考資料等 寺河俊海著『現代布教の理論と実際』高野山出版社／近藤堯寛著『弘法大師を歩く』宝島社／川喜田二郎著『続・発想法』中公新書 210
学生に対する評価	授業中の質疑応答 20%・文書レポート 30%・発表布教 50%で評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本用語が読み書きできて、意味も理解できる。 （良）空海名言一句について、資料を見ながら説明できる。 （優）空海名言の法話を創作して、それを人々に語って共感させることができる。
近藤堯寛	この授業の特徴 現代布教とは、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなどの情報を利用することである。集めた資料は、推敲とヒラメキと直感によって個性的な内容に凝縮され書き方を話し方とは必ず異なる。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：ネパール仏教の特質を探りながら、東洋人の宗教観を理解する テーマ：ネパールの仏教を学ぶ
世界宗教Ⅰ 世界の宗教 1 (別)	授業の概要 ネパールのカトマンドゥ盆地では、仏教とヒンドゥー教が混在して信仰され、独特の宗教形態を形成しています。この講義では、その実態を紹介しながら、チベット仏教などと比較しつつ、ネパールの仏教（ネパール仏教）の特質を明らかにします。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. ネパールはどんな国か？ 3. インドの仏教史概観 4. チベットの仏教史概観 5. ネパールの仏教史① 6. ネパールの仏教史② 7. カトマンドゥ盆地の仏教寺院① 8. カトマンドゥ盆地の仏教寺院② 9. ネパールの仏教聖地 10. ネパール仏教の儀礼と行事① 11. ネパール仏教の儀礼と行事② 12. ネパール仏教の尊格と美術① 13. ネパール仏教の尊格と美術② 14. ヒンドゥーの神々 15. ネパールに残る仏教文献資料 16. まとめ
前期	テキスト 田中公明・吉崎一美『ネパール仏教』（春秋社） ※ 入手困難な場合、コピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 立川武蔵『インド・ネパール 聖なるものへの旅』（人文書院） 日本ネパール協会編『ネパールを知るための60章』（日本ネパール協会） など
2	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）ネパール仏教の特徴を、他の国に伝播した仏教と比較しながら説明できる。 （良）ネパール仏教の特徴と、カトマンズ盆地における仏教の現状について説明できる。 （優）ネパール仏教の教義を中心に、カトマンズ盆地の文化史を説明できる。
川崎一洋	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：さまざまな宗教の死生観を理解する。 テーマ：死後の世界を考える
世界宗教Ⅱ 世界の宗教 2 (別)	授業の概要 この講義で教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』は、高野山・蓮華定院の住職である添田隆昭師が、弘法大師の入定信仰を出発点として、「死後の世界」について調査、思索された記録です。講義では、『大師はいまだおわしますか』を読みながら、西洋人、東洋人、そして日本人の死生観を考えます。仏教者（仏教の僧侶）がお葬式に臨む姿勢、葬儀の意義についても考えます。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 弘法大師の霊験譚 3. 弘法大師の入定信仰 4. 西洋人の臨死体験 5. 東洋人の臨死体験 6. 閻魔王（ヤマ）について 7. 輪廻転生説のゆくえ 8. 中国で成立した『盂蘭盆経』 9. 日本人の「あの世」① 10. 日本人の「あの世」② 11. 日本人の「あの世」③ 12. 日本人にとって仏教とは① 13. 日本人にとって仏教とは② 14. 葬式仏教を考える 15. 死者の行方 16. まとめ
後期	テキスト 添田隆昭『大師はいまだおわしますか』（高野山出版社） ※ 入手困難な場合、コピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 梶山雄一『「さとり」と「廻向」』（人文書院） 同『輪廻の思想』（人文書院） など
2	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）インド、中国、日本、それぞれにおいて考えられた死後の世界について説明できる。 （良）日本の仏教が伝える死後の世界について、インド、中国、日本の伝統的な死生観を参照しながら説明できる。 （優）日本人の死生観について理解し、現代社会におけるその問題点について意見を述べるができる。
川崎一洋	その他 教科書に使用する『大師はいまだおわしますか』では、洋の東西を問わず、たくさんの文献や書籍が参照されていますので、できるだけそれらに目を通すようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：インド後期密教のさまざまな聖典の概要を把握し、その成立の基盤にあるインドの思想を学ぶ。 テーマ：インド後期密教入門
宗教史Ⅰ 宗教の歴史 1 (別)	授業の概要 弘法大師によって日本に伝えられた『大日経』と『金剛頂経』を中心とする中期密教は、その後（8世紀以降）のインドにおいて後期密教へと展開し、タントラと呼ばれる数多くの聖典が誕生しました。この講義では、代表的な後期密教の聖典を紹介しながら、それらの聖典の成立の過程や基盤となった思想を考察します。
学期	授業計画 1. オリエンテーション（インド密教史概観） 2. 『大日経』と『真実摂経』① 3. 『大日経』と『真実摂経』② 4. 『金剛頂経』の展開（瑜伽タントラに属する聖典） 5. 『秘密集会タントラ』① 6. 『秘密集会タントラ』② 7. その他の父タントラ系聖典 8. 『理趣経』と『サマーヨーガ・タントラ』 9. 『ヘーヴァジュラ・タントラ』 10. 『チャクラサンヴァラ』系のタントラ① 11. 『チャクラサンヴァラ』系のタントラ 12. 『チャトゥシュピータ・タントラ』 13. 『カーラチャクラ・タントラ』 14. その他の母タントラ系聖典 15. インド後期密教に属するその他の文献 16. 現在の後期密教研究の状況と今後の展望
前期	テキスト なし（プリントを配布）
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶編『インド後期密教』[上]、同[下]（春秋社） 立川武蔵・頼富本宏編『インド密教（シリーズ密教1）』（春秋社） 田中公明『性と死の密教』（春秋社） など
2	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）インドの初期密教、中期密教と比較しながら、後期密教の特徴を説明できる。 （良）後期密教に属する個々の密教聖典の特徴を説明できる。 （優）種々の密教聖典の特徴を指摘しながら、インドにおける密教の発展史を説明できる。
川崎一洋	その他 インド密教史（密教史概説Ⅰ）の講義をすでに受講していることが望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：四国遍路の歴史を学ぶことにより、宗教における巡礼の目的や意義を理解する。 テーマ：四国遍路の歴史を学ぶ
宗教史Ⅱ 宗教の歴史 2 (別)	授業の概要 この講義では、弘法大師によって開かれたといわれる霊場を巡る四国遍路の歴史や、四国の各地に残る弘法大師の伝説を、江戸時代出版された各種の霊場記などを読みながら学び、宗教と巡礼の関係を探ります。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 四国遍路とは 3. 四国遍路の起源 4. 補陀落信仰と四国霊場 5. 熊野信仰と四国霊場 6. 四国八十八ヶ所霊場の成立過程① 7. 四国八十八ヶ所霊場の成立過程② 8. 四国霊場の確立①（澄禅の記録） 9. 四国霊場の確立②（真念の業績1） 10. 四国霊場の確立③（真念の業績2） 11. 四国に残る弘法大師の霊跡 12. 四国遍路の習俗 13. 近世から近代にかけての四国遍路 14. 現代の四国遍路 15. 四国霊場巡拝の作法 16. まとめ
後期	テキスト 頼富本宏『四国遍路とはなにか』（角川選書）
単位数	参考書・参考資料等 浅井証善『はじめての「四国遍路 88ヶ所めぐり」入門』（セルバ出版） 四国遍路と世界の巡礼研究会編『四国遍路と世界の巡礼』（法蔵館） 川崎一洋『弘法大師空海と出会う』（岩波新書） など
2	学生に対する評価 数回の課題レポート、学期末のレポートにより評価
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）四国遍路に関する基本用語を説明できる。 （良）四国遍路（八十八ヶ所巡礼）の成立過程を、古代から現代までの時代の順に沿って説明できる。 （優）四国霊場の成立過程と現状を把握し、宗教における巡礼の意義を説明できる。
川崎一洋	その他 一部分でもよいので、実際に四国遍路の旅を経験されることをおすすめします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：合理的思考法を学ぶ テーマ：政治哲学入門																		
哲学方法論 (別)	授業の概要 現代の政治哲学の基礎的理論と、いくつかの基本テーマを学びます。																		
	授業計画 1. 政治哲学とは？ 2. 功利主義とは？① 3. 功利主義とは？② 4. 自由主義とは？① 5. 自由主義とは？② 6. 義務論とは？ 7. コミュニタリアニズムとは？① 8. コミュニタリアニズムとは？② 9. 平等主義の問題点 10. 多文化主義の問題点 11. 宗教的多元主義の問題点 12. 民族主義の問題点 13. 市民社会とは？① 14. 市民社会とは？② 15. プラグマティズムとは？ 16. テストと総括																		
学期																			
後期	テキスト 小川仁志『はじめての政治哲学』（講談社現代新書）																		
	参考書・参考資料等																		
単位数	学生に対する評価 期末テスト 65 点、小テスト 20 点、授業参加への積極性 15 点																		
2	ルーブリック（目標に準拠した評価）																		
担当者	<table><tr><td></td><td>論理的思考力</td><td>問題発見力</td><td>作文力</td></tr><tr><td>可</td><td>講義の内容を理解できる</td><td>それぞれのテーマを理解できる</td><td>自分の考えを正確な日本語で表現できる。</td></tr><tr><td>良</td><td>講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。</td><td>自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。</td></tr><tr><td>優</td><td>講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる</td><td>自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。</td></tr></table>				論理的思考力	問題発見力	作文力	可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。	良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。	優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。
	論理的思考力	問題発見力	作文力																
可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。																
良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。																
優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。																
山脇雅夫	その他 提供された資料を読み解くことで、論理的思考力を高めてください。																		

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教の働きを学ぶことを通して、宗教学の視座と研究手法を理解すること。 テーマ：宗教学研究法を学ぶ
宗教学方法論	授業の概要 指定テキストのトピックスにもとづいて講義する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 宗教学とは？ 2. 生と死の意味 3. 生命の循環と継承 4. 救いと癒しの現場 5. 政治と宗教の相克 6. 現代社会における宗教 7. 宗教における実践 8. 宗教における言葉 9. 宗教における世界像 10. 宗教における本質と規範 11. 諸宗教の見取り図 12. 心理、社会、思想と宗教 13. 新しい問いと宗教学 14. 宗教学の実践 15. 筆記試験 16. まとめ
後期	テキスト 島蘭進 編『宗教学キーワード』（有斐閣、2006 年）1,900 円（税別） （小堀書店で購入すること）
単位数	参考書・参考資料等 ①脇本平也 『宗教学入門』（講談社学術文庫） ②岡田典夫 他編『はじめて学ぶ宗教』（有斐閣）など
2	学生に対する評価 期末の筆記試験（70%）、小テスト（30%）によって評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）宗教学の基本用語を覚えている （良）宗教学の基本用語について、テキストを見ながら説明できる （優）宗教学の基本用語について、テキストを含む複数の参考書を見ながら自分の言葉で説明できる
乾龍仁	その他 毎回、指定テキストや参考文献に目を通して授業に出席することが基本的条件です。 授業ではノートを取り、整理をしておいて下さい。毎回休まずに出席すること。 担当者のメールアドレスは fujita@koyasan-u.ac.jp ですから、質問等があれば遠慮無くこれを利用して下さい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学（上代・中古文学）の生成基盤と特徴を理解する。 テーマ：日本文学の魅力
日本文学概論Ⅰ	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその生成基盤を理解し、その特徴について考えてみる。前期は上代・中古文学を取り上げる。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 文学のかたち 3. 文学と思想 4. 文学と四季 5. 文学と地理 6. 万葉集の世界 7. 王朝和歌の世界 8. 紀貫之 9. 清少納言と紫式部 10. 源氏物語の誕生 11. 「あはれ」と「をかし」 12. 日記文学の誕生 13. 後宮記録と女房たち 14. 平安後期物語の世界 15. 歴史物語と説話集 16. まとめ、院政期の文学
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 数研出版『クリアカラー国語便覧』 学燈社『古典文学基礎知識必携』
2	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）上代・中古文学の作品を覚えている。 （良）他文献を参考にしながら上代・中古文学の特徴を述べることができる。 （優）上代・中古文学の生成基盤と特徴を理解している。
浜畑圭吾	その他 私語厳禁。わからなければならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学（中世・近世文学）の生成基盤と特徴を理解する。 テーマ：日本文学の魅力
日本文学概論Ⅱ	授業の概要 日本文学とはどのようなものか。具体的な作品に触れながらその生成基盤を理解し、その特徴について考えてみる。後期は中世・近世文学を取り上げる。
学期	授業計画 1. 中世の歌壇と歌論 2. 中世和歌の世界 3. 「幽玄」 4. 史論と歴史物語 5. 軍記物語と説話 6. 「無常」 7. 兼好と頓阿 8. 文学の継承 9. 中世の芸能 10. キリシタン文学と宣教師 11. 町人の文学 12. 江戸の詩歌 13. 松尾芭蕉 14. 近世の芸能 15. 国学 16. まとめ
後期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 数研出版『クリアカラー国語便覧』 学燈社『古典文学基礎知識必携』
2	学生に対する評価 毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）中世・近世文学の作品を覚えている。 （良）他文献を参考にしながら中世・近世文学の特徴を述べることができる。 （優）中世・近世文学の生成基盤と特徴を理解している。
浜畑圭吾	その他 私語厳禁。わからなければならないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、古代から中世までの文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特徴を理解する。 テーマ：日本文学史概観
日本文学史概説Ⅰ	授業の概要 上代（奈良時代）から中古（平安時代）、さらに中世（鎌倉時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。
学期	授業計画 1. この講義の目的・目標について 2. 上代文学の概観、古事記と日本書紀 3. 万葉集について 4. 中古文学の概観、勅撰集について、古今集について 5. 竹取物語、伊勢物語など 6. 枕草子、源氏物語前後 7. 日記文学について 土佐日記・蜻蛉日記など 8. 説話文学 日本霊異記・今昔物語集など 9. 歴史物語、中世文学の概観 10. 新古今集とそれ以後の和歌集 11. 連歌の発生とその展開 12. 日記・紀行・能狂言について 13. 随筆文学について 14. 軍記物語について 平家物語など 15. 説話文学について 16. 確認テスト
前期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 1、日本文学全史（至文堂） 2、日本古典文学史（双文社）
2	学生に対する評価 定期試験（50%）と小テスト（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日本文学史の基礎的な知識だけのもの （良）その時代の背景にまで言及しているもの （優）日本文学史全体の中での位置づけにまで言及しているもの
下西忠	その他 とくに受講生の制限はしないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本の文学のなかで、中世後期文学（室町時代）ら明治時代まで文学の歴史を学ぶとともに、その時代の日本文学の特徴を理解する テーマ：中世後期文学（室町時代）と近代文学（明治時代）までの日本文学史を概説する。文学史の知識だけではなく、可能な限り作品の一部でもとりあげてその作品を鑑賞したい。作品の成立背景なども注意しながらその作品の文芸的価値を考えてみたい。
日本文学史概説Ⅱ	授業計画 1. 勅撰集の終焉とその時代の和歌 2. 御伽草子の世界 3. 近世（江戸時代）文学の概観、江戸時代の和歌 4. 貞門俳諧と談林俳諧 5. 芭蕉の世界 6. 与謝蕪村・小林一茶、狂歌と川柳 7. 仮名草子、浮世草子など 8. 近松門左衛門の世界 9. 読本（上田秋成の世界）、洒落本・人情本など 10. 明治初期の文学と文学改良運動 11. 浪漫古典主義文学 12. 自然主義文学の位置づけと前期自然主義文学 13. 後期自然主義文学 14. 与謝野晶子の世界 15. 総括 文学史の意義 16. 確認テスト
学期	テキスト 教員が作成した教材を配布する。
後期	参考書・参考資料等 1、日文学入門（小峰書店） 2、日本文学全史（至文堂）
単位数	学生に対する評価 定期試験（50%）と小テスト（50%）
2	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日本文学史の基礎的な知識だけのもの （良）その時代の背景にまで言及しているもの （優）日本文学史全体の中での位置づけにまで言及しているもの
担当者	その他 前期と同様、受講生についての制限はないが、国語の教育免許状を取得したい者は必ず受講すること。
下西忠	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文で書かれた散文作品を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：漢文の散文を読む。
漢文学概論Ⅰ	授業の概要 志怪・伝奇小説の流れを汲む『聊斎志異』を読む。和訳を参照しながら、漢文を訓読する訓練をする。小テストを毎回実施する。
漢文学概論Ⅱ	授業計画 1. ガイダンス 2. 「呉令」（1） 3. 「呉令」（2） 4. 「呉令」（3） 5. 「呉令」（4） 6. 「呉令」（5） 7. 「呉令」（6） 8. 「呉令」（7） 9. 「口技」（1） 10. 「口技」（2） 11. 「口技」（3） 12. 「口技」（4） 13. 「口技」（5） 14. 「口技」（6） 15. 「口技」（7） 16. 期末試験（実施しない）
学期	テキスト コピーを配布する。
前期	参考書・参考資料等 携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。
単位数	学生に対する評価 毎回の小テストは、回数に応じて1：2：3……と、徐々に配分を高くする。小テストの合計を100点満点に換算したものと、期末試験とで、得点の高い方を評点とする。
2	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）調点を的確に扱うことができる。 （良）国語教員として必要最低限の漢文法・国文法を修得している。 （優）漢文法・国文法の用法を、文章に即して説明できる。
担当者	その他 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。
南昌宏	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢詩を読み、国語教員としての能力を身に付けることを目標とする。 テーマ：『唐詩選』を読む。
漢文学概論Ⅱ	授業の概要 『唐詩選』の作品から、近体詩の特徴を知る。注釈を読むことにより、訓読・詩解・鑑賞の訓練をする。小テストを毎回実施する。
漢文学概論Ⅰ	授業計画 1. ガイダンス 2. 「酬郭給事」（1） 3. 「酬郭給事」（2） 4. 「酬郭給事」（3） 5. 「酬郭給事」（4） 6. 「酬郭給事」（5） 7. 「酬郭給事」（6） 8. 「酬郭給事」（7） 9. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（1） 10. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（2） 11. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（3） 12. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（4） 13. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（5） 14. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（6） 15. 「過乗如禪師蕭居士崇丘蘭若」（7） 16. 期末試験
学期	テキスト コピーを配布する。
後期	参考書・参考資料等 携帯用の漢和辞典として『新字源』（角川書店）、あるいは『漢語林』（大修館書店）を使用するのが望ましい。その他、『大漢和辞典』など。
単位数	学生に対する評価 毎回の小テストは、回数に応じて1：2：3……と、徐々に配分を高くする。小テストの合計を100点満点に換算したものと、期末試験とで、得点の高い方を評点とする。
2	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）漢詩の基本事項を修得している。 （良）国語教員として必要最低限の漢文法・国文法を修得している。 （優）漢文法・国文法の用法を、文章に即して説明できる。
担当者	その他 授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。
南昌宏	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：物語（小説）テキストの生成の機構について理解を深める テーマ：物語（小説）構造と物語（小説）テキスト
国語学講義Ⅰ	授業の概要 これまでの物語構造の研究を踏まえて我々自身の物語構造を設定し、それに基づいて語りとしての小説テキスト生成の機構を導き出す。そして、その機構に沿って物語（小説）テキストの語りの型を分類し、また、その機構に沿っていくつかの作品を分析、そこから日本語小説テキストに見られる特性を抽出する。
学期	授業計画 1. 物語テキストと日常会話テキスト 2. これまでの物語構造モデル研究（1） 3. これまでの物語構造モデル研究（2） 4. 志賀直哉、『小僧の神様』／芥川龍之介、『羅生門』の構造分析 5. 村上春樹、『風の歌を聴け』／ドラマ『古畑任三郎』の構造分析 6. 『和泉式部日記』における物語性 7. 語りとしての物語（小説）テキストの生成機構 8. 語りとしての物語（小説）テキストの分類 9. 藤沢周平作品テキストに見られる日本語小説の特性 10. 北原亞以子作品テキストに見られる日本語小説の特性 11. 宮部みゆき作品テキストに見られる日本語小説の特性 12. 接続構文とは 13. 日本語小説における時制 14. 日本語小説における自由間接テキスト 15. まとめ 16. 試験
前期	テキスト なし。都度、プリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 ジェラルド・プリンス『物語論辞典』（松柏社）、石原千秋他『読むための理論』（世織書房）、山岡實『語り』の記号論』（松柏社） 他は授業中に紹介。
2	学生に対する評価 期中でのテキスト分析課題（40%）、および、期末のレポート（60%）による。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）従来の語り論の理解。 （良）小説における世界構造と小説テキストの産出機構の理解。 （優）小説テキストの産出機構を用いた小説作品のテキスト分析。
上田恭寿	その他 授業の都合により、一部の変更があり得る。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本語小説テキストの特質、およびその背景としての日本文化について理解を深める テーマ：日本語小説の特質
国語学講義Ⅱ	授業の概要 日本語の物語（小説）テキストに見られる特質と日本語や他の文学ジャンル、建築や絵画等、日本文化に見られる特質との共通点を抽出、そこから日本語の小説、日本文化の特質について考察する。
学期	授業計画 1. 日本語の物語（小説）テキストの特質 2. 日本語の特質 3. 日本文学の他のジャンルに見られる特質 4. 日本の建築、庭園、都市づくりに見られる特質 5. 日本の身体表現、音楽、絵画に見られる文化的特質 6. 「共通感覚」（中村雄二郎） 7. 俳句における共通感覚の表現 8. 藤沢周平作品における共通感覚の表現 9. 「共通感覚」と「純粹体験」（西田幾多郎） 10. 「こと」と「もの」と「ことば」 11. 日本文化における自己中心的志向性と時間、空間認識様式 12. 声の文化と文字の文化 13. 日本文学、日本文化における声の文化の特質 14. 明治期以後の日本語の言文一致体 15. まとめ 16. 試験
後期	テキスト なし。都度、プリントを配布。
単位数	参考書・参考資料等 藤井貞和『物語論講義』（東京大学出版会）、加藤周一『日本文化における時間と空間』（岩波出版）、木村敏『時間と自己』（中公新書）、オング『声の文化と文字の文化』（藤原書店） 他は授業中に紹介。
2	学生に対する評価 期中でのテキスト制作の課題（40%）、および、期末のレポート（60%）による。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）日本文化の特質に関する議論の理解と批判。 （良）自身で選んだ分野に見られる日本の文化の現象を通しての日本文化の特質の考察。 （優）日本文化の特質の背景について考察。
上田恭寿	その他 授業の進行の都合により一部の変更があり得る。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地蔵説話の構成や表現を理解する テーマ：地蔵説話の世界
日本文化特殊講義A	授業の概要 地蔵菩薩は私たちに身近な存在である。辻や墓地でその姿を見るだけでなく、「かさじぞう」などの童話でも親しまれている。そうした地蔵菩薩が古典文学作品の中でどのように描かれているのか、いくつかの作品をとりあげて考えてみたい。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 地蔵信仰概観 3. 宇治拾遺物語① 4. 宇治拾遺物語② 5. 沙石集① 6. 沙石集② 7. 沙石集③ 8. 沙石集④ 9. 太平記 10. 壬生寺縁起とその周辺 11. 聖財集 12. 『源平盛衰記』① 13. 『源平盛衰記』② 14. 『源平盛衰記』③ 15. 近世地誌類と六地藏信仰 16. まとめ
後期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 速水侑『地蔵信仰』（はなわ新書49） その他は講義中に適宜紹介する。
2	学生に対する評価 レポート（50%）、リアクションペーパーと受講態度（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）地蔵信仰の基本的な事柄を理解している （良）地蔵説話の構成や表現を理解している （優）それぞれの地蔵説話の特徴を述べることができる
浜畑圭吾	その他 講義形式であるが、リアクションペーパーを使って、積極的に講義に参加して欲しい。私語厳禁。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：鎌倉後期の政治史を、真言密教との関係から捉え直す。 中世における院・天皇の宗教的側面を通して、天皇制の歴史的展開を考える。 テーマ：「鎌倉後期の王権と真言密教」
日本文化特殊講義B	授業の概要 本講義では、鎌倉後期の王権について政治史と仏教史の両面から考察する。とくに、近年の研究成果を踏まえつつ、後宇多院・後醍醐天皇について担当者の最新の知見を紹介していきたい。
学期	授業計画 1. 網野善彦「異形の王権」をめぐって（1） 2. 網野善彦「異形の王権」をめぐって（2） 3. 鎌倉後期の政局（1）－両統分立と鎌倉幕府－ 4. 鎌倉後期の政局（2）－両統の対立と「一代の主」－ 5. 鎌倉後期の政局（3）－後醍醐天皇の登場と鎌倉幕府滅亡－ 6. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（1） 7. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（2） 8. 鎌倉後期・建武政権期の大覚寺統と大覚寺門跡（3） 9. 後醍醐天皇の寺社重宝蒐集（1） 10. 後醍醐天皇の寺社重宝蒐集（2） 11. 後醍醐天皇の如意宝珠造作（1） 12. 後醍醐天皇の如意宝珠造作（2） 13. 鎌倉後期宮廷の密教儀礼と王家重宝（1） 14. 鎌倉後期宮廷の密教儀礼と王家重宝（2） 15. 期末試験 16. 試験解説 ※ 内容は進度によって変わる場合がある。
後期	テキスト プリントを配布し、これにもとづいて講義を進める
単位数	参考書・参考資料等 網野善彦「異形の王権」 （『網野善彦著作集 6 転換期としての鎌倉末・南北朝期』岩波書店、2007 年） 『網野善彦著作集 5 蒙古襲来』（岩波書店、2008 年） 村井章介編『日本の時代史 10 南北朝の動乱』（吉川弘文館、2003 年） 阿部泰郎『宝珠と王権』 （長尾雅人ほか編『岩波講座 東洋思想 16 日本思想 2』岩波書店、1989 年）
2	学生に対する評価 期末試験（100%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）鎌倉後期に関する基礎的事項を理解している。 （良）鎌倉後期の王権と真言密教について、講義の内容を踏まえて説明できる。 （優）鎌倉後期の王権と真言密教について、講義の内容や自分の調査成果を踏まえて論ずることができる。
坂口太郎	その他 講義中の私語や、スマートホンの使用は慎むこと（これを守らない学生には厳然と注意を与える）。 本講義は、日本史に関する基礎的知識を習得していることを前提として進めるので、受講者は注意すること（できれば、企画科目の「歴史学Ⅰ・Ⅱ」などを履修していることが望ましい）。また、参考書や講義で紹介する論者を読むこと。 熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国語文化特殊講義 A	到達目標： 1. 古代文字の基礎知識を修得し、その内容（漢文）の読解力を向上させる。 2. 東洋文化の根幹である漢字に興味を持ち、中国文化へ目を向ける第一歩とすることを到達目標とする。 3. 『説文』の研究を基に、漢字の正・俗を理解する。 テ ー マ：許慎『説文解字』とその背景及びその講読と篆書体の基礎的知識の修得。
	授業の概要
	〔漢〕許慎『説文解字』は文字を系統的に分析し、字源の考察をした最古の文字学の専門書である。特に許慎『説文解字』とその背景、またその部首の基礎的知識の修得。
	授業計画
	1. オリエンテーション・漢字の変遷と『説文解字』前世 2. 『説文解字』の背景とその関連書① 3. 『説文解字』の背景とその関連書② 4. 部首と重文について 5. 『六書』について① 6. 『六書』について② 7. 説文部首 第一巻の部目を読む① 8. 説文部首 第一巻の部目を読む② 9. 説文部首 第一巻の部目を読む③ 10. 説文部首 第一巻の部目を読む④ 11. 説文部首 第一巻の部目を読む⑤ 12. 説文部首 第二巻の部目を読む① 13. 説文部首 第二巻の部目を読む② 14. 説文部首 第二巻の部目を読む③ 15. 研究発表 16. テスト
学期	テキスト
	・〔漢〕許慎『説文解字』中華書局または江蘇古籍出版社（希望者がいれば、まとめて購入する。）
前期	参考書・参考資料等
	・『字通』（平凡社） ・『漢字学』（東海大学出版会） ・『王福庵説文部首目』（西泠印社） ・『説文新義』（平凡社） ・『訓読説文解字注』（東海大学出版会） ・その他必要に応じてプリントを配る。
単位数	学生に対する評価
	・基本的に期末テスト（60%）＋それぞれの発表及び提出物（40%）での評価をする。（素点） ・毎回の発表を10点満点で計算する。 ・授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格とする。 ・欠席（各－3点）及び遅刻、早退（各－1点）を素点から引く計算で成績をつける。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）『説文解字』により、古代文字で表現することができる。 （良）『説文』資料をもって調査し、原文の内容を解釈し、発表できる。 （優）『説文』資料をもって調査し、自分の研究とこれまでの見識の違いを発表できる。
野田 悟	その他
	・『六書』及び本文の内容に入ったら、毎回個々に課題が課され、次週に発表をして頂く形式とする。 ・受講者の人数等により、進度が大きく変わることが予想される。 ・『新漢語源』（角川書店）『新撰漢和辞典』（小学館）『全訳漢語海』（三省堂）、『漢字源』（学研）、『漢語林』、『漢語新辞典』（大修館）のうち、どれか一冊を必ず持参すること。版は問わないが、できるだけ新しいものがよい。（電子辞典を持してもかまわないが、必ず紙媒体の辞典も持参すること）。 ・二度目の受講生がいる場合、第二巻以降から始める場合有り。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国語文化特殊講義 B	到達目標：漢籍を読むために必要な語彙・知識を修得し、専門的な論文や研究書などを読むための基礎力を養うことを到達目標とする。 テ ー マ：『新釈漢文大系』を読む。
	授業の概要
	『新釈漢文大系』の中から、受講生個々の興味に応じてテキストを決める。授業に際しては、語釈の解説を中心とした資料を作成し、受講生相互の質疑に応じてもらう。
	授業計画
	1. ガイダンス 2. 『論語』の読解 3. 『大学』の読解 4. 『中庸』の読解 5. 『小学』の読解 6. 『孟子』の読解 7. 『荀子』の読解 8. 『老子』の読解 9. 『莊子』の読解 10. 『古文真宝』の読解 11. 『韓非子』の読解 12. 『伝習録』の読解 13. 『文選』の読解 14. 『文章軌範』の読解 15. 『孫子』の読解 16. 期末試験
学期	テキスト
	『新釈漢文大系』のコピーを配布する。
後期	参考書・参考資料等
	『大漢和辞典』『アジア歴史事典』『中国学芸大事典』など。
単位数	学生に対する評価
	発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算。授業中に発言しなかった者は欠席とする。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）難解な言葉を調べ、理解できる。 （良）特殊な用語を調べつつ、専門書を読める。 （優）専門的な注釈書を読みこなすことができる。
南 昌 宏	その他
	授業計画に挙げた文献は一例である。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
日本文化講読演習 A	到達目標：『建礼門院右京大夫集』を読み、その魅力について考える。 また、和歌の基礎知識なども身につける。 テ ー マ：『建礼門院右京大夫集』の魅力
	授業の概要
	建礼門院に仕えた右京大夫がその晩年編纂した『建礼門院右京大夫集』を読む。詞書と和歌の繋がり、和歌の配列などから、同集の魅力について考える。また、右京大夫を通して平家文化圏を考える。
	授業計画
	1. ガイダンス 2. 建礼門院右京大夫を取り巻く環境 3. 『建礼門院右京大夫集』読解① 4. 『建礼門院右京大夫集』読解② 5. 『建礼門院右京大夫集』読解③ 6. 『建礼門院右京大夫集』読解④ 7. 『建礼門院右京大夫集』読解⑤ 8. 『建礼門院右京大夫集』読解⑥ 9. 『建礼門院右京大夫集』読解⑦ 10. 『建礼門院右京大夫集』読解⑧ 11. 『建礼門院右京大夫集』読解⑨ 12. 『建礼門院右京大夫集』読解⑩ 13. 『建礼門院右京大夫集』読解⑪ 14. 『建礼門院右京大夫集』読解⑫ 15. 『建礼門院右京大夫集』読解⑬ 16. まとめ
学期	テキスト
	教員が用意する。
前期	参考書・参考資料等
	松本寧次『追憶に生きる 建礼門院右京大夫』（新典社）
単位数	学生に対する評価
	毎回のリアクションペーパー（50%）、レポート（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）和歌の基礎的な知識を習得している。 （良）右京大夫の和歌の魅力について、意見を述べるができる。 （優）『建礼門院右京大夫集』の魅力について、意見を述べるができる。
浜畑 圭 吾	その他
	私語厳禁。わからないことがあればリアクションペーパーを活用して欲しい。積極的な姿勢を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
日本文化講読演習 B	到達目標：慈円の歴史思想・宗教思想に触れるとともに、中世前期の政治史を学ぶ。 テ ー マ：「慈円『愚管抄』とその周辺」
	授業の概要
	天台座主慈円の『愚管抄』は、日本中世を代表する歴史書である。この演習では、『愚管抄』巻第5や『慈円願文』の読解を通して、慈円の歴史思想・宗教思想について探求するとともに、院政期から鎌倉期に至る政治史についても学ぶ。 また、従来の『愚管抄』のテキストには問題点が少なくないことから、新たな本文校訂を行う。学生諸君には、校訂作業を通して古典籍の文献学的な研究法を修得してもらう。
	授業計画
	1. 慈円の生涯① 2. 慈円の生涯② 3. 『愚管抄』の歴史思想 4. 『愚管抄』巻第5を読む① 5. 『愚管抄』巻第5を読む② 6. 『愚管抄』巻第5を読む③ 7. 『愚管抄』巻第5を読む④ 8. 『愚管抄』巻第5を読む⑤ 9. 『愚管抄』巻第5を読む⑥ 10. 『慈円願文』を読む① 11. 『慈円願文』を読む② 12. 『慈円願文』を読む③ 13. 『慈円願文』を読む④ 14. 『慈円願文』を読む⑤ 15. 『慈円願文』を読む⑥ 16. まとめ ※ 内容は進度によって変わる場合がある。
学期	テキスト
	プリントを配布する。
前期	参考書・参考資料等
	関見正雄・赤松俊秀校注『日本古典文学大系 86 愚管抄』（岩波書店、1967 年） 中島悦次『愚管抄全注』（有精堂出版、1969 年） 大隅和雄『愚管抄を読む』（講談社学術文庫、1999 年） 大隅和雄『愚管抄 全現代語訳』（講談社学術文庫、2012 年） 多賀宗集『慈円』（吉川弘文館、1959 年） 坂口太郎『「愚管抄」校訂私考』（『古代文化』第 68 巻第 2 号、2016 年）
単位数	学生に対する評価
	演習時に課す発表（50%） レポート（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）『愚管抄』や慈円に関する基礎的事項を理解している。 （良）『愚管抄』の原文について、講義の内容を踏まえて正確に読解できる。 （優）『愚管抄』を正確に読解するとともに、自分の調査成果を踏まえて新たな解釈を示すことができる。
坂口 太 郎	その他
	本演習は、中世史料の読解能力を養うことや文献学的研究法の習熟に重点を置く。受講生には発表を求めるので、毎回丹念な予習が必要である。くれぐれも生半可な態度で受講しないこと。 熱意のある学生の受講や、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
中国 文化 講 読 演 習	到達目標：中国学の諸分野（哲学・歴史・文学など）を研究するために必要な基礎的知識・語彙・方法を修得することを到達目標とする。
	テーマ：『漢文大系』を読む。
	授業の概要
	『漢文大系』の中から、受講生個々の興味に応じてテキストを決める。授業に際しては、文献の書き下し文、語彙の解説、文章の解釈などを作成し、受講生相互の質疑に応じてもらう。
	授業計画
学期	1. ガイダンス 2. 『大学説』の読解 3. 『中庸説』の読解 4. 『論語集説』の読解 5. 『孟子定本』の読解 6. 『箋解古文真宝』の読解 7. 『増註三体詩』の読解 8. 『箋解唐詩選』の読解 9. 『唐宋八家文』の読解 10. 『十八史略』の読解 11. 『小学箋註』の読解 12. 『御註孝経』の読解 13. 『弟子職』の読解 14. 『史記列伝』の読解 15. 『毛詩』の読解 16. 期末試験
前期	テキスト
単位数	『漢文大系』のコピーを配布する。
2	参考書・参考資料等
担当者	『大漢和辞典』『アジア歴史事典』『中国学芸大事典』など。
南 昌 宏	学生に対する評価
	発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算。授業中に発言しなかった者は欠席とする。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）漢文を書き下し文にできる。 （良）専門用語を除けば、漢文を読解できる。 （優）専門用語を十分に理解し、漢文を読解できる。
	その他
	授業計画に挙げた文献は一例である。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
漢 字 Ⅰ	到達目標： テーマ：【前期】1 回生……唐代楷書：顔真卿「多寶塔碑」、褚遂良「雁塔聖教序」。 2 回生以上……北魏系楷書「張猛龍碑」、「張玄墓誌」。 【後期】1 回生……（篆書）秦代「嶧山刻石」、清代鄧石如「白氏草堂記」、 吳詒之「崔子玉座右銘」、 2 回生以上……（隸書）漢代「禮器碑」（必須）、「曹全碑」、 「張遷碑」、「石門頌」（三点の中から2つを選ぶ）
	授業の概要
	本講座は基本的に古典臨書を根拠とし、形臨、背臨を経て、学生同士で切磋琢磨し、最後は個々に作品制作を行う。方法としては、国内の他大学にはない中国の伝統的書道教育を根拠にした指導を行う。
	授業計画
	1. オリエンテーション 2. 顔真卿「多寶塔碑」 （2 回生以上は「張猛龍碑」）① 3. 顔真卿「多寶塔碑」（〃）② 4. 顔真卿「多寶塔碑」（〃）③ 5. 褚遂良「雁塔聖教序」（〃）④ （2 回生以上は「張玄墓誌」）① 6. 褚遂良「雁塔聖教序」（〃）② 7. 褚遂良「雁塔聖教序」（〃）③ 8. 前半半紙臨書作品の提出。 吳詒之「崔子玉座右銘」 （2 回生以上はやっていない隸書を自分で選択）① 9. 吳詒之「崔子玉座右銘」（〃）② 10. 吳詒之「崔子玉座右銘」（〃）③ 11. 自分で法帖を1つに絞り再度臨書する。① 12. 自分で法帖を1つに絞り再度臨書する。② 13. 半切の制作① 14. 半切の制作② 15. 予備 16. 作品提出
学期	テキスト
通 年	・二玄社法書選（二玄社）： 1 回生……40 顔真卿「多寶塔碑」、34 褚遂良「雁塔聖教序」/56 「鄧石如集」、 58 「吳興叢集」 2 回生以上……23 「張猛龍碑」、26 「墓誌銘集・下」/ 3 「石門頌」、5 「禮器碑」、 8 「曹全碑」、9 「張遷碑」 ※ 写経用紙セット LA26-59
単位数	参考書・参考資料等
2	・字書：『字源』、伏見忠敬編『書道字典』（角川書店）、『清人篆隸字典』（雄山閣）等 ・その他必要に応じてプリントを配布する。
担当者	学生に対する評価
	・基本的に提出作品による評価。（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。
野 田 悟	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）形臨、背臨ができる。 （良）臨書を基に創作ができる。 （優）臨書を基にした高いレベルでの創作ができる。
	その他
	・筆（太筆・細筆）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮は個々に準備のこと。また創作用の半切画宣紙の使用については個々に指示をする。 ・書道実技の講座として、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
漢 字 Ⅱ	到達目標： テーマ：【前期】今年 は書体を楷書体、行書体に限定し、その中から一つの法帖を自分で選択し、実習する。その法帖の形、線の特徴をつかみ、実際に上手に表現できるように努める。 【後期】上記2書体に草書体を加えた書体から法帖を一冊選び、その法帖の形、線などの特徴が、実際に表現できるように努める。
	授業の概要
	臨書中心の実技の授業である。臨書作品を授業中に添削し、参考に指導者が目の前で書いて指導する。授業中に筆を執って書くだけでは絶対に上達はない。自宅でも筆を持つよう心がけて欲しい。個人指導を中心に据えて授業を進める。
	授業計画
	【前期】1. 授業の方針、法帖の選び方、どんな授業を展開していくのかを説明した後、各自が法帖を選ぶ。 2. 法帖の臨書 3. 法帖の臨書 4. 法帖の臨書 5. 法帖の臨書 6. 法帖の臨書 7. 法帖の臨書 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. 法帖の臨書 10. 法帖の臨書 11. 法帖の臨書 12. 法帖の臨書 13. 法帖の臨書 14. 法帖の臨書 15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
学期	【後期】1. 各自が法帖を選ぶ。指導者はその相談に応じ共に考えながら法帖を選ぶ。 2. 法帖の臨書 3. 法帖の臨書 4. 法帖の臨書 5. 法帖の臨書 6. 法帖の臨書 7. 法帖の臨書 8. 今まで実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。 9. 法帖の臨書 10. 法帖の臨書 11. 法帖の臨書 12. 法帖の臨書 13. 法帖の臨書 14. 法帖の臨書 15. 後半実習してきた分を提出。書体によって提出枚数が異なる。
通 年	テキスト
単位数	各自が二玄社あるいは別の法帖から1冊選ぶ。
2	参考書・参考資料等
担当者	二玄社の法帖類
木 本 滋 久	学生に対する評価
	2 回のレポート（50%）、出席回数（25%）、授業態度（25%）などで評価する。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）臨書している法帖の基本的な筆使いと形ができているか。 （良）半紙に4文字～6字がうまくまとまっているか。 （優）線の強さや余白がうまくとれているか。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ
か な Ⅰ	到達目標：【前期】「かな」成立の歴史を知り、実習を通して行書きのかな創作ができることを目標とする。 【後期】前期で身につけた技術をより高め「ちらし書き」の創作、及び古筆の臨書技術を身につけることを目標とする。 テーマ：【前期】細筆の使い方・墨の使い方を身につけ、かなの美を知る。 【後期】「ちらし書き」による白と黒の美の世界を表現する。古筆にそれを見る。
	授業の概要
	【前期】日本独自の文字「かな」の成立の歴史を知り、その字母を覚える。かなの技術を身につける。 【後期】かな独自の構成法を知り、それを身につけ、その美が「余白」「流麗」「簡素」であることを知るために粘り強く実習する。
	授業計画
	【前期】1. 講義目標・概要の解説 ・書歴のアンケート 2. かな成立の歴史を解説 ・かなの基本線の練習 3. 「いろは歌」による単体練習・字母説明 4. いろは歌 清書 5. 連綿の解説・実習 字母テスト 6. 変体かな解説 7. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習（1） 8. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習（2） 9. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習（3） 10. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習（4） 11. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習（5） 12. 行書きをプリントNo1～5より3枚選び実習 清書（6） 13. 行書き創作（1） 14. 行書き創作（2） 15. 行書き創作（3） 16. 行書き創作（4）
学期	【後期】1. 「ちらし書き」の解説・実習 2. ちらし書きをプリントNo1～8より5枚選び実習（1） 3. ちらし書きをプリントNo1～8より5枚選び実習（2） 4. ちらし書きをプリントNo1～8より5枚選び実習（3） 5. ちらし書きをプリントNo1～8より5枚選び実習（4） 6. ちらし書きをプリントNo1～8より5枚選び実習 清書（5） 7. ちらし書きの創作（1） 8. ちらし書きの創作（2） 9. ちらし書きの創作（3） 10. ちらし書きの創作（4） 11. ちらし書きの創作 清書（5） 12. ちらし書きテスト 13. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）（1） 14. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）（2） 15. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）（3） 16. 古筆臨書（高野切第1種・第3種）清書（4）
通 年	テキスト
単位数	プリント
2	参考書・参考資料等
担当者	古筆全般・かな字典 後期は古筆（三色紙・高野切第2種）
山 本 圭 子	学生に対する評価
	提出作品の枚数がそろった上で、用筆・墨の変化・字形・構成、それぞれ20%。 誤字・精神性（線質）各10% 1 / 3 以上欠席者は評価しません。
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）提出枚数＋誤字なし＋それぞれの観点について上達度 小 （良）提出枚数＋誤字なし＋それぞれの観点について上達度 中 （優）提出枚数＋誤字なし＋それぞれの観点について上達度 大
	その他
	・実習科目は出席が大事です。出席して、数多く書かなければ上達しません。地道な努力と粘り強い意志をもって参加してください。 ・後期は前期よりかなり難しくなりますが、挑戦する気持ちを強くもって出席してください。書道は一朝一夕に上達するものではないので「継続は力なり」を信じて粘り強く実習に取り組んでください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
かなⅡ	到達目標：【前期】 かなⅠの基本の上に個性豊かな古筆の原寸大臨書をし、それをもとに創作すること。 【後期】 各自が選んだ古筆を拡大し、自己表現の技術を身につけること。 テーマ：【前期】 三色紙の中から各自一つを選び臨書をくり返し、その特徴をとらえること。 【後期】 古筆を基本とした自己表現の方法を見つける。
学期	授業の概要
通年	【前期】 かなⅠおよびそれと同程度のかん経験者を対象にかなの技術知識のより上達をめざす。ちらし書きの名品としての古筆を知り、各自、よりひかれるものをつえらび練習する。臨書から創作へと進む。 【後期】 決定した古筆を形式をかえて拡大臨書から創作へ、そしてより大きな料紙へと移っていき、これが自分独自の自己表現の形だと納得するまで練成する。
単位数	授業計画
2	【前期】 1. 講義目標、概要の解説、書歴アンケート 2. 三色紙の解説、各自の古筆を決定する。 3. 選んだ古筆を原寸大臨書（1） 4. 選んだ古筆を原寸大臨書（2） 5. 選んだ古筆を原寸大臨書（3） 6. 選んだ古筆を原寸大臨書（4） 7. 選んだ古筆を原寸大臨書（5） 8. 選んだ古筆を原寸大臨書（6） 9. 選んだ古筆を原寸大臨書（7） 10. 選んだ古筆を原寸大臨書 清書（8） 11. 古筆をもとに創作（1） 12. 古筆をもとに創作（2） 13. 古筆をもとに創作（3） 14. 古筆をもとに創作（4） 15. 古筆をもとに創作 清書（5） 16. 実技テスト
担当者	【後期】 1. 大色紙に拡大臨書（1） 2. 大色紙に拡大臨書（2） 3. 大色紙に拡大臨書（3） 4. 大色紙に拡大臨書 清書（4） 5. 半懐紙に拡大臨書（1） 6. 半懐紙に拡大臨書（2） 7. 半懐紙に拡大臨書（3） 8. 半懐紙に拡大臨書 清書（4） 9. 大色紙または半懐紙に創作（1） 10. 大色紙または半懐紙に創作（2） 11. 大色紙または半懐紙に創作（3） 12. 大色紙または半懐紙に創作 清書（4） 13. 実技テスト 14. 全懐紙または半切に拡大臨書（1） 15. 全懐紙または半切に拡大臨書（2） 16. 全懐紙または半切に拡大臨書 清書（3）
山本圭子	テキスト 三色紙 参考書・参考資料等 古筆全般 学生に対する評価 1／3以上欠席者は評価しません。 臨書 50％（形（連綿等）20％、構成 20％、墨の変化構成 10％） 創作 50％。（独創性 10％、構成・古筆の雰囲気各 20％） ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）提出枚数＋それぞれの観点について上達度 小 （良）提出枚数＋それぞれの観点について上達度 中 （優）提出枚数＋それぞれの観点について上達度 大 その他 粘り強く地道にくり返し練習することが大事です。全授業出席の気持ちが大事です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
篆刻Ⅰ	到達目標： 1、古代文字（小篆および華印篆）の基本的認識。 2、東洋文化における印章の重要性及び毛筆との関連性の理解。 3、各時代に沿った印章の遠い理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：篆刻の理論と実践
学期	授業の概要
通年	・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。 ・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。
単位数	授業計画
2	1. オリエンテーション・印材・工具等の紹介 2. 古代印章の起源と歴代璽印の変遷 3. 毛筆にて篆書の練習① 4. 毛筆にて篆書の練習② 5. 毛筆にて篆書の練習③ 6. 双稿填墨・印稿の練習 7. 刀法と開款の練習 8. 漢印① 9. 漢印② 10. 漢印③ 11. 秦印 12. 漢印または秦印による創作 13. 將軍印① 14. 將軍印② 15. 篆刻作品の批評会 16. これまでの模刻をもとに創作・作品提出
担当者	テキスト ・書道講座第6巻 篆刻（二玄社刊）＊各自で購入。
野田 悟	参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・袁毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版） ・『図解 篆刻入門』（本耳社） ・その他必要に応じてプリントを配布 学生に対する評価 ・基本的に提出作品による評価。（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。 ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）篆刻ができる。 （良）篆刻を基に自分で創作できる。 （優）高いレベルでの創作ができる。 その他 ・漢字Ⅰを履修した者が好ましい。 ・用具、用材は、大阪の書道用品店にて各自で購入のこと。（最初の授業で説明する） ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。 ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。 ・複数回の受講者は、秦代以前の古璽、明清以降の流派印や肖形印等を個別に指導する。 ・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
篆刻Ⅱ	到達目標： 1、古代文字（小篆および華印篆）の基本的認識。 2、東洋文化における印章の重要性及び関連性の理解。 3、各時代に沿った印章の遠い理解をもつての刻印技術の修得。 テーマ：篆刻の理論と実践
学期	授業の概要
後期	・篆刻の一番基礎と言われる漢代前後の印章の模刻を中心に実践、理論の双方より学ぶ。 ・国内の他大学にはない中国伝統的方法を前提とした指導を行う。
単位数	授業計画
2	1. 前期の復習と双稿填墨・印稿の練習 2. 將軍印③ 3. 將軍印④ 4. 將軍印での創作 5. 流派印の出現とその変遷（理論） 6. 浙派印① 7. 浙派印② 8. 浙派印③ 9. 徽派印① 10. 徽派印② 11. 徽派印③ 12. 浙派印または徽派印による創作 13. 肖形印① 14. 肖形印② 15. 予備 16. これまでの模刻をもとに創作・作品提出
担当者	テキスト ・書道講座第6巻 篆刻（二玄社刊）＊生協にて購入。
野田 悟	参考書・参考資料等 ・『説文解字』（中華書局） ・『印学史』（西泠印社） ・『故宮博物院藏古璽印選』（文物出版社） ・『上海博物館藏印選』（上海書画出版社） ・袁毛政雄編『必携篆書印譜字典』（柏美術出版） ・『書の基本資料 14・篆刻』（中教出版） ・『図解 篆刻入門』（本耳社） ・その他必要に応じてプリントを配布 学生に対する評価 ・基本的に提出作品による評価。（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。 ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）自分で篆刻印を作成することができる。 （良）模刻をもとに創作印を作成することができる。 （優）高いレベルでの創作印を作成することができる。 その他 ・篆刻Ⅰを履修した者に限る。 ・実技の授業なので、毎回の宿題が課される。 ・進度により順番を入れ替えたり、省略する場合あり。 ・一度欠席したら、学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て臨むこと。 ・二度目の受講者は、秦代以前の古璽や肖形印等を個別に指導する。 ・2月に学外書道展に作品出品を課す。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
条幅制作A	到達目標：臨書でつちかった基礎の上に立って、個性豊かでフレッシュな作品を創作する。 テーマ：【前期】 中国や日本の古典の臨書を通して得た技術で、漢字、近代詩文などの条幅作品を制作する。 【後期】 金剛峯寺・高野山大学書道師範取得や、卒業制作にふさわしい作品の制作をめざす。近代詩文などの条幅作品を制作する。
学期	授業の概要
通年	【前期】 ○半切に漢字4～14文字の言葉を楷書体、行書体で創作する。（做書も可） ○半切（正方形）に漢詩、漢語を篆書体、隸書体、又は行書体で創作する。（做書も可） ○半切に漢字・仮名まじり文を創作する。課題は授業前に提示。 2尺×8尺（52cm×約228cm）の画仙紙に自分で詩や文章を選び創作する 【後期】 漢詩を選んだ人は、まず字書ですべての文字を調べ一覧表を作成する。それを参考にして字のくづし方を見る。漢字仮名まじり文を書くとする人は、全体の構成や空間のとり方など工夫し、漢字と仮名の調和も考えて製作をすすめる。 提出後、全体で互評会を実施。
単位数	授業計画
2	【前期】 1. この授業の内容、授業の進め方、必要な書道用材の説明 2. 半切の大きさと、課題を楷書行書体で創作する。 3. 提出後、全体で互評会を実施する。 4. 篆書体、隸書体、行書体で課題を半切（正方形）で創作。 5. 又は漢字仮名まじり文の創作。どれかひとつを選び実習する。 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16.
担当者	【後期】 1～16 2尺×8尺（たて228cm×よこ52cm）の紙面に、書体、題材も自由で受講生が個性と創作意欲にあふれた作品を制作。 ・題材、書体は途中変更も可能であるから、試行錯誤をくりかえしながら少しずつ作品が向上する。書き込むより他に道はないと思い、時間外でもしつかり取り組んで欲しい。 ・早く仕上がった人は、書体を変えたり、題材を変えたり（漢字仮名まじり文でも可）して小品を制作したらいい。 押印して提出後、互評会を実施する。 テキスト 特に無し。 参考書・参考資料等 字書や二玄社の法帖類、各展覧会の作品集など。 学生に対する評価 提出作品（50%）、出席回数（25%）、授業の取組（25%）を総合的に評価する。 ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）規定の大きさにそれぞれの書体で誤字なく書けている。 （良）文字の大小や墨の潤滑にも変化があるかどうか。 （優）工夫のあとがみられ、練度の高い作品に仕上がっているか。 その他 2尺×8尺の作品は評価の後、2月の高野山大学学外書道展に出品していただきます。表装代は各自の負担とします。 各自で事前に『字書』を購入しておくこと 画仙紙は事前に大阪の書道用品店で買っておくこと。 この授業は高野山書道師範を取得を希望する者、書道で卒業論文を書こうとする学生は必修です。かなり習熟した技能を持っていることが要求されます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
条幅制作B	到達目標：【前期】古来より机上作品であった「かな」を条幅作品として表現する方法を知る。 【後期】数種の大きさの紙にその大きさにあった筆を用い、自分のうけた感動を表現する。 テーマ：【前期】机上作品と条幅作品の相違点を知る。 【後期】条幅作品に自分なりのかなの美を表現すると共に感動も加えていく。	書道史（日本）	到達目標：書道作品の鑑賞眼を養い、その基本的事項について理解するとともに、書の世界を味わう。 テーマ：古代からの主な作品をできるだけたくさん鑑賞し、我が国の時代変遷と古代の関連を理解する。
学期	授業の概要	学期	授業の概要
通年	【前期】古筆の拡大臨書から条幅作品として個性的な表現を加えていく。条幅に表現するということは筆者の人間性の深さ・生命感情の躍動の強さを「かな」を用いて充分に表現することである。そのため大きく影響する用具用材についての知識も必要である。 【後期】現代性を表現するため、現代詩などを題材として制作する。また古歌・古詩等であっても現代に生きる作品としていくために何が必要かを追求していく。	通年	わが国における書の展開について講じ、時代ごとにつくかのテーマを取り上げながら進めてゆく。また書は、その他の芸術をはじめ諸々の文化と密接に関わるものであるので、可能な限りそうした周辺の文化的事柄とも絡めて眺めてゆくこととしたい。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	【前期】 1. 条幅「かな」の解説・用具・用材等の説明。既成作品を鑑賞し、全体像を知る。 2. 高野切第三種を半切に拡大臨書（1） 3. 高野切第三種を半切に拡大臨書（2） 4. 高野切第三種を半切に拡大臨書（3） 5. 高野切第三種を半切に拡大臨書（4） 6. 高野切第三種を半切に拡大臨書（5） 7. 高野切第三種を半切に拡大臨書（6） 8. 高野切第三種を半切に拡大臨書 清書（7） 9. 創作する（草稿を作る）（1） 10. 創作する（2） 11. 創作する（3） 12. 創作する（4） 13. 創作する（互評会）（5） 14. 創作する（6） 15. 創作する（7） 16. 創作する 清書（8）	4	【前期】 1. オリエンテーション 2. 漢字の伝来 3. 飛鳥時代① 4. 飛鳥時代② 5. 奈良時代① 6. 奈良時代② 7. 平安時代① 8. 平安時代② 9. 平安時代③ 10. 平安時代④ 11. 平安時代⑤ 12. 書流・書論の出現 13. 鎌倉時代① 14. 鎌倉時代② 15. 予備 16. テスト
担当者	テキスト	担当者	テキスト
山本圭子	特に無し。	野田 悟	【決定版】日本書道史 名児耶明監修 芸術新聞社 定価 3300 円（書店にて購入）
	参考書・参考資料等		参考書・参考資料等
	【前期】高野切第三種、既成作品、かな字典、歌集 【後期】詩集、歌集、三色紙、かな字典、書道字典		・『書道全集（日本編）』平凡社 ・飯島春敬『日本書道史要説』（1975 年・東京堂出版） ・小松茂美『展望日本書道史』（1986 年・中央公論社） ・小松茂美編『日本書道辞典』（1987 年・二玄社） ・『墨スペシャル 12 図説日本書道史』（1997 年・芸術新聞社） ・書学書道史学会編『日本・中国・朝鮮 書道史年表事典』（2005 年・萱原書房） ・その他必要に応じて、プリントを配布
	学生に対する評価		学生に対する評価
	【前期】用筆の習熟度（40%）、白と黒の対比の美（40%）、人間性の表現（20%） 【後期】個性（40%）、紙と筆と墨の調和（40%）、墨の変化（10%）、気韻生動（10%）		・基本的にペーパーテストによる評価。（素点） ・欠席各－3 点、遅刻・早退－1 点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。
	ループリック（目標に準拠した評価）		ループリック（目標に準拠した評価）
	（可）提出枚数＋それぞれの観点について上述・習熟度 小 （良）提出枚数＋それぞれの観点について上述・習熟度 中 （優）提出枚数＋それぞれの観点について上述・習熟度 大＋人に感動をいかに与えるか		（可）書道用語、関連人物を理解できる。 （良）書道史に関する時代変遷を自分で発言できる。 （優）自分で調査した書道史に関する研究を、これまでの研究との違いも含めて発表できる。
	その他		その他
	・かな 1、漢字 1 を受講済みであること。 ・初めてのかな条幅となると思うので、挑戦する気持ちと、初めてのことを知ろうとする謙虚さが必要です。 ・展覧会などに行き、様々な、かな条幅作品を鑑賞すること。		・欠席や遅刻は学生自身かなりの損失を被るのでその辺を心得て望むこと。 ・再試験はしない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
社会保障Ⅰ総論Ⅰ（別）	到達目標：我が国の社会保障の基本的な考え方、歴史と変遷、特に選別的・救済的福祉から一般的・普遍的福祉へ、応能負担から応益負担という社会保障の動向を理解する。社会保障の意義、社会保障とは何かに関して学びを深める。 テーマ：社会保障の仕組み及び歴史と現状	社会保障Ⅱ総論Ⅱ（別）	到達目標：前期で、社会保障の意義、社会保障制度とは何かに関して学びを深めた上で、労働保険制度、生活保護、公的扶助制度を学び、現在の社会保障制度の状況を理解することで、今後の社会保障の課題と動向を理解する。 テーマ：社会保障の方法と費用負担
学期	授業の概要	学期	授業の概要
前期	社会保障が我々の生活にどのように関連してくるかなど、身近な生活の場で社会生活の問題や介護問題の解決に実践・活用できるような知識として社会保障の学びを深める。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。	後期	社会保障が我々の生活にどのように関連してくるかなど、身近な生活の場で社会生活の問題や介護問題の解決に実践・活用できるような知識として社会保障の学びを深める。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。
単位数	授業計画	単位数	授業計画
2	1. 社会保障の基本的な考え方とその範囲 2. 社会保障の理念と機能 3. 欧米における社会保障の歴史的展開 4. 日本における社会保障の歴史的展開 5. 社会保障制度の体系 6. 社会保険の構造 7. 社会扶助の構造 8. 社会保障の費用と財源 9. 年金保険制度の沿革と概要 10. 国民年金 11. 厚生年金保険と共済年金 12. 年金保険制度をめぐる最近の動向 13. 医療保険制度の沿革と概要 14. 国民健康保険制度と後期高齢者医療制度 15. 介護保険制度の概要 16. 介護保険制度をめぐる最近の動向	2	1. 労働保険制度の沿革と概要 2. 労働者災害補償保険 3. 雇用保険 4. 労働保険制度をめぐる最近の動向 5. 社会福祉制度の沿革と概要 6. 生活保護制度と公的扶助 7. 児童福祉 8. 障害者福祉 9. ひとり親家庭の支援 10. 高齢者福祉 11. 社会手当制度 12. 社会保障と民間保険 13. 諸外国における社会保障・欧州 14. 諸外国における社会保障・アジア 15. 社会保障の国際化 16. 社会保障の課題・少子高齢化
担当者	テキスト	担当者	テキスト
福本幹雄	新・社会福祉士養成講座 12『社会保障』第 5 版、中央法規出版	福本幹雄	新・社会福祉士養成講座 12『社会保障』第 5 版、中央法規出版
	参考書・参考資料等		参考書・参考資料等
	『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版 『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版 『社会福祉小六法 2016（平成 28 年版）』、ミネルヴァ書房		『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版 『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版 『社会福祉小六法 2016（平成 28 年版）』、ミネルヴァ書房
	学生に対する評価		学生に対する評価
	レポート、授業参加の積極性、筆記試験で評価する。		レポート、授業参加の積極性、筆記試験で評価する。
	ループリック（目標に準拠した評価）		ループリック（目標に準拠した評価）
	レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、 （可）60 点以上の場合、社会保障の基礎的な概念を理解している。 （良）75 点以上の場合、社会保障の基礎的な概念と体系を理解している。 （優）90 点以上の場合、社会保障の基礎的な概念と体系及び枠組みを理解している。		レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、 （可）60 点以上の場合、生活保護・公的扶助の基礎的な概念を理解している。 （良）75 点以上の場合、生活保護・公的扶助の基礎的な概念と体系を理解している。 （優）90 点以上の場合、生活保護・公的扶助の基礎的な概念と体系及び枠組みを理解している。
	その他		その他
			グループワークや演習には積極的に参加し、発言・発表すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の概念や地域組織化とその活動の理解を深め、地域住民の一員として自らが主体的に地域福祉活動に参加できるように学びを深める。 テーマ：地域福祉の概念とその展開方法
地域社会福祉Ⅰ各論（別）（地域福祉Ⅰ）	授業の概要 講義を中心にしながらグループワークによる演習を取り入れる。対象者別の縦割りの福祉ではなく、身近な地域の事例を紹介しながら、横断的に地域福祉を捉えたい。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。
学期	授業計画 1. 地域福祉の考え方 2. 地域福祉の源流 3. 地域福祉の発展過程 4. 地域福祉の定義 5. コミュニティケアの移入と地域福祉の展開 6. コミュニティの定義 7. 地域福祉の主体と対象 8. 地域福祉における地方自治体の役割（社会福祉計画、地域福祉計画、自治体職員の専門性） 9. 地域福祉における民間の役割（民生委員・児童委員、ボランティア、住民、営利企業） 10. 地域福祉における専門職の役割（1）（社会福祉協議会、地域包括支援センター、社会福祉施設等） 11. 地域福祉における専門職の役割（2）（保健、医療等） 12. 地域福祉における専門職の役割（3）（保育所、児童館等、その他） 13. もう一つの福祉ネットワークキング 14. 地域における社会資源の活用・調整・改善・開発 15. 地域福祉における人的資源の育成 16. グループワーク（演習）で事例検討を行う
前期	テキスト 社会福祉士シリーズ9『地域福祉の理論と方法』、弘文堂
単位数	参考書・参考資料等 新・社会福祉士養成講座9『地域福祉の理論と方法』中央法規出版 『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版 『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版
2	学生に対する評価 レポート、発表、授業参加の積極性、筆記試験で評価する
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、 （可）60点以上の場合、地域福祉の基礎的な概念を理解している。 （良）75点以上の場合、地域福祉の基礎的な概念と基礎的な内容を理解している。 （優）90点以上の場合、地域福祉の基礎的な概念と内容及び枠組みを理解している。
福本幹雄	その他 グループワークや演習には積極的に参加し、発言・発表すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の概念や地域組織化とその活動の理解を深め、地域住民の一員として自らが主体的に地域福祉活動に参加できるように学びを深める。さらに、地域生活支援の意味と実際および実践を理解する。今後の地域福祉の課題と展望を理解する。 テーマ：地域福祉の概念と展開方法
地域社会福祉Ⅱ各論（別）（地域福祉Ⅱ）	授業の概要 講義を中心にしながらグループワークによる演習を取り入れる。対象者別の縦割りの福祉ではなく、身近な地域の事例を紹介しながら、横断的に地域福祉を捉えたい。事例解説にパワーポイントを積極的に活用する。
学期	授業計画 1. 地域における福祉ニーズとは何か 2. 地域における福祉ニーズ把握方法（量的、質的なニーズの調査） 3. 地域トータル・ケアシステムの必要性 4. 高齢者ケアに関する社会資源 5. 障害者ケアに関する社会資源 6. 児童ケアに関する社会資源とケアシステム 7. 地域トータル・ケアシステムの実践 8. 地域トータル・ケアシステムの構築の方法 9. 地域における福祉サービスの実際 10. 地域における福祉サービスの評価 11. ソーシャルサポートネットワーク（エコロジカルアプローチ、ライフモデル） 12. 災害支援と地域福祉（ソーシャルワーク実践） 13. 海外における地域福祉の現状紹介 14. グループワーク（演習）で事例検討を行う
後期	テキスト 社会福祉士シリーズ9『地域福祉の理論と方法』、弘文堂
単位数	参考書・参考資料等 新・社会福祉士養成講座9『地域福祉の理論と方法』中央法規出版 『社会福祉士のための基礎知識Ⅰ～Ⅱ』、中央法規出版 『福祉への道標』－教職のための社会福祉－、サンライズ出版
2	学生に対する評価 レポート、発表、授業参加の積極性、筆記試験で評価する
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） レポートの課題や期末の筆記試験の評価形式で若干異なるが、 （可）60点以上の場合、地域の福祉ニーズの基礎的な概念を理解している。 （良）75点以上の場合、地域の福祉ニーズの基礎的な概念と社会資源を理解している。 （優）90点以上の場合、地域の福祉ニーズの基礎的な概念と社会資源及びトータル・ケアシステムを理解している。
福本幹雄	その他 グループワークや演習には積極的に参加し、発言・発表すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：大学生生活と社会の接点、キャリアデザインの考え方を習得する。 テーマ：労働と社会と自分
キャリアアカウンセリングⅠ	授業の概要 職業社会を理解する上で必要な基礎知識の習得を目指します。 今後の自分のキャリアを設計していくために、大学で学ぶことの意味を考え、現時点でできること、これから学習していくことは何かを、学生同士が議論しながら進めていきます。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. キャリアデザインの意味 3. 自己を見つめる①（ライフライン） 4. 自己を見つめる②（交流分析とストローク） 5. 他者を認める（交流分析とストローク） 6. 会社とはなにか（社会における企業の役割） 7. 学校と職場の違い 8. 就職とはどういうことか 9. いろいろな働き方（業種・業界） 10. 社会と専門領域との合致（学びの意味） 11. キャリアデザインの方法 12. すべての仕事に共通する能力 ①対人能力 13. すべての仕事に共通する能力 ②対自己能力 14. すべての仕事に共通する能力 ③対課題能力 15. すべての仕事に共通する能力 ④実践力 16. まとめ
後期	テキスト 教員作成の資料 大久保幸夫『キャリアデザイン入門＜1＞基礎力編』（日経文庫） 「書店で購入」
単位数	参考書・参考資料等 池上彰『会社のことをよくわからないまま社会人になった人へ』（海竜社） 中沢孝夫『就活のまえに』（ちくまプリマー新書）
2	学生に対する評価 授業内課題（グループ討議・レポート発表・実技演習）の参加度・習熟度（60%）、学期末レポートの完成度（40%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）テキストの内容を理解できる。 （良）テキストを見ながら内容を説明できる。 （優）テキストの内容を自分の言葉で説明できる表現力、行動力がある。
田村美幸	その他 就職活動の準備のためだけではなく、大学で学ぶ専門領域が自分のキャリア形成にとって、どんな意味を持つかということを考える授業です。積極的な参加を期待します。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 21世紀の今日、社会から必要とされ期待される人材とはコミュニケーション力と協調力、そして将来力を持つ「本人力」と、変動する社会に対し情報収集力と理解力を備えた「社会的教養力」、この2つの『社会人基礎力』を身につけます。
キャリアアカウンセリングⅡ	授業の概要 『社会人基礎力』の重要性を学び、日本及び世界の社会状況、日本の特性を政治・風土・経済産業・文化等すべての面から社会教養力向上を目指す。またコミュニケーション、マナー、自己管理など実践的トレーニングにより修得する。
学期	授業計画 1. 日本のこれまでにこれから 2. 日本の産業構造の特色と内容①－社会インフラ産業の特色と内容 3. 日本の産業構造の特色と内容②－日本の製造業界（メーカー）の特色と内容 4. 日本の産業構造の特色と内容③－日本の流通・販売業界の特色と内容 5. 日本の産業構造の特色と内容④－日本のサービス業界の特色と内容 6. 日本の産業構造の特色と内容⑤－日本の金融業界の特色と内容 7. 日本の企業社会構造の特色と内容①－企業理念の重要性・企業の組織構造 8. 日本の企業社会構造の特色と内容②－企業の部門と業務内容 9. 企業の社会的責任－従業員として働くことの基本知識 10. 社会人に必要な基本能力①－社会人マナー力の内容と方法 11. 社会人に必要な基本能力②－社会人コミュニケーション力の内容と方法 12. 社会人に必要な基本能力③－社会情報力の内容と方法 13. 社会人に必要な基本能力④－目標開発力の内容と方法 14. 社会人に必要な基本能力⑤－自己管理力の内容と方法 15. 社会人に必要な基本能力⑥－自己PR力の内容と方法 16. 期末試験
後期	テキスト 講師作成資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 改訂版『社会人基礎力』加賀 博 著 （2015年 公益財団法人 日本生産性本部 発行） 他は授業内で紹介する。
2	学生に対する評価 授業態度・自己チェックレポート（毎回提出）（40%） 期末試験（60%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）講義内容を理解でき、積極的意見発表、質問ができる。（60～69点） （良）講義テーマについてセルフワークが十分でき、グループワークで議論ができる。（70～79点） （優）講義テーマについてプレゼンテーションやマネジメントができる。（80点以上）
加賀博	その他 将来寺院を継承したり、就業したりするためのモチベーションを高め、21世紀寺院に求められる社会的役割を自覚し、積極的に将来ビジョンを考え、学生相互に刺激し合い、啓発し合うことを望みます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自己の能力を確認し、就職活動に必要なスキルを習得する。 テーマ：就職活動の意識づけと行動化
就職キャリアスキル講座Ⅲ	授業の概要 社会に対して視野を広げ、就職活動の進め方や必要なスキルを身につけます。 社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力を養います。 演習、フィードバックを通して実践的な授業を展開します。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 社会人として求められる能力（社会人基礎能力） 3. 就職活動の流れと構造 4. 自己の能力と業種の特性との合致 5. ビジネスマナー①（言葉遣い、立居振舞、身だしなみ） 6. ビジネスマナー②（会社訪問） 7. ビジネスマナー③（電話応対） 8. 演習①（自己PRの作成） 9. 演習②（履歴書の作成） 10. 演習③（エントリシート）の作成 11. 演習④（志望動機）の作成 12. 演習⑤（面接の流れと方法） 13. 演習⑥（模擬面接、グループ面接） 14. 演習⑦（模擬面接、個人面接） 15. 演習⑧（模擬面接、グループディスカッション） 16. まとめ
後期	テキスト 教員作成の資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 中沢孝夫 『就活のまえに』（ちくまプリマー新書）
2	学生に対する評価 授業内課題の完成度（30%）、授業内演習の参加度・習熟度（40%）、学期末レポートの完成度（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）社会人に必要な能力を理解し、演習①～⑧について書類作成、基本動作ができる。 （良）社会人に必要な能力を説明でき、演習①～⑧について書類作成、基本動作がスムーズにできる。 （優）社会人に必要な能力を身につけ、演習①～⑧についてアピール性の高い書類作成や行動ができる
田村美幸	その他 実践中心の授業ですので、課題、演習には積極的に取り組んでください。 受ける授業でなく、自らが行動する授業にしていきたいと思います。 各授業は連続性があるので欠席しないようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域調査法の基礎を習得するとともに、実社会を理解するために、受講生自らが調査計画を立て上で、地域調査を行い、報告書を作成する。 テーマ：高野山および周辺集落における課題（社会調査士G科目）
伝統文化実習（民俗調査）	授業の概要 高野山および周辺集落の地域について調査を実施する。まず地域調査の概要について説明するとともに、調査地域を視し、地域の課題を知る。高野町役場などで既存資料を収集した上で、調査計画を立案する。行政や地域住民に対してインタビュー調査を実施する。受講生の報告をもとに、最終的に調査報告書を作成する。
学期	授業計画 1. 地域調査の概要 2. テーマを設定する（1） 3. テーマの設定する（2） 4. 調査法の確認（1）質的調査法 5. 調査法の確認（2）量的調査法 6. 調査計画書の作成（1） 7. 調査計画書の作成（2） 8. 既存資料の収集（1） 9. 既存資料の収集（2） 10. 既存資料の収集（3） 11. 既存資料の整理・分析 12. 観察調査の実施（1） 13. 観察調査の実施（2） 14. 観察調査の実施（3） 15. 観察調査の整理 16. インタビュー調査の実施（1） 17. インタビュー調査の実施（2） 18. インタビュー調査の実施（3） 19. インタビュー調査のデータ整理・分析 20. 中間報告（1） 21. 追加調査を実施する（1） 22. 追加調査を実施する（2） 23. 追加調査を実施する（3） 24. 中間報告（2） 25. 調査報告書を作成する（1） 26. 調査報告書を作成する（2） 27. 調査報告書を作成する（3） 28. 調査報告書を作成する（4） 29. 受講生の報告（1） 30. 調査報告書の修正
通年	テキスト プリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 上野和男他編『新版民俗調査ハンドブック』吉川弘文館 その他授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 報告書（50%）、授業中の発言やコミュニケーションカードなど積極的な授業態度（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）テーマを選び、調査計画を立てることができる。 （良）調査計画に基づいて、調査ができる。 （優）調査に基づき、報告書を作成できる。
森本一彦	その他 本授業は、受講生の積極的な授業参加とともに、授業外における課題の作成、調査が必要であることを了解した上で履修すること。 本授業は、社会調査士G科目に当たる。社会調査士資格については担当者に確認すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：茶の湯の基本的な所作や点前を修得し、歴史・思想・精神・美意識の理解と考察へと繋げる。 テーマ：茶の湯における亭主と客との心の感応
伝統文化実習（茶道）	授業の概要 日本の伝統的な文化のひとつである茶の湯の理解を深めるために、初風炉・開炉・初釜などの茶会を経験し、また実際に基本的な所作や点前を修得する。そのうえで受講生自らが茶会を企画し実践し、亭主側と客側の体験をする。それらをととして、茶の湯の精神や美意識について考える。
学期	授業計画 【前期】 1. ガイドンス 2. 講義 茶事のながれ 3. 客の所作と心得1 お茶のいただき方（薄茶） 4. 客の所作と心得2 席入りの仕方 5. 初風炉の茶会 6. 講義 茶道史1 7. 盆略点前1 割稽古 8. 盆略点前2 割稽古 9. 盆略点前3 割稽古の復習 10. 講義 茶道の道具について 11. 盆略点前4 通し稽古 12. 盆略点前5 通し稽古 13. 盆略点前6 通し稽古 14. 講義 茶の湯の文化1 15. 試験 16. まとめ 【後期】 1. 講義 茶道史2 2. 盆略点前の復習1 3. 盆略点前の復習2 4. 盆略点前の復習3 5. 茶の湯の文化2 6. 客の所作と心得3 お茶のいただき方（濃茶） 7. 炉開きの茶会 8. 講義 茶道史3 9. 講義 茶の湯の文化3 10. 茶会の企画と実践1 11. 茶会の企画と実践2 12. 茶会の企画と実践3 13. 初釜の茶会 14. 七事式 15. 後期試験 16. まとめ
通年	テキスト 『学校茶道（初級編）』財団法人茶道文化振興財団発行 授業時に一括購入
単位数	参考書・参考資料等 谷端昭夫著『よくわかる茶道の歴史』淡交社 谷見著『わかりやすい茶の湯の文化』淡交社
2	学生に対する評価 授業時に随時課す提出物 30% 茶会の企画と実践 35% 期末試験 35%
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）基本的な客の所作と盆略点前ができる （良）基本的な茶の湯の歴史・文化についての理解がある （優）茶の湯の歴史・文化をふまえて、茶会の企画・実践ができる
岡本文音	その他 実習の費用（茶・菓子・炭）として、前期・後期、それぞれ3000円必要です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：教職への情熱と専門家としての力量、総合的人間力が、求められる教員であることを理解し、使命感や責任感を培い教員の資質・能力を身に付ける。自分の個性を生かした教員に成長するため、進路設計を図る機会とする。 テーマ：教員の職務と使命
教職入門	授業の概要 答中に示す教員像、教職に係る関連法令、学校組織と職階、校務分掌と主任制、学習指導と生徒指導、学級担任の役割、服務と身分保障、問題行動と保護者対応、リスクマネジメント等について、事例を取り入れ解説する。
前期	授業計画 1. 講義の目的と概要を説明する 2. 教職の意義と教員の役割について説明する。 3. 教員養成・教職課程の変遷についてチーム及び学校への対応を中心に説明する。 4. 教員の種類と職階、役割、社会的使命について解説し考察する。 5. 教員の職務と校務分掌の関係について説明する。 6. 教員の職務と学習指導の関係について説明し考察する。 7. 教員の職務と生徒指導の関係について事例を中心に説明し考察する。 8. 進路指導・教育相談・キャリア教育と教員の役割について事例を中心に解説する。 9. 学校経営と担任教員の役割について説明し考察する。 10. 教員研修について、職務研修を中心に現状を解説し考察する。 11. 教員の服務と身分保障、根本規程について解説する。 12. 教員の職務上の服務と身分上の服務について解説し考察する。 13. いじめ問題等の子どもをめぐる諸問題と学校教育の課題について考察する。 14. 問題行動と保護者対応、地域社会との関わりについて説明し考察する。 15. 教員のリスクマネジメントと危機管理について説明し考察する。 16. 定期試験とまとめ
通年	テキスト 伊藤一雄著『教職基礎論』サンライズ出版 20124 発行 書店で購入
単位数	参考書・参考資料等 教職問題研究会著『教師論』（改訂版） 20124 発行
2	学生に対する評価 定期試験（60%）、小テスト（20%）、提出すべきレポート及び小作文（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）教員の使命と責任、職務の内容について理解できる。 （良）教員の職務内容を理解し、期待される教員の在り方について説明できる。 （優）学校教育及び教職の課題を知り、教員の専門性、服務、危機管理について説明できる。
嶋田博	その他 学校教育や教育行政等に関する新聞、雑誌などの記事を収集し、教職への問題意識や意欲を高めるよう努めて欲しい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ			
	到達目標：将来教員を志望する学生を対象に、教育の機能と社会について理解することを目標とする。 テーマ：教育の理念並びに教育の関する歴史及び思想			
教育原論	授業の概要			
	教育という営みは人間形成という個人的な面と、文化を伝達し社会に役立てるという社会的な面の二面性がある。本講義は教育の目的や機能について解説し、教育とはどのような営みなのかを考察する。また、現代の日本社会の学校が抱えている教育の病理について、構造的な側面から解説する。			
	授業計画			
	1. 人間形成と教育及び子どもの発達と教育 第1回：教育の目的と国家 第2回：子どもの発達と教育 第3回：子どもの生活と教育 2. 近代の教育思想とわが国の教育の変遷について概説する。 第4回：ヨーロッパにおける教育思想の変遷を概説する。 第5回：アジアにおける教育思想の変遷を概説する。 第6回：わが国の教育思想の変遷を概説する。 第7回：第1回～第6回の講義内容についてのまとめ。小テストを行う。 3. 学校教育 第8回：義務教育について解説する。 第9回：後期中等教育について解説する。 第10回：高校の多様化と教育課程について解説する。 第11回：高校教育から義務教育と大学教育を考える。 第12回：障害者教育について解説する。 4. 教育と社会 第13回：国際化と教育との関わりについて論じる。 第14回：学校教育の大衆化について論じる。 第15回：第8回～第14回の講義内容についてのまとめ。小テストを行う。 第16回：まとめ			
学期				
前期				
単位数	テキスト			
	田嶋一著『やさしい教育原理』有斐閣			
	参考書・参考資料等			
	伊藤一雄他著『教職への道標』サンライズ出版			
	学生に対する評価			
	小テスト（30％）、定期試験（70％）＋授業への参加を加味する。			
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）			
山脇雅夫		論理的思考力	問題発見力	教育学の基礎知識
	可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	教科書に基づいて、教育学の基礎知識を理解できる
	良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる	教科書に基づいて教育学の基礎知識を理解し、参考資料を調査できる
	優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	教育学についての基礎知識に基づき、特定のテーマについての参考資料を自分なりに調査・検討できる
	その他			

科目名	授業の到達目標及びテーマ
教育心理学	到達目標：教育活動に関する心理学的な法則や事実を把握する。 テーマ：学習指導と生徒指導に心理学を援用して効果をあげる。
	授業の概要
	学校教育に限らず、教育活動において、より一層効果的にその指導効果が得られるように、心理学がどのように応用されて用いられているかを学ぶ。
	授業計画
	1. オリエンテーション。教育心理学の歴史と研究法の紹介。 2. 発達段階と発達課題について。 （ビューラー・ハヴィガーストの理論） 3. 発達段階と発達課題について。 （乳児期から成人期の発達の特徴） 4. 言語の発達のメカニズムについて。 5. 学習のメカニズムについて。学習の動機づけについて。 6. 学習のメカニズムについて。学習における記憶の役割。 7. 学習指導の心理学的理論。プログラム学習と協同学習について。 8. 知的能力の発達について。表象的思考の発達と創造性の発達。 9. 学習評価について。 10. パーソナリティの理解について。 11. 学級の心理学と学校カウンセリングについて。 12. 子どもの不適応とストレスの対処法について。 13. スクールカウンセラーと教師の役割について。 14. 障害児の心理と特別支援教育について。 15. 試験。 16. 試験の返却と解説。
学期	
後期	
単位数	テキスト 桜井茂男編、『教育心理学』、図書文化、2013年
	参考書・参考資料等 伊藤良高・永野典詞・大津尚志・中谷彪編 『子ども・若者政策のフロンティア』晃洋書房、2012年。
2	学生に対する評価 小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）動機づけ・愛着などの基本的な用語の説明ができる。 （良）テキストを見て「発達段階と発達課題」を説明できる。 （優）テキストを見て、「子どもの思考の発達」について説明できる。
戸來知子	その他 生徒が「やる気」を持って学習するようになるには何が大切なのか、学校生活が楽しいと思える学級の雰囲気はどうしたらつくれるのか等、自分のこれまでの学校生活と重ねて考えてみて下さい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
教育社会学	到達目標：本講義では、現代の日本社会の教育課題に対して社会学的視点から考察する力を身に付け、教師としての基礎力を養う。 テーマ：日本社会の構造と学校教育
	授業の概要
	日本社会の学校教育はどのように変化してきたのか、1947年以後の変化について、中学・高校の変化を中心に解説し、あわせて現代の日本社会の抱える「教育病理」ともいえるさまざまな課題に、社会学的な視点から考察する。
	授業計画
	1. 教育社会学とはどのような学問か考察する。 2. 教育現象の社会学的捉え方について解説する。 3. 日本社会の変化と学校教育（1）6.3.3.4 制度の発足から1960年まで 4. 日本社会の変化と学校教育（2）高度成長期の学校教育 5. 日本社会の変化と学校教育（3）情報化の進展期の学校教育 6. 日本社会の変化と学校教育（4）自由競争の激化期の学校教育 7. 日本社会の変化と学校教育（5）ゆとりからの脱ゆとり期の学校教育 8. 学校と地域社会の連携及び学校の安全をどう展開するか考察する。 9. 「学校病理」の社会学的考察（1）不登校と学校嫌い 10. 「学校病理」の社会学的考察（2）不登校と引きこもり 11. 「学校病理」の社会学的考察（3）学級崩壊 12. カリキュラムの社会学（1）見えるカリキュラム 13. カリキュラムの社会学（2）隠れたカリキュラム 14. 教育指導と隠れたカリキュラム 15. 日本社会の変化と学校教育の方向 16.
学期	
後期	
単位数	テキスト なし
	参考書・参考資料等 久富善之・長谷川裕編 『教育社会学（教師教育テキストシリーズ）』学文社、2008年。 荻谷剛彦・濱名陽子ほか『教育の社会学－〈常識〉の問い方、見直し方 新版』有斐閣、2010年。 木村元『学校の戦後史』岩波新書、2015年。
2	学生に対する評価 定期試験（70%）、授業中の小テストおよび小作文（30%）で評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）基本的用語が説明できる。 （良）講義内容を理解し、教育の現状を説明できる。 （優）現在の学校教育の問題について自分の意見を述べることができる。
森本一彦	その他 真剣に教師を目指すことを受講条件とする。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
教育課程論	到達目標：学校教育の推進には子どもの実態に応じた適切な教育課程が必要である、教育課程改訂には社会的要請と意図があることを理解する。現行学習指導要領の意図・内容、実施上の留意点等を理解し実践に役立つ力を身に付ける。 テーマ：教育課程と学習指導要領
	授業の概要
	教育課程の意義と歴史の変遷、類型・特徴、関係法令、編成基準、学習指導要領の改訂の特徴、「生きる力」を育む現行学習指導要領の内容の取り扱いと配慮事項、評価、校種間の連携と充実等について説明し考察する。
	授業計画
	1. 教育課程の意義及び編成の方法について説明する。 2. カリキュラムマネジメントについて教育課程の編成の視点から考察する。 3. 学校のエデュケーションの構造と教育課程の関連について説明する。 4. カリキュラムの歴史の変遷と教育課程の類型・特徴について説明する。 5. 教育課程に関連する法令について説明する。 6. 教育課程の基準と編成原理、学習指導要領の法的拘束性について説明する。 7. 学習指導要領と教育課程の変遷について説明する。（1） 8. 学習指導要領と教育課程の変遷について説明する。（2） 9. 学習指導要領と教育課程の変遷について説明する。（3） 10. 現行学習指導要領の改訂の経緯と編成方針について説明し考察する。 11. 現行学習指導要領の内容の取り扱いと配慮事項について説明し考察する。 12. 学習指導要領の法的拘束性について考察する。 13. 教育課程編成の手続きと評価・改善について説明し考察する。 14. 教育課程の充実に向けた校種間連携について説明し考察する。 15. キャリア教育の推進に向けた教育課程の改善について説明し考察する。 16. 定期試験とまとめ
学期	
後期	
単位数	テキスト 伊藤一雄他著『教育課程論のフロンティア』晃陽書房 2010.4 発行 書店で購入 文部科学省編『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版 平成 20 年 8 月 書店で購入
	参考書・参考資料等 文部科学省編『中学校学習指導要領解説 総則編』株式会社ぎょうせい 平成 20 年 9 月 文部科学省編『高等学校学習指導要領解説 総則編』東山書房 平成 21 年 9 月
2	学生に対する評価 定期試験（50%）、小テスト（30%）、提出すべきレポート及び小論文（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）教育用語や学校教育に係る法令、学校教育の現状と教育課程の意義について理解できる。 （良）学習指導要領に基づく教育課程の編成及び内容の取り扱いと配慮事項について説明できる。 （優）学習指導要領を活用して、教育課程の編成の手続きと評価基準について説明できる。
嶋田博	その他 ・学校教育や子どもの健全育成に関わる報道等について、意識的に情報収集に努めて欲しい。 ・日本国憲法や教育基本法、学校教育法等の関連法令等について、予習・復習を通して精読して欲しい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育の意義を学び、宗教教育のあり方について考えを深める。 テーマ：宗教教育の理論と実際
宗教科教育法Ⅰ	授業の概要 学校教育における宗教教育に必要な理論と実際について学習する。宗教教育の意義について学ぶとともに、宗教科教育法を通して戦前と戦後における宗教教育の実態を探り、宗教教育のあり方について考える。そのうえで、実際の宗教教育の進め方について学習する。
学期	授業計画 １．シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞（釈尊の生涯に関するもの） ２．宗教教育とは：①宗教と宗教教育 ３．宗教教育とは：②宗教の定義 ４．宗教教育とは：③道德教育と宗教教育 ５．宗教科教育法について：①戦前における宗教教育 ６．宗教科教育法について：②戦後の教育と信教の自由 ７．宗教科教育法について：③教育基本法と宗教 ８．宗教教育の歴史：①日本における宗教教育 ９．宗教教育の歴史：②宗教と教育の関連 １０．宗教教育の歴史：③現代青少年の宗教意識の諸相 １１．カリキュラム構成の実際と計画 １２．学習指導案の作成：①祖師の生涯を確認する（釈尊と弘法大師） １３．学習指導案の作成：②釈尊伝の授業構成を検討する １４．学習指導案の作成：③弘法大師伝の授業構成を検討する １５．試験およびレポート提出 １６．試験とレポートの講評
前期	テキスト 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会（コピー配布）
単位数	参考書・参考資料等 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』鈴木出版 藤原聖子『教科書の中の宗教』（岩波新書）岩波書店 小口偉一編『宗教学辞典』東京大学出版社、他
2	学生に対する評価 試験（60％）、レポート（釈尊伝の感想文）（40％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）宗教教育の意義を認識している。 （良）宗教教育の問題点と課題に通じている。 （優）宗教教育および仏教に関する基本知識を備えている。
乾	その他 宗教科教育法は他の一般教科とは少し性格が異なる。その点を受講者は十分に留意し、主体的に学習してほしい。そのためには宗教科の教師になるという意味をよく考えることが必要である。
龍仁	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中学生を対象とした宗教教育科の授業方法と実際について学ぶ。 テーマ：模擬授業を通してみた中学生に対する宗教教育の可能性
宗教科教育法Ⅲ	授業の概要 受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、中学生を対象とした宗教教育の可能性や具体的な授業内容・方法について学習する。
学期	授業計画 １．シラバスの説明、講義の進め方等、ビデオ鑑賞（世界の宗教に関するもの） ２．授業テーマの決定、学外学習としての山内歴史探訪（奥之院「大秦景教流行中国碑」等） ３．教材研究と学習指導案の作成 ４．学習指導案の点検 ５．模擬授業「キリスト教の歴史」①古代イスラエルの宗教 ６．模擬授業「キリスト教の歴史」②キリスト教の成立 ７．模擬授業「キリスト教の歴史」③キリスト教のひろがり ８．模擬授業「キリスト教の教え」 ①十字架の死と復活、②『旧約聖書』と『新訳聖書』 ９．授業記録の提出と反省会 １０．模擬授業「イスラム教の歴史」①預言者ムハンマド １１．模擬授業「イスラム教の歴史」②政教カリフとウマイヤ朝 １２．模擬授業「イスラム教の歴史」③スンニー派とシーア派 １３．模擬授業「イスラム教の教え」 ①コーラン、ハディースとイスラム法、②イスラム教の信仰生活 １４．授業記録の提出と反省会 １５．レポート提出 １６．模擬授業全体の反省とレポートの講評
後期	テキスト 村上重良『世界の宗教－世界史・日本史の理解に－』（岩波ジュニア新書）岩波書店
単位数	参考書・参考資料等 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林 岸本英夫『世界の宗教』原書房（または大明書房）
2	学生に対する評価 模擬授業（学習指導案と教材研究等を含む）（60％）、レポート（40％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習指導案をまとめる授業構成力が確認できる。 （良）授業の実際における自己表現力とともに生徒側からの観察力・批判力をもっている。 （優）広く宗教に関する基礎知識を十分にもち、教材研究においても能力が確認できる。
松長恵史	その他 宗教科の教師になるということの意味をよく考え、宗教一般に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。模擬授業における生徒側からの観察力・批判力も重視する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教教育科の授業方法と実際について体験して経験値を上げる。 テーマ：模擬授業を通してみた宗教教育の実際を学ぶ。
宗教科教育法Ⅱ	授業の概要 受講者全員に数回ずつ模擬授業を課し、それぞれの模擬授業について全員で総括しながら、高校生を対象とした宗教教育の授業内容や方法などについて学習する。
学期	授業計画 １．シラバスの説明、講義の進め方等、およびビデオ鑑賞（弘法大師の生涯に関するもの） ２．授業テーマの決定、学外学習としての山内歴史探訪（一心院谷と女人堂） ３．教材研究と学習指導案の作成 ４．学習指導案の点検 ５．模擬授業「釈尊の生涯」①誕生 ６．模擬授業「釈尊の生涯」②出家 ７．模擬授業「釈尊の生涯」③成道 ８．模擬授業「釈尊の生涯」④初転法輪 ９．授業記録の提出と反省会 １０．模擬授業「弘法大師の生涯」①誕生 １１．模擬授業「弘法大師の生涯」②青年時代 １２．模擬授業「弘法大師の生涯」③入唐求法 １３．模擬授業「弘法大師の生涯」④高野山開創 １４．授業記録の提出と反省会 １５．レポート提出 １６．模擬授業全体の反省とレポートの講評
後期	テキスト 中村元・田辺和子共著『ブッダ物語』（岩波ジュニア新書）岩波書店 松長有慶『空海・心の眼をひらく－弘法大師の生涯と密教－』大法輪閣 富田向真『青少年のための仏教読本』高野山真言宗布教研究所
単位数	参考書・参考資料等 斉藤昭俊著『宗教科教育法』国書刊行会 教育実習を考える会編『実践「教育実習」学習指導案づくりと授業実習・記録の要点』蒼丘書林
2	学生に対する評価 模擬授業（学習指導案と教材研究を含む）（80％）、レポート（弘法大師伝の感想文）（40％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学習指導案をまとめる授業構成力が確認できる。 （良）授業の実際における自己表現力とともに生徒側からの観察力・批判力をもっている。 （優）仏教・密教に関する基礎知識を十分にもち、教材研究においても能力が確認できる。
乾	その他 宗教科の教師になるということの意味をよく考え、仏教・密教に関する基礎知識を普段からしっかり養い、創意工夫して、模擬授業に望むこと。模擬授業における生徒側からの観察力・批判力も重視する。
龍仁	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：国語への関心を高め、表現力を伸長し、日本文化と伝統についての理解を深める。 テーマ：学習指導要領を通して、国語科教育の目的・目標を理解させる。
国語科教育法Ⅰ	授業の概要 教材研究の方法を各単元ごとに具体的に指導する。⇒重ね言葉？ 学習指導案の作成の意義・手順などを具体的に指導する。
学期	授業計画 １．国語科教育の目的・目標（中学校と高等学校）について解説する。 ２．中学校学習指導要領（国語編）の要点を解説し、指導法の円滑化を図る。 ３．高等学校学習指導要領（国語編）の要点を解説し、指導法の円滑化を図る。 ４．高等学校における古典の授業の方法を具体的に考える。 ５．学習指導案とは何か。その意義と目的について。 ６．教材研究の方法と指導案の作成方法（１） 外山滋比古『知的創造のヒント（１）』 ７．教材研究の方法と指導案の作成方法（２） 外山滋比古『知的創造のヒント（２）』 ８．教材研究の方法と指導案の作成方法（３） 古文『十訓抄』－顕宗といふ笛吹き－ ９．教材研究の方法と指導案の作成方法（４） 古文『竹取物語』かぐや姫のおひたち １０．教材研究の方法と指導案の作成方法 漢文『返り点のつけかた』 １１．国文法の授業の問題点と課題（口語の場合） １２．国文法の授業の問題点と課題（文語の場合） １３．教員による実践授業（１）現代文 １４．教員による実践授業（２）古文 １５．総括講義 国語科の授業の必要性など １６．確認テスト
前期	テキスト 国語総合（第一学習社） 中学校及び高等学校（国語編）学習指導要領解説編（国語科教育法Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ）でも使用する。
単位数	参考書・参考資料等 国語科教育研究（学芸図書）、学習指導要領も適宜使用する。
担当者	学生に対する評価 定期試験（50％）とレポート（50％）
下西忠	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）国語科の授業の目的を正しく理解できていること。また適切な指導案をかけること （良）上記に加えて、現代国語の教授能力を身につけていること （優）上記二つに加えて、古典の教授能力を身につけていること
忠	その他 単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：実際の模擬授業を通して、多くの実践体験をつむとともに、教師に必要なさまざまな資質を養う。また各単元における指導案の書き方も研究することとする。 テーマ：模擬授業
国語科教育法Ⅱ	授業の概要 毎時間一名による模擬授業（50分）とそれに対する他の受講生の意見・批評。また教員の意見・指導（40分）。忌憚のない積極的な意見を出し合うことにより、授業の内容・教材研究・指導案の書き方などを学ぶ。また併設校で実際に教育実習をおこなっている学生の授業を参観することにより、高校の現場を知ることも学びたい。
学期	授業計画 1. ガイダンス（模擬授業の意義、指導案の目的と意義） 2. 現代文〈評論〉「独創をうむ条件」の教材研究と指導案作成を解説する。 3. 現代文〈評論〉「独創をうむ条件」の模擬授業を行う。 4. 古文〈物語〉「伊勢物語」の教材研究と指導案作成を解説する。 5. 古文〈物語〉「伊勢物語」の模擬授業を行う。 6. 古典文法「動詞の活用」の教材研究と指導案作成を解説する。 7. 古典文法「動詞の活用」の模擬授業を行う。 8. 高校現場で国語の授業を見学し授業記録の作成と指導法を学ぶ。 9. 高校現場での体験交流を行い。円滑な模擬授業の参考にする。 10. 漢文「漁夫の利」の模擬授業と相互評価を行う。 11. 古文〈物語〉「竹取物語」の模擬授業と相互評価を行う。 12. 国語表現「報告文と手紙を書く」の模擬授業と相互評価を行う。 13. 現代文〈詩歌〉「一つのメルヘン」、現代文〈詩歌〉「一つのメルヘン」の模擬授業と相互評価を行う。 14. 古文〈詩歌〉「新古今集」の模擬授業と相互評価を行う。 15. 優れた授業とはどのような授業なのか模擬授業の振り返りを行う。 16. 確認試験
後期	テキスト 国語総合（第一学習社）
単位数	参考書・参考資料等 国語科教育研究（学芸図書） 中学校及び高等学校学習指導要領（国語科編）
2	学生に対する評価 定期試験（50%）とレポート（50%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）模擬授業の出来具合 （良）上記に付け加えて、適切な指導案の作成 （優）上記二つに加えて、十分な教材研究ができていること
下西忠	その他 単位登録は、国語科の教育免許をとる学生に限る

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代文、古文の指導法を習得する。 テーマ：教材研究と実践
国語科教育法Ⅲ	授業の概要 教壇に立つて授業を展開するためには、授業者に明確な授業計画とそれを支える知識がなければならない。そこで本講義はまず、『中学校学習指導要領 国語』『高等学校学習指導要領 国語総合』を用いて、その理念や内容を理解し、理想とする国語科教員のイメージについて考える。次に、現代文、古文からそれぞれ題材を選び、教材研究と指導案の作成、模擬授業を通して、国語科教員としての実践力を養っていく。また、毎回講義始めに小テストを行い、基礎学力の向上をめざす。
学期	授業計画 1. ガイダンス（講義の進め方、成績評価） 2. 『中学校学習指導要領 国語』の研究① 3. 『中学校学習指導要領 国語』の研究② 4. 『高等学校学習指導要領 国語総合』の研究① 5. 『高等学校学習指導要領 国語総合』の研究② 6. 高等学校「国語総合」について教材研究の方法を解説する。 7. 高等学校「国語総合」について学習指導案の作成方法を解説する。 8. 高等学校「国語総合」の模擬授業を教材研究の視点から考察する。 9. 高等学校「国語総合」の模擬授業を学習指導案作成の視点から分析する。 10. 高等学校「古典」について教材研究の方法を解説する。 11. 高等学校「古典」について学習指導案の作成方法を解説する。 12. 高等学校古典の模擬授業を教材研究の視点から考察する。 13. 高等学校古典の模擬授業を学習指導案作成の視点から分析する。 14. 文学史の知識とその活用法について解説する。 15. 国語科授業の展開について学習指導案及び模擬授業の総括を行う。 16. 確認テスト
前期	テキスト 中学校「国語Ⅰ」および高等学校「現代文」「古文」に採られた教材を使用する。副読本などは教員が適宜用意する。
単位数	参考書・参考資料等 『中学校学習指導要領解説 国語編』（文部科学省・東洋館出版） 『高等学校学習指導要領解説 国語編』（文部科学省・教育出版）
2	学生に対する評価 受講態度（50%）模擬授業（25%）小テスト・確認テスト（25%）、3回以上の欠席、担当模擬授業の無断欠席は除籍する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）理想とする国語科教員像を提示できる （良）基礎学力があり、学習指導案に沿って授業ができる （優）上記二つに加えて、教え方にわかりやすさが認められたもの
浜下畑西圭吾忠	その他 受講は国語の教育職員免許状を取得しようとする者にかぎる。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：基礎学力の向上と指導法の練成 テーマ：教壇に立つための基盤をつくる
国語科教育法Ⅳ	授業の概要 教壇にたつためには基礎的な国語力が当然ながら必要である。本講義では、評論や小説、古文の読解を通して、それぞれの教材を学ぶ意味、教員としての知識と思考力などを養う。また、高等学校の現代文、古文の教材からそれぞれ選び、教材研究、指導案作成、模擬授業を行う。さらに基礎学力向上のために毎回小テストも行う。国語科教育法Ⅲで学んだ方法の深化を目指す。
学期	授業計画 1. ガイダンス（講義の進め方、成績評価の基準） 2. 評論とは 3. 評論文の研究① 4. 評論文の研究② 5. 評論文の研究③ 6. 評論文の研究④ 7. 現代文の教材研究 8. 現代文の指導案作成 9. 現代文の模擬授業 10. 小説の研究①－なぜ小説を学ぶのか－ 11. 小説の研究②－小説の読み方－ 12. 古文の研究－古文とは－ 13. 小説・古文の教材研究 14. 小説・古文の指導案作成 15. 小説・古文の模擬授業、総括 16. 確認テスト
後期	テキスト 中学校「国語Ⅰ」および高等学校「現代文」「古文」に採られた教材を使用する。副読本などは教員が適宜用意する。
単位数	参考書・参考資料等 『中学校学習指導要領解説 国語編』（文部科学省・東洋館出版） 『高等学校学習指導要領解説 国語編』（文部科学省・教育出版） 岩間輝生他編「ちくま評論入門」（筑摩書房）
2	学生に対する評価 教材研究・指導案作成（50%）模擬授業（25%）、小テスト・確認テスト（25%）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）現代文・古文の基礎学力がある （良）基礎学力があり、学習指導案に沿って授業ができる （優）上記二つに加えて、教え方にわかりやすさが認められたもの
浜下畑西圭吾忠	その他 受講は国語の教育職員免許状を取得しようとする者にかぎる。

科目名	授業の到達目標及びテーマ													
	到達目標：（１）教育方法に関する基礎理論を理解する。 （２）様々な教育方法の特色や考えかたを理解する。 （３）学んだ教育方法を授業の場で活用できる。 テーマ：様々な教育方法を理解し、活用する力を養う。													
教育方法論	授業の概要													
	様々な教育方法について理解を深め、学習者が主体的に学ぶことができる授業の原理と技術を修得することをめざす。その為に、問題意識と認識や学習意欲について触れ、それらと教育方法との関係性を基にして方法論的理解を深め、模擬授業を全員で検討する。													
	授業計画													
	1. イントロダクション -教育、学校、勉強の意味 2. 教育内容と教育方法 3. 分かる授業と楽しい授業 4. 見れども見れず -情報の獲得とその認識 5. 科学の方法と教育の方法 細胞の授業を例にして 6. PISA リテラシーと授業改革 7. 学習意欲と教育方法 -意欲を高める教材 8. -意欲を高める授業 9. 仮説実験授業の理論と方法 10. 総合的学習の展開 11. アクティブラーニング 12. プロジェクト学習の基本 13. 授業案を作ってみよう 14. 模擬授業-マイクロティーチング 15. 授業のまとめ-総括テスト 16. テストの講評													
学期														
後期	テキスト													
	特になし。授業で資料配布する。													
単位数	参考書・参考資料等													
	中教審審議資料（配布）、学修指導要領（高校国語）、S. F. ヤング他『主体的学びにつなげる評価と学習方法』東信堂、2015													
2	学生に対する評価													
	授業中の課題達成度（50%）、模擬授業（30%）授業参加度（20%）により評価する。 受験資格は2/3 以上出席とする。													
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）													
山岡脇本雅正夫志		<table><tr><th>論理的思考力</th><th>問題発見力</th><th>教育方法についての知識</th></tr><tr><td>可 講義の内容を理解できる</td><td>それぞれのテーマを理解できる</td><td>さまざまな教育方法を理解する。</td></tr><tr><td>良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる</td><td>異なったテーマ間の違いや関連性を理解できる。</td><td>さまざまな教育方法について、意義と問題点を理解する。</td></tr><tr><td>優 講義の内容を、自分なりの問題へと展開できる。</td><td>それぞれのテーマについて、自分なりに展開できる</td><td>さまざまな教育方法を、自らの授業設計に応用できる。</td></tr></table>	論理的思考力	問題発見力	教育方法についての知識	可 講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	さまざまな教育方法を理解する。	良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	異なったテーマ間の違いや関連性を理解できる。	さまざまな教育方法について、意義と問題点を理解する。	優 講義の内容を、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマについて、自分なりに展開できる	さまざまな教育方法を、自らの授業設計に応用できる。
	論理的思考力	問題発見力	教育方法についての知識											
	可 講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	さまざまな教育方法を理解する。											
	良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	異なったテーマ間の違いや関連性を理解できる。	さまざまな教育方法について、意義と問題点を理解する。											
優 講義の内容を、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマについて、自分なりに展開できる	さまざまな教育方法を、自らの授業設計に応用できる。												
その他														
授業中にディスカッションやレポート作成を求めることがある。														

科目名	授業の到達目標及びテーマ
情報技術論	到達目標：① コンピュータの構成と情報処理の基本知識を学ぶ。 ② 教師の仕事をごこなすために必要なパソコン技術を習得する。 ③ 情報社会の抱える問題点を理解し、情報モラルおよびマナーを身につける。 テーマ：① 情報活用の実践力を習得すると共に、情報の技術が社会や環境に果たす役割を理解する。 ② 教科教育に情報機器を取り入れる方法を学ぶ。 ③ 総合的な学習の時間や特別な教科「道徳」との関連で、情報モラルや社会のあり方を考える。
	授業の概要
	パソコンの使い方を習得しながら、情報処理の基本知識や情報社会のモラルを学ぶ。教科指導、特別な教科「道徳」特別活動、総合的な学習の時間、との関連において、それぞれの課題や目的に応じて、情報を収集・処理・表現・創造する力を育成する。
	授業計画
学期	1. オリエンテーション。授業の概要を説明する。情報化社会の現状を認識する。 2. インターネットの匿名性の持つ危険と情報社会でのマナーについて。 3. 個人情報の取り扱いとプライバシーの保護について。ネット被害の事例を紹介。 4. HR運営・特別な教科「道徳」における情報機器の活用を考える。 5. HRの課題として、Wordを使って「学級通信」を作成する。 6. 教科指導・総合的な学習の時間における情報機器の活用を考える。Excelを使用して分布図やグラフを描いてみる。 7. 情報検索を体験する。情報通信ネットワークの仕組みを知る。 8. SNSの利便性と危険について。ブログやフェイスブックについて考える。 9. 情報セキュリティとセキュリティ対策について。 10. 教科指導における情報機器の活用としてパワーポイントの使用を学ぶ。 11. アニメーションのつけ方、写真の挿入の仕方。情報に関する知的財産権と著作権について学ぶ。 12. パワーポイントを使用してのスライド作成。 13. 特別活動における情報機器の活用として「修学旅行の資料」を作成する。 14. 「修学旅行の資料」を用いてのプレゼンテーション。 15. 試験。 16. 試験の返却。および、授業を振り返っての反省会。
後期	テキスト
単位数	『インターネット社会を生きるための情報倫理』（情報教育学研究会 情報倫理教育グループ）
2	参考書・参考資料等
担当者	『エクセル＆ワード・パワーポイント便利技ぜんぶ！』TJMook
戸来知子	学生に対する評価
	課題の提出（50%）、試験（30%）、平常点（20%）
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）パソコンの基本的な操作ができる。情報社会のマナーについて言える。 （良）Excelを使ってグラフが描ける。個人情報保護の取り組みが言える。 （優）パワーポイントを使って、教科や総合的な学習の時間に発表することが出来る。
その他	授業時間以外に作業する時間（宿題として）が必要である。

道徳教育の研究	授業の到達目標及びテーマ																
	到達目標：①学習指導要領における道徳の目標、内容を理解する。 ②「道徳の時間」の実践的指導力を修得する。 ③ 道徳教育の理念と歴史を理解する。																
	テーマ：																
	授業の概要																
	道徳教育における実践的教育力を獲得することを目指す。そのために、1) 道徳の本質、2) 道徳教育の歴史、3) 道徳教育の方法について、講義する。																
	授業計画																
	第1回 人間存在と道徳（学習指導要領における道徳の目標と内容） 第2回 承前 第3回 西洋の道徳教育の歴史①、ソクラテスの対話法 第4回 西洋の道徳教育の歴史②、プラトンとギリシャの四元徳 第5回 西洋の道徳教育の歴史③、アリストテレスの徳の倫理 第6回 西洋の道徳教育の歴史④、ルソーの自然主義 第7回 日本の道徳教育の歴史①、明治以前の道徳教育 第8回 日本における道徳教育②、明治期の道徳教育 第9回 道徳教育の授業理論①（インカレクション） 第10回 道徳教育の授業理論②（価値の明確化） 第11回 道徳教育の授業理論③（コールバーグ理論に基づく道徳教育） 第12回 学習指導案の作成（中学の副教材・資料から） 第13回 模擬授業（数グループに分かれ、グループごとに発表） 第14回 承前 第15回 全体の振り返り 第16回 テストの講評																
	テキスト																
	『中学学習指導要領解説 道徳編』文部科学省																
	参考書・参考資料等																
授業内で指示する。																	
2	学生に対する評価																
学習指導案作成と模擬授業 40 点、学期末レポート 60 点。																	
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価）																
山脇雅夫	<table><tr><th></th><th>指導要領の理解</th><th>問題発見力</th><th>実践教育力</th></tr><tr><td>可</td><td>指導要領の内容を理解する</td><td>それぞれのテーマを理解できる</td><td>「道徳の時間」について理解する。</td></tr><tr><td>良</td><td>指導要領の内容をその背景を含めて理解する。</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。</td><td>「道徳の時間」のさまざまな指導法を理解する。</td></tr><tr><td>優</td><td>指導要領の内容を、その背景から理解し、道徳教育の本質を理解する。</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる</td><td>道徳の時間とは何かを理解し、その指導法を学ぶ、それを実践できる。</td></tr></table>		指導要領の理解	問題発見力	実践教育力	可	指導要領の内容を理解する	それぞれのテーマを理解できる	「道徳の時間」について理解する。	良	指導要領の内容をその背景を含めて理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	「道徳の時間」のさまざまな指導法を理解する。	優	指導要領の内容を、その背景から理解し、道徳教育の本質を理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	道徳の時間とは何かを理解し、その指導法を学ぶ、それを実践できる。
		指導要領の理解	問題発見力	実践教育力													
	可	指導要領の内容を理解する	それぞれのテーマを理解できる	「道徳の時間」について理解する。													
	良	指導要領の内容をその背景を含めて理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	「道徳の時間」のさまざまな指導法を理解する。													
	優	指導要領の内容を、その背景から理解し、道徳教育の本質を理解する。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	道徳の時間とは何かを理解し、その指導法を学ぶ、それを実践できる。													
その他																	

科目名	授業の到達目標及びテーマ
特別教育活動	到達目標：①特別教育活動の内容と必要性を理解する。 ②学習指導要領の内容を理解し、特別活動を構成している教育活動の指導方法を学ぶ。 ③人間の成長・発達の理論や教育学の基礎理論を学ぶ。 テーマ：特別活動の意義、目標を学習指導要領の内容に沿って理解する。
	授業の概要
	学習指導要領において、特別活動の目標は「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築く」実践的な態度を養うと定義されている。具体的な指導案作成や教材研究、模擬授業を行うことで特別活動の理解を深め実践力をつける。
	授業計画
学期	1. オリエンテーション。特別活動の意義と役割について学ぶ。 2. 学習指導要領から特別活動の意義や内容について学ぶ。 3. ホームルーム活動について学ぶ。役割の取得と人間関係構築について考案・教育指導の理論と実践える。 4. ホームルーム活動においての教師の指導力を考える。ホームルーム活動の指導案を作成する。（公共の精神や生き方・在り方を考える。） 5. ホームルーム活動の模擬授業。 6. 学校行事の意義や内容について学ぶ。 7. 学校行事の具体的実践研究とプレゼンテーション。 8. 生徒会活動とクラブ活動の意義を学ぶ。 9. 総合的な学習の時間について学ぶ。（背景・目的・経緯） 10. 総合的な学習の時間の指導案作成と教材研究。（食育や国際理解等。） 11. 総合的な学習の時間の模擬授業。 12. J.デュイの教育理論の基礎を学ぶ。 13. 人間の成長・発達の理論を学ぶ。青年期の課題について学ぶ。 14. 特別活動の評価を考える。評価の現状と課題についてのディスカッションを行う。 15. 試験。 16. 試験の返却と解説。特別活動のまとめと今後の課題を整理する。
前期	テキスト
単位数	文部科学省『中学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領』（特別活動編）
2	参考書・参考資料等
担当者	『よくわかる授業論』、田中耕治編著、ミネルヴァ書房。
戸来知子	学生に対する評価
	小レポート（10%）・試験（80%）・授業内の課題（10%）
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）特別教育活動は学校生活のどのような部分であるかを答えられる。 （良）特別教育活動の意義・目標を理解している。 （優）テキストを見ればデュイの教育理論の基礎を説明できる。
その他	受講者の積極的な発言を求める、双方向の授業を目標にしている。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
生徒指導・進路指導	到達目標：生徒指導と進路指導の基礎理論を理解した上で、生徒指導、進路指導の事例をあげ、その課題にどれだけ接近できたかにより到達点を測る。 テーマ：キャリアガイダンス・カウンセリングを活かした生徒指導・進路指導を行う。
	授業の概要
	自分の将来をどう展望するか、進路指導の課題に真剣に取りくめば、それは生徒指導に生きてくる。この授業では、中・高等学校の生徒指導・進路指導を進める上での基礎的事項を解説した後、担当者の生徒指導主事、進路指導主事の現場経験を活用し、実践例を多く入れ課題解決型の授業にしたい。
	授業計画
学期	1. 生徒指導の目的。日本の生徒指導の歴史の変遷について。 2. 生徒の現状と生徒理解の方法を把握する。 3. 社会変化と子どもの生活の変化を解説する。 4. 社会変化と中・高校生の問題行動を知る。 5. 生徒の生育歴と問題行動の関係を把握する。 6. 生徒指導の実際（反社会的問題行動を中心に）を解説する。 7. 生徒指導の実際（非社会的問題行動を中心に）を解説する。 8. 進路指導の基礎（職業指導から進路指導）を解説する。 9. 進路指導の基礎（進路指導からキャリア教育）を解説する。 10. 進路選択の基礎理論を解説する。（特性・因子理論から職業の発達理論までとその後） 11. 進路指導におけるガイダンスの役割を理解する。小レポートを実施する。 12. ガイダンスとスーパーのキャリアエデュケーションを解説する。 13. ミネソタプランに見るアメリカのキャリアエデュケーションと日本のキャリア教育の比較。 14. 新しい生徒指導の理論の紹介。（認知行動療法を取り入れた生徒指導） 15. 総括講義として、近年の学校教育において生徒指導の重要性が増加していることを示す。 16. 提出レポートの総括評価を行う。
後期	テキスト
単位数	伊藤一雄著「新・教育指導の理論と実践」サンライズ出版 2007.4
2	参考書・参考資料等
担当者	伊藤一雄著「キャリア開発と職業指導」法律文化社 2011.4
戸来知子	学生に対する評価
	定期試験（60%）、小試験（20%）、授業参加（単なる出席でなく質疑、発表などどれだけ主体的に授業に取組んだか）（20%）
	ルーブリック（目標に準拠した評価）
	（可）生徒指導の目標とキャリアエデュケーションの目的・現状の取り組みについて言える。 （良）生徒指導の目標と歴史的変遷を説明できる。キャリアエデュケーションの基礎理論を理解している。 （優）生徒指導の目標、教師の取り組みの実際を説明できる。キャリアエデュケーションの基礎理論に加えて、ミネソタプランと日本の文部科学省と厚生労働省の取り組みについて説明できる。
その他	各自の中学、高校時代の生徒指導。進路指導上の課題を素材として指導方法を考察したい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：学校教育相談の実情を理解すると共に必要な基礎的知識を習得する。教育相談の基礎理論である教育学や心理学の基礎知識を身につける。児童・生徒の抱える様々な問題や悩みに対応できるようになる。 テーマ：児童・生徒が学校や家庭の生活で抱える様々な問題とその対処方法を理解する。生徒の発達段階の理解や、自尊感情の育成についての理論を理解する。学習障害や、ADHDなどの広汎性発達障害についても学習する。
教育相談	授業の概要 基本的に講義形式で進めるが、学生と双方向の授業であるように常に意見を求める。テーマを決めてディスカッションを行う。考えるヒントとなるビデオ教材も鑑賞する。 授業計画 1. 講義の目的と授業計画、概要について説明する。 2. 教育相談の概念、枠組み、範疇。学校教育相談の具体例。 3. 人間の発達段階と児童期や青年期の特性について説明する。 4. 自尊感情の育成方法について解説する。 5. 児童期の子どもの様々な悩みについて説明する。 6. 学校内外でのいじめや不登校の問題について説明する。 7. 子どもを取りまく家庭の問題について。(DVや虐待の問題も含む) 8. 様々な不適応問題の原因と解決策を学ぶ。 9. 発達障害について説明する。(学習障害、ADHD、アスペルガー症候群等) 10. 発達障害を持つ子どもと家族への援助を解説する。(大人のADHDも含める。) 11. カウンセリングの基本的なテクニックと理論を紹介する。 12. 国際化に伴う教育相談を紹介する。(外国人未就学児童の問題など) 13. 社会問題化するドラッグや非行、引きこもり等の問題について説明する。 14. 教育者としての教師の自己管理について説明する。(教師の燃え尽き症候群、教師への援助等。) 15. 試験。 16. 試験の返却と解説。 テキスト 『教職基礎論』サンライズ出版 参考書・参考資料等 滝口俊子『スクールカウンセリング』放送大学 春日井敏之、伊藤美奈子編『よくわかる教育相談』ミネルヴァ書房 学生に対する評価 授業内の課題(20%)・試験(80%) ルーブリック(目標に準拠した評価) (可) 教育相談をどこで受けるかを答えられる。 (良) 自尊感情について説明できる。 (優) カウンセリングの基本的な知識を説明できる。 その他 理解しやすいように映像資料を数回見る。自分の意見を積極的に発言することを求める。
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
戸 来 知 子	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：4年間の教職科目の学習及び教育実習の経験などを通じて、教職に対する理解がどれだけ深まったか。教職に対する意欲がどれだけ高揚したかを確認し、具体的な指導方法の向上を図る。 テーマ：教職に対する理解の深化と意欲の伸長をはかる。	
教職実践演習	授業の概要	
	4年間の教職科目の学習及び教育実習を通じて、教育指導の技術の一層の進化和定着を図ることを目標とする。	
	授業計画	
	1. 本演習の目指す目標・内容について解説する。各自の教職実践演習カルテの記入。 2. 各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅰ 3. 各自の教育実習の体験を発表し、今日の学校の抱える課題を共有する。Ⅱ 4. 生徒指導（反社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。 5. 生徒指導（非社会的行動の生徒）の指導方法について各自の体験をもとに解決策を探る。 6. 教育実習で体験した生徒指導上の問題について意見交換。 7. 自分自身の学校生活を振り返っての生徒指導についての意見交換。 8. キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅰ －進学希望生徒の場合－ 9. キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅱ －就職希望生徒の場合－ 10. キャリアガイダンス・カウンセリングの実際Ⅲ －進路未決定生徒の場合－ 11. ミニ模擬授業Ⅰ－授業方法及び技術－ 12. ミニ模擬授業Ⅱ－授業構成と評価－ 13. 授業方法、授業順序、内容構成、生徒指導のかかわりについて考察する。 14. 教職実践演習カルテの記入事項の再点検と個人的課題の整理。 15. 教職実践演習カルテを記入した個々の学生に対してカウンセリングを行う。 16. 総括講義	
学期		
後期		
単位数	テキスト なし、必要に応じプリントを配布する	
2	参考書・参考資料等 原田恵理子、森山賢一編著、『自己成長を目指す教職実践演習テキスト』北樹出版 伊藤一雄 他著『新・教育指導の理論と実践』サンライズ出版 2006.4	
担当者	学生に対する評価 発表レジェムの内容（20％）、発表方法・技術（20％）、ガイダンス・カウンセリングの技術（20％）、ミニ模擬授業（20％）、総括レポート（20％）を総合する。	
戸 来 知 子	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）教員として必要な最低の実務能力が身につけているか。 （良）教員として必要な最低の実務能力を身につけ、教職に対する理解が深まったか。 （優）教員として必要な最低の実務能力を身につけ、教職に対する理解と意欲が深まったか。	
	その他 教育実習とこれまでの教職科目の総括でもあるので、積極的な発言を求める。	

科目名

教育実習の研究

学期

前期

単位数

1

担当者

戸山
来脇
知雅
子夫

授業の到達目標及びテーマ

授業の概要

授業計画

1. 事前指導（5回）

第1回：教育実習の意義と目標

第2回：教育実習の基礎知識

第3回：学校現場の1日と実習日誌の書き方

第4回：授業の進め方、指導案の書き方

第5回：教育実習の心得の確認と教育実習レポートの書き方

2. 教育実習（中学校または高等学校において90時間の委託実習を行う）

3. 事後指導（2回）

第6回：教育実習の報告

教職の意義の相互確認

第7回：教育実習の総括

第8回：教員採用試験について

（公立・私立の採用試験の実情。試験対策等）

テキスト

各教科書

参考書・参考資料等

教育実習を考える会編『教育実習の常識』荻丘書林

教育実習日誌・教科指導案

学生に対する評価

実習校からの教育実習評価表、教育実習レポート・教育実習日誌・指導案、授業態度・授業参加を加味する

ルーブリック（目標に準拠した評価）

	授業実践力	学校における人間関係力	専門職としての教師の理解
可	授業参加において、授業技術を観察できる。	生徒、同僚教員と円満に接することができる。	専門職としての教師の業務の特性を理解できる。
良	授業参観において、授業技術をポイントごとに整理して観察できる。	生徒、同僚教員と積極的に関わることができる。	専門職としての教師の業務の特性を深く理解できる。
優	授業参観において、授業技術をポイントごとに観察できるとともに、その教育的意義を理解できる。	生徒、同僚教員と積極的に関わり、その教育的意義を理解できる。	専門職としての教師の業務の特性を深く理解し、教師としての使命を自覚している。

その他

今年度の教育実習Ⅰに行く学生は、必ず木曜日1講時（前期）の「教育実習の研究」を受講すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ			
	到達目標：大学での学びへの導入を図ります。 テーマ：話し、聴き、議論する力を育てる			
	授業の概要			
	藻谷浩介さんの『里山資本主義』を読み、地域と経済の問題について理解します。あわせて、ゼミでの学びのやり方を学びます。人前で自分の意見を発表し、仲間と一緒に検討する方法を身につけることが目標です。また、教室の外に出て、高野山の地域社会を学ぶ現地学習を行います。			
	授業計画			
	1. オリエンテーション 2. マナバシステム紹介 3. 藻谷浩介『里山資本主義』の紹介 4. 現地学習 5. 発表レジュメの作り方 6. 発表レジュメ作りの練習 7. パワーポイントの使い方 8. 発表と討論① 9. 発表と討論② 10. ゲストスピーカーによる講演 11. ゲストスピーカーの講演への振り返り 12. 講演に基づく自分のテーマ 13. 自分のテーマの発表 14. 相互検討 15. 受講生による全体のまとめ 16. 講評			
	学期			
	前期			
	単位数			
	2			
学生に対する評価				
授業内での発表（50％） 授業への参加度（50％）				
ルーブリック（目標に準拠した評価）				
担当者		論理的思考力	問題発見力	作文力
	可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。
	良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。
山脇雅夫	優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。
	その他			

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：大学での学びへの導入を図ります。 テーマ：地域に出て学ぶ			
	授業の概要 前期の人間学基礎ゼミⅠを受けて、ゼミ活動の基本を学びます。前期に引き続き、澤谷浩介『里山資本主義』を検討するとともに、別の文献と比較検討するということもやってもらいます。また、地元高野町の抱える問題について、調査してもらいます。			
人間学基礎ゼミⅡ	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『里山資本主義』の検討 3. 発表と討論① 4. 発表と討論② 5. 地元高野町の問題点 6. ゼミ生の地元の問題点についての発表① 7. ゼミ生の地元の問題点についての発表② 8. ゲストスピーカーの講演 9. ゲストスピーカーの講演の振り返り 10. 現地授業 11. 調査報告 12. レポートの書き方 13. テーマとはなにか 14. レポート作成練習 15. レポート発表 16. 講評			
学期				
後期	テキスト 澤谷浩介『里山資本主義』（角川新書）			
単位数	参考書・参考資料等			
2	学生に対する評価 授業内の発表（40%）、小論文（30%）、授業参加度（30%）			
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価）			
山脇雅夫		論理的思考力	問題発見力	作文力
	可	講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	自分の考えを正確な日本語で表現できる。
	良	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	自分の考えを正確かつ論理的な日本語で表現できる。
	優	講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	自分の考えを正確かつ論理的で、説得力を持った日本語で表現できる。
	その他			

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：歴史学、心理学、社会学の考え方を理解するとともに、「宗教」の意味を考える。 テーマ：「宗教」を考える						
人間学概論Ⅱ	授業の概要 歴史学、心理学、社会学の担当者が「宗教」についてリレー授業を行い、各分野における「宗教」の考え方を紹介し、宗教が人間にとって持つ意味を考察する。						
学期	授業計画 1. 社会学における宗教 2. カリスマ 3. カルト 4. 民俗宗教 5. 宗教と現代社会 6. 宗教と心理学　－概論－ 7. 信仰と心理学（1）　－崇り考－ 8. 信仰と心理学（2）　－おかげ考－ 9. 回心論 10. 宗教的世界観と心理学的信念 11. 中世仏教をめぐる呪術性と合理性 12. 中世の出生と信仰 13. 中世の死と信仰 14. 中世の他界観 15. 中世の夢観念 16.						
後期	テキスト						
単位数	テキストを指定せず、プリントを配布する。						
2	参考書・参考資料等 授業中に紹介する。						
担当者	学生に対する評価 最終レポート（70%）、小レポートなどの課題（30%）						
坂森森口崎本太雅一郎好彦	ルブリック（目標に準拠した評価） <table><tr><td>（可）</td><td>「宗教」に関する基本用語が説明できる。</td></tr><tr><td>（良）</td><td>「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。</td></tr><tr><td>（優）</td><td>「宗教」について自分の考え方が説明できる。</td></tr></table> その他	（可）	「宗教」に関する基本用語が説明できる。	（良）	「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。	（優）	「宗教」について自分の考え方が説明できる。
（可）	「宗教」に関する基本用語が説明できる。						
（良）	「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。						
（優）	「宗教」について自分の考え方が説明できる。						

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：哲学、文学の考え方を理解するとともに、「宗教」の意味を考える。 テーマ：「宗教」を考える						
人間学概論Ⅰ	授業の概要 哲学、文学の担当者が「宗教」についてリレー授業を行い、各分野における「宗教」の考え方を紹介し、宗教が人間にとって持つ意味を考察する。						
学期	授業計画 1. 人間学概論の課題と展望 2. 人間の定義 3. 人間と宗教 4. 宗教的世界観の特徴 5. 宗教の起源 6. アニミズムの諸形態 7. 動物崇拜 8. 高野山における宗教文化（現地授業） 9. 高野山における宗教文化（かるかや物語①） 10. 高野山における宗教文化（かるかや物語②） 11. 宗教と絵巻物 12. 〈聖遺物〉と文学 13. 唱導と文学 14. 宗教と軍記文学① 15. 宗教と軍記文学② 16. 宗教を考える						
前期	テキスト テキストを指定せず、プリントを配布する。						
単位数	参考書・参考資料等 授業中に紹介する。						
2	学生に対する評価 最終レポート（70%）、小レポートなどの課題（30%）						
担当者	ルブリック（目標に準拠した評価） <table><tr><td>（可）</td><td>「宗教」に関する基本用語が説明できる。</td></tr><tr><td>（良）</td><td>「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。</td></tr><tr><td>（優）</td><td>「宗教」について自分の考え方が説明できる。</td></tr></table> その他 文学の講義ではリアクションペーパーを書いてもらう。	（可）	「宗教」に関する基本用語が説明できる。	（良）	「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。	（優）	「宗教」について自分の考え方が説明できる。
（可）	「宗教」に関する基本用語が説明できる。						
（良）	「宗教」に関する各分野の考え方が説明できる。						
（優）	「宗教」について自分の考え方が説明できる。						
浜山畑脇圭雅吾夫							

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：歴史学の史料を読解する力を錬磨し、歴史研究の営みについて理解する。 テーマ：「『吾妻鏡』を読む」						
人間学基礎ゼミⅢ	授業の概要 この基礎ゼミでは、鎌倉幕府によって編さんされた『吾妻鏡』元暦元年(1184)記を読む。『吾妻鏡』は、日本中世を代表する史籍であるとともに、和製漢文に習熟する上で標準的なテキストである。『吾妻鏡』の読解を通して、漢文の読解力を錬磨することを目指す。また、網野善彦編『日本の名随筆別巻99 歴史』の中から論文を選んで精読し、歴史学に対する思考力・問題意識を高める。						
学期	授業計画 1. オリエンテーション（『吾妻鏡』の解説、レジュメの作り方など） 2. 図書館の専門的な使い方 3. 『吾妻鏡』を読む① 4. 『吾妻鏡』を読む② 5. 『吾妻鏡』を読む③ 6. 『吾妻鏡』を読む④ 7. 『吾妻鏡』を読む⑤ 8. 論文講評Ⅰ（網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』） 9. 高野山霊宝館の見学会 10. 『吾妻鏡』を読む⑥ 11. 『吾妻鏡』を読む⑦ 12. 『吾妻鏡』を読む⑧ 13. 『吾妻鏡』を読む⑨ 14. 『吾妻鏡』を読む⑩ 15. 論文講評Ⅱ（網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』） 16. まとめ						
前期	テキスト ① ①新訂増補 国史大系 吾妻鏡』 コピーを配布 ② 網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』（作品社、1999 年）						
単位数	参考書・参考資料等 書店で購入						
2	参考書・参考資料等 佐藤進一『新版 古文書学入門』（法政大学出版局、1997 年） 高橋秀樹『古記録入門』（東京堂出版、2005 年） 菊米一志著、日本史料研究会監修『日本史を学ぶための古文書・古記録読法』（吉川弘文館、2015 年） 『日本国語大辞典 第2版』全13巻・別巻1巻（小学館、2000～2002 年） 藤堂明保編『学研 新漢和大事典』（学習研究社、2005 年）						
担当者	学生に対する評価 授業への参加度（50%） レポート（50%）						
坂口太郎	ルブリック（目標に準拠した評価） <table><tr><td>（可）</td><td>歴史学における史料の意義や、歴史学に関する基本用語について説明できる。</td></tr><tr><td>（良）</td><td>史料読解を進める上での調査方法を修得している。</td></tr><tr><td>（優）</td><td>このゼミで得た知識・研究手法を活かして、自分なりに歴史を探索する営みに応用できる。</td></tr></table> その他 受講生各自には、『日本の名随筆 別巻 99 歴史』から論文を1本選び、その内容について発表してもらうので、十分な用意をしてほしい。 授業中における活発な討論、積極的な質問を大いに歓迎する。	（可）	歴史学における史料の意義や、歴史学に関する基本用語について説明できる。	（良）	史料読解を進める上での調査方法を修得している。	（優）	このゼミで得た知識・研究手法を活かして、自分なりに歴史を探索する営みに応用できる。
（可）	歴史学における史料の意義や、歴史学に関する基本用語について説明できる。						
（良）	史料読解を進める上での調査方法を修得している。						
（優）	このゼミで得た知識・研究手法を活かして、自分なりに歴史を探索する営みに応用できる。						

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：歴史学における史料読解の重要性、問題発見のプロセスについて理解を深めるとともに、実証的な研究法の習得をめざす。 テーマ：「『吾妻鏡』を読む（続）」
人間学基礎ゼミⅣ	授業の概要 この基礎ゼミでは、前期の「人間学基礎ゼミⅢ」に引き続いて、『吾妻鏡』元暦元年（1184）記を読む。『吾妻鏡』の読解を通して、史料批判や史学研究法の修得を目指す。また、網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』の中から論文を選んで精読し、歴史学に対する思考力・問題意識を高める。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 史蹟見学（山内） 3. 『吾妻鏡』を読む① 4. 『吾妻鏡』を読む② 5. 『吾妻鏡』を読む③ 6. 『吾妻鏡』を読む④ 7. 『吾妻鏡』を読む⑤ 8. 論文講評Ⅰ（網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』） 9. 高野山霊宝館の見学会 10. 『吾妻鏡』を読む⑥ 11. 『吾妻鏡』を読む⑦ 12. 『吾妻鏡』を読む⑧ 13. 『吾妻鏡』を読む⑨ 14. 『吾妻鏡』を読む⑩ 15. 論文講評Ⅱ（網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』） 16. まとめ
後期	テキスト ①『新訂増補 国史大系 吾妻鏡』コピーを配布 ②網野善彦編『日本の名随筆 別巻 99 歴史』（作品社、1999年）書店で購入
単位数	参考書・参考資料等 佐藤進一『新版 古文書学入門』（法政大学出版局、1997年） 高橋秀樹『古記録入門』（東京堂出版、2005年） 刈米一志著、日本史料研究会監修『日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法』（吉川弘文館、2015年） 『日本国語大辞典 第2版』全13巻・別巻1巻（小学館、2000～2002年） 藤堂明保編『学研 新漢和大学典』（学習研究社、2005年）
2	学生に対する評価 授業への参加度（50％） レポート（50％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）歴史学における史料批判の意義について説明できる。 （良）歴史学の史料批判の具体的方法について修得している。 （優）このゼミで得た史料批判の手法を用いて、自分なりに歴史を探索する営みに応用できる。
坂口太郎	その他 受講生各自には、『日本の名随筆 別巻 99 歴史』から論文1本を選び、その内容について発表してもらうので、十分な用意をしてほしい。 授業中における活発な討論、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：中級程度の英字新聞の理解。 テーマ：必要な英語の情報を素早く読み取る。
英語Ⅲ	授業の概要 ネット上に流れる英字新聞を読む。
学期	授業計画 学生諸君の英語能力に応じ、下記のアドレスの英字新聞を読む。 NHK World English: http://www.nhk.or.jp/english/index.html Daily Yomiuri Online: http://www.yomiuri.co.jp/dy/ The Asahi Shimbun http://www.asahi.com/english/ Japan Times: http://www.japantimes.co.jp/
通年	テキスト テキストはありませんが、USB メモリーを用意すること。
単位数	参考書・参考資料等
2	学生に対する評価 授業態度と提出物で評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基本的な英文法が理解できること （良）英文章の構造が理解でき、内容を把握できること （優）パラグラフ単位で内容を把握でき、著者の主張を読み取れること
高倉正行	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文作成のための基本的技術を身につける テーマ：学術的読書の方法と学術的文章の作成
人間学演習ⅠA	授業の概要 卒業論文作成に向けた準備をします。テキストに依拠しながら、批判的読書の方法、学術的文章の作り方、学術的議論の仕方を学びます。
学期	授業計画 【前期】 1. オリエンテーション 2. テキストの読解 3. 読書の種類 4. 文献の収集 5. データベースの利用法 6. 文献の調査法 7. 論文の三要素 8. 論証の分析 9. テキストの要約 10. 批判的読解の方法 11. 正しい論証 12. 隠れた根拠 13. テキスト分析の具体例 14. 学術的要約の作成 15. まとめ 【後期】 1. オリエンテーション 2. 論文とは何か 3. 論文の構成 4. 問題を設定する 5. アウトラインの作成 6. 注の付け方、引用の仕方 7. プレゼンテーションの方法 8. プレゼンテーションの内容を考える 10. プレインストーミングとはなにか 11. リサーチ 12. ハンドアウトの作成 13. 話し方・非言語的要素 14. プレゼンテーションを聞く 15. ディベート
通年	テキスト 松本茂・河野哲也『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』（玉川大学出版部）
単位数	参考書・参考資料等
4	学生に対する評価 レポート（30％）、発表（30％）、授業参加の積極性（40％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）学術的文章とは何かを理解している。 （良）学術的文章の読解・作成する方法が身についている。 （優）学術的文章を読解・作成する方法が身につき、独力で学術的論文が作成できる。
山脇雅夫	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学研究の方法を習得する テーマ：日本文学研究の方法（その1）
人間学特殊ゼミⅠA	授業の概要 日本文学を研究するために必要な方法を学ぶ。作者や作品の成立、流布などの問題について考えるとともに、本文の扱い方や注釈の方法などの習得を目指す。具体的には平家物語をサンプルとする。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 平家物語の作者 3. 平家物語の成立と諸本 4. 平家物語読解① 5. 平家物語読解② 6. 平家物語読解③ 7. 平家物語読解④ 8. 平家物語読解⑤ 9. 平家物語読解⑥ 10. 平家物語読解⑦ 11. 平家物語読解⑧ 12. 平家物語読解⑨ 13. 平家物語読解⑩ 14. 平家物語読解⑪ 15. 平家物語読解⑫ 16. まとめ
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 武久堅『平家物語成立過程考』（おうふう） 大津雄一他『平家物語大事典』（東京書籍） その他講義中に適宜紹介する。
2	学生に対する評価 レポート（50％）、リアクションペーパー（50％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）文学研究の基礎的な方法を理解している （良）作品を研究し、一定の解釈をすることができる （優）作品を研究し、独自の見解を提示することができる
浜畑圭吾	その他 講義形式であるが、リアクションペーパーを活用して疑問点などを解消して欲しい。積極的な講義への参加を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本文学研究の方法を習得する テーマ：日本文学研究の方法（その2） 授業の概要 日本文学を研究するために必要な方法を学ぶ。作者や作品の成立、流布などの問題について考えるとともに、本文の扱い方や注釈の方法などの習得を目指す。具体的には平家物語をサンプルとする。 授業計画 1. ガイダンス 2. 平家物語の作者 3. 平家物語の成立と諸本 4. 平家物語読解① 5. 平家物語読解② 6. 平家物語読解③ 7. 平家物語読解④ 8. 平家物語読解⑤ 9. 平家物語読解⑥ 10. 平家物語読解⑦ 11. 平家物語読解⑧ 12. 平家物語読解⑨ 13. 平家物語読解⑩ 14. 平家物語読解⑪ 15. 平家物語読解⑫ 16. まとめ テキスト 教員が用意する。 参考書・参考資料等 武久堅『平家物語成立過程考』（おうふう） 大津雄一他『平家物語大事典』（東京書籍） その他講義中に適宜紹介する。 学生に対する評価 レポート（50%）、リアクションペーパー（50%） ループリック（目標に準拠した評価） （可）文学研究の基礎的な方法を理解している （良）作品を研究し、一定の解釈をすることができる （優）作品を研究し、独自の見解を提示することができる その他 講義形式であるが、リアクションペーパーを活用して疑問点などを解消して欲しい。積極的な講義への参加を望む。
人間学特殊ゼミⅡA	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
浜畑圭吾	

科目名	授業のテーマ テーマ：悲嘆に関する心理的支援の在り方について学ぶ 授業の目的及び概要 グリーフ（grief）とは悲嘆を意味し、悲嘆は喪失から生じる。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することにある。本講義では、様々な領域におけるグリーフケアの姿勢の在り方を学ぶ。 授業計画 1 回目：悲嘆の定義・理論 2 回目：悲嘆の理論（PTSDと複雑性悲嘆について） 3 回目：犯罪被害者支援①（被害者・加害者の声） 4 回目：犯罪被害者支援②（被害者・加害者の心理的ケア） 5 回目：虐めと虐待①（虐め体験について） 6 回目：虐めと虐待②（被虐体験への心理的ケア） 7 回目：難病支援①（難病とは・我が国の現状） 8 回目：難病支援②（生きることの苦悩と受容の心理的ケア） 9 回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援①（病と自己） 10 回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援②（死を見つめる心理とそのケア） 11 回目：自死遺族支援①（遺族の心理） 12 回目：自死遺族支援②（サポートグループについて） 13 回目：災害時支援①（災害による喪失体験） 14 回目：災害時支援②（復興期に求められる支援について） 15 回目：まとめ テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する 参考書・参考資料等 各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。 学生に対する評価 レポートにて評価する ループリック（目標に準拠した評価） その他
人間学特殊ゼミⅠB	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
森崎雅好	

科目名	授業のテーマ テーマ：自殺に関する諸理論を学び、防止のためにできることを考える 授業の目的及び概要 日本は、国連加盟国の中でも自殺率が高い国であり、依然として自殺者数が高水準で推移している。近年、自殺に関する認識が高まり、自殺対策基本法が制定され様々な対策が講じられるようになった。この授業では、自殺に関する基本的な知識を身につけ、自殺防止のためにできることについて考える。 授業計画 1 回目：日本における自殺の現状 2 回目：世界における自殺の現状 3 回目：自殺についての理論① 4 回目：自殺についての理論② 5 回目：自殺についての理論③ 6 回目：自殺と精神障害 7 回目：自殺と自傷 8 回目：自殺対策①：危機介入 9 回目：自殺対策②：予防的介入 10 回目：自殺対策③：事後の対応 11 回目：自殺とメディア 12 回目：自殺とインターネット 13 回目：自殺と文化 14 回目：自殺と社会 15 回目：まとめ テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する 参考書・参考資料等 各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。 学生に対する評価 レポートによる評価 ループリック（目標に準拠した評価） その他
人間学特殊ゼミⅡB	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
森崎雅好	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：歴史学の史料を読解する力を錬磨し、自分の研究テーマを明確化する。 テーマ：「『史館旧記』を読む」 授業の概要 この特殊ゼミでは、江戸時代の水戸藩による『大日本史』編さんに関する史料を読む。とくに、彰考館の学者による往復書状（『史館旧記』所収）を読むことで、近世の歴史学に関する知見を深めるとともに、古文書の読解能力を高める。また、受講生各自に研究報告をしてもらい、助言を与える。 授業計画 1. オリエンテーション（『史館旧記』の解説、レジュメの作り方など） 2. 図書館の専門的な使い方 3. 『史館旧記』を読む① 4. 『史館旧記』を読む② 5. 『史館旧記』を読む③ 6. 『史館旧記』を読む④ 7. 『史館旧記』を読む⑤ 8. 受講生による研究報告Ⅰ 9. 高野山霊宝館の見学会 10. 『史館旧記』を読む⑥ 11. 『史館旧記』を読む⑦ 12. 『史館旧記』を読む⑧ 13. 『史館旧記』を読む⑨ 14. 『史館旧記』を読む⑩ 15. 受講生による研究報告Ⅱ 16. まとめ テキスト 『史館旧記』 コピーを配布 参考書・参考資料等 三浦周行「徳川光圀の修史事業」 （『日本史の研究』第2輯上、岩波書店、1981年） 久保田収『近世史学史論考』（皇學館大学出版部、1968年） 児玉幸多編『くずし字用例辞典・普及版』（東京堂出版、1993年） 『日本国語大辞典 第2版』全13巻・別巻1巻（小学館、2000～2002年） 学生に対する評価 授業への参加度（50%） レポート（50%） ループリック（目標に準拠した評価） （可）近世史学の歴史的意義について説明できる。 （良）近世史料やくずし字の読解力を習得している。 （優）このゼミで得た知識・研究手法を、自己の研究に応用できる。 その他 本ゼミで扱う史料は、くずし字で書かれた未翻刻史料であるので、古文書の読解能力が欠かせない。「古文書入門」も必ず受講すること。 受講生各自には、自分が取り組む予定のテーマについて研究発表をしてもらう。十分な準備をすること。 ゼミ中における活発な討論、積極的な質問を大いに歓迎する。
人間学特殊ゼミⅠC	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
坂口太郎	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：歴史学の史料を読解する力を錬磨し、卒業論文への基礎を固める。 テーマ：「『史館旧記』を読む(続)」
人間学特殊ゼミⅡC	授業の概要 この特殊ゼミでは、前期の「人間学特殊ゼミⅠC」に引き続いて、江戸時代の水戸藩による『大日本史』編さんに関する史料(『史館旧記』所収)を読む。近世の歴史学に関する知見を深め、史料やくずし字の読解能力を高める。また、受講生各自に研究報告をしてもらい、卒業論文を視野に入れた取り組みを進める。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 史蹟見学(山内) 3. 『史館旧記』を読む① 4. 『史館旧記』を読む② 5. 『史館旧記』を読む③ 6. 『史館旧記』を読む④ 7. 『史館旧記』を読む⑤ 8. 受講生による研究報告Ⅰ 9. 高野山霊宝館の見学会 10. 『史館旧記』を読む⑥ 11. 『史館旧記』を読む⑦ 12. 『史館旧記』を読む⑧ 13. 『史館旧記』を読む⑨ 14. 『史館旧記』を読む⑩ 15. 受講生による研究報告Ⅱ 16. まとめ
後期	テキスト 『史館旧記』 コピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 三浦周行『徳川光圀の修史事業』(『日本史の研究』第2輯上、岩波書店、1981年) 久保田取『近世史学史論考』(皇學館大学出版部、1968年) 児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』(東京堂出版、1993年) 『日本国語大辞典 第2版』全13巻・別巻1巻(小学館、2000～2002年)
2	学生に対する評価 授業への参加度(50%) レポート(50%)
担当者	ループリック(目標に準拠した評価) (可) 近世史学の歴史的意義について説明できる。 (良) 近世史料の読解力を習得するとともに、自己の研究テーマについて調査を進めている。 (優) このゼミで得た知識・研究手法を自己の研究に応用し、卒業論文への具体的な計画を練っている。
坂口太郎	その他 本ゼミで扱う史料は、くずし字で書かれた未翻刻史料であるので、古文書の読解能力が欠かせない。「古文書入門」も必ず受講すること。 受講生各自には、自分が取り組む予定のテーマについて研究発表をしてもらう。十分な準備をすること。 ゼミ中における活発な討論、積極的な質問を大いに歓迎する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】：卒業論文を書くために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。 【後期】：テーマにしたがって先行研究を整理し、分析し、論文として自らの考えを構成し表現していく力を身につける。 テーマ：【前期】：卒業論文作成のための準備トレーニング 【後期】：卒業論文作成の実際
人間学演習ⅠB	授業の概要 前期は、各自の研究テーマについて情報を集めるためのブレイン・ストーミングやKJ法によるマッピングなどを紹介する。その後で、図書館やインターネットを利用して情報を収集し、整理して、ショートプレゼンテーションを行い、ディスカッションすることで知識が有機的につながってゆくように工夫する。 後期は、毎回授業のはじめに各自の進行状況を報告しあう。実際に論文を作成するプロセスにしたがって、個人指導をしながら進めてゆく。
学期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 書いてみたいテーマについて 3. ブレイン・ストーミング 4. KJ法によるマッピング 5. アイデアを膨らませるために 6. 図書館の利用法 7. インターネットの利用法 8. 先行研究を知る 9. 資料の読み込み方 10. 分析と構成 11. プレゼンテーションとディスカッション1 12. プレゼンテーションとディスカッション2 13. プレゼンテーションとディスカッション3 14. 目次作成 15. レポート作成のためのふりかえり 16. レポート講評
通年	1. 授業の流れと各自の進行状況の確認：前期レポートのふりかえり 2. タイトルについて 3. 章立てについて 4. 序章の意味について 5. 論文の格闘技的側面について 6. 資料の活かし方 7. 引用法 8. 論旨の浮かび上がらせ方 9. 書きながら修正していくこと 10. 読み合わせ1 11. 読み合わせ2 12. 個人指導1 13. 個人指導2 14. 個人指導3 15. ふりかえりとまとめ(諸問に向けて) 16. レポート講評
単位数	テキスト 『仏教心理学キーワード事典』春秋社(書店で購入)
4	参考書・参考資料等 『災害時のこころのケア』医学書院、その他適宜コピーを配布する。
担当者	学生に対する評価 授業への参加態度(30%)と期末レポート(70%)で評価する。
井上ウィマラ	ループリック(目標に準拠した評価) (可) テーマを選び、論理的な展開でレポートが書ける。 (良) 自分の主張を浮かび上がらせるために、先行研究を使いこなせている。 (優) 論考のオリジナリティと未解決の課題を含めた将来への展望が明確になっている。
	その他

科目名	授業のテーマ テーマ：心理学領域に関する諸問題を科学的に検証する姿勢を学ぶ
人間学演習ⅠC・D (臨床心理学演習)	授業の目的及び概要 3回生を対象とし、心理学領域に関して、理論や実験、演習等で学習した内容を深めるために、各自が興味・関心をいだいたテーマに関する文献を収集・要約し、発表をする。この講義は4年次の卒業論文作成のための準備段階として位置付けられる。
学期	授業計画 1. 自身が興味・関心をいだいた心理学領域に関する文献を収集する。 2. 文献の要約を行い、受講生が順番に発表を行う。 3. テーマに関する議論を行い、問題点・課題点を明らかにする。 4. 新たに見出された問題点・課題点について文献を収集しまとめる。 5. 以上の手順で、自身が焦点をあてる研究課題を明らかにする。
通年	テキスト 特に指定しない。
単位数	参考書・参考資料等 受講生のテーマにあわせて、個別に適時、紹介する。
4	学生に対する評価 1年間の発表内容をまとめたものをレポートとして提出する。評価は、講義中の態度、レポート内容によって評価する。
担当者	ループリック(目標に準拠した評価)
森崎雅好	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：事例検討をするために必要な知識を身につける。マインドフルネスをはじめとする仏教の瞑想実践が生み出した心理学的智見を、現代社会における心理や医療などの臨床現場における出来事を深く理解するために使いこなすことを学ぶ。 テーマ：生老病死を見守る力を養成する。
人間学特殊ゼミⅠD (仏教心理学と事例検討)	授業の概要 前半では、仏教心理学の基礎知識を学び、事例検討やスーパービジョンの意味について考える。後半では、テキストの事例を読み、各自が考える時間を取ったうえでディスカッションをする。
学期	授業計画 1. 仏教心理学とは何か 2. 苦しみ(dukkha)について 3. 無明と反復強迫 4. 中道と実践の8要素 5. 看護しにくい人の5条件 6. 事例検討とスピリチュアリティ 7. 第4章 人間の「生」への視点と関わり を読む 8. 周産期について考える 9. 第5章 人間の「老」への視点と関わり を読む 10. 老いについて考える 11. 第6章 人間の「病」への視点と関わり を読む 12. 病について考える 13. 第7章 人間の「死」への視点と関わり を読む 14. 死について考える 15. まとめとふりかえり
前期	テキスト 『看護と生老病死：仏教心理で困難な事例を読み解く』 井上ウィマラ 三輪書店
単位数	参考書・参考資料等 『赤ちゃんの死の前にして』 竹内正人 中央法規 『NICUとこころのケア』 橋本洋子 MCメディカ出版 『ともにある：神田橋條治 湯布院・緩和ケアの集い』 木星社 『仏教心理学キーワード事典』 春秋社
2	学生に対する評価 レポート(60%)、授業参加の積極性(40%)
担当者	ループリック(目標に準拠した評価) (可) 事例検討の大切さについて説明できる。 (良) 事例検討と生育歴の関係について理解し、自分の言葉で語れる。 (優) 仏教用語をわかりやすく説明しながら、事例について解説できる。
井上ウィマラ	その他

科目名	人間学特殊ゼミⅡD (マインドフルネスⅡ)
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	井上ウイマラ
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：関係性の中に浮かび上がってくる自分のパターンに気づく テー マ：関係性における気づきとコミュニケーション基礎力の養成	
授業の概要 最初に「慈しみの歌」を歌い、「気づきの確立に関する教え」を読誦し、15分ほど坐禅による呼吸のマインドフルネス瞑想を行う。そのあとで、テーマに従ってショートレクチャーやエクササイズをしながら体験学習を進めてゆく。	
授業計画 1. マインドフルネスとスピリチュアリティ 2. 人間存在とケア 3. ミラーニューロンと鏡像段階 4. ミラーリング 5. 他己紹介 6. 5分間トーク 7. 呼吸のモニタリング 8. 息づかいのメッセージ 9. 呼吸のキャッチボール 10. レーズンの祈り 11. マインドフルネスとコミュニティ 12. 嬉しかったこと・悲しかったこと 13. 怒りの活かし方 14. 最後の一息 15. ふりかえりとまとめ	
テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社	
参考書・参考資料等 『呼吸による気づきの教え』井上ウイマラ 俊成出版社 『仏教心理学キーワード事典』春秋社	
学生に対する評価 レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）	
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）マインドフルネスについて自分の言葉で説明できる。 （良）仏教用語と心理学用語をつないで説明できる。 （優）気づきと思いやりを日常生活の中の祈りに統合できる。	
その他	

科目名	人間学特殊ゼミⅠE (宗教学入門)
学期	前期
前期	
単位数	2
担当者	山脇雅夫
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：宗教学の基本的知識を習得します テー マ：宗教学入門	
授業の概要 テキストを中心に宗教学の基本的な知識、考え方を学びます。	
授業計画 1. 宗教学の立場 2. 宗教の原初形態 3. 科学・呪術・宗教 4. 宗教の諸類型（有神論と無神論） 5. 宗教の諸類型（神秘主義と預言者宗教） 6. 宗教の諸類型（救い型・悟り型・つながり型） 7. 宗教の構成要素 8. 宗教の実在観 9. 宗教的人間観・世界観 10. 宗教儀礼 11. おまつり 12. 宗教と社会 13. 宗教体験 14. 宗教の機能 15. まとめ 16.	
テキスト 脇平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価 レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）	
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）宗教学の基礎的知識を理解している。 （良）宗教学の基礎的知識をより専門的に理解している。 （優）宗教学の基礎的知識を理解し、自分なりの宗教理解に活かしている。	
その他	

科目名	人間学特殊ゼミⅠE (現代日本と宗教)
学期	後期
後期	
単位数	2
担当者	山脇雅夫
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代日本における宗教の意味を考察できるようになる。 テー マ：現代日本と宗教	
授業の概要 テキストを読みながら、現代日本社会における宗教の意味を考えます。	
授業計画 1. 日本社会の世俗化 2. さまざまな擬似宗教 3. 現代における死の抑圧 4. プラトンの「魂の不死」 5. 禅仏教の立場 6. 浄土教の立場 7. 宗教の本質（宇宙直観） 8. 宗教の本質（罪の意識） 9. 日本人の自然観（古事記） 10. 日本人の自然観（万葉集） 11. 聖と俗 12. 大乘仏教における聖 13. 宗教と哲学 14. 宗教と科学 15. 生命とは何か 16.	
テキスト 大峯顕『宗教の授業』（法蔵館）	
参考書・参考資料等	
学生に対する評価 レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）	
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）宗教の本質について、テキストの主張を理解している。 （良）宗教の本質について、テキストの主張を理解し、自分のことばで表現できる。 （優）宗教の本質についての理解し、現代社会におけるその意味を考察できる。	
その他	

科目名	人間学特殊ゼミⅠF・G (悲嘆学)
学期	前期
前期	
単位数	2
担当者	森崎雅好
授業のテーマ テー マ：悲嘆に関する心理的支援の在り方について学ぶ	
授業の目的及び概要 グリーフ（grief）とは悲嘆を意味し、悲嘆は喪失から生じる。この悲嘆を受け入れる作業をグリーフワークと言い、グリーフケアとはその作業を支援することにある。本講義では、様々な領域におけるグリーフケアの姿勢の在り方を学ぶ。	
授業計画 1 回目：悲嘆の定義・理論 2 回目：悲嘆の理論（PTSD と複雑性悲嘆について） 3 回目：犯罪被害者支援①（被害者・加害者の声） 4 回目：犯罪被害者支援②（被害者・加害者の心理的ケア） 5 回目：虐めと虐待①（虐め体験について） 6 回目：虐めと虐待②（被虐体験への心理的ケア） 7 回目：難病支援①（難病とは・我が国の現状） 8 回目：難病支援②（生きることの苦悩と受容の心理的ケア） 9 回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援①（病と自己） 10 回目：ホスピス・緩和ケアにおける支援②（死を見つめる心理とそのケア） 11 回目：自死遺族支援①（遺族の心理） 12 回目：自死遺族支援②（サポートグループについて） 13 回目：災害時支援①（災害による喪失体験） 14 回目：災害時支援②（復興期に求められる支援について） 15 回目：まとめ	
テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する	
参考書・参考資料等 各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。	
学生に対する評価 レポートにて評価する	
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）悲嘆の心理を理解するための基本的な心構えができている。 （良）悲嘆の心理に関する基本的な知識を身につけている。 （優）悲嘆の心理に関する知識を持った上で支援時に必要な態度を理解している。	
その他	

科目名	授業のテーマ テーマ：自殺に関する諸理論を学び、防止のためにできることを考える
人間学特殊ゼミⅡF・G (自殺学)	授業の目的及び概要 日本は、国連加盟国の中でも自殺率が高い国であり、依然として自殺者数が高水準で推移している。近年、自殺に関する認識が高まり、自殺対策基本法が制定され様々な対策が講じられるようになった。この授業では、自殺に関する基本的な知識を身につけ、自殺防止のためにできることについて考える。
学期	授業計画 1 回目：日本における自殺の現状 2 回目：世界における自殺の現状 3 回目：自殺についての理論① 4 回目：自殺についての理論② 5 回目：自殺についての理論③ 6 回目：自殺と精神障害 7 回目：自殺と自傷 8 回目：自殺対策①：危機介入 9 回目：自殺対策②：予防的介入 10 回目：自殺対策③：事後の対応 11 回目：自殺とメディア 12 回目：自殺とインターネット 13 回目：自殺と文化 14 回目：自殺と社会 15 回目：まとめ
後期	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 各講義に関する内容に即したテキストを適時紹介する。
2	学生に対する評価 レポートによる評価
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） (可) 自殺に関する基本的な知識を身につけている。 (良) 自殺を志向する心理について理解している。 (優) 自殺に関する知識を持った上で自殺を志向する心理を理解し共感しようとする姿勢を身につけている。
森崎雅好	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自分なりの聖地を見つけ、その体験を深く味わったうえで、自分の中で何が起こったのかについて考察して記述することができる。 テーマ：特定の場における聖なる体験について理解する。
総合科目 (聖地巡礼Ⅰ)	授業の概要 聖地巡礼計画書を作り、チェックを受けたうえで実際に訪問・巡礼し、その体験について考察してレポートを提出する。
学期	授業計画 第1部： 聖地巡礼計画書の作成とチェック。 第2部： 巡礼。 第3部： 巡礼体験をレポートにまとめる。
実習	テキスト 『聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで』岡本亮輔 中公新書
単位数	参考書・参考資料等 『究極日本の聖地』鎌田東二 KADOKAWA/ 中経出版
2	学生に対する評価 レポート (100%)
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） (可) 自分なりの聖地を見つけ、そこでの体験について報告できる。 (良) 聖地での体験について、客観的に分析することができる。 (優) 人はなぜ聖地を巡ろうとするかについて、生育歴や死生観につなげて説明できる。
井上ウィマラ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：聖地を訪問したり巡礼したりした体験について、聖地や遍路などに関する先行研究を踏まえながら考察を深めて、論文のスタイルで報告を作成することができる。 テーマ：先行研究を踏まえて、自らの聖地体験を論文化する。
総合科目 (聖地巡礼Ⅱ)	授業の概要 スピリチュアリティ、聖地、遍路巡礼などに関する先行研究の資料を集め、それらを基に自分の聖地体験をどのように分析するかについて計画書を作成する。チェックを受けたうえで、その計画書に基づいて報告書を作成する。
学期	授業計画 第1部： 研究計画書の作成 第2部： 先行研究の資料収集 第3部： 資料を読み込んで考察し、論文のスタイルで報告書を作成する。
実習	テキスト 『聖地巡礼：世界遺産からアニメの舞台まで』岡本亮輔 中公新書
単位数	参考書・参考資料等 『究極日本の聖地』鎌田東二 KADOKAWA/ 中経出版
2	学生に対する評価 レポート (100%)
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） (可) 先行研究を踏まえて、自らの聖地体験を考察できている。 (良) 聖地体験について、多角的な視点から議論が展開できている。 (優) 生育歴や死生観につなげながら、聖地体験とは何かを論じられる。
井上ウィマラ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：マインドフルネスを身につけて、人間としての器を作る
企画科目 (臨床心理学面接演習Ⅲ)	授業の概要 マインドフルネスとは何かを理解し、実践的に身に着けてゆくことを通して、心理的ケアの場面に臨むための人間としての器を培ってゆく。授業は、講義と演習を織り交ぜて進めてゆく。
学期	授業計画 1 回目：心理学とマインドフルネス 2 回目：自己認知と他者認知について 3 回目：間主観性について 4 回目：呼吸から息遣いへ 5 回目：身体感覚について 6 回目：感情について 7 回目：ナラティブについて 8 回目：アンビバレンスを受けとめることについて 9 回目：思いやりについて 10 回目：雑念と超自我 11 回目：食とマインドフルネス 12 回目：情動調律 13 回目：今ここに生きること 14 回目：日本の伝統文化とマインドフルネス 15 回目：ふりかえり
前期	テキスト 『呼吸による気づきの教え』井上ウィマラ 佼成出版社
単位数	参考書・参考資料等 『仏教心理学キーワード事典』春秋社
2	学生に対する評価 レポートにて評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） (可) マインドフルネスについて理解できている。 (良) マインドフルネスの心理学的な作用について説明できる。 (優) ケアの視点からマインドフルネスの重要性について自分の言葉で説明できる。
井上ウィマラ	その他 動きやすい服装でご参加ください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：生老病死の臨床に全人的に関わることを学ぶ
企画科目 (臨床心理学面接演習Ⅳ)	授業の概要 人生のあらゆる場面での臨床場面を想定し、どのようなクライアントと面接しているときでも、その人の存在を全人的に理解し関わるができるようにするために、臨床心理学的視点とスピリチュアリティの涵養を含めて理解とトレーニングを積み重ねてゆく。授業は講義と演習を交えながら進めてゆく。
学期	後期
後期	
単位数	テキスト その都度プリントを配布する
2	参考書・参考資料等 『スピリチュアルケアへのガイド』井上ウィマラ 青海社 『看護と生老病死』井上ウィマラ 三輪書店
担当者	学生に対する評価 出席とレポート
井上ウィマラ	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）臨床現場における器の大切さについて理解できている。 （良）発達の視点から人生全体を俯瞰できることの大切さが理解できている。 （優）自分自身のスピリチュアルな強みが理解できて修羅場に対応する見通しが持っている。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理検査・アセスメント法（質問紙法）について学ぶ
企画科目 (心理検査法演習Ⅰ)	授業の概要 本講義は、臨床現場で使用されるテストに触れ、心理的把握の視点を身につける。この講義では、主として、質問紙法によるパーソナリティ把握や心理的概念を把握するために開発された心理尺度に触れ、その理論的背景、解釈方法を学ぶ。尚、この講義を受講後に、心理検査法演習Ⅱを受講することが望ましい。
学期	前期
前期	
単位数	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
2	参考書・参考資料等 適時紹介する。
担当者	学生に対する評価 レポートにて評価する。
木下忠恭	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）心理検査全般の目的や留意点を知っている。 （良）2つ以上の心理検査の目的や留意点を説明できる。 （優）2つ以上の心理検査について、実施方法や解釈を説明できる。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理検査・アセスメント法（投影法）について学ぶ
企画科目 (心理検査法演習Ⅱ)	授業の概要 本講義は、臨床現場で使用されるテストに触れ、心理的把握の視点を身につける。この講義では、投影法によるパーソナリティや心的状態を把握するための理論や方法を学び、人間理解の一助となる視点を身に付ける。尚、この講義を受講する前に、臨床心理学検査法演習Ⅰを受講していることが望ましい。
学期	後期
後期	
単位数	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
2	参考書・参考資料等 随時、紹介する。
担当者	学生に対する評価 レポートにて評価する。
木下忠恭	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）投影法や描画法についての基本事項を知っている。 （良）2つ以上の心理検査の目的や留意点を説明できる。 （優）2つ以上の心理検査について、実施方法や解釈を説明できる。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理統計学の基礎を学ぶ
企画科目 (心理統計学)	授業の概要 心理学研究における統計解析の基礎手法と意味を理解することを目的としています。 統計学は、本を読んだり授業を聞いただけでは身につけません。課題を自分で解き、また各種のデータを使って自ら演習を行うといった主体的な学習が必要です。この講義で得た基礎的知識を発展させ、卒論研究で必要とされる各種分析手法を身につけるためには、さらに「心理測定法」を受講してください。 心理学の研究では、データにもとづいて判断を下すために統計的な方法が不可欠です。講義形式の授業であるが、授業内で電卓やパソコンを用いた計算等の演習を行います。
学期	前期
前期	
単位数	テキスト 吉田寿夫「本当にわかりやすくすごく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本」北大書房
2	参考書・参考資料等 下山晴彦ほか『心理学研究法入門』東京大学出版会 2004
担当者	学生に対する評価 授業ごとの演習と定期テストで総合評価する。
五明優介	ルーブリック（目標に準拠した評価） その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理学研究における測定・統計解析の実践
企画科目 (心理測定法)	授業の概要 心理学の研究では、データにもとづいて判断を下すために統計的な方法が不可欠です。講義形式の授業であるが、授業内で電卓やパソコンを用いた計算等の演習を行い、また授業時間外課題としてコンピューター（表計算ソフト Excel や統計解析ソフト SPSS などを使用）を用いた分析実習とを行います。
学期	授業計画 1～5 回目： 1. 心理学的研究における統計的手法を理解するための基本的概念 1-1 データ縮約記述 1-2 推測統計 1-3 独立変数と従属変数 1-4 質的変数と量的変数 1-5 被験者内要因と被験者間要因 6～9 回目： 2. 質的分析と量的変数の関係の分析 2-1 t 検定と分散分析 2-2 1 要因の分散分析 2-3 2 要因分析 - 主効果と交互作用 2-4 被験者内要因を含む分散分析 2-5 ノンパラメトリック法 10～12 回目： 3. 量的変数同士の関係の分析 3-1 相関 3-2 回帰分析 13～15 回目： 4. 質的変数同士の関係の分析 4-1 連関 4-2 χ^2 検定
後期	
単位数	2
2	
担当者	吉田寿夫『本当にわかりやすくすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房
五 明 優 介	参考書・参考資料等 下山晴彦ほか『心理学研究法入門』東京大学出版会 2004 学生に対する評価 授業ごとの演習と定期テストで総合評価する。 ルーブリック（目標に準拠した評価） その他 本講義は、前期に開かれている「心理統計学」を受講し、統計的方法の基礎的知識を持っていることを前提にしています。

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：終末期にある人との関わり方を学ぶ
企画科目 (臨床死生学)	授業の目的及び概要 終末期医療の現場について学ぶことを通して、終末期のあり方を理解し、死生観を育てることによってクライアントが自らの死を受けとめ、自分なりの仕方で終末期を生きることができるよう支援するための基礎知識を身に着ける。
学期	授業計画 1 回目：全人的ケア 2 回目：緩和ケアの現場から 3 回目：緩和ケアにおけるコミュニケーション 4 回目：告知とその心理 5 回目：緩和ケアと代替療法 6 回目：安楽死と尊厳死について 7 回目：看取りとグリーフケア 8 回目：エンド・オブ・ライフケア 9 回目：チームケア（チームへの心理的支援の在り方） 10 回目：家族支援 11 回目：死生観と臨床 12 回目：患者とその家族から学ぶ姿勢 13 回目：ナラティブを生きる 14 回目：喜怒哀楽を全うすること 15 回目：ふりかえりとまとめ
前期	
単位数	2
2	
担当者	その都度プリントを配布する
井 上 ウ イ マ ラ	参考書・参考資料等 その都度指示する。 学生に対する評価 レポートによる評価。 ルーブリック（目標に準拠した評価） その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理学的実験手法の基礎を身につける
企画科目 (心理学基礎実験演習Ⅰ)	授業の概要 心理学基礎実験演習ⅠとⅡを併せて受講すること。基礎実験演習Ⅰでは、心理学における基本的な実験方法とデータの分析方法、レポートの作成方法の学習を目的とする。各講義時間に提示される実験課題について、グループ毎に実験計画に従って実験実施し、データを収集する。その際に受講者は、毎回実験者と被検査者の両方を経験する。なお、講義時間内に十分なデータを収集できないときには、講義時間外にも実験を行い、データを収集すること。 実験課題毎に各グループで得られたデータを全員が共有し、各自がデータを分析、そして解釈や説明を加えて序論・方法・結果・考察から構成される心理学実験レポートを提出することが必須となる。
学期	授業計画 1 回目：ガイダンス（心理学実験法について・講義の進め方・レポートの書き方指導） 2～5 回目：感覚・知覚領域：① 錯視 ② 大きさの恒常性 6～9 回目：記憶領域：③短期記憶測定 ④単語の再生と再認 10・11 回目：学習領域：⑤両側性転移 12・13 回目：認知領域：⑥ストループ効果 14 回目：レポート課題発表会（各自で各課題を1つ選択し結果と考察を発表する） 15 回目：まとめ
前期	
単位数	2
2	
担当者	心理学実験指導研究会編『実験とテスト：心理学の基礎－実習編－』培風館 鎌原雅彦 他『心理学マニュアル 質問紙法』北大路書房 フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房
五 明 優 介	参考書・参考資料等 随時、紹介する。 学生に対する評価 課題毎に提出するレポートによる。 ルーブリック（目標に準拠した評価） その他 実験の授業は一旦始めると時間的な融通を利かせられないところがあるので、できるだけ遅刻欠席をしないようにしてください。また、本講義は基礎的な心理学の知識をもとに実験を行うので、予め心理学の概論書を読み予習しておくことをお勧めします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理学的実験手法の基礎を身につける
企画科目 (心理学基礎実験演習Ⅱ)	授業の概要 心理学基礎実験演習ⅠとⅡを併せて受講すること。基礎実験演習Ⅱでは、主として心理学における基本的な質問紙、及び、インタビュー調査法とデータの分析方法、レポートの作成方法の学習を目的とする。各講義時間に提示される実験課題について、グループ毎に実験計画に従って実験実施し、データを収集する。その際に受講者は、毎回実験者と被検査者の両方を経験する。なお、講義時間内に十分なデータを収集できないときには、講義時間外にも実験を行い、データを収集すること。 実験課題毎に各グループで得られたデータを全員が共有し、各自がデータを分析、そして解釈や説明を加えて序論・方法・結果・考察から構成される心理学実験レポートを提出することが必須となる。
学期	授業計画 1 回目：ガイダンス（心理学測定法について・講義の進め方・レポートの書き方指導） 2～5 回目：社会領域：⑦パーソナルスペース測定 ⑧囚人のジレンマ（ゲーム行動） 6～9 回目：産業領域：⑨ SD 法 ⑩メンタルヘルス質問紙作成及び分析 10・11 回目：人格領域：⑪人格の測定法：質問紙作成及び分析 12・13 回目：臨床領域：⑫インタビュー面接法（KJ 法） 14 回目：レポート課題発表会（各自で各課題を1つ選択し結果と考察を発表する） 15 回目：まとめ
後期	
単位数	2
2	
担当者	心理学実験指導研究会編『実験とテスト：心理学の基礎－実習編－』培風館 鎌原雅彦 他『心理学マニュアル 質問紙法』北大路書房 フィンドレイ『心理学実験研究レポートの書き方』北大路書房
五 明 優 介	参考書・参考資料等 随時、紹介する。 学生に対する評価 課題毎に提出するレポートによる。 ルーブリック（目標に準拠した評価） その他 実験の授業は一旦始めると時間的な融通を利かせられないところがあるので、できるだけ遅刻欠席をしないようにしてください。また、本講義は基礎的な心理学の知識をもとに実験を行うので、予め心理学の概論書を読み予習しておくことをお勧めします。

科目名	授業のテーマ テーマ：災害時の心のケアについて多角的に学ぶ
企画科目（災害心理学）	授業の目的及び概要 PTSD、複雑性悲嘆などの基本的概念を理解したうえで、災害後の時期によって変化してゆく多様なニーズに応えるための心理学的、及び、その周辺領域の知識を修得する。
学期	授業計画 1 回目：災害時支援における我が国の現状と課題 2 回目：災害教育 3 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）① 4 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）② 5 回目：心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）③ 6 回目：復興支援学とは 7 回目：復興とコミュニティ 8 回目：復興と災害障害者 9 回目：復興支援とボランティア 10 回目：復興支援とホスピス活動 11 回目：復興支援とナチュラル・サポーター 12 回目：復興支援とジェンダー 13 回目：復興時の分断と格差への対応 14 回目：復興支援と宗教 15 回目：まとめ
後期	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
2	学生に対する評価 レポートにて評価する
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）災害時に生じる心理学的諸問題に関する基礎的な知識を身につけている。 （良）災害時に生じる心理学的諸問題への対応に関する知識を身につけている。 （優）災害時における心理的支援に学んだ知見を活用する態度を理解している。
森崎雅好	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：倫理の視点より、心のケアの問題を①意思決定 ②価値観と援助関係 ③境界の扱いと多重関係の三つの視点より理解する力をつける。 テーマ：倫理は哲学の一分野ですが、心のケアという実践においてなぜ、上に述べた3つの領域が問題になるか説明する。
企画科目（こころのケアとは）	授業の概要 心のケアの実践をする主体は、人であり、人と人との関わりの中でケアする訳である。場面を大きく2領域に分け、抽象的に学ぶのではなく、Corey教授の倫理のテキストとビデオを使い、各事例を視聴した後、ワークブックの問題に取り組む事で、倫理の学習を具体的に進める。
学期	授業計画 1. 心のケアにおける倫理とは何か？ I 意思決定 2. 十代の妊娠と守秘義務 3. Big brother への対処とカウンセラーの逆転移 4. 異文化理解と衝突 5. 出生前診断と出産 II 価値観と援助関係 6. 離婚と子どものケア 7. 親からの自立と責任 8. 性的自由と問題 9. 不倫と結婚生活 III 境界問題と多重関係 10. 面接室外での面接 11. 治療関係と友人関係 12. 性的魅力とカウンセラーの自己開示 13. カウンセリング料金の交換取引 14. 贈与とカウンセリング関係 15. 倫理を学ぶ目的： 心のケアのプロフェッショナルをめざして 16. まとめ
前期	テキスト 授業中に資料を配布します。
単位数	参考書・参考資料等 ジェラルド コウリー、パトリック キャラナン 2004 年 「援助専門家のための倫理問題ワークブック」創元社
2	学生に対する評価 レポート（＝30％）、発表（＝30％）、授業参加の積極性（＝40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）倫理の基礎知識の学習 （良）ワークブックの作業 （優）現実の倫理的問題の考察
山添正	その他

科目名	授業のテーマ テーマ：精神分析学と分析心理学の基本的な概念を学ぶ
企画科目（深層心理学）	授業の目的及び概要 日常生活を送る上で、私たちは、自身の言動をすべて意識して行っているわけではない。例えば、普段口にしたようなことを思わず口走ってしまうことや、平時であればなんでもないことでも、ストレスフルな環境下では、些細なことでも怒りが湧いてくるといったことは誰もが体験していることだろう。このように自身が意識・感知していない領域、すなわち、無意識の心理過程が我々にはあると考え、研究を重ねてきた領域が深層心理学の分野である。 本講義では、深層心理学の分野において多大な影響を与えている精神分析学とその諸派の基本的な概念、及び、分析心理学の概念について取り扱う。
学期	授業計画 1 回目：精神分析学以前の学説 2 回目：精神分析誕生について：夢判断・錯誤行為 3 回目：無意識の発見・心的構造論 4 回目：神経症の症例を通じて 5 回目：自我心理学とライフサイクル論について 6 回目：自己心理学について 7 回目：対象関係論について① 8 回目：対象関係論について② 9 回目：ラカンの精神分析理論について 10 回目：分析心理学誕生について 11 回目：タイプ論 12 回目：夢分析 13 回目：元型論 14 回目：集合的無意識と東洋思想 15 回目：まとめ
前期	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する
単位数	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
2	学生に対する評価 レポートにて評価する
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）精神分析に関する基礎的な知識を身につけている。 （良）精神分析の臨床哲学を理解している。 （優）臨床現場で精神分析の知見を活用する態度を理解している。
山添正	その他 講義中における活発な質疑、議論を求めます。積極的に参加してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：テキストは面接過程を13段階にわけており、段階ごとの基本的概念とテクニックを学ぶ。 テーマ：カウンセラーとしてケアワーカーとして、ケアを必要としている人との係わり方についての理論的概念かつ実践的なテクニックを学ぶ。それだけではなく、関わりの記録方法を学び、スーパービジョンを受ける事で実際の面接への応用方法を理解する。
企画科目（臨床心理学面接演習Ⅰ）	授業の概要 まず面接のプロセスが、来談者と面接者との出会いから始まり、治療の関係が形成され、面接作業がどのように進むかについての理論学習と平行して、各ステップごとに教科書と関連するDVDを視聴して、具体的にどのように面接が進められているか実践的に理解します。その後、受講生同士で面接（ピア面接）を行い、記録に残してスーパービジョンを受け、実践的に面接技術の学習をします。
学期	授業計画 1. 面接のはじめ 2. 治療関係 3. 治療目標の確立 4. 多様性の理解と対応 5. 抵抗の理解と対処 6. 面接における認知的焦点化 7. 面接における感情的焦点化 8. 面接における行動的焦点化 9. 面接における発達の焦点化 10. 統合的視点 11. 転移 12. 逆転移 13. 過去が現在に与える影響の理解 14. 決断と行動変化への作業 15. 評価と終結 16. まとめ
前期	テキスト ジェラルド・コーレイ 2011 年 「コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践」 金子書房 3800 円
単位数	参考書・参考資料等 コーレイ教授の統合的カウンセリングの技術：理論と実践 DVD 版 金子書房 10290 円
2	学生に対する評価 レポート（＝30％）、発表（＝30％）、授業参加の積極性（＝40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）セラビー過程の基礎知識の学習 （良）ロールプレイと知識の関連の理解 （優）自分のセラビストとしての資質の検証
山添正	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：事例に対する12の理論の基本とテクニックを学ぶ。 テーマ：事例に対して、12のアプローチ方法は、どのようなアセスメントと治療テクニックであるかをスーパービジョンを通して学ぶ。
企画科目 (臨床心理学面接演習Ⅱ)	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
山添正	
授業の概要	ボランティアまたは実習で係わった人との事例報告書作成し、発表する。それに対して、どのようなアセスメントと治療テクニックがあるかをスーパービジョンを通して学ぶ。
授業計画	1. スーパービジョンについてのガイダンス 2. 精神分析的視点からのケース・アプローチ 3. アドラー派の視点からのケース・アプローチ 4. 実存分析的視点からのケース・アプローチ 5. 来談者中心療法の視点からのケース・アプローチ 6. ゲシュタルト療法的視点からのケース・アプローチ 7. 行動療法的視点からのケース・アプローチ 8. 認知行動療法的視点からのケース・アプローチ 9. 現実療法敵視点からのケース・アプローチ 10. フェミニスト療法的視点からのケース・アプローチ 11. ポストモダン敵視点からのケース・アプローチ 12. 家族療法的視点からのケース・アプローチ 13. 統合的視点からのケースへのケース・アプローチ 14. 受講者自身の面接スタイルの探求 15. 日本人と面接 16. まとめ
テキスト	松井紀和 2001 年 カウンセリングを学ぶ人の為の心理療法の基礎と実際 カウンセリング教育サポートセンター 03-3407-3363 1000 円
参考書・参考資料等	Gerald Corey 2009 Case approach to Counseling and Psychotherapy Belmont Thomson
学生に対する評価	レポート (30%)、発表 (30%)、授業参加の積極性 (40%)
ルーブリック (目標に準拠した評価)	(可) ケース記録の作成 (良) 各理論の基礎知識の学習 (優) 理論を適用しケースの考察
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：生涯発達の見点から、各発達時期の問題についての知見を深める
企画科目 (発達心理学)	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
西川みち子	
授業の概要	生涯発達の見点より、乳幼児期・児童期・思春期・青年期・成人期・老年期の各発達時期における認知、情動、運動、社会性などの特徴を解説する。主な発達理論や研究成果について触れながら、発達研究の実践との関係についても考えていく。また、発達が十分になされていない場合の問題や発達上の障害がある場合への発達援助的アプローチや心理援助的アプローチについて解説する。
授業計画	1 回目：発達心理学とは 2 回目：遺伝と環境、及び、初期経験 3 回目：言語の発達について 4 回目：認知の発達について 5 回目：発達段階と発達課題 (総論) 6 回目：乳児期の発達について 7 回目：幼児期の発達について 8 回目：児童期の発達について 9 回目：思春期の発達について 10 回目：青年期の発達について 11 回目：成人期の発達について 12 回目：老年期の発達について 13 回目：発達障害とその支援① 14 回目：発達障害とその支援② 15 回目：まとめ
テキスト	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考書・参考資料等	その他の参考書は、随時、紹介する。
学生に対する評価	レポートによる評価。
ルーブリック (目標に準拠した評価)	(可) 人の発達の道筋を理解する。 (良) 問題が発生したことへの原因について考えることができる。 (優) 適切な援助方法を考えることができる。
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：家族のあり方を心理学の視点から考察する
企画科目 (家族心理学)	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
西川みち子	
授業の概要	夫婦というヨコの関係、親子など血縁というタテの関係、法律上の家族、地域社会との関係など複雑に絡みあった関係から生じる種々の家族問題について、社会的背景を踏まえつつ、事例を通じて、心理学的視点から家族のあり方を考察し、支援方法について学ぶ。
授業計画	1 回目：家族とは何か 2 回目：夫婦について 3 回目：父と息子について 4 回目：父と娘について 5 回目：母と息子について 6 回目：母と娘について 7 回目：兄弟・姉妹について 8 回目：家族の危機について 9 回目：高齢者と家族について 10 回目：家族と地域について 11 回目：家族療法について 12 回目：家族を支援する自助グループについて 13 回目：家族と地域支援ネットワークについて 14 回目：シェルターと自立支援施設について 15 回目：まとめ
テキスト	特に指定しない。
参考書・参考資料等	『家族心理学 家族システムの発達と臨床的援助』 中釜洋子・野末武義他 著 有斐閣ブックス
学生に対する評価	レポートにて評価する。
ルーブリック (目標に準拠した評価)	(可) 家族関係について理解できる。 (良) 問題が発生した場合、その病理を関係性から読み取ることができる。 (優) 適切な援助法が考えられる。
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：学校教育場面における様々な問題の理解とその対応について学ぶ
企画科目 (学校心理学)	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
木下忠恭	
授業の概要	学校生活において生じる種々の問題について、アセスメント・コンサルテーション・カウンセリングの知識などを通して、児童・生徒、及び、保護者や教師、学校に対して心理教育的支援を提供するための知識を深める。
授業計画	1 回目：学校教育と心理学：歴史的背景を知る 2 回目：発達心理学的視点と学校教育 3 回目：学校内チーム支援について 4 回目：保護者と学校を支援する視点 5 回目：児童期の発達と学校教育 6 回目：児童期の学習の問題について 7 回目：児童期の不登校について 8 回目：児童期の仲間関係といじめについて 9 回目：児童期における学校内チーム支援の在り方について 10 回目：思春期・青年期の発達と学校教育 11 回目：思春期・青年期の学習の問題について 12 回目：思春期・青年期の不登校について 13 回目：思春期・青年期の仲間関係といじめについて 14 回目：思春期・青年期における学校内チーム支援の在り方について 15 回目：まとめ
テキスト	特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
参考書・参考資料等	・石隈利紀著『学校心理学－教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス』(1999・誠信書房) ・学校心理士資格認定委員会編『学校心理学ガイドブック』第2版 (2007・風間書房)
学生に対する評価	レポートによる評価。
ルーブリック (目標に準拠した評価)	(可) 2つ以上の学校の課題について、基本事項を知っている。 (良) 心理教育的支援の方法について説明できる。 (優) 学校の課題に対して心理教育的支援をどのように提供するか説明できる。
その他	

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：カウンセリングの理論・技法について学ぶ
企画科目（カウンセリング論）	授業の概要 前半ではカウンセリングの各理論や技法の基本的な考え方を示し、後半ではカウンセリングの実際を事例に即して取り上げ、ロールプレイング等を通して体験的に学ぶ。
学期	授業計画 1 回目：オリエンテーションとして、授業の内容や計画を説明 2 回目：カウンセリングの歴史的背景を知る 3 回目：心理アセスメントについて 4 回目：様々なカウンセリングを知る（クライエント中心療法） 5 回目：様々なカウンセリングを知る（精神分析的心理療法） 6 回目：様々なカウンセリングを知る（解決思考アプローチ） 7 回目：様々なカウンセリングを知る（認知行動療法） 8 回目：様々なカウンセリングを知る（その他） 9 回目：子どもへのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 10 回目：保護者へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 11 回目：発達障害を抱える人へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 12 回目：被虐待へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 13 回目：非行を行う人へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 14 回目：自傷・自殺念慮へのカウンセリングの演習（ロールプレイ含） 15 回目：まとめ
後期	テキスト 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 適時紹介する。
2	学生に対する評価 レポートによる評価。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）3つ以上のカウンセリング技法の概略について知っている。 （良）2つ以上のカウンセリング技法について、基本的な考え方を説明できる。 （優）カウンセリング技法を用いて、カウンセリングができる。
木下忠恭	その他 できるだけ、わかりやすい授業を心がけます。講義と演習を取り入れ、受講生からの積極的な質疑・意見をいただき、“臨床の知”を共に深めていきたいと考えています。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：セルフケアが個人・グループで実行できること。 テーマ：メンタルヘルスにおける予防策とセルフケアの体験
企画科目（メンタルヘルス）	授業の概要 メンタルヘルスの概念、セルフケアの重要性、ケア・予防を軸としたコミュニケーション、グループケアの体験
学期	授業計画 1. メンタルヘルスの概念 2. セルフケア（ケアする側のケア）の重要性（trauma Care） 3. ケア・予防を軸としたコミュニケーション1 4. ケア・予防を軸としたコミュニケーション2 5. ケア・予防を軸としたコミュニケーション3 6. ケア・予防を軸としたコミュニケーション4 7. ケア・予防を軸としたコミュニケーション5 8. グループケアについて1 9. グループケアについて2 10. グループケアについて3 11. グループケアについて4 12. グループケアについて5 13. グループケアについて6 14. グループケアについて7 15. 総括 16. 小論文
前期	テキスト なし
単位数	参考書・参考資料等 ・スタンフォードのストレスを力に変える教科書 大和書房 ケリーマクゴニガル 神崎朗子訳 ・心を癒すノート 創元社 伊藤正哉 櫻村正美 堀越 勝 ・世界のエリートがIQ・学歴よりも重視レジリエンスの鍛え方 久世浩司 実業之日本社 ・子どもの「逆境に負けない心」を育てる本 楽しいワークで身につく「レジリエンス」足立啓美 鈴木水季 久世浩司 イローナ・ボニウエル（監修）法研 ・仏教とアドラー心理学 岡野守也 佼成出版社 ・仏教とカウンセリング 友久久雄 編 法蔵館 ・自分を信じるレッスン 手塚郁恵 春秋社 ・心理療法に生かすロールプレイング・マニュアル レイモンドJ.コルシニ 金子賢（監訳）金子書房 ・一番やさしくNLPのことがわかる本 浦 登記 白石由利奈 監修 日本実業出版社 ・コミュニケーション能力 理論と実践 サンドラ・サヴィニョン 法政大学出版局 ・田中万里子のDVD 「子どもの心育で講座」 田中万里子Ph.D InnerCore9
2	学生に対する評価 レポート（30%）、発表（20%）、授業参加の積極性（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義内容を理解できる （良）演習に積極的に取り組み、自己洞察ができる。 （優）講義内容・演習について、他者に説明、実践できる。
根岸和政	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：社会の中で生きる人の心の心理過程について学ぶ
企画科目（社会心理学）	授業の概要 個人・対人関係・集団・社会の社会心理学の基礎的テーマを講義し、様々な社会心理測定尺度を体験してみることで講義の理解を深める。 個人の分野では、主に実験的方法により、社会における個人の自己のありかたや他者に対する認知や感情が研究されている。また、対人関係の分野では、より応用的な研究が行われている。たとえば、対人関係を円滑にするための社会的スキルなどである。この授業では、このような実験的・応用的研究結果とともに、それらの研究を支える様々な理論的枠組みについて学びます。
学期	授業計画 1 回目：社会心理学概論 2 回目：社会的認知の基礎 脳と認知 3 回目：対人認知 第一印象形成 4 回目：対人感情 5 回目：自己概念 6 回目：自己開示 7 回目：向社会的行動 8 回目：反社会的行動 9 回目：対人コミュニケーション 言語的 10 回目：対人コミュニケーション 非言語的 11 回目：説得的コミュニケーション 12 回目：集団の中の人間 リーダー 13 回目：集団の中の人間 葛藤 14 回目：ネットワーク 15 回目：まとめ
前期	テキスト 山岸俊男編集『社会心理学キーワード』有斐閣
単位数	参考書・参考資料等 ライブラリ『セクション社会心理学1～22』サイエンス社 堀 洋道『心理測定尺度集』サイエンス社
2	学生に対する評価 授業参加の積極性＋小レポート（45%）、最終レポート（55%）。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価）
松下睦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアの基本理解と自己課題の明確化 テーマ：スピリチュアルケアの対人援助姿勢・理論・援助論の修得とグループワークの基礎的演習
企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅰ）	授業の概要 スピリチュアルケアの基本理解と対人援助理論を学習し、グループワークを通して、自己課題に取り組む。ケアされる経験を通してケアを学ぶ教育哲学のもと、自己の課題とグループメンバーへのケアを実践する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. スピリチュアルケアの基礎1 3. スピリチュアルケアの基礎2 4. グループワークの基礎1 5. グループワークの基礎2 6. 生育歴セッション1 7. 生育歴セッション2 8. スピリチュアルケアの理論1 9. スピリチュアルケアの理論2 10. 生育歴セッション3 11. 生育歴セッション4 12. 死生観スピーチセッション1 13. 死生観スピーチセッション2 14. 死生観スピーチセッション3 15. 死生観スピーチセッション4 16. まとめ
前期	テキスト
単位数	参考書・参考資料等 大河内大博『今、この身で生きる』 窪寺俊之他編著『スピリチュアルケアを語る〈第3集〉臨床的教育法の試み』関西学院大学出版会
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（25%）、授業参加の積極性（25%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）スピリチュアルケアの基本的対人姿勢が理解できている （良）自己開示ができ、課題に取り組む姿勢がみえている （優）自己課題が明確であり、グループダイナミックスを理解できている
大河内大博	その他 グループワークが中心で、自己開示を必要とします。 原則的に秋学期の「スピリチュアルケア演習Ⅱ」と両方の受講を求めます。 各回、欠席のないようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアの基本理解と自己課題の明確化 テーマ：スピリチュアルケアの対人援助姿勢・理論・援助論の修得とグループワークの基礎的演習
企画科目 (スピリチュアルケア演習Ⅱ)	授業の概要 スピリチュアルケアの基本理解と対人援助理論を学習し、グループワークを通して、自己課題に取り組む。ケアされる経験を通してケアを学ぶ教育哲学のもと、自己の課題とグループメンバーへのケアを実践する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 医療・看護とスピリチュアルケア 3. グループワーク（グリーフケア） 4. グリーフケアとスピリチュアルケア 5. 会話記録セッション1 6. 会話記録セッション2 7. 会話記録セッション3 8. 会話記録セッション4 9. IPR 1 10. IPR 2 11. IPR 3 12. 成果報告セッション1 13. 成果報告セッション2 14. 成果報告セッション3 15. 成果報告セッション4 16. まとめ
後期	テキスト
単位数	参考書・参考資料等 大河内大博『今、この身で生きる』 窪寺俊之他編著『スピリチュアルケアを語る〈第3集〉臨床的教育法の試み』関西学院大学出版会
2	学生に対する評価 レポート（50％）、発表（25％）、授業参加の積極性（25％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）スピリチュアルケアの基本的対人姿勢が理解できている （良）自己開示ができ、課題に取り組む姿勢がみえている （優）自己課題が明確であり、グループダイナミックスを理解できている
大河内大博	その他 グループワークが中心で、自己開示を必要とします。 原則的に秋学期の「スピリチュアルケア演習Ⅱ」と両方の受講を求めます。 各回、欠席のないようにしてください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の世界観、死生観に触れる テーマ：密教瞑想法と密教における死生観
企画科目 (密教瞑想)	授業の概要 阿字観は、阿の一字を徹頭徹尾観する密教の観法である。通常の密教実践は出家者にだけ許されているが、阿字観は在家の人でも修することができる。 密教観法の一つである阿字観について一般的な講義をおこなう。阿字観の実修も実際に行う。 後半は聖地巡礼で高野山を巡る。
学期	授業計画 1. 密教瞑想とは 2. 阿息観の理論 3. 阿息観の実践方法 4. 阿字の哲学 5. 阿息観の実習（1） 6. 阿息観の実習（2） 7. 密教における死生観（1） 8. 密教における死生観（2） 9. 月輪観 10. 阿字観 11. 聖地巡礼 12. 聖地巡礼 13. 聖地巡礼 14. 聖地巡礼 15. 聖地巡礼 16. まとめ
集中	テキスト
単位数	山崎泰廣著『真言密教 阿字観瞑想入門』（春秋社） その他コピー配布
2	参考書・参考資料等 『大日経』、『大日経疏』、『定本弘法大師全集』等
担当者	学生に対する評価 レポート（80％）、授業参加の積極性（20％）
佐藤隆彦	ループリック（目標に準拠した評価） （可）密教の死生観について考えることが出来る。 （良）密教の死生観について従来の考え方を理解することが出来る。 （優）密教の死生観を踏まえたうえで、自らの死生観を論理的に他社に対して述べる事が出来る。
	その他 楽に坐れる服装で出席のこと。 匂いの強い化粧、ネックレス、イヤリングをしないこと。 受講の間に、釈尊の胸中、空海の悠大な悟境の片鱗に触れていただきたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 相手と話したいことを話したいようにそのまま聞き受けること、人の言葉を継承するという事を体得する。
企画科目 (コミュニケーション演習Ⅰ)	授業の概要 学生の具体的な質問に答えつつそれぞれの心境や課題を意識化する。現場で役立つコミュニケーションの核心＝聞くことについて講義と実習を行う。講師である橋本の場作りの態度を素材にして活発な質疑応答を行う。ミニカウンセリングの効果を体験する。 さらに身体の動きを聞くということ。身体というコト・パ＝現場の発見。
学期	授業計画 三日間の集中講義である。 [全体の内容] 最前線の現場でのコミュニケーション場面で必須となる「聞く」ことの肝心要を「稽古」する。 [方法] 15分間の傾聴と5分間の影舞（身体の動きを聞く芸能）、学生の機に応じて講義 [展開] 聴き手（カウンセラー）と語り手（クライアント）の両方を体験し、録音記録と逐語記録を作る。二人の人間（聞き手と話し手）の間に起こった現象を、音韻・間合い・環境音などのエネルギーのレベルにも着目して、ていねいに観察する。我々の思考の営みへの視力を鍛え、感情・感覚・存在といった人間を構成するエネルギー各層への視界を取り戻す。 思考の働きが、相互作用しつつ変化する柔らかいエネルギー（空間形質）の上に、観念を次々に投影して固定していく様子を観察する。 人間関係が新鮮さを失っていく原因が、我々の聴く態度や存在のしかたにあることに気づく。 カウンセリングを行うときや、グループをファシリテートするとき、あるいは一般的に生じるあらゆる人間関係の中で、特に人の話を聞く時の態度や在り方について具体的に歪みなく対象を認識するための視力を回復する。 他者の話に耳を傾けると、「自分が聴いている」姿勢から「ただ聴いている」状態にシフトし、さらに出来事や現象の方がわれわれに耳を傾けているように感じられる「他力的・共時的な場（シンクロニック・フィールド）」に入ると、相手が語ってくださる物語は、援助すべき問題を持った「ケース」から、聞き手を魅了し、エネルギーを与えてくれる「作品」へと変容することの確認。 ＊身体を動かすので動きやすい服装で参加のこと。
集中	テキスト 必要に応じてプリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業時に伝える。
2	学生に対する評価 授業態度、傾聴の実力とレポート提出によって判定する。
橋本久仁彦	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義・実習にすべて参加し、一定の体験を積んだと認める。 （良）15分間の傾聴場面において、話者のことばを正確に辿る姿勢が身についたと認める。 （優）グループ（場）の中で錯綜することばを正確に辿り、場に明晰性をもたらす力があると認める。
	その他 講師の講義や説明を録音してもよろしい。動きやすい服装で参加のこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 相手と話したいことを話したいようにそのまま聞き受けること、人の言葉を継承するという事を体得する。
企画科目 (コミュニケーション演習Ⅱ)	授業の概要 学生の具体的な質問に答えつつそれぞれの心境や課題を意識化する。現場で役立つコミュニケーションの核心＝聞くことについて講義と実習を行う。 講師である橋本の場作りの態度を素材にして活発な質疑応答を行う。ミニカウンセリングの効果を体験する。 さらに身体の動きを聞くということ。身体というコト・パ＝現場の発見。
学期	授業計画 三日間の集中講義である。 [全体の内容] 最前線の現場でのコミュニケーション場面で必須となる「聞く」ことの肝心要を「稽古」する。 [方法] 15分間の傾聴と5分間の影舞（身体の動きを聞く芸能）、学生の機に応じて講義 [展開] 聴き手（カウンセラー）と語り手（クライアント）の両方を体験し、録音記録と逐語記録を作る。二人の人間（聞き手と話し手）の間に起こった現象を、音韻・間合い・環境音などのエネルギーのレベルにも着目して、ていねいに観察する。我々の思考の営みへの視力を鍛え、感情・感覚・存在といった人間を構成するエネルギー各層への視界を取り戻す。 思考の働きが、相互作用しつつ変化する柔らかいエネルギー（空間形質）の上に、観念を次々に投影して固定していく様子を観察する。 人間関係が新鮮さを失っていく原因が、我々の聴く態度や存在のしかたにあることに気づく。 カウンセリングを行うときや、グループをファシリテートするとき、あるいは一般的に生じるあらゆる人間関係の中で、特に人の話を聞く時の態度や在り方について具体的に歪みなく対象を認識するための視力を回復する。 他者の話に耳を傾けると、「自分が聴いている」姿勢から「ただ聴いている」状態にシフトし、さらに出来事や現象の方がわれわれに耳を傾けているように感じられる「他力的・共時的な場（シンクロニック・フィールド）」に入ると、相手が語ってくださる物語は、援助すべき問題を持った「ケース」から、聞き手を魅了し、エネルギーを与えてくれる「作品」へと変容することの確認。 ＊身体を動かすので動きやすい服装で参加のこと。
集中	テキスト 必要に応じてプリントを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 授業時に伝える。
2	学生に対する評価 授業態度、傾聴の実力とレポート提出によって判定する。
橋本久仁彦	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義・実習にすべて参加し、一定の体験を積んだと認める。 （良）15分間の傾聴場面において、話者のことばを正確に辿る姿勢が身についたと認める。 （優）グループ（場）の中で錯綜することばを正確に辿り、場に明晰性をもたらす力があると認める。
	その他 講師の講義や説明を録音してもよろしい。動きやすい服装で参加のこと。 企画科目（コミュニケーション演習Ⅰ）を受講していることが望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアの基本的概念を理解し関心と興味をもつこと。 テーマ：スピリチュアルケア、スピリチュアリティ、宗教的ケア、心理的ケア、終末期医療、日本のスピリチュアリティなどの概念。
企画科目 （スピリチュアルケア概論）	授業の概要 各授業時間（90分）の内60分を講義に使い、残りの30分は受講者とのディスカッションをする。受講者の知識と経験を掘り起こしてスピリチュアルケアの本質との関係に気付くようにする。
学期	授業計画 1. スピリチュアルケアとは何か（I）WHOの健康定義の改正案 2. スピリチュアルケアの必要性、終末期医療現場での苦悩 3. スピリチュアルケアの必要性と現代医療の問題点（治療中心医療の限界） 4. スピリチュアルケアに求められているもの 5. スピリチュアルケアとは何か（II）スピリチュアルケアの定義の多様性 6. スピリチュアルとは何か、スピリットとは何か 7. スピリチュアルケアの本質、関係性、人間とは何か 8. スピリチュアルケアの目的（QOLの向上） 9. スピリチュアルケアと宗教的ケア、心理的ケアの相違点 10. スピリチュアルティの垂直的関係 11. ケアとは何か 12. スピリチュアルケア・ギバー（提供者）の養成 13. スピリチュアルな感性を磨く（スピリチュアルな視点、側面、テーマなど） 14. 「竹取物語」のスピリチュアルティ 15. 金子みすゞのスピリチュアリティ 16. 授業の振り返り
集中	テキスト 窪寺俊之『スピリチュアルケア入門』三輪書店、2000
単位数	参考書・参考資料等 窪寺俊之『スピリチュアルケア序説』三輪書店、2004 窪寺俊之『スピリチュアルケア概説』三輪書店、2008
2	学生に対する評価 レポート（50%）、発表（20%）、授業参加の積極性（30%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）スピリチュアルケアの基本的用語を理解する。 （良）スピリチュアルケアの基本に加えて、宗教的ケア、心理的ケアとの関係など周辺領域との関係を広く理解する。 （優）スピリチュアルケアを全体的に理解することに加えて、ケア者（スピリチュアルケア援助者）として、他の参考図書を読んで理解できる。
窪寺俊之	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：日本人の代表的な死生観についての理解を深めると同時に、受講者それぞれの死生観を見つめ直し、培う場とする。 テーマ：映画や絵本に現れる日本人の死生観
企画科目 （死生観）	授業の概要 世俗化が進む現代日本社会において、日常において死について語ることはほとんどなく、死生観の空洞化が進んでいると言われる。しかし、それでも映画作品の中に、日本人の持つ宗教性や死生観が描かれている。本講義では、日本人の代表的な死生観を概観すると同時に、それらの作品を通じて、日本人の死生観に対する理解を深める。 また、グループワークやディスカッションを可能な限り取り入れる。これらの作業を通じ、受講者それぞれの死生観を見つめ直し、培う場としたい。
学期	授業計画 1. 死生学と死生観 2. 死に向き合う（映画「赤ひげ」） 3. 死からの生を生きる（映画「殯の森」） 4. 死までの生を生きる（映画「生きる」） 5. グループワーク、ディスカッション①（絵本「100万回生きた猫」） 6. 日本人の死生観と他界観（絵本「このあとどうしちゃおう」） 7. 死者を送る（映画「おくりびと」） 8. この世とあの世を媒介するもの：お迎え（映画「赤ひげ」） 9. この世にいる死者：幽霊（映画「岸辺の旅」） 10. グループワーク、ディスカッション②（絵本「おばあちゃんは本になった」） 11. 「無宗教」という死生観 12. 新しい葬送の形：死者はどこにいいのか 13. 受け継がれていく生（映画「歩いて歩いても」） 14. 日本人の死生観と無常観（映画「つみきのいえ」） 15. まとめ：グループワーク、ディスカッション③（絵本「岸辺のふたり」）
集中	テキスト 適宜、指示する
単位数	参考書・参考資料等 ・佐藤弘夫『死者の花嫁―葬送と追悼の列島』幻戯書房、2015年 ・島南進む『日本人の死生観を読む』朝日新聞出版、2012年 ・波平恵美子『日本人の死のかたち』朝日新聞出版、2004年
2	学生に対する評価 期末レポート（50%）、毎回の授業時に提出する課題（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）日本人の死生観について基本概念を理解し、自身の死生観をなんとなく説明できる。 （良）日本人の死生観とその変遷を配布資料に沿って理解し、自身の死生観を自分の言葉で説明できる。 （優）日本人の死生観とその変遷を他者に自分の言葉で説明できる程度に理解し、自身の死生観を「日本人の死生観」に比較言及しながら自分の言葉で説明できる。
山本佳世子	その他 映画は時間の関係で一部しか鑑賞できません。ぜひ、全編鑑賞することをおすすめします。 授業計画は予定であり、取り上げる映画等、一部変更する可能性があります。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：ものの語り（ナラティブ）から人生とスピリチュアル・ケアを深く考える。 テーマ：喪失の語りと人生心理学
企画科目 （ものの語り心理学）	授業の概要 ものの語り心理学の理論と方法論の基礎を、語りの協働実践から学ぶ。特に「喪失の語り」をテーマに、「人生」「スピリチュアリティ」「ケア」と関連づけながら、受講者で議論する。
学期	授業計画 1. ものの語り（ナラティブ）とは？ 2. ものの語りアプローチの人間観 3. ものの語りアプローチの方法論 4. 人生をものの語る 5. 死にゆく語り 6. 生成継承性と日本文化の死生観 7. 喪失から生成へのものの語り 8. 「いのち」とスピリチュアリティとケア 9. 生死の境界の語り 10. 追悼の語り 11. 墓地のライフストーリー 12. いない母のイメージと人生のものの語り 13. この世とあの世のイメージと「たましい」の表象 14. 東日本大震災の語りと人生の転換 15. 語りによるリフレクション 16. まとめ
前期	テキスト やまだようこ『喪失の語り－生成のライフストーリー』新曜社
単位数	参考書・参考資料等 やまだようこ（編）『人生を物語る』ミネルヴァ書房 やまだようこ（編）『人生と病いの語り』東京大学出版会
2	学生に対する評価 授業への積極的参加と授業時の小レポート（50%）最終レポート（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価）
やまだようこ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理学の基礎的な知識を身に付ける。
心理学ⅠB	授業の目的及び概要 一般に「心理学」ときくと、血液型や人の心を読むといったものを思い浮かべる方が多いだろう。しかし、「心理学」という学問領域は、私たちが「心」と名付けるところの「理」についての働きやその過程を幅広く研究する領域である。この講義（心理学Ⅰ）では、まず、個人の心理について、特に、情報を受け取り処理し、思考するという認知的な観点から、これまでの研究知見を紹介する。尚、対人関係や発達の視点からの心理学に関する講義は、心理学Ⅱで取り扱う。
学期	授業計画及び授業方法 1. 心理学についてのガイダンス 2. 心理学の歴史と研究の方法 3. 感覚と知覚① 4. 感覚と知覚② 5. 記憶① 6. 記憶② 7. 記憶③ 8. 学習① 9. 学習② 10. 学習③ 11. 言語と思考① 12. 言語と思考② 13. 言語と思考③ 14. 意識と認知システム 15. まとめ
前期	テキスト 授業中に紹介する。
単位数	参考書・参考資料等 随時、紹介する。
2	学生に対する評価 小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。 （良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。 （優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。
上野和久	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：心理学の基礎的な知識を身に付ける。
心理学ⅡB	授業の目的及び概要 私たちは、一人で生きることではなく、必ず他者との関係性をもって社会の中で生きている。また、生まれてから死ぬまでの間という時間の中で生きている、すなわち、私たちは発達し続ける存在として生を全うする。この講義では、社会と発達という視点から、人間の心理活動についてこれまでの研究知見を紹介する。尚、心理学Ⅰを受講していることが望ましい。
学期	授業計画及び授業方法 1. 心理学Ⅰの振り返り 2. 動機付けと情動① 3. 動機付けと情動② 4. 動機付けと情動③ 5. 性格理論① 6. 性格理論② 7. 性格理論③ 8. 発達と課題① 9. 発達と課題② 10. 発達と課題③ 11. 対人関係① 12. 対人関係② 13. 対人関係③ 14. 個人と社会 15. まとめ
後期	
単位数	テキスト 授業中に紹介する。
2	参考書・参考資料等 随時、紹介する。
担当者	学生に対する評価 小レポート（10%）・授業内の課題（10%）・試験（80%）
上野和久	ループリック（目標に準拠した評価） （可）心理学領域ならびに近接領域で使用される基本用語を理解できる。 （良）上記の基本用語について、テキストを見ながら説明できる。 （優）上記の基本用語について、関係する社会での出来事や日常生活の出来事と絡めながら自分の言葉で説明できる。
	その他 授業にはテキストの他に、ノートと授業中に配布したプリントを持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教が心についてどのように考えてきたのかを仏教の歴史の流れに沿って概観し、仏教における心についての各思想に関する基礎知識を習得する。 テーマ：心とはなにか
仏教学特殊講義E（心とはなにかⅠ）	授業の概要 心とはなにか。人類の歴史の中で幾度も取り上げられてきたこの問いに対して、仏教思想から向き合う。初期仏教、部派仏教、大乘仏教、密教と仏教の歴史を辿り、仏教が心についてどのように考えてきたのかを学ぶ。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 心について－ことばの多義性－ 3. 仏教について－歴史的地域的多様性－ 4. ゴータマ・シッダッタ－苦の自覚－ 5. ゴータマ・シッダッタ－苦からの解放－ 6. 最古層の仏典－心への言及－ 7. 初期仏教－五蘊、心・意・識－ 8. アビダルマ仏教－南方上座部の範疇論－ 9. アビダルマ仏教－説一切有部の範疇論－ 10. アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（1）－ 11. アビダルマ仏教－説一切有部の心の分析（2）－ 12. 大乘仏教－大乘経典（1）－ 13. 大乘仏教－大乘経典（2）－ 14. 大乘仏教－初期瑜伽行派の範疇論－ 15. 大乘仏教－初期瑜伽行派の心の分析－ 16. 総括
前期	テキスト 竹村牧男『心とはなにか－仏教の探究に学ぶ－』春秋社（書店で購入） 上記テキストとは別に授業中に資料を配布する。
単位数	参考書・参考資料等 相良亨『一語の辞典 ころろ』三省堂、竹村牧男『入門 哲学としての仏教』講談社、佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』化学同人、師茂樹『「大乘五蘊論」を読む』春秋社、大竹晋『宗祖に訊く』国書刊行会、大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ 仏教学の基礎①インド編〔改訂版〕』大正大学。他は授業中に紹介する。
2	学生に対する評価 期末レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）仏教についての基礎的な事項を理解している。 （良）仏教における心についての各思想を理解している。 （優）仏教における心についての各思想を自分の言葉で説明できる。
岡田英作	その他 授業にはテキストの他に、ノートと授業中に配布したプリントを持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教が心についてどのように考えてきたのかを仏教の歴史の流れに沿って概観し、仏教における心についての各思想に関する基礎知識を習得する。 テーマ：心とはなにか
仏教学特殊講義F（心とはなにかⅡ）	授業の概要 心とはなにか。人類の歴史の中で幾度も取り上げられてきたこの問いに対して、仏教思想から向き合う。初期仏教、部派仏教、大乘仏教、密教と仏教の歴史を辿り、仏教が心についてどのように考えてきたのかを学ぶ。
学期	授業計画 1. 大乘仏教－中期瑜伽行派の範疇論－ 2. 大乘仏教－中期瑜伽行派の心の分析（1）－ 3. 大乘仏教－中期瑜伽行派の心の分析（2）－ 4. 大乘仏教－三性－ 5. 大乘仏教－アラーヤ識－ 6. 大乘仏教－唯識－ 7. 大乘仏教－如来蔵－ 8. 大乘仏教－認識論・論理学－ 9. 大乘仏教－中観派の範疇論－ 10. 大乘仏教－中観派の心の分析－ 11. 密教（1） 12. 密教（2） 13. 日本の仏教（1） 14. 日本の仏教（2） 15. 日本の仏教（3） 16. 総括
後期	
単位数	テキスト 竹村牧男『心とはなにか－仏教の探究に学ぶ－』春秋社（書店で購入） 上記テキストとは別に授業中に資料を配布する。
2	参考書・参考資料等 相良亨『一語の辞典 ころろ』三省堂、竹村牧男『入門 哲学としての仏教』講談社、佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか』化学同人、師茂樹『「大乘五蘊論」を読む』春秋社、大竹晋『宗祖に訊く』国書刊行会、大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ 仏教学の基礎①インド編〔改訂版〕』大正大学。他は授業中に紹介する。
担当者	学生に対する評価 期末レポート（60%）、授業参加の積極性（40%）
岡田英作	ループリック（目標に準拠した評価） （可）仏教についての基礎的な事項を理解している。 （良）仏教における心についての各思想を理解している。 （優）仏教における心についての各思想を自分の言葉で説明できる。
	その他 授業にはテキストの他に、ノートと授業中に配布したプリントを持参すること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。 テーマ：密教の基礎知識を養成する。
密教学概論ⅠB	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 密教とは：①密教・真言宗の意味、密教の分類 3. 密教経典の成立と特色：①密教の源流 4. 密教経典の成立と特色：②仏教のなかでの密教の発展過程 5. 密教経典の成立と特色：③密教経典の分類 6. 密教経典の成立と特色：④密教経典の特色 7. 中国密教の成立：①密教経典の訳出 8. 中国密教の成立：②唐代密教の展開 9. 奈良時代の密教 10. 空海の入唐求法と真言宗の開創 11. 密教思想の教判：①真言密教の教判・顕密二教の教判 12. 密教思想の教判：②顕密二教の教判 13. 十住心の思想：①十住心思想の構成 14. 十住心の思想：②十住心思想の特徴 15. 試験 16. 試験問題の解答と確認
前期	テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫 佐和隆研編『密教辞典』法蔵館 中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店
2	学生に対する評価 試験（80%）、授業参加への積極性（20%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本的な用語を理解している。 （良）配布した資料の説明ができる。 （優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。
土居夏樹	その他 講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。 （注）上記「授業参加への積極性」はノートを点検して採点します。

科目名	密教学概論ⅡB
学期	後期
単位数	2
担当者	土居夏樹
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。 テ ー マ：密教の基礎知識を養成する。	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。
授業計画 1. 講義内容の説明 2. 密教とは：①密教・真言宗の意味、密教の分類 3. 密教經典の成立と特色：①密教の源流 4. 密教經典の成立と特色：②仏教のなかでの密教の発展過程 5. 密教經典の成立と特色：③密教經典の分類 6. 密教經典の成立と特色：④密教經典の特色 7. 中国密教の成立：①密教經典の訳出 8. 中国密教の成立：②唐代密教の展開 9. 奈良時代の密教 10. 空海の入唐求法と真言宗の開創 11. 密教思想の教判：①真言密教の教判・顕密二教の教判 12. 密教思想の教判：②顕密二教の教判 13. 十住心の思想：①十住心思想の構成 14. 十住心の思想：②十住心思想の特徴 15. 試験 16. 試験問題の解答と確認	授業計画 1. 弘法大師空海の生涯 2. 高野山の歴史 3. 高野山の諸堂解説 4. 弘法大師空海の教え－即身成仏－ 5. 弘法大師空海の教え－十住心体系－ 6. 弘法大師空海の教え－曼荼羅－ 7. 高野山の学道と年中行事 8. 真言密教の教え－綵画形像－ 9. 真言密教の教え－三密行－ 10. 真言密教の教え－六波羅蜜行－ 11. 禪の教え 12. 天台の教え 13. 浄土の教え 14. 神仏習合 15. 真言密教における社会福祉の歴史
テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社	テキスト 講師が用意する。
参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神覚昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫 佐和隆研編『密教辞典』法蔵館 中村元監他編『岩波仏教辞典』岩波書店	参考書・参考資料等 講義中に紹介する。
学生に対する評価 試験（80％）、授業参加への積極性（20％）	学生に対する評価 期末レポート（60％）、授業参加の積極性（30％）、ディスカッションへの参加度（10％）
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本的な用語を理解している。 （良）配布した資料の説明ができる。 （優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）基本的な仏教や密教の思想を理解できる （良）基本的な仏教や密教の思想や用語を理解できる （優）専門的な仏教や密教の思想や用語を理解できる
その他 講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。 （注）上記「授業参加への積極性」はノートを点検して採点します。	その他

科目名	真言密教特殊講義ⅡE・F（真言密教の儀礼）
学期	FE前後期
単位数	2
担当者	北川真寛
授業の到達目標及びテーマ 到達目標：1200年の歴史を有する真言密教における実践行を体験し、奥深い真言密教の世界にふれる。 テ ー マ：真言密教の実践行を体感する	授業の到達目標及びテーマ テ ー マ：書聖空海の漢字思想
授業の概要 真言密教に伝わる様々な実践行について解説し、実際に体験する。真言密教では、理論と実践は車の両輪に譬えられて両方を重視するため、思想や教理だけでは汲み尽くせない真言密教の奥深い境地の一端を体験する。	授業の概要 日本の書聖空海の思想には、密教以前に東洋思想が原点である。この東洋思想の根幹を占めるのが、表意文字である漢字であることを理解し、理論と実践の両面から考察する。
授業計画 1. 真言密教の読経－仏前勤行次第－ 2. 真言密教の読経－観音経・理趣経－ 3. 真言密教の読経－般若心経－ 4. 真言密教の写経 5. 真言密教の行法－礼拝行－ 6. 真言密教の行法－護摩行－ 7. 真言密教の莊嚴－仏具・衣体－ 8. 真言密教の仏像 9. 真言密教の瞑想法（1） 10. 真言密教の瞑想法（2） 11. 真言密教と茶道 12. 真言密教の祈願法 13. 真言密教の葬制 14. 真言密教の回向法 15. 巡礼・遍路	授業計画 1. オリエンテーション 2. 空海前史① 3. 空海前史② 4. 空海前史③ 5. 空海書論① 6. 空海書論② 7. 空海書論③ 8. 小楷臨摹① 9. 小楷臨摹② 10. 小楷臨摹③ 11. 小楷臨摹④ 12. 小楷臨摹⑤ 13. 小楷臨摹⑥ 14. 小楷臨摹⑦ 15. 小楷臨摹⑧ 16. 臨摹作品の批評会
テキスト 講師が用意する。	テキスト ・中国法書選 11 魏晉唐小楷集〔魏・晉・唐／楷書〕 定価 1944 円（本体価格 1800 円） ＊その他、必要に応じてプリントを配布する。
参考書・参考資料等 講義中に紹介する。	参考書・参考資料等 『聲替指帰』、『篆隸万象名義』等（高野山大学蔵）
学生に対する評価 授業参加の積極性（60％）、期末レポート（40％）	学生に対する評価 レポート（100％）、発表（0％）、授業参加の積極性（100％） ・基本的に作品による評価（素点） ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。
ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）講義での実践行に積極的に参加する。 （良）講義での実践行を完遂できる。 （優）講義での実践行の意義を理解できる。	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）形臨ができる。 （良）背臨ができる。 （優）臨書を基にした創作ができる。
その他 実修の際は、動きやすい服装にて行う。 別途、実修費を徴収する場合がある（数百円）	その他 ・筆（細筆2～3本）、墨（原則として墨汁は許可しない）、半紙用毛氈、文鎮、硯及び半紙は個々に準備のこと。（オリエンテーションの時に説明する） ・書道実技の講座時は、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。 ・学生の理解度や進度により、内容を変更する場合有り。

科目名	授業の到達目標及びテーマ テーマ：中国からの漢字伝来
真言密教特殊講義Ⅱ (空海書論Ⅱ)	授業の概要 日本への漢字の伝来において、写経は大きな意味合いを占める。そこで、前期に学んだ小楷の古典臨書を通して、最終的に写経作品を作り上げる。 授業計画 1. 空海 の作品論① 2. 空海 の作品論② 3. 空海 の作品論③ 4. 空海 作品の鑑賞① 5. 空海 作品の鑑賞② 6. 小楷臨摹の復習① 7. 小楷臨摹の復習② 8. 小楷臨摹の復習③ 9. 写経創作① 10. 写経創作② 11. 写経創作③ 12. 写経創作④ 13. 写経創作⑤ 14. 写経創作⑥ 15. 写経創作⑦ 16. 写経作品の批評会 テキスト ・中国法書選 11 魏晉唐小楷集 [魏・晋・唐／楷書]、その他必要の場合プリントを配布する。 * 写経セット [LA26-59]
学期	
後期	
単位数	参考書・参考資料等
2	『空海』中央公論社、『光明皇后 空海 最澄集』二玄社等。
担当者	学生に対する評価 レポート (100%)、発表 (0%)、授業参加の積極性 (100%) ・基本的に作品による評価 (素点) ・欠席各－3点、遅刻・早退－1点として計算する。 ・素点から欠席及び遅刻・早退の点数を引いて成績を出す。
野田	ルーブリック (目標に準拠した評価) (可) 写経の書式を理解する。 (良) 正字異体、異体字を理解する。 (優) 古典に沿った作品ができる。
悟	その他 ・書道実技の講座時は、毎回の課題が課される。 ・授業以外での個々の自主練習は、評価に大きく左右されることを心得て臨むこと。 ・学生の理解度や進度により、内容を変更する場合有り。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握すること を目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む	
祖典講読ⅠC (即身成仏義Ⅰ)	授業の概要	
	密教とは何か。即身成仏とは何か。弘法大師空海の『即身成仏義』はこの問いを追求する古典的名著である。即身成仏は、弘法大師の核心的な教えであり、この教えについて原典から直接学ぶことは、真言宗とは何かを知るためにも必要不可欠なことである。授業では、この思想の背景にある仏教思想を確認しつつ、原典(漢文)の流麗な文章表現を音読しながら味わい、ゆっくりと読み進めてゆく。	
学期	授業計画	
	1. 概論(講義の進め方等) 2. 成仏思想とは? - 三劫成仏と即身成仏 - 3. 『即身義』の撰述時期と異本『即身義』 4. 『即身成仏義』を読む (1) 発端問答 5. 〃 (2) 二経一論八箇の証文① 6. 〃 (3) 二経一論八箇の証文② 7. 〃 (4) 二経一論八箇の証文③ 8. 〃 (5) 二頌八句① 9. 〃 (6) 二頌八句② 10. 〃 (7) 二頌八句③ 11. 〃 (8) 「六大無碍にして常に瑜伽なり」① 12. 〃 (9) 「六大無碍にして常に瑜伽なり」② 13. 〃 (10) 「六大無碍にして常に瑜伽なり」③ 14. 〃 (11) 「六大無碍にして常に瑜伽なり」④ 15. 前期まとめとテスト① 16. 前期まとめとテスト②	
前期	テキスト	
単位数	高野山大学編『十卷章』、高野山大学出版部	
2	参考書・参考資料等	
担当者	その他、授業において指示します。	
高柳健太郎	学生に対する評価	
	授業中の素読・発表など(40%)、テスト(60%)	
	ルーブリック(目標に準拠した評価)	
	(可) 発端問答と二頌八句を暗誦できる。	
	(良) 即身成仏思想の特徴を、自分の言葉で説明できる。	
	(優) 即身成仏思想の特徴を、資料に基づいて説明できる。	
	その他	
	・毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてくださ	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：弘法大師空海の原典に親しみ、その根本思想を把握すること を目標とする。 テーマ：『即身成仏義』を読む	
祖典講読ⅡC (即身成仏義Ⅱ)	授業の概要	
	『即身成仏義』についての概論と前期の復習をはじめに行い、前期で扱った範囲をカバーして、テキストの続きをさらに読みすすめる。 『即身成仏義』を読了した後には、弘法大師空海の即身成仏思想の体系を再確認し、要点の把握に努める。	
学期	授業計画	
	1.	概論と前期の復習
	2.	『即身成仏義』を読む (12) 「六大能生」①
	3.	〃 (13) 「六大能生」②
	4.	〃 (14) 「六大の顕密／無碍自在の身」
	5.	〃 (15) 「四種曼荼各不離」①
	6.	〃 (16) 「四種曼荼各不離」②
	7.	〃 (17) 「三密加持速疾顕」①
	8.	〃 (18) 「三密加持速疾顕」②
	9.	〃 (20) 「三密加持速疾顕」③
	10.	〃 (21) 「三密加持速疾顕」④
	11.	〃 (22) 「法然具足薩般若」①
	12.	〃 (23) 「法然具足薩般若」②
	13.	〃 (24) 「心数心王過刹塵／各具五智無際智」
	14.	〃 (25) 「円鏡力故実覚智」
	15.	後期まとめとテスト①
	16.	後期まとめとテスト②
単位数		
2	テキスト	
	高野山大学編『十巻章』、高野山大学出版部	
担当者	参考書・参考資料等	
	授業において指示します	
高柳健太郎	学生に対する評価	
	授業中の素読・発表など（40%）、テスト（60%）	
高柳健太郎	ルーブリック（目標に準拠した評価）	
	(可) 『即身成仏義』全体を素読できる。	
	(良) 六大・四曼・三密の関係を、自分の言葉で説明できる。	
	(優) 即身の頌と成仏の頌の関連を、資料に基づいて説明できる。	
高柳健太郎	その他	
	・毎回受講者に素読してもらいますので、必ず予習をしてきてください。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	
	到達目標：インド文化圏における密教史に関する基礎知識を理解すること。 テーマ：インド文化圏の密教史	
密教史概説ⅠB	授業の概要	
	密教は、インドにおいて成立した後、チベット、ネパール、東南アジアといったインド文化圏に伝播した。本講義では、インドにおける密教の形成と展開や、周辺地域における密教の特色について概説する。	
学期	授業計画	
	1. イントロダクション 2. インド・チベットにおける密教経典の分類法 3. インド初期密教：①密教の萌芽 4. インド初期密教：②密教の形成期 5. インド中期密教：①『大日経』 6. インド中期密教：②『金剛頂経』 7. インド中期密教：③『理趣経』 8. インド後期密教：①父タントラ 9. インド後期密教：②母タントラ・不二タントラ 10. チベットの密教：①仏教の伝来 11. チベットの密教：②諸宗派の形成 12. チベットの密教：③ゲルク派の覇権 13. ネパールの密教 14. インドネシアの密教 15. 総括 16.	
前期	テキスト	
単位数	松長有慶『密教の歴史』（平楽寺書店） ※入手が困難な場合、担当者がコピーを配布する。	
2	参考書・参考資料等	
担当者	高橋尚夫他編『初期密教—思想・信仰・文化』（春秋社）	
	高橋尚夫他編『空海とインド中期密教』（春秋社） 松長有慶編『インド後期密教（上・下）』（春秋社）	
徳重弘志	学生に対する評価	
	学期末のレポート（40%）、講義で指示する課題（60%）	
徳重弘志	ルーブリック（目標に準拠した評価）	
	(可) 上座部仏教、大乘仏教、密教の関係を説明できる。 (良) 密教経典の分類について、歴史の流れに沿って説明できる。 (優) インド文化圏を形成する諸国における密教の特徴を説明できる。	
徳重弘志	その他	
	指定したテキストの流れに沿って講義を進めるので、予習を欠かさないこと。	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名
密教史概説ⅡB	到達目標：インドに生まれた密教が、唐代の中国で隆盛し、弘法大師空海によって日本に伝えられた後、日本仏教の中でどのように根付き、展開を遂げるのかについて、その歴史の変遷を理解する。 テーマ：中国密教・日本密教の歴史の変遷を知るとともに、真言宗の歴史を知る。	
	授業の概要	
	中国・日本の密教と真言宗の歴史をテキストにもとづきながら、最新の研究成果をふまえて概説する。	
	授業計画	
	1. 授業ガイダンス 2. 西域から中国への伝来 3. 唐代の密教 4. 古密教の世界 5. 弘法大師空海による密教の請来 6. 真言宗の成立 7. 空海の後継者たち 8. 天台宗の密教化 9. 密教修法の隆盛 10. 覚鑒の改革と挫折 11. 密教と「鎌倉新仏教」 12. 密教と戒律復興運動 13. 根来教団の成立 14. 江戸時代の戒律復興運動と密教 15. 近代社会と密教 16. 期末試験	
学期	テキスト	学期
後期	松長有慶『密教の歴史〈サーラ叢書19〉』（平楽寺書店2007年。初版は1969年）	
単位数	参考書・参考資料等	単位数
	立川武蔵・頼富本宏編『中国密教〈シリーズ密教3〉』（春秋社、2005年。初版は1999年） 立川武蔵・頼富本宏編『日本密教〈シリーズ密教4〉』（春秋社、2005年。初版は2000年） その他、授業中に適宜紹介します。	
2	学生に対する評価	
	期末試験（60％）、毎回の授業で行う課題（40％）	
担当者	ループリック（目標に準拠した評価）	担当者
櫻木潤	（可）中国密教と日本密教、真言宗の歴史を理解する。 （良）密教が日本仏教の歴史の中でどのような役割を担ってきたのかを説明できる。 （優）日本密教と真言宗の歴史をふまえて、これからの密教や真言宗のあり方を展望することができる。	
	その他	
	授業では、日本密教や真言宗にゆかりの深い寺院なども紹介します。積極的にその地を訪ね、日本密教や真言宗の歴史について、さらに理解を深めることを望みます。希望があれば、高野山内などの見学会を行います。	

科目名	科目名
学期	学期
単位数	単位数
担当者	担当者

科目名
学期
单位数
担当者

科目名
学期
单位数
担当者

科目名
学期
单位数
担当者

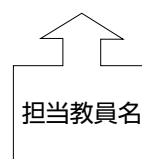
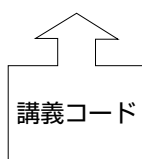
科目名
学期
单位数
担当者

大 学 院

◆目次について

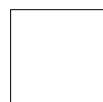
この『平成 29 年度講義概要・授業計画』では、まず目次で自分の専攻のページを開き、そこに記載されている科目情報およびシラバスページ番号を確認してください。学生の皆さんが今年度受講する科目の内容は、目次により当該科目のシラバスページを開くことで見ることができます。

学期	曜日	時限	講義コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	履修年次	資格関係	備 考	頁
後期	月	3	51351	空海の思想入門	乾 龍 仁	2	1 年次	—		1



◆講義コードについて

講義コードは5ケタの数字になっています。コードは、それぞれ次の内容を表しています。



(5 ケタ)

課程

5 = 文学部生用
8 = 別科生用
9 = 大学院生用

曜日

1 = 月曜日
2 = 火曜日
3 = 水曜日
4 = 木曜日
5 = 金曜日
6 = 土曜日
7 = 集中講義
8 = 実習
9 = 論文

時限

1 = 1 講時
2 = 2 講時
3 = 3 講時
4 = 4 講時
5 = 5 講時

通し番号

01 ~ 49 = 前期授業
および通年授業
51 ~ 99 = 後期授業

◆受講登録について

- 1 受講登録の手続きは、今年度受講する全授業科目を履修登録票に記入し、**4月10日（月）から4月14日（金）午後5時までに**教務係へ提出してください。
- 2 履修登録票は、枠内にはっきりと、ていねいに記入してください。
 - ① 学籍番号（※ 身分証明書を参照）・氏名・所属学科・学年を記入してください。
 - ② 履修登録欄には、今年度に受講するすべての授業科目を、『平成29年度講義概要・授業計画』および授業時間表を参照して、講義コード・授業科目名（修士論文も含む）を記入してください。
- 3 履修登録票を教務係へ提出した学生は、**4月20日（木）から4月26日（水）午後5時までに**、教務係で各自の「学生時間割表」を受け取り、誤り・変更がないか確認をしてください。

この時に学生証が必要です。確認後、誤り・変更がなければ、氏名の横に捺印もしくは署名をし、提出してください。誤り・変更があれば、朱書きで訂正をし、教務係へ提出してください。
- 4 最後に、各自の「学生時間割表」のコピーを受け取り、1年間保管してください。
- 5 後期（9月25日開講）授業科目の追加及び登録変更は、**9月25日（月）から9月29日（金）午後5時までの**後期履修登録変更期間に、教務係へ申し出てください。ただし、通年科目の追加・変更・取消はできません。

◆出席票について

- 「出席票」は、各授業の第1回目から第3回目まで、毎回各教室で担当教員に提出してください。
- それ以降は各担当教員の指示に従ってください。授業実数の3分の2以上の出席がないと「失格」になりますので留意してください。

◆報恩日（21日）の授業実施について

報恩日（21日）は、午前中は報恩日の行事に参加してください。午後の授業は実施されません。

1. 文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

[密教学専攻 博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース]

1) 基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	佐 藤 隆 彦	2	8 単位を超えて修了要件に参入できない。	院 -1
後期	火	4	92401	仏教学講義（大）	前 谷 彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥 山 直 司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -1

2) 主要科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究 1（大）	T. ドライトライン	2	主要科目 12 単位必修	院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究 2（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究 1（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究 2（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習 A - 1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 A - 2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 B - 1（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習 B - 2（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
前期	火	3	92301	密教史演習 A - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
後期	水	2	93252	密教史演習 B - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
前期	月	2	91201	密教史講読 A - 1（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
後期	月	2	91252	密教史講読 A - 2（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読 B - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読 B - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	奥 山 直 司	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93102	密教と文化（大）	前 谷 彰	2		院 -6
前期	金	3	95301	事相研究 I - 1（大）	齋 藤 天 譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -6
後期	金	3	95351	事相研究 I - 2（大）	齋 藤 天 譽	2		院 -7
前期	木	3	94301	事相研究 II - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7
後期	木	3	94351	事相研究 II - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7

3) 関連科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究 1（大）	前 谷 彰	2		院 -8
集中	集中	集中	97003	仏教史特殊研究（大）	岩 崎 日 出 男	2	8/28 ~ 31	院 -8
前期	火	3	92302	仏教史演習 1（大）	前 谷 彰	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教史演習 2（大）	前 谷 彰	2		院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読 1（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9
後期	月	5	91551	仏教史講読 2（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9

4) 共通科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
集中	集中	集中	97001	密教実践法の研究 1	甲 田 宥 晔	2	8/7 ~ 8/9	院 -9
集中	集中	集中	97002	密教実践法の研究 2	甲 田 宥 晔	2	9/13 ~ 9/15	院 -9
前期	水	3	93301	仏教芸術の研究 1 (大)	和 田 圭 子	2		院 -10
後期	水	3	93351	仏教芸術の研究 2 (大)	和 田 圭 子	2		院 -10
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究 (大)	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -10
前期	木	4	94401	比較宗教の研究 (大)	森 本 一 彦	2		院 -10
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1	T. ドライトライン	2		院 -11
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2	T. ドライトライン	2		院 -11
集中	集中	集中	97004	教育学特殊研究 (大)	山 脇 雅 夫	2		院 -11

5) 修士論文

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
通年	—	—	99001	修士論文 (密教学)	大 学 院 委 員 長	0		—
前期	—	—	99003	修士論文 (密教学) (前期)	大 学 院 委 員 長	0	7 月提出許可者	—

2. 文学研究科修士課程（修了要件：30 単位）

〔仏教学専攻 博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース〕

1) 基礎科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
後期	月	2	91251	密教学講義（大）	佐 藤 隆 彦	2	8 単位を超えて修了要件に 参入できない。	院 -1
後期	火	4	92401	仏教学講義（大）	前 谷 彰	2		院 -1
後期	金	2	95251	インド学講義（大）	奥 山 直 司	2		院 -1
前期	月	3	91301	祖典演習（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -1

2) 主要科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究 1（大）	前 谷 彰	2	主要科目12単位必修	院 -8
集中	集中	集中	97003	仏教史特殊研究（大）	岩 崎 日出男	2		院 -7
前期	火	3	92302	仏教史演習 1（大）	前 谷 彰	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教史演習 2（大）	前 谷 彰	2		院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読 1（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9
後期	月	5	91551	仏教史講読 2（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9
後期	水	1	93152	現代社会と宗教（大）	奥 山 直 司	2	社会人コースは 4 単位必修	院 -6
前期	水	1	93103	仏教と文化（大）	前 谷 彰	2		院 -6
前期	金	3	95301	事相研究 I - 1（大）	齋 藤 天 譽	2	僧侶コースは 4 単位必修	院 -6
後期	金	3	95351	事相研究 I - 2（大）	齋 藤 天 譽	2		院 -7
前期	木	3	94301	事相研究 II - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7
後期	木	3	94351	事相研究 II - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -7

3) 関連科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究 1（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究 2（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究 1（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究 2（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習 A - 1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 A - 2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 B - 1（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習 B - 2（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
前期	火	3	92301	密教史演習 A - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
後期	水	2	93252	密教史演習 B - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
前期	月	2	91201	密教史講読 A - 1（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
後期	月	2	91252	密教史講読 A - 2（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読 B - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読 B - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 6

4) 共通科目

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
集中	集中	集中	97001	密教実践法の研究 1	甲 田 宥 晔	2	8/7 ~ 8/9	院 -9
集中	集中	集中	97002	密教実践法の研究 2	甲 田 宥 晔	2	9/13 ~ 9/15	院 -9
前期	水	3	93301	仏教芸術の研究 1 (大)	和 田 圭 子	2		院 -10
後期	水	3	93351	仏教芸術の研究 2 (大)	和 田 圭 子	2		院 -10
後期	水	1	93153	アジア地域の宗教文化の研究 (大)	井 上 ウ ィ マ ラ	2		院 -10
前期	木	4	94401	比較宗教の研究 (大)	森 本 一 彦	2		院 -10
前期	木	3	94303	現代社会と仏教の研究 1	T. ドライトライン	2		院 -11
後期	木	3	94352	現代社会と仏教の研究 2	T. ドライトライン	2		院 -11
集中	集中	集中	97004	教育学特殊研究 (大)	山 脇 雅 夫	2		院 -11

5) 修士論文

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
通年	-	-	99002	修士論文 (仏教学)	大 学 院 委 員 長	0		-
前期	-	-	99004	修士論文 (仏教学) (前期)	大 学 院 委 員 長	0	7 月提出許可者	-

3. 文学研究科博士後期課程（修了要件：12 単位）

〔密教学専攻〕

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	2	94201	密教学特殊研究 1（大）	T. ドライトライン	2	※密教特殊演習4単位を含 め、12単位以上を履修し なければならない。 （複数回履修可）	院 -2
後期	木	2	94251	密教学特殊研究 2（大）	T. ドライトライン	2		院 -2
前期	金	2	95201	密教史特殊研究 1（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
後期	金	2	95252	密教史特殊研究 2（大）	土 居 夏 樹	2		院 -2
前期	水	1	93101	密教学演習 A - 1（大）	南 昌 宏	2		院 -3
後期	水	1	93151	密教学演習 A - 2（大）	南 昌 宏	2		院 -3
前期	水	2	93201	密教学演習 B - 1（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
後期	水	2	93251	密教学演習 B - 2（大）	乾 龍 仁	2		院 -3
前期	火	3	92301	密教史演習 A - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
後期	火	3	92351	密教史演習 A - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -4
前期	水	2	93202	密教史演習 B - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
後期	水	2	93252	密教史演習 B - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -4
後期	月	3	91351	密教学講読（大）	佐 藤 隆 彦	2		院 -5
前期	月	2	91201	密教史講読 A - 1（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
後期	月	2	91252	密教史講読 A - 2（大）	松 長 恵 史	2		院 -5
前期	火	1	92101	密教史講読 B - 1（大）	奥 山 直 司	2		院 -5
後期	火	1	92151	密教史講読 B - 2（大）	奥 山 直 司	2		院 -6
前期	金	4	95401	密教特殊演習 A - 1（大）	乾 龍 仁	2		－
後期	金	4	95451	密教特殊演習 A - 2（大）	乾 龍 仁	2		－
前期	金	4	95402	密教特殊演習 B - 1（大）	佐 藤 隆 彦	2		－
後期	金	4	95452	密教特殊演習 B - 2（大）	佐 藤 隆 彦	2		－

〔仏教学専攻〕

学期	曜日	時限	コード	授 業 科 目	担 当 者	単位	備 考	頁
前期	木	3	94302	仏教学特殊研究 1（大）	前 谷 彰	2	※仏教特殊演習4単位を含 め、12単位以上を履修し なければならない。 （複数回履修可）	院 -8
集中	集中	集中	97003	仏教史特殊研究（大）	岩 崎 日出男	2		院 -8
前期	火	3	92302	仏教史演習 1（大）	前 谷 彰	2		院 -8
後期	火	3	92352	仏教史演習 2（大）	前 谷 彰	2		院 -8
前期	月	5	91501	仏教史講読 1（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9
後期	月	5	91551	仏教史講読 2（大）	浜 畑 圭 吾	2		院 -9
前期	金	4	95403	仏教特殊演習 A - 1（大）	前 谷 彰	2		－
後期	金	4	95453	仏教特殊演習 A - 2（大）	前 谷 彰	2		－

講 義 概 要

•

授 業 計 画

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の専門用語を習得し、密教思想の総合的理解を培う。 テーマ：密教の基礎知識の養成
密教学講義（大）	授業の概要 インドにおいて発生した密教は、善無畏三蔵、金剛智三蔵、不空三蔵等によって、唐代の中国に伝えられるが、思想として体系化されるまでにいたらなかった。この密教思想の体系化は9世紀初頭に入唐した弘法大師空海によって果たされる。ここでは大師によって確立された密教（真言密教）の思想的特徴を概観する。
学期	授業計画 1. 講義内容の説明 2. 真言密教の仏陀観：①釈迦如来から大日如来へ 3. 真言密教の仏陀観：②大日如来と四仏（五仏）・密教の仏身観 4. 真言密教の仏陀観：③様々な信仰の対象、密教の祖師 5. 曼荼羅：①両部曼荼羅の成立 6. 曼荼羅：②四種曼荼羅とは 7. 真言密教の人間観：①空海と心の本性の探求 8. 真言密教の人間観：②心性本淨思想の源流 9. 即身成仏への道：①密教の三昧耶戒、②四重禁戒と十善戒 10. 即身成仏への道：③浄菩提心と観法 11. 即身成仏への道：④六大・四曼・三密1 12. 即身成仏への道：④六大・四曼・三密2 13. 即身成仏思想：②即身の意味と三種即身成仏 14. 密教の特性 15. 試験 16. 試験の解答と確認
後期	テキスト 勝又俊教著『密教入門』春秋社
単位数	参考書・参考資料等 松長有慶著『密教』（岩波新書）岩波書店 高神昇昇著『密教概論』大法輪閣 金岡秀友著『密教の哲学』講談社学術文庫 佐和隆研編『密教辞典』法蔵館 中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店
2	学生に対する評価 試験（80％）、授業参加への積極性（20％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）密教の基本的な用語を理解している。 （良）配布した資料の説明ができる。 （優）密教の基本的な概念に対する理解ができている。
佐藤隆彦	その他 講義にはテキスト・参考書の他に、ノートと配布プリントおよび辞書等を持参すること。 授業中に黒板に板書した語句や文章および図はノートすること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏教の基礎知識についての確認作業を行い、仏教の思想が将来的にどのように生かし得るかについて、それぞれの認識を深めてもらう。 テーマ：仏教とは何か
仏教学講義（大）	授業の概要 仏教とは何かについての基本的疑問を提示することによって、仏教が初期・大乘・密教と歴史的に展開してきた足跡を追うことによって、仏教の何たるかについての基本的問題に焦迫する。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 初期仏教の基礎知識の確認(1) 3. 初期仏教の基礎知識の確認(2) 4. アビダルマの基礎知識の確認 5. 大乘仏教の起源について(1) 6. 大乘仏教の起源について(2) 7. 大乘とは何か(1) 8. 大乘とは何か(2) 9. 密教とは何か(1) 10. 密教とは何か(2) 11. 初期仏教思想を現代にどのように生かすか 12. 大乘・密教を現代にどのように生かすか 13. 現代への応用とその方法論的疑問(1) 14. 現代への応用とその方法論的疑問(2) 15. 現代への応用とその方法論的疑問(3) 16. 総まとめ
後期	テキスト 担当者がコピーを配布する。
単位数	参考書・参考資料等 佐々木閑『科学するブッダ：犀の角たち』（角川ソフィア文庫） 佐々木閑『仏教は宇宙をどう見たか：アビダルマ仏教の科学的世界観』（DOJIN 選書）
2	学生に対する評価 授業時に指示する課題をどれだけこなしているか（50％）、学期末のレポート（50％）によって評価する
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）仏教の基礎語彙を抑えている。 （良）仏教の基礎語彙を歴史の流れに沿って説明できる。 （優）仏教思想を現代の諸問題に応用し、説明することができる。
前谷彰	その他 受講者は、サンスクリット語の基礎知識を習得済であることが望ましい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：①インド・チベットの仏教図像に関する基礎的な知識と研究方法を身につける。 ②チベットの仏像を見た時に、その名称が言えるようになる。 ③インド・チベット仏教史の流れを理解する テーマ：インド・チベット密教の図像資料の研究
インド学講義（大）	授業の概要 チベット探検で知られる河口慧海が持ち帰った図像資料などに基づいて、インド・チベット仏教美術の主題と表現形式学び、さらに『三百尊図像集』などを用いて、図像の解説の練習を行う。あわせてインド・チベット仏教史の流れについて基礎的な知識の整理を行う。
学期	授業計画 1. イントロダクション：チベットのタンカをどう見るか 2. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式1 3. インド・チベット仏教美術の主題と表現形式2 4. 河口慧海とそのコレクション 5. 河口慧海コレクション1 6. 河口慧海コレクション2 7. 河口慧海コレクション3 8. 河口慧海コレクション4 9. 『三百尊図像集』1 10. 『三百尊図像集』2 11. 『三百尊図像集』3 12. 『三百尊図像集』4 13. 『三百尊図像集』5 14. 『三百尊図像集』6 15. 『三百尊図像集』7 16. まとめ
後期	テキスト 『河口慧海請来チベット資料図録』佼成出版社 『三百尊図像集』（ビブリオテカ・ブッディカ）
単位数	参考書・参考資料等 頼富本宏・下泉全曉『密教仏像図典 インドと日本の仏たち』人文書院
2	学生に対する評価 提出物の評価を含む授業参加状況（60％）、期末レポート（40％）
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）チベット仏教と日本仏教の尊各分類法の違いを述べることができる。 （良）資料を参照しながら、チベット仏教の尊像を同定できる。 （優）チベット仏教の尊像の特徴が大体において頭に入っている。
奥山直司	その他 遅刻3回で1欠席と見なす。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『呬字義』の総合的理解 テーマ：密教実践の教理的解釈
祖典演習（大）	授業の概要 『呬字義』は『即身義』『声字義』とあわせて三部書といわれる。ところが、内容的には密教の実践法とも密接なかわかりが想定される。そこで、『呬字義』と密教実践について着目してみたい。特に密教教理と密教実践との接点を『呬字義』に探り、多角的総合的に理解を深めたい。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『呬字義』の成立背景 3. 『呬字義』の綱領 4. 『呬字義』の講読 5. 『呬字義』の講読 6. 『呬字義』の講読 7. 『呬字義』の講読 8. 『呬字義』の講読 9. 『呬字義』と『阿字観用心口訣』 10. 『呬字義』と『阿字観用心口訣』 11. 『呬字義』と『秘蔵記』 12. 『呬字義』と『秘蔵記』 13. 『呬字義』と字輪観 14. 『呬字義』と字輪観 15. 総復習とレポート提出 16. 総括
前期	テキスト 『十巻章』高野山大学出版
単位数	参考書・参考資料等 小田慈寿著『十巻章講読』高野山出版社など
2	学生に対する評価 授業参加の積極性（40％）・試験（60％）で評価する。
担当者	ルーブリック（目標に準拠した評価） （可）漢文にて『呬字義』が読める （良）『呬字義』について自分の言葉で説明ができる。 （優）『呬字義』について独自の知見を合理的に説明できる。
佐藤隆彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：空海の英訳三部作の現代語訳を通じてその思想を理解し、わかりやすく他に伝えることができる。 テーマ：空海の英訳三部作を現代語訳する－英訳から現代日本語へ－
密教学特殊研究1（大）	授業の概要 高木純元・T. ドライトラインの共著である空海の三部作の英訳をテキストとして現代和訳をしながら、空海の思想の現代における意義を吟味し、意見交換、ディスカッションや発表で進めていく。
学期	授業計画 1. 空海の思想的展開とその思想史意義 2. 『即身成佛義』 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 『声字実相義』 1 9. 同上 2 10. 同上 3 11. 同上 4 12. 『叶字義』 1 13. 同上 2 14. 同上 3 15. 同上 4 16. 同上 5
前期	テキスト 『定本弘法大師全集』、 Takagi, Shingen and Dreitlein, Thomas Eijō, <i>Kūkai on the Philosophy of Language</i> . Tokyo: Keio University Press, 2010.
単位数	参考書・参考資料等 小田慈舟『十卷章講説』 Hakeda, Yoshito, <i>Kūkai: Major Works</i> , その他
2	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） (可) 漢文を正しく読み、原文と英訳を解説し現代日本語で解説できる。 (良) 原文と英訳を解説し現代日本語で解説し、その意義について説明できる。 (優) 原文と英訳を解説し現代日本語で解説し、空海の思想をまとめることができる
T・ドライトライン	その他 参加型の授業で、受講生全員は予習として毎回該当する英文のテキストを和訳・研究する。 テキストのテーマに合わせて、空海の思想について受講生による発表を行う。 上級の英文読解力を必要とする。授業は日本語で進める。 プログラムは改訂される場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：漢文読解力、秘密儀軌への知識、事相の理解を深める。 テーマ：『大日経』と胎藏界の行法への理解を深める。
密教学特殊研究2（大）	授業の概要 『大日経』の6巻31品は經典の本文であり、最後の第七巻の5品は『大日経』の法門による供養次第を説く儀軌である。新羅の不可思議撰の『大毘盧遮那経供養次第法疏』（『不思議疏』、2巻）はその注釈書である。『大日経』の第七巻と『不思議疏』を平行して講読する。
学期	授業計画 1. 『大日経』とその行法体系 2. 「供養次第」と『不思議疏』を読む 1 3. 同上 2 4. 同上 3 5. 同上 4 6. 同上 5 7. 同上 6 8. 同上 7 9. 同上 8 10. 同上 9 11. 同上 10 12. 同上 11 13. 同上 12 14. 同上 13 15. 同上 14 16. 同上 15
後期	テキスト 『大日経』第七巻と高野版の『不思議疏』のコピーを配布
単位数	参考書・参考資料等 金剛智訳『大毘盧遮那仏説要略念誦経』やその他の漢訳儀軌、チベット訳『大毘盧遮那現等覚所属供養儀軌』の和訳、Giebel, Rolf W., <i>The Vairocanabhisambodhi Sūtra</i> , Berkeley: Numata Center for Buddhist Translation and Research, 2001、その他
2	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） (可) テキストの漢文を読み、用語を説明できる。 (良) テキストの漢文を読み、大意を解説できる。 (優) テキストの漢文を読み、真言密教における意義を詳しく論説できる。
T・ドライトライン	その他 受講生全員は毎回該当する漢文のテキストを予習・復習する。 別に課題を与えて受講生による発表を行う。 プログラムは改訂される場合がある。 已灌頂者（伝法灌頂を入壇した者）のみが受講できる。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山教学史に関する未翻刻史料を翻刻し、内容についても調査して、学術雑誌に投稿する。 テーマ：『真言教相興起伝来』の研究
密教史特殊研究1（大）	授業の概要 高野山上で展開された教学研究の歴史は、同時に中院流の歴史でもある。しかしながら、その内容については不明点が多く、特に中世から近世にかけての高野山上の動向は判然としていない。 この講義では、『金剛峯寺諸院家析負輯』や『紀伊統風土記』において、宝性院任遍（1454-1516）の作とされる『真言教相興起伝来』（写本・未翻刻）をとり上げ、諸本との校合を行ないながら、その内容を確認する。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方についてのオリエンテーション） 2. 『真言教相興起伝来』の翻刻 ① 3. 〃 ② 4. 〃 ③ 5. 〃 ④ 6. 〃 ⑤ 7. 〃 ⑥ 8. 〃 ⑦ 9. 〃 ⑧ 10. 〃 ⑨ 11. 〃 ⑩ 12. 『真言教相興起伝来』の校合 ① 13. 〃 ② 14. 〃 ③ 15. 〃 ④ 16. 前期のまとめ
前期	テキスト ・『真言教相興起伝来』 三寶院寄託 寛政七年（1795）写本 三寶院寄託 文政二年（1819）写本 金剛三昧院寄託 安政六年（1859）写本 真別所寄託 天明二年（1782）？写本 ※授業中に資料を配布します。
単位数	参考書・参考資料等 ・梶尾祥雲『日本密教学道史』、『梶尾祥雲全集』6、密教文化研究所、1982年。 ・『金剛峯寺諸院家析負輯』、『続真言宗全書』34／35、密教文化研究所、1976～1978年。 ・『紀伊統風土記』、『続真言宗全書』36～40、密教文化研究所、1979年。 ・※その他、授業中に指示します。
2	学生に対する評価 授業内での発表（80%）、レポート（20%）で評価します。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） (可) 写本資料の内容を解説することができる。 (良) 写本の内容について、諸資料から調査・検討することができる。 (優) 『真言教相興起伝来』の資料的価値を学術的に論じることができる。
土居夏樹	その他 ・この授業は特殊研究ですが、担当を決めて発表資料を作り、発表をしてもらいます。 ・担当回に無断で欠席した者は、失格にします。 ・受講生の理解や希望に応じて進捗や進め方を変更する場合があります。 ・この講義の成果は、『高野山大学大学院紀要』に投稿する予定です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山教学史に関する未翻刻史料を翻刻し、内容についても調査して、学術雑誌に投稿する。 テーマ：『真言教相興起伝来』の研究
密教史特殊研究2（大）	授業の概要 高野山上で展開された教学研究の歴史は、同時に中院流の歴史でもある。しかしながら、その内容については不明点が多く、特に中世から近世にかけての高野山上の動向は判然としていない。 この講義では、前期に引き続き『真言教相興起伝来』（写本・未翻刻）をとり上げ、諸本との校合を行ないながら、その内容を確認する。
学期	授業計画 1. 概論（講義の進め方についてのオリエンテーション） 2. 『真言教相興起伝来』の校合 ⑤ 3. 〃 ⑥ 4. 〃 ⑦ 5. 〃 ⑧ 6. 〃 ⑨ 7. 〃 ⑩ 8. 『真言教相興起伝来』の研究 ① 9. 〃 ② 10. 〃 ③ 11. 〃 ④ 12. 〃 ⑤ 13. 〃 ⑥ 14. 〃 ⑦ 15. 〃 ⑧ 16. 後期のまとめ
後期	テキスト ・『真言教相興起伝来』 三寶院寄託 寛政七年（1795）写本 三寶院寄託 文政二年（1819）写本 金剛三昧院寄託 安政六年（1859）写本 真別所寄託 天明二年（1782）？写本 ※授業中に資料を配布します。
単位数	参考書・参考資料等 ・梶尾祥雲『日本密教学道史』、『梶尾祥雲全集』6、密教文化研究所、1982年。 ・『金剛峯寺諸院家析負輯』、『続真言宗全書』34／35、密教文化研究所、1976～1978年。 ・『紀伊統風土記』、『続真言宗全書』36～40、密教文化研究所、1979年。 ・※その他、授業中に指示します。
2	学生に対する評価 授業内での発表（80%）、レポート（20%）で評価します。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） (可) 写本資料の内容を解説することができる。 (良) 写本の内容について、諸資料から調査・検討することができる。 (優) 『真言教相興起伝来』の資料的価値を学術的に論じることができる。
土居夏樹	その他 ・前期開講の「密教特殊研究1」の継続になります。 ・この授業は特殊研究ですが、担当を決めて発表資料を作り、発表をしてもらいます。 ・担当回に無断で欠席した者は、失格にします。 ・受講生の理解や希望に応じて進捗や進め方を変更する場合があります。 ・この講義の成果は、『高野山大学大学院紀要』に投稿する予定です。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密 教 学 演 習 A－1（大）	到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査手法を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。
	テーマ：『高野春秋編年輯録』を読む。
	授業の概要
	受講者は、授業に際して、文献の書き下し文、語彙の解説などを作成し、必要に応じて、補助的な資料を準備しなければならない。受講生相互の質疑によって、理解を深める。受講生には、資料作成による発表を求める。
	授業計画
学期	1. ガイダンス
前期	2. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	3. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	4. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	5. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	6. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	7. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	8. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	9. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	10. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	11. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	12. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	13. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	14. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	15. 期末試験
単位数	16. 答案返却
2	テキスト
	日野西真定『高野春秋編年輯録』のコピーを配布する。
担当者	参考書・参考資料等
	『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。
南 昌 宏	学生に対する評価
	発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業中に発言がない者は欠席とする。
	ループリック（目標に準拠した評価）
	(可) 漢文を書き下し文にできる。 (良) 専門用語を除けば、漢文を読解できる。 (優) 専門用語を十分に理解し、漢文を読解できる。
	その他
	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密 教 学 演 習 A－2（大）	到達目標：文献研究に関わる者としての基本的な読解力・調査手法を養い、論文執筆に際しての形式などを修得し、文献を批判的に読む訓練をする。
	テーマ：『高野春秋編年輯録』を読む。
	授業の概要
	受講者は、授業に際して、文献の書き下し文、語彙の解説などを作成し、必要に応じて、補助的な資料を準備しなければならない。受講生相互の質疑によって、理解を深める。受講生には、資料作成による発表を求める。
	授業計画
学期	1. ガイダンス
後期	2. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	3. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	4. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	5. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	6. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	7. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	8. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	9. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	10. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	11. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	12. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	13. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	14. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	15. 『高野春秋編年輯録』 巻第12の読解
	16. 期末試験
単位数	テキスト
2	日野西真定『高野春秋編年輯録』のコピーを配布する。
	参考書・参考資料等
担当者	『密教大辞典』『仏教語大辞典』『大漢和辞典』『国史大辞典』など。
	学生に対する評価
南 昌 宏	発表50%。発表回数最多の者を50点とし、回数に応じて比例配点する。期末試験50%。授業中に発言がない者は欠席とする。
	ループリック（目標に準拠した評価）
	(可) 漢文を書き下し文にできる。 (良) 専門用語を除けば、漢文を読解できる。 (優) 専門用語を十分に理解し、漢文を読解できる。
	その他
	授業実数の3分の1を超えて欠席した場合は失格。遅刻・早退は2分の1欠席と計算する。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密 教 学 演 習 B－1（大）	到達目標：末註書を通じて漢文読解力と密教經典や註釈書等に対する知識を培う
	テーマ：『大日経』を読む
	授業の概要
	空海の代表的な著作に『十住心論』がある。悟りにいたるまでの心の過程を十段階に分け、それらの十段階に教理的な説明を加えて、当時の諸思想を批判し、真言密教の深義を宣揚したものである。この十住心思想の骨格を形成するための典拠となっているのが『大日経』および『大日経疏』である。本年度も『大日経疏疏』の末註書の一つである有快口説『大日経疏鈔』を読み進めながら、『大日経』についての理解を深めていく。
	授業計画
学期	1. シラバスの説明、講義の進め方等
前期	2. 『大日経』の原典資料と研究資料の紹介
	3. 『大日経』の内容概略の説明
	4. 『大日経疏鈔』を読む1
	5. 同上2
	6. 同上3
	7. 同上4
	8. 同上5
	9. 同上6
	10. 同上7
	11. 同上8
	12. 同上9
	13. 卒論・修論 中間報告会
	14. 卒論・修論 中間報告会
	15. レポート提出
	16. レポート講評
単位数	テキスト
2	有快口説『大日経疏鈔』大正60巻・2218番／日本大藏経、経蔵部、密教部章疏上二 (主に高野山大学図書館版本を使用。コピー配布)
	〔付〕1) 善無畏・一行共訳『大毘盧遮那成仏神変加持经』大正18巻848番 2) 一行記『大毘盧遮那成仏経疏』大正39巻1796番
担当者	参考書・参考資料等
	福田亮成訳『大日経』（新国訳大藏経 密教部1）大蔵出版 神林隆淨訳『大日経疏上』（国訳一切経 和漢撰述部 経疏部14）大東出版社 松長有慶『大日経住心品講讀』大法輪閣 頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣 その他
乾 龍 仁	学生に対する評価
	レポート（80%）、授業参加への積極性（20%）
	ループリック（目標に準拠した評価）
	(可) テキストの漢文を調読することができる。 (良) テキストの漢文を調読し、用語について説明できる。 (優) テキストの漢文を調読し、用語について説明でき、引用文の典拠を確認できる。
	その他
	授業に望むにあたっては、予め漢文が読めるように予習してくること。その上で、用語の意味を調べ、内容が理解できるように努めること。また引用文については典拠を確認してくること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ
密 教 学 演 習 B－2（大）	到達目標：末註書を通じて漢文読解力と密教經典や註釈書等に対する知識を培う
	テーマ：『大日経』を読む
	授業の概要
	前期に引き続き『大日経疏鈔』（続き）を取り上げる。なお後期には修論の中間報告会を実施する。
	授業計画
学期	1. 『大日経疏鈔』を読む1（前期分の確認）
後期	2. 同上2（前期分の続き）
	3. 同上3
	4. 同上4
	5. 卒論・修論 中間報告会
	6. 卒論・修論 中間報告会
	7. 『大日経疏鈔』を読む5
	8. 同上6
	9. 同上7
	10. 同上8
	11. 同上9
	12. 同上10
	13. 同上11
	14. 同上12
	15. レポート提出
	16. レポート講評
単位数	テキスト
2	有快口説『大日経疏鈔』大正60巻・2218番／日本大藏経、経蔵部、密教部章疏上二 (主に高野山大学図書館版本を使用。コピー配布)
	〔付〕1) 善無畏・一行共訳『大毘盧遮那成仏神変加持经』大正18巻848番 2) 一行記『大毘盧遮那成仏経疏』大正39巻1796番
担当者	参考書・参考資料等
	福田亮成訳『大日経』（新国訳大藏経 密教部1）大蔵出版 神林隆淨訳『大日経疏上』（国訳一切経 和漢撰述部 経疏部14）大東出版社 松長有慶『大日経住心品講讀』大法輪閣 頼富本宏著『『大日経』入門』大法輪閣 その他
乾 龍 仁	学生に対する評価
	レポート（80%）、授業参加への積極性（20%）
	ループリック（目標に準拠した評価）
	(可) テキストの漢文を調読することができる。 (良) テキストの漢文を調読し、用語について説明できる。 (優) テキストの漢文を調読し、用語について説明でき、引用文の典拠を確認できる。
	その他
	授業に望むにあたっては、予め漢文が読めるように予習してくること。その上で、用語の意味を調べ、内容が理解できるように努めること。また引用文については典拠を確認してくること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的 文脈に当てはめて解釈できるようになること。 テ ー マ：土宜法龍の研究
密教史演習 A－1（大）	授業の概要 土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854－1923）は日本近代の代表的な 真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派 管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を 歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、 シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南 方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行 動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探っていく。基本的には、 当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2～4. 土宜法龍の生涯 5～15. 『木母堂全集』を読む 16. まとめ
前期	テキスト 宮崎忍海編『木母堂全集』大空社
単位数	参考書・参考資料等 奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年 奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、 2003 年
2	学生に対する評価 予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）法龍の書いた文章の内容を理解し、まとめることができる。 （良）法龍の書いた文章の内容を分析し、そこに込められた思想のア ウトラインを描くことができる。 （優）法龍の思想と行動を近代日本密教史の中に位置づけることがで きる。
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：明治・大正期の文語を読解し、内容をまとめ、それを史的 文脈に当てはめて解釈できるようになること。 テ ー マ：土宜法龍の研究
密教史演習 A－2（大）	授業の概要 土宜法龍（どぎ・ほうりゅう 1854－1923）は日本近代の代表的な 真言僧の一人である。彼は真言宗法務所課長から仁和寺門跡・御室派 管長、真言宗各派連合総裁、金剛峯寺座主・高野派管長などの要職を 歴任し、明治から大正にかけての真言宗をリードした。その生涯には、 シカゴ万国宗教会議への出席、真言宗僧侶初の世界一周、博物学者南 方熊楠との交流など注目すべき事績が多い。本授業は、彼の思想と行 動を遺文集『木母堂全集』の読解を通じて探っていく。基本的には、 当番制発表形式で授業を進めるので、十分な予習が必要である。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2～4. 土宜法龍の生涯 5～15. 『木母堂全集』を読む 16. まとめ
後期	テキスト 宮崎忍海編『木母堂全集』大空社
単位数	参考書・参考資料等 奥山直司「近代日本仏教史の中の土宜法龍」『環』vol.35、2008 年 奥山直司「土宜法龍と南方熊楠」『南方熊楠の森』方丈堂出版、 2003 年
2	学生に対する評価 予習・発表準備状況（60％）、授業参加状況（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）法龍の書いた文章の内容を理解し、まとめることができる。 （良）法龍の書いた文章の内容を分析し、そこに込められた思想のア ウトラインを描くことができる。 （優）法龍の思想と行動を近代日本密教史の中に位置づけることがで きる。
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と修士論文を 作成するための力を養う。 テ ー マ：『宿曜經』を読む。
密教史演習 B－1（大）	授業の概要 『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身 につけてもらいたい。あわせて、修士論文についての個別指導を行な う。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『宿曜經』講読演習 3. 『宿曜經』講読演習 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 修論中間発表 8. 修論中間発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. レポート、論文の書き方 14. レポート、論文の書き方 15. レポート提出 16. 講評
前期	テキスト 『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します） （和本 担当者用意）
単位数	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 矢野道雄『密教占星術』（東洋書院） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
2	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）漢文文献を用いて研究発表ができる。 （良）先行研究を調べた上で問題点を見つけ自分の考え方を合理的に 述べることが出来る。 （優）自分独自の見解を他人に対して合理的に説明でき、その内容を 文章にまとめることが出来る。
佐藤隆彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教經典を解説することによって漢文読解力と修士論文を 作成するための力を養いたい。 テ ー マ：『宿曜經』を読む。
密教史演習 B－2（大）	授業の概要 『宿曜經』を読解することによって漢文文献を取り扱う方法論を身 につけてもらいたい。あわせて、修士論文についての個別指導を行な う。特に、後期には修論作成の個別指導に力を入れたい。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 修論目次の作成 3. 修論目次の作成 4. 『宿曜經』講読演習 5. 『宿曜經』講読演習 6. 『宿曜經』講読演習 7. 修論発表 8. 修論発表 9. 『宿曜經』講読演習 10. 『宿曜經』講読演習 11. 『宿曜經』講読演習 12. 『宿曜經』講読演習 13. 修論発表 14. 修論発表 15. 修論発表 16. まとめ
後期	テキスト 『宿曜經』（大正 21 No. 1299 担当者がコピーを配布します）
単位数	参考書・参考資料等 森田龍徳著『密教占星法』（臨川書店） 矢野道雄『密教占星術』（東洋書院） 松長有慶編『密教を知るためのブックガイド』（法蔵館）
2	学生に対する評価 レポート（60％） 演習発表討論参加（40％）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）漢文文献を用いて研究発表ができる。 （良）先行研究を調べた上で問題点を見つけ自分の考え方を合理的に 述べることが出来る。 （優）自分独自の見解を他人に対して合理的に説明でき、その内容を 文章にまとめることが出来る。
佐藤隆彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：『菩提心論』の講読を通して密教瞑想法の理解を深めることを目的とする。 テーマ：『菩提心論』の研究
密教史講読（大）	授業の概要 『菩提心論』は勝義、行願、三摩地の三種心を説く。このうち、三摩地段は古来不読段に触れる場合が少なくない。そこで今回は、『菩提心論』の三摩地段に着目して講義を進める。『菩提心論』の講読を通して密教の構造を解明する端緒としたい。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『菩提心論』梗概 3. 『菩提心論』梗概 4. 『釈摩訶衍論』梗概 5. 『菩提心論』「菩提心の概説」① 6. 『菩提心論』「大悲行願心について」② 7. 『菩提心論』「大悲行願心について」③ 8. 『菩提心論』「大智勝義心について」④ 9. 『菩提心論』「大智勝義心について」⑤ 10. 『菩提心論』「大智勝義心について」⑥ 11. 『菩提心論』「大定三摩地心について」⑦ 12. 『菩提心論』「大定三摩地心について」⑧ 13. 『菩提心論』「大定三摩地心について」⑨ 14. 『菩提心論』「大定三摩地心について」⑩ 15. 三種心の総復習とレポート提出 16. 総括
後期	テキスト 『菩提心論』（十巻章）高野山大学出版部
単位数	参考書・参考資料等 吉祥真雄著『菩提心論講読』藤井佐兵衛 小田慈舟著『十巻章講読』高野山出版社 田中千秋著『田中千秋著作講話集』高野山出版社 生井智紹著『密教 自心の探求』『菩提心論』を読む』大法輪閣
2	学生に対する評価 授業参加への積極性（40）・レポート（60）とし評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）漢文によって『菩提心論』を読む事ができる。 （良）『菩提心論』に関する注釈書を読み理解できる。 （優）『菩提心論』について先行研究を踏まえて自分の独自の見解を合理的に説明できる。
佐藤隆彦	その他 演習形式で講義を進めるので予習して準備をしておいてください。 なお原則毎回出席をお願いします。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の付法の歴史について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。 テーマ：『秘密漫荼羅教付法傳』を読む。
密教史講読A-1（大）	授業の概要 『秘密漫荼羅教付法傳』は、通常『広付法傳』と呼ばれ、密教の付法を授受した祖師たちの伝記を叙述し、空海自らが密教を相承した正嫡としての証を立てる目的を持つ。本文に典拠として引用される経録、史伝、碑文等も含め講読し、密教の相承に関する理解を深めることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 付法傳の歴史的背景 3. 『広付法傳』講読 1 因起感通分第一 叙意 4. 『広付法傳』講読 2 叙意 5. 『広付法傳』講読 3 第一祖大日如来 金剛薩埵 6. 『広付法傳』講読 4 龍猛① 7. 『広付法傳』講読 5 龍猛② 8. 『広付法傳』講読 6 龍智 9. 『広付法傳』講読 7 金剛智① 10. 『広付法傳』講読 8 金剛智② 11. 『広付法傳』講読 9 金剛智③ 12. 『広付法傳』講読 10 金剛智④ 13. 『広付法傳』講読 11 金剛智⑤ 14. 『広付法傳』講読 12 金剛智⑥ 15. 『広付法傳』講読 13 金剛智⑦ 16. まとめ
前期	テキスト 「定本弘法大師全集」第一巻
単位数	参考書・参考資料等 『密教』中央文庫 松長有慶 『弘法大師空海全集』第二巻 筑摩書房
2	学生に対する評価 予習状況（50%）、授業参加状況（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）付法傳を正確に読むことができる。 （良）付法傳の内容を理解できる。 （優）付法傳の内容に関して新しい知見を見出すことができる。
松長恵史	その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：密教の付法の歴史について理解を深め、かつ文献の読解力と分析力を高める。 テーマ：『秘密漫荼羅教付法傳』を読む。
密教史講読A-2（大）	授業の概要 秘密漫荼羅教付法傳』は、通常『広付法傳』と呼ばれ、密教の付法を授受した祖師たちの伝記を叙述し、空海自らが密教を相承した正嫡としての証を立てる目的を持つ。本文に典拠として引用される経録、史伝、碑文等も含め講読し、密教の相承に関する理解を深めることを目的とする。基本的には当番制でテキストを読み、発表する形で授業を進める。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 付法傳 前期授業のまとめ 3. 『広付法傳』講読 14 不空① 4. 『広付法傳』講読 15 不空② 5. 『広付法傳』講読 16 不空③ 6. 『広付法傳』講読 17 不空④ 7. 『広付法傳』講読 18 不空⑤ 8. 『広付法傳』講読 19 不空⑥ 9. 『広付法傳』講読 20 不空⑦ 10. 『広付法傳』講読 21 不空⑧ 11. 『広付法傳』講読 22 恵果① 12. 『広付法傳』講読 23 恵果② 13. 『広付法傳』講読 24 恵果③ 14. 『広付法傳』講読 25 恵果④ 15. 『広付法傳』講読 26 問答決疑 16. まとめ
後期	テキスト 「定本弘法大師全集」第一巻
単位数	参考書・参考資料等 『密教』中央文庫 松長有慶 『弘法大師空海全集』第二巻 筑摩書房
2	学生に対する評価 予習状況（50%）、授業参加状況（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）付法傳を正確に読むことができる。 （良）付法傳の内容を理解できる。 （優）付法傳の内容に関して新しい知見を見出すことができる。
松長恵史	その他 十分に予習して授業に臨んでもらいたい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：梵語で書かれた密教経論のテキストをチベット語訳・漢訳と対照して読解できるようになる。 テーマ：梵語密教文献を読む
密教史講読B-1（大）	授業の概要 梵語で書かれた密教の経論を取り上げ、そのテキストを写本から起こし、チベット語訳・漢訳と対照の上、読解する。この訓練を通じて、梵蔵漢それぞれのテキストの扱い方を身につける。そのため受講者は毎回定められた箇所について予習して授業に臨まなければならない。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 『サーダナマラー』を読む（1） 3. 『サーダナマラー』を読む（2） 4. 『サーダナマラー』を読む（3） 5. 『サーダナマラー』を読む（4） 6. 『サーダナマラー』を読む（5） 7. 『サーダナマラー』を読む（6） 8. 『サーダナマラー』を読む（7） 9. 『サーダナマラー』を読む（8） 10. 『サーダナマラー』を読む（9） 11. 『サーダナマラー』を読む（10） 12. 『パンチャラクシャー』を読む（1） 13. 『パンチャラクシャー』を読む（2） 14. 『パンチャラクシャー』を読む（3） 15. 『パンチャラクシャー』を読む（4） 16. 『パンチャラクシャー』を読む（5）
前期	テキスト 『サーダナマラー』『パンチャラクシャー』の写本並びにその校訂テキスト（授業において説明する）
単位数	参考書・参考資料等 塚本啓祥・松長有慶・磯田照文編 『梵語仏典の研究 IV 密教経典篇』（平楽寺書店、1989年）
2	学生に対する評価 発表（50%）、予習を含む授業参加（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）写本の文字を正確にローマナイズできる。 （良）ローマナイズした梵文テキストをチベット語訳・漢訳と合わせるることができる。 （優）梵蔵漢合璧テキストを読解し、内容を分析することができる。
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：梵語で書かれた密教経論のテキストをチベット語訳・漢訳と対照して読解できるようになる。 テーマ：梵語密教文献を読む
密教史講読BⅡ2（大）	授業の概要 梵語で書かれた密教の経論を取り上げ、そのテキストを写本から起こし、チベット語訳・漢訳と対照の上、読解する。この訓練を通じて、梵蔵漢それぞれのテキストの扱い方を身につける。そのため受講者は毎回定められた箇所について予習して授業に臨まなければならない。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 『初会金剛頂経』を読む（1） 3. 『初会金剛頂経』を読む（2） 4. 『初会金剛頂経』を読む（3） 5. 『初会金剛頂経』を読む（4） 6. 『初会金剛頂経』を読む（5） 7. 『初会金剛頂経』を読む（6） 8. 『初会金剛頂経』を読む（7） 9. 『初会金剛頂経』を読む（8） 10. 『初会金剛頂経』を読む（9） 11. 『初会金剛頂経』を読む（10） 12. 『初会金剛頂経』を読む（11） 13. 『初会金剛頂経』を読む（12） 14. 『初会金剛頂経』を読む（13） 15. 『初会金剛頂経』を読む（14） 16. 『初会金剛頂経』を読む（15）
後期	テキスト 『初会金剛頂経』の写本並びにその校訂テキスト（授業において説明する）
単位数	参考書・参考資料等 塚本啓祥・松長有慶・磯田照文編『梵語仏典の研究Ⅳ密教経典篇』（平楽寺書店、1989年）
2	学生に対する評価 発表（50%）、予習を含む授業参加（50%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）写本の文字を正確にローマナイズできる。 （良）ローマナイズした梵文テキストをチベット語訳・漢訳と合わせることができ。 （優）梵蔵漢合璧テキストを読解し、内容を分析することができる
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：現代仏教の抱える問題点について理解を深める テーマ：アジアの社会参加仏教
現代社会と宗教（大）	授業の概要 現代仏教の特徴のひとつは、エンゲイジド・ブディズムの隆盛である。本授業では、アジア各地の仏教が現代社会の抱えている問題にどのように取り組んでいるかを、「社会参加仏教」の視点から検討してゆく。基本的には当番がテキストを読んでレジュメを作り、発表する形式で授業を進める。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. 東アジアの政教関係と福祉① 3. 東アジアの政教関係と福祉② 4. 近代日本の政教関係と宗教の社会参加① 5. 近代日本の政教関係と宗教の社会参加② 6. 妹尾義郎と新興仏教青年同盟の反戦・平和運動① 7. 妹尾義郎と新興仏教青年同盟の反戦・平和運動② 8. 東南アジアの政教関係① 9. 東南アジアの政教関係② 10. ミャンマーの社会参加仏教 11. ベトナムの政教関係 12. インドネシアの政教関係と仏教の展開 13. 南アジアの政教関係 14. パングラデシュの政教関係とマイノリティ仏教徒 15. 政治的締めつけと文化的想像力
後期	テキスト 櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武編著『アジアの社会参加仏教 政教関係の視座から』北海道大学出版会、2015年
単位数	参考書・参考資料等 教室で指示する。
2	学生に対する評価 授業への参加度（40%）・レポート（60%）で評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）テキストを正確に読解できる （良）テキストの内容を要約し、問題点を析出できる （優）現代仏教の抱える諸問題を分析し、解決策を提言できる
奥山直司	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：科学とは何か、宗教とは何か。そして、科学と宗教とはどのように対話すべきか。 テーマ：宗教と科学の対話
仏密教と文化化（大）	授業の概要 言葉を厳密に用いるトレーニングを行いながら、宗教と科学とがいかに対話すべきなのかについて考えて行く。
学期	授業計画 1. オリエンテーション 2. 『岩波講座 宗教と科学1 宗教と科学の対話』所収、8 仏教徒の場合（武藤義一）「はじめに」 3. 「真理について」を読む。 4. 「技術とのかかわりあい」を読む。 5. 「死について」を読む。 6. 「科学との対話」「むすび」を読む。 7. 9日本人の場合（山折哲雄）「序」を読む。 8. 「対話」の日本類型－寺田寅彦を読む。 9. 「対話」の究極－宮沢賢治を読む。 10. 「対話」の葛藤－水子供養を読む。 11～15. 2から10までに読んだ内容から、矛盾点や問題点を抽出し、それらについて議論する。
前期	テキスト 『岩波講座 宗教と科学1 宗教と科学の対話』
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。
2	学生に対する評価 学期末のレポート（100%）によって評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義で支持する課題をこなすこと。 （良）書籍を読んで、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。 （優）疑問点や問題点を文章としてまとめる能力を身につけること。
前谷彰	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テーマ：葬送儀礼の実践習得
事相研究Ⅰー1（大）	授業の概要 葬送儀礼に関する様々な知識を習得し、高野山の寺家の葬儀等も学ぶ。
学期	授業計画 1. 葬送儀礼の歴史 2. 真言宗の葬儀 3. 4. 5. 6. 導師と職衆の心得 7. 高野山の寺家の葬儀（1）～（9） 8. 戒名について 9. 葬儀に用いる梵字と書き様（塔婆等） 10. 葬儀に関する質疑応答 11. 12. 13. 14. 15. 16.
前期	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
単位数	参考書・参考資料等 自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。
2	学生に対する評価 レポート提出により採点（100%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）「高野山の寺家と在家の葬儀」について理解している。 （良）「高野山の寺家と在家の葬儀」について大まかに説明できる。 （優）「高野山の寺家と在家の葬儀」について、よく理解し、詳しい説明が出来る。
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として仏法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、きっちり区別して講義します。（詳細は開講時に説明します）

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：引導作法と葬儀に関する知識の習得 テ ー マ：葬送儀礼の実践習得
事相研究ⅠⅡ（大）	授業の概要 『引導略作法（二巻疏）』を基に、引導作法の伝授と葬儀に関する知識の習得を目的とする。
学期	授業計画 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 〔引導略作法（二巻疏）〕の伝授と解説（1）～（15）
後期	テキスト 宮野宥智 編輯『引導作法全集（上・下）』松本日進堂
単位数	参考書・参考資料等 自習は不要、予習は厳禁。年間の最終段階に明かします。
2	学生に対する評価 レポート提出により採点（100%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）「二巻疏」と「葬儀の構成」を理解している。 （良）「二巻疏」について説明が出来る。 （優）「二巻疏」の詳しい説明を後進の者に伝えられる。
齋藤天譽	その他 【受講資格について】 原則として伝法灌頂修了者であるが、加行前期修了者も受講可とします。 但し、已灌頂者と未灌頂者は、区別して講義します。（詳細は開講時に）

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：秘密事相の基礎知識を習得することを授業の目的とする。 テ ー マ：秘密事相の研究
事相研究ⅠⅡ（大）	授業の概要 初心者を対象に基礎知識の習得に重点を置く。浄厳の『通用字輪観口訣』を読む。
学期	授業計画 1. 授業についてのオリエンテーション 2. 三種秘観について 3. 浄厳和尚について 4～15. 『通用字輪観口訣』を読む 16. 総括 上記項目にしたがって、1～3は講義形式。4～15は講義と演習討論形式とを併用しながら授業を行う。これによって、事相研究の方法論を身につけるようにする。
前期	テキスト コピーにて配布する。
単位数	参考書・参考資料等 『新安流四度口訣集』
2	学生に対する評価 期末レポート（65%） 課題発表（20%） 小テスト（15%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）テキスト（漢文写本）を読み下すことが出来る。 （良）字輪観についてテキストに従って説明できる。 （優）字輪観についてテキスト以外の文献を参照して説明することができる。
佐藤隆彦	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：理趣経法の専門知識を習得することを授業の目的とする。 テ ー マ：理趣経法の研究
事相研究ⅠⅡ（大）	授業の概要 灌頂終了者を対象に理趣経法の高度な知識の習得に重点を置く。
学期	授業計画 1. 授業についてのオリエンテーション 2. 事相の歴史 3. 四度の行法と次第 4. 灌頂と印可 5. 各種の修法 6. 諸流派の行要 7. 印と真言 8. 聖教の解説 9. 『理趣経法』の歴史 10～15『理趣経法』の実際（伝受） 16. レポート講評 上記項目にしたがって、講義形式で授業を行う。
後期	テキスト 中川善教『理趣経法』（数珠屋四郎兵衛）
単位数	参考書・参考資料等 梅尾祥雲『秘密事相の研究』（臨川書店） 上田霊城『真言密教事相概説』四度部、諸尊法灌頂部上、下（同朋舎） 高見寛恭『理趣法の意得』
2	学生に対する評価 期末レポート（65%） 課題発表（20%） 小テスト（15%）
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）『理趣経法』が修法できる。 （良）『理趣経法』についてその構成を説明できる。 （優）『理趣経法』の目指す方向を合理的に説明できる。
佐藤隆彦	その他 伝受については僧衣で受講のこと。

科目名	
学期	
単位数	
担当者	

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏教学特殊研究 1 (大)	到達目標：原語と漢訳語の比較作業を通して、仏教思想のある意味での「歪み」を修正できればよいと考えている。 テーマ：原典における原語と漢訳語の異相 授業の概要 サンスクリット語やパーリ語の原典における原語と、漢訳語との間には仏教思想を根底から覆さなければならないような重要な異相を認めることができるので、当講義では重要な原語を取り上げ、それらの語がどのような漢語に置き換えられているかを検証することによって、仏教思想の誤謬性について考察する。 授業計画 1. 原語と翻訳語の異相全般について概略する。 2. 八正道について 3. 梵行・清浄行について 4. 顕示・開顕について 5. 同上 6. 苦行について 7. 清浄について 8. 菩提心・菩薩について 9. 一乗・一趣道について 10. 一心について 11. 涅槃について 12. 渴愛について 13. 小乗・大乘・密教について 14. 同上 15. まとめ 16. テキスト 担当者がプリントを用意する。 参考書・参考資料等 必要に応じて紹介する。 学生に対する評価 学期末のレポートによって評価（100％）する。 ループリック（目標に準拠した評価） （可）漢訳語の曖昧さを疑う力を身につける。 （良）原典と漢訳経典におけるキーワードを比較することができる。 （優）仏教における問題のある原語を自分の言葉で説明できる。 その他	仏教史特殊研究 (大)	到達目標：中国唐代の密教の歴史と思想を理解するとともに、印度密教及び日本密教における変化と展開の理解につなげる。 テーマ：中国唐代の密教の歴史と思想 授業の概要 唐代の密教は、日本密教の直接の母体であり、また当時の中国の社会と宗教界に大きな影響を与えたという歴史的な事実において重要な研究対象である。授業では、その歴史と祖師の行動を主として講義する。 授業計画 1. 中国密教の定義とその問題点 2. 唐代密教研究の意義と課題 3. 唐代密教の祖師の生涯と活動 善無畏三蔵の生涯と在唐中の活動 4. 金剛智三蔵の生涯と在唐中の活動 5. 不空三蔵の生涯と密教宣布の活動（1） 6. 不空三蔵の生涯と密教宣布の活動・密教宣布と護国活動（2） 7. 不空三蔵の生涯と密教宣布の活動・五臺山文殊信仰の宣布（3） 8. 不空三蔵の生涯と密教宣布の活動・灌頂儀礼による密教宣布活動（4） 9. 不空三蔵の密教の特色 10. 不空三蔵以後の密教の状況（1）三蔵の後継者とその活動 11. 不空三蔵以後の密教の状況（2）般若三蔵の活動 12. 恵果阿闍梨の生涯とその活動 13. 密教と道教 異宗教間における交渉の実態とその特徴 14. 恵果阿闍梨以後の密教 空海と最澄の密教受法とその後の状況を中心に 15. 唐代以降の密教の状況 16. テキスト 随時、担当者が用意する。 参考書・参考資料等 松長有慶『密教－インドから日本への伝承』中公文庫 『密教の歴史』平楽寺書店 岩崎日出男『新アジア仏教史 07 中国Ⅱ 隋唐 興隆・発展する仏教』第六章「密教の伝播と浸透」佼成出版社 学生に対する評価 レポート（100％）、発表（■0％）、授業参加の積極性（■％） ループリック（目標に準拠した評価） （可）中国唐代密教の歴史と思想の経緯を理解する。 （良）中国唐代密教の歴史と思想の経緯を理解した上で、その歴史と思想の展開と課題について理解する。 （優）中国唐代密教の歴史と思想の全体像を把握し、その歴史と思想の展開と課題がどのような意義を持つものであるかを理解する。 その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
仏教史演習 1 (大)	到達目標：仏教の基礎知識を養う。 テーマ：仏教要語の意味を徹底的に探究する。 授業の概要 前期は仏教要語の基礎知識を養う。 授業計画 1. オリエンテーション 2～15回（前期）は、仏教要語を原語から掘り出し、その意味を解説する。	仏教史演習 2 (大)	到達目標：修士論文の書き方を訓練する。 テーマ：学術論文をいかに作成するか。 授業の概要 修士論文を作成する能力を、個人指導によって養成する。 授業計画 1. オリエンテーション 2～15回 修士論文作成指導。
前期	テキスト 担当者がコピーを配布する。	後期	テキスト 担当者が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。	単位数	参考書・参考資料等 必要に応じて担当者が紹介する。
2	学生に対する評価 学期末のレポート（100％）によって評価する。	2	学生に対する評価 学期末のレポート（100％）によって評価する。
担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義で支持する課題をこなすこと。 （良）仏教要語を原語に置換する能力を身につける。 （優）仏教要語に関して、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を身につける。 その他	担当者	ループリック（目標に準拠した評価） （可）講義で支持する課題をこなすこと。 （良）書籍を読んで、新たな疑問点や問題点を指摘する能力を持っていること。 （優）修士論文を基本的手続きを経て作成できること。 その他
前谷彰		前谷彰	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山に関する軍記文学の特徴を理解する。 テーマ：高野山関係軍記文学の研究
仏教史講読 1 (大)	授業の概要 織田信長の高野攻めを描く軍記文学『天正高野治乱記』を取り上げる。受講者と相談の上、各回の発表者を決め、本文を翻刻して諸本を対観する。同作品の構造や表現、または背景となった事柄について発表してもらう。
学期	授業計画 1. ガイダンスー講義の進め方ー 2. 後期軍記の世界 3. 『天正高野治乱記』読解① 4. 『天正高野治乱記』読解② 5. 『天正高野治乱記』読解③ 6. 『天正高野治乱記』読解④ 7. 『天正高野治乱記』読解⑤ 8. 『天正高野治乱記』読解⑥ 9. 『天正高野治乱記』読解⑦ 10. 『天正高野治乱記』読解⑧ 11. 『天正高野治乱記』読解⑨ 12. 『天正高野治乱記』読解⑩ 13. 『天正高野治乱記』読解⑪ 14. 『天正高野治乱記』読解⑫ 15. 『天正高野治乱記』読解⑬ 16. まとめ
前期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 古典遺産の会編『戦国軍記事典』群雄割拠篇・天下統一篇 (和泉書院)
2	学生に対する評価 発表 (30%)、受講態度 (30%)、レポート (40%) によって評価する。
担当者	ルーブリック (目標に準拠した評価) (可) 『天正高野治乱記』の基本的な事柄について理解している。 (良) 『天正高野治乱記』について、他文献を利用して、その特徴を述べることができる。 (優) 『天正高野治乱記』を基にして、高野山関係軍記文学の特徴を述べることができる。
浜畑圭吾	その他 4回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。発表とディスカッションが中心である。積極的な受講を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：高野山に関する軍記文学の特徴を理解する。 テーマ：高野山関係軍記文学の研究
仏教史講読 2 (大)	授業の概要 織田信長の高野攻めを描く軍記文学『天正高野治乱記』を取り上げる。前期の続きとして受講者と相談の上、各回の発表者を決め、本文を翻刻して諸本を対観する。同作品の構造や表現、または背景となった事柄について発表してもらう。
学期	授業計画 1. ガイダンスー講義の進め方ー 2. 『天正高野治乱記』読解① 3. 『天正高野治乱記』読解② 4. 『天正高野治乱記』読解③ 5. 『天正高野治乱記』読解④ 6. 『天正高野治乱記』読解⑤ 7. 『天正高野治乱記』読解⑥ 8. 『天正高野治乱記』読解⑦ 9. 『天正高野治乱記』読解⑧ 10. 『天正高野治乱記』読解⑨ 11. 『天正高野治乱記』読解⑩ 12. 『天正高野治乱記』読解⑪ 13. 『天正高野治乱記』読解⑫ 14. 『天正高野治乱記』読解⑬ 15. 『天正高野治乱記』読解⑭ 16. まとめ
後期	テキスト 教員が用意する。
単位数	参考書・参考資料等 古典遺産の会編『戦国軍記事典』群雄割拠篇・天下統一篇 (和泉書院)
2	学生に対する評価 発表 (30%)、受講態度 (30%)、レポート (40%) によって評価する。
担当者	ルーブリック (目標に準拠した評価) (可) 『天正高野治乱記』の基本的な事柄について理解している。 (良) 『天正高野治乱記』について、他文献を利用して、その特徴を述べることができる。 (優) 『天正高野治乱記』を基にして、高野山関係軍記文学の特徴を述べることができる。
浜畑圭吾	その他 4回以上理由もなく無断で欠席した者は、受講者名簿から削除するので注意すること。発表とディスカッションが中心である。積極的な受講を望む。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を实践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
密教実践法の研究 1 (大)	授業の概要 真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
学期	授業計画 1. 講義の概要、略許可 2. 伝授についての序説 3. 一座行法の伝授・解説 (1) 4. 一座行法の伝授・解説 (2) 5. 一座行法の伝授・解説 (3) 6. 一座行法の伝授・解説 (4) 7. 一座行法の伝授・解説 (5) 8. 一座行法の伝授・解説 (6) 9. 一座行法の伝授・解説 (7) 10. 一座行法の伝授・解説 (8) 11. 一座行法の伝授・解説 (9) 12. 一座行法の伝授・解説 (10) 13. 一座行法の伝授・解説 (11) 14. 一座行法の伝授・解説 (12) 15. 一座行法の伝授・解説 (13) 16. テスト
(前期)	テキスト 中川善教編『諸尊通用次第 (中院)』3帖1帙 東方出版 価格 10,000 円程度 (※ 入手方法に就いては、事前に公示する)
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
2	学生に対する評価 講義に臨む姿勢 (欠出席を含む) (50%)、テストによる採点 (50%)
担当者	ルーブリック (目標に準拠した評価) (可) 密教及びその実践法についての基礎的な知識を習得している。 (良) 密教の実践法についての基礎的な知識を有するのみならず、その内容をよく理解している。 (優) 密教の実践法についての教理的な理解を自分の言葉・文章で説明することができる。
甲田宥畔	その他 1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者 (※伝法灌頂修了者) に限る。 2、受講時は高野山における平衣 (空衣・白袈裟等) 又は黒衣・如法衣 (尼僧は灰色の褌衫も可) を必ず着用すること。改良服・作業衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。前期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：伝統的な事相門の教授方法を経験し、且つ日常の修法・実践法への教理的意義に基づいて理解を深め、実際の所作・作法を習得する。 テーマ：密教の修法を实践するに当り、基礎的な知識・理解を深める。
密教実践法の研究 2 (大)	授業の概要 真言宗の伝統的な宗学の内、事相門の教授方法に則り、日常の実践法である一座行法等を、中院流に基づいて伝授・解説する。自行のみならず、法会等の導師に必要な作法も指導し、時間の許す限り、主要な本尊の尊法を伝授する。
学期	授業計画 1. 一座行法の伝授・解説 (14) 2. 一座行法の伝授・解説 (15) 3. 一座行法の伝授・解説 (16) 4. 一座行法の伝授・解説 (17) 5. 一座行法の伝授・解説 (18) 6. 一座行法の伝授・解説 (19) 7. 一座行法の伝授・解説 (20) 8. 一座行法の伝授・解説 (21) 9. 一座行法の伝授・解説 (22) 10. 諸尊法の伝授 (1) 11. 諸尊法の伝授 (2) 12. 諸尊法の伝授 (3) 13. 諸尊法の伝授 (4) 14. 諸尊法の伝授 (5) 15. 諸尊法の伝授 (6) 16. テスト
(後期中)	テキスト 中川善教編『諸尊通用次第 (中院)』3帖1帙 東方出版 価格 10,000 円程度 (※ 入手方法に就いては、事前に公示する)
単位数	参考書・参考資料等 中川善教『諸尊通用次第撮要』 東方出版 大山公淳『中院流の研究』 高野山大学、東方出版 等
2	学生に対する評価 講義に臨む姿勢 (欠出席を含む) (50%)、テストによる採点 (50%)
担当者	ルーブリック (目標に準拠した評価) (可) 密教及びその実践法についての基礎的な知識を習得している。 (良) 密教の実践法についての基礎的な知識を有するのみならず、その内容をよく理解している。 (優) 密教の実践法についての教理的な理解を自分の言葉・文章で説明することができる。
甲田宥畔	その他 1、受講者は真言宗の僧侶で、已灌頂者 (※伝法灌頂修了者) に限る。 2、受講時は高野山における平衣 (空衣・白袈裟等) 又は黒衣・如法衣 (尼僧は灰色の褌衫も可) を必ず着用すること。改良服・作業衣等での受講は不可。 3、前後期通して受講すること。後期のみの受講はできない。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―その姿と意味 如来・菩薩編
仏教芸術の研究 1（大）	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	
授業の概要	仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。 授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を考察し、その信仰の歴史などについて概観する。
授業計画	1. はじめに：仏教美術の基礎知識 2. 釈迦如来 3. 薬師如来 4. 阿弥陀如来 5. 毘盧遮那仏と大日如来 6. 弥勒仏と弥勒菩薩 7. 十一面観音 8. 千手観音 9. 不空絹索観音等 10. 如意輪観音等 11. 文殊菩薩 12. 普賢菩薩 13. 地藏菩薩 14. 虚空蔵菩薩 15. 妙見菩薩等 16. レポートの課題に関する解説と講評
テキスト	授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
参考書・参考資料等	至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 関根俊一編『仏尊の事典』学習研究社 『日本美術全集』講談社
学生に対する評価	授業参加への積極度（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。 後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）各尊像の姿や形像について理解している。 （良）各尊像の成立と信仰の歴史について基礎的な知識がある。 （優）各尊像の代表的な作例の画像を見ながら、その特徴や形像について説明できる。
その他	仏教美術の研究 2（大）履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像のかたちについて研究してください。
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：仏尊の種類や像容の特徴を学び、その功德や信仰の歴史についての基礎的な知識を培うことを到達目標とする。 テーマ：仏像のかたち―その姿と意味 明王・天・その他編
仏教芸術の研究 2（大）	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
和田圭子	
授業の概要	仏尊は如来・菩薩・明王・天などに分類され、その姿は多種多様である。 授業では、現存する仏画、仏像等の画像資料を示しつつ、各尊の姿や手印・持物の意味を確認し、その信仰の歴史などについて概観する。
授業計画	1. 不動明王 2. 五大明王 3. 愛染明王 4. 孔雀明王 5. 梵天・帝釈天 6. 吉祥天・弁才天 7. 四天王 8. 毘沙門天 9. 十二天 10. 十二神将 11. 八部衆等 12. 閻魔・十王 13. 仏弟子・祖師等 14. 垂迹神等 15. その他 16. レポートの課題に関する解説と講評
テキスト	授業内容に沿った参考資料（文字資料・画像資料）を配付する。
参考書・参考資料等	水野敬三郎監修『カラー版日本仏像史』 至文堂編『日本の美術』ぎょうせい 『日本美術全集』講談社
学生に対する評価	授業参加への積極度（40％）、期末レポート（60％）の比率で評価する。 後期授業終了までに各自テーマを設定し、それに関する 4000 字程度のレポートを提出する。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）各尊像の姿や形像について理解している。 （良）各尊像の成立と信仰の歴史について基礎的な知識がある。 （優）各尊像の代表的な作例の画像を見ながら、その特徴や形像について説明できる。
その他	仏教芸術の研究（1）履修・聴講することが望ましい。 霊宝館等で実際の仏像や仏画を積極的に見学し、尊像の特徴について研究してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スリランカ、ミャンマー、タイなどの上座仏教に伝わる瞑想実践の根拠になっている基本文献を学んだ上で、それらが現代の西洋仏教においてどのように応用されているのかを知る。 テーマ：上座仏教の瞑想実践と現代的応用としてのマインドフルネス
アジア地域の宗教文化の研究（大）	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウィマラ	
授業の概要	教材を読み進めながら、多角的に考察し議論していく。パーリ語による修行やヴィパッサナー瞑想の実践も取り入れて、文献に示されていることを体感し理解できるように工夫する。
授業計画	1. 自己紹介と授業の流れ（西洋仏教とアジアの伝統仏教について） 2. マインドフルネスとはなにか？ 3. 三宝帰依の意味 4. 戒・定・慧という修行のステップ 5. 解脱と悟りについて 6. 「大念住経」略説を読む 7. 「大念住経」身体に関する随観を読む 8. 「大念住経」身体に関する随観を読む 9. 「大念住経」感受に関する随観を読む 10. 「大念住経」心に関する随観を読む 11. 「大念住経」法に関する随観を読む 12. 「大念住経」法に関する随観を読む 13. 仏教瞑想と心理療法 14. マインドフルネスによる燃えつき防止法：GRACEプログラムの紹介 15. ふりかえりとまとめ 16. レポート返却と講評
テキスト	『南方仏教基本聖典』 ウ・ウェーブラ 仏教書林中山書房 （書店で購入）
参考書・参考資料等	『マインドフルな生き方』 クリストファー・ティットムス 産調出版 『マインドフルネスストレス低減法』 ジョン・カバットジン （書店で購入） 北大路書房 『ブッダのサイコセラピー』 マーク・エプスタイン 春秋社 （書店で購入）
学生に対する評価	『仏教心理学キーワード事典』 春秋社 授業への参加態度（30％）と期末レポート（70％）で評価する。
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）ヴィパッサナー、マインドフルネスについて理解できている。 （良）講読した基礎的文献をよく理解し、ヴィパッサナーやマインドフルネスの特徴が説明できる。 （優）授業で学んだことをよく理解して、他の瞑想との類似点や相違点を明確に説明できる。
その他	
科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：民俗宗教に関する論文や歴史資料を読むことを通して、日本の信仰の特徴を理解するとともに、読解力を高める。 テーマ：民俗宗教の研究
比較宗教の研究（大）	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
森本一彦	
授業の概要	日本における民俗宗教について、論文や歴史資料を講読することによって、日本の信仰の特徴について検討をする。授業中に受講者にテキストを音読するとともに、解説してもらう。
授業計画	1. ガイダンス 2. 民俗宗教に関する論文を読む（1） 3. 民俗宗教に関する論文を読む（2） 4. 民俗宗教に関する論文を読む（3） 5. 民俗宗教に関する論文を読む（4） 6. 民俗宗教に関する論文を読む（5） 7. 民俗宗教に関する論文を読む（6） 8. 民俗宗教に関する論文を読む（7） 9. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（1） 10. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（2） 11. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（3） 12. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（4） 13. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（5） 14. 民俗宗教に関する歴史資料を読む（6） 15. 日本における民俗宗教の特徴 16.
テキスト	プリントを配布する。
参考書・参考資料等	森本一彦『先祖祭祀と家の確立－「半檀家」から一家一寺へ』ミネルヴァ書房 日野西真定『お大師さんと高野山【奥の院】』慶友社 その他授業中に紹介する。
学生に対する評価	レポート（60％）、論文や資料の音読、意見発表など積極的な授業態度（40％）
ルーブリック（目標に準拠した評価）	（可）論文や資料を読むことができる。 （良）論文や資料の内容を理解して、要約することができる。 （優）論文や資料の内容について、自分の意見を述べることができる。
その他	授業で講読する論文や歴史資料については、受講生の研究関心に合わせながら初回の授業で決定する。授業は受講生が論文や歴史資料を音読・解説をする形式で進めて行くので、必ず予習をすること。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名	授業の到達目標及びテーマ
現代社会と仏教の研究 1 (大)	到達目標：伝統的な仏教瞑想法の基礎知識と英文と漢文の読解力の向上を得ながら、現代社会におけるその役割と応用を考える。 テーマ：仏教の瞑想法とその現代社会における貢献を考察する。	現代社会と仏教の研究 2 (大)	到達目標：伝統的な仏教瞑想法の基礎知識と英文と漢文の読解力の向上を得ながら、現代社会におけるその役割と応用を考える。 テーマ：仏教の瞑想法とその現代社会における貢献を考察する。
学期	授業の概要 羅什訳『坐禅三昧経』(2巻)とその英訳、そして関連する漢訳經典、和文・英文の論文を通じて現代注目されている仏教瞑想法の漢訳における伝統的な内容を学習し、仏教の教理と実践法から何を学べるかを考察する。	学期	授業の概要 羅什訳『坐禅三昧経』(2巻)とその英訳、そして関連する漢訳經典、和文・英文の論文を通じて現代注目されている仏教瞑想法の漢訳における伝統的な内容を学習し、仏教の教理と実践法から何を学べるかを考察する。
前期	授業計画 1. 仏教瞑想法について 2. 漢訳の「禪経」について 3. 『坐禅三昧経』上巻 1 4. 同上 2 5. 同上 3 6. 同上 4 7. 同上 5 8. 同上 6 9. 同上 7 10. 同上 8 11. 同上 9 12. 同上 10 13. 同上 11 14. 同上 12 15. 同上 13 16. 同上 14	前期	授業計画 1. 仏教瞑想法について 2. 漢訳の「禪経」について 3. 『坐禅三昧経』下巻 1 4. 同上 2 5. 同上 3 6. 同上 4 7. 同上 5 8. 同上 6 9. 同上 7 10. 同上 8 11. 同上 9 12. 同上 10 13. 同上 11 14. 同上 12 15. 同上 13 16. 同上 14
単位数	テキスト 『坐禅三昧経』, Yamabe N. & Sueki F., <i>The Sutra on the Concentration of Sitting Meditation</i> , Berkeley: Numata Center for Buddhist Translation and Research, 2009.	単位数	テキスト 『坐禅三昧経』, Yamabe N. & Sueki F., <i>The Sutra on the Concentration of Sitting Meditation</i> , Berkeley: Numata Center for Buddhist Translation and Research, 2009.
2	参考書・参考資料等 『国訳一切経』經集部 4、『新国訳大蔵経』インド撰述部 10 禪定經典部 2、和・英の論文多数、など	2	参考書・参考資料等 『国訳一切経』經集部 4、『新国訳大蔵経』インド撰述部 10 禪定經典部 2、和・英の論文多数、など
担当者	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)	担当者	学生に対する評価 レポート (50%)、発表 (20%)、授業参加の積極性 (30%)
Ｔ・ド・ライタイン	ループリック (目標に準拠した評価) (可) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、仏教用語を説明できる。 (良) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、その意味について説明できる。 (優) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、仏教学においてその意義をまとめることができる。	Ｔ・ド・ライタイン	ループリック (目標に準拠した評価) (可) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、仏教用語を説明できる。 (良) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、その意味について説明できる。 (優) 漢訳經典と英文翻訳を和訳ができ、仏教学においてその意義をまとめることができる。
	その他 受講生全員は予習として毎回該当する漢文・英文のテキストを和訳し研究する。 英語上級レベルの読解力を必要とする。 内容は後期に続くため、「現代社会と仏教の研究 2 (大)」を続けて受講することを推薦する。 プログラムは改訂される場合がある。		その他 受講生全員は予習として毎回該当する漢文・英文のテキストを和訳し研究する。 英語上級レベルの読解力を必要とする。 後期から受講できるが、前期の「現代社会と仏教の研究 1 (大)」から続く内容のため、前期からの受講を推薦する。 プログラムは改訂される場合がある。

科目名	授業の到達目標及びテーマ	科目名													
教育学特殊研究（大）	到達目標：学校経営・管理とキャリア教育がどれだけ密接に関わっているかの理解度に焦点を当てる。 テーマ：キャリア教育を活かした学校経営・管理														
	授業の概要														
	本講義は中学校及び高等学校教諭の専修免許状を取得することを目的とした科目である。学校管理・経営とキャリア教育という一見関係のなさそうに見えるこの問題は、根幹のところで深くつながっていることを考察する。														
	授業計画														
	1. 学校経営とはどのような営みなのか解説し考察する。（1） 2. 学校管理とはどのような営みなのか解説し考察する。（2） 3. 学校管理と組織運営の問題について考察する。（1） 4. 学校管理と組織運営の問題について考察する。（2） 5. 学校管理と組織運営の問題について考察する。（3） 6. 日本のキャリア教育について考察する。（1） 7. 日本のキャリア教育について考察する。（2） 8. 米国のキャリア教育の現状について解説する。 9. 欧州（独仏中心）のキャリア教育について解説する。 10. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（1） 11. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（2） 12. キャリア教育と学校経営・管理との有効な関係を考察する。（3） 13. 学校管理の問題とキャリア教育、進路指導、職業指導の関係を明らかにする。 14. 学校管理の問題とキャリア教育、真の指導、職業指導の関係を考察する。 15. 総括講義 16. 参加者による振り返り														
学期		学期													
集中															
単位数		単位数													
2															
担当者		担当者													
山脇雅夫	テキスト														
	なし、必要に応じて資料を配布する。														
	参考書・参考資料等														
	伊藤一雄著 「キャリア開発と職業指導」 法律文化社 2011														
	学生に対する評価														
	講義内容に対する理解と考察の深さに判断する。 課題レポート（70％）、議論への参加（30％）														
	ルーブリック（目標に準拠した評価）														
	<table><tr><th>論理的思考力</th><th>問題発見力</th><th>キャリア教育についての理解</th></tr><tr><td>可 講義の内容を理解できる</td><td>それぞれのテーマを理解できる</td><td>キャリア教育について概括的な理解を持っている</td></tr><tr><td>良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。</td><td>キャリア教育についての概括的な理解と、現代のキャリア教育の問題点を理解している</td></tr><tr><td>優 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。</td><td>それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる</td><td>現代のキャリア教育の問題点についての、自分なりの対応案を持っている。</td></tr></table>	論理的思考力	問題発見力	キャリア教育についての理解	可 講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	キャリア教育について概括的な理解を持っている	良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	キャリア教育についての概括的な理解と、現代のキャリア教育の問題点を理解している	優 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	現代のキャリア教育の問題点についての、自分なりの対応案を持っている。		
論理的思考力	問題発見力	キャリア教育についての理解													
可 講義の内容を理解できる	それぞれのテーマを理解できる	キャリア教育について概括的な理解を持っている													
良 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現できる	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解できる。	キャリア教育についての概括的な理解と、現代のキャリア教育の問題点を理解している													
優 講義の内容を理解し、それを自分の言葉で表現でき、自分なりの問題へと展開できる。	それぞれのテーマを理解し、それらのあいだの連環を理解し、自分なりのテーマへと展開できる	現代のキャリア教育の問題点についての、自分なりの対応案を持っている。													
	その他														
	教職関係科目を履修していることが望ましい。														

教 員 別 索 引

【あ 行】

五十嵐 小優粒	企画科目（日本語留学生上級A）	文 - 23
乾 龍 仁	空海の思想入門	文 - 1
	宗教学方法論	文 - 32
	宗教科教育法Ⅰ	文 - 42
	宗教科教育法Ⅱ	文 - 42
	密教学演習B - 1（大）	院 - 3
	密教学演習B - 2（大）	院 - 3
井上 ウイマラ	仏教学特殊講義A	文 - 14
	密教学演習F	文 - 16
	企画科目（マインドフルネス）	文 - 19
	人間学演習ⅠB	文 - 49
	人間学特殊ゼミⅠD（仏教心理学と事例検討）	文 - 49
	人間学特殊ゼミⅡD（マインドフルネスⅡ）	文 - 50
	総合科目（聖地巡礼Ⅰ）	文 - 51
	総合科目（聖地巡礼Ⅱ）	文 - 51
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅲ）	文 - 51
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅳ）	文 - 52
	企画科目（臨床死生学）	文 - 53
	アジア地域の宗教文化の研究（大）	院 - 10
岩 崎 日出男	仏教史特殊研究（大）	院 - 8
上 田 恭 寿	国語学Ⅰ	文 - 28
	国語学Ⅱ	文 - 28
	国語学講義Ⅰ	文 - 34
	国語学講義Ⅱ	文 - 34
上 野 和 久	心理学ⅠB	文 - 58
	心理学ⅡB	文 - 59
上 山 雄 慈	企画科目（詠歌）	文 - 21
内 海 周 浩	法式	文 - 30
	法式（別）	文 - 30
大河内 大 博	企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅰ）	文 - 56
	企画科目（スピリチュアルケア演習Ⅱ）	文 - 57
岡 田 英 作	仏教学特殊講義E（心とはなにかⅠ）	文 - 59
	仏教学特殊講義E（心とはなにかⅡ）	文 - 59
岡 本 文 音	伝統文化実習（茶道）	文 - 40
岡 本 正 志	教育方法論	文 - 43
奥 山 直 司	密教史概説ⅠA	文 - 6
	密教学特殊講義G	文 - 13
	インド学講義（大）	院 - 1
	密教史演習A - 1（大）	院 - 4
	密教史演習A - 2（大）	院 - 4
	密教史講読B - 1（大）	院 - 5
	密教史講読B - 2（大）	院 - 6
	現代社会と宗教（大）	院 - 6

【か 行】

加 賀 博	企画科目（寺院経営講座）	文 - 17
	キャリアカウンセリングⅡ	文 - 39
加 陽 生 子	体育実技	文 - 25
川 崎 一 洋	宗教思想史Ⅰ	文 - 26
	宗教思想史Ⅱ	文 - 26
	宗教学Ⅰ	文 - 31
	世界の宗教1（別）	文 - 31
	宗教学Ⅱ	文 - 31
	世界の宗教2（別）	文 - 31
	宗教史Ⅰ	文 - 31
	宗教の歴史1（別）	文 - 31
	宗教史Ⅱ	文 - 31
	宗教の歴史2（別）	文 - 31
木 地 茂 典	企画科目（おもしろ数学思考力）	文 - 18
木 下 忠 恭	企画科目（心理検査法演習Ⅰ）	文 - 52
	企画科目（心理検査法演習Ⅱ）	文 - 52
	企画科目（学校心理学）	文 - 55
	企画科目（カウンセリング論）	文 - 56
木 本 滋 久	漢字Ⅱ	文 - 36
	条幅制作A	文 - 37
糺 谷 有 桜	企画科目（芸能）	文 - 19
窪 寺 俊 之	企画科目（スピリチュアルケア概論）	文 - 58
高 祖 彩恵子	企画科目（舞踊）	文 - 17
甲 田 宥 咩	企画科目（一流伝授Ⅰ）	文 - 24
	企画科目（一流伝授Ⅱ）	文 - 24
	密教実践法の研究1（大）	院 - 9
	密教実践法の研究2（大）	院 - 9
五 味 和 樹	企画科目（華道）	文 - 18

五 明 優 介	企画科目（心理統計学）	文 - 52
	企画科目（心理測定法）	文 - 53
	企画科目（心理学基礎実験演習Ⅰ）	文 - 53
	企画科目（心理学基礎実験演習Ⅱ）	文 - 53
近 藤 堯 寛	布教	文 - 30
	布教（別）	文 - 30

【さ 行】

齋 藤 天 譽	真言密教特殊講義A	文 - 15
	密教儀礼の理論と実習1（別）	文 - 15
	真言密教特殊講義B	文 - 15
	密教儀礼の理論と実習2（別）	文 - 15
	梵字悉曇	文 - 29
	梵字悉曇（別）	文 - 29
	事相研究Ⅰ - 1（大）	院 - 6
	事相研究Ⅰ - 2（大）	院 - 7
坂 口 太 郎	総合科目（書誌学）	文 - 17
	総合科目（古文書入門）	文 - 17
	企画科目（歴史学Ⅰ）	文 - 21
	企画科目（歴史学Ⅱ）	文 - 22
	日本文化特殊講義B	文 - 34
	日本文化講読演習B	文 - 35
	人間学概論Ⅱ	文 - 46
	人間学基礎ゼミⅢ	文 - 46
	人間学基礎ゼミⅣ	文 - 47
	人間学特殊ゼミⅠC	文 - 48
	人間学特殊ゼミⅡC	文 - 49
櫻 木 潤	日本語B	文 - 2
	日本語（再履修）	文 - 2
	弘法大師伝	文 - 3
	弘法大師空海の生涯（別）	文 - 3
	密教史概説ⅡA	文 - 6
	仏教学講読演習A	文 - 9
	仏教学講読演習B	文 - 10
	密教史概説ⅡB	文 - 62
佐 藤 隆 彦	密教学概論ⅠA	文 - 5
	真言宗の教え1（別）	文 - 5
	密教学概論ⅡA	文 - 5
	真言宗の教え2（別）	文 - 5
	企画科目（阿息観）	文 - 20
	観法の理論と実習1（別）	文 - 20
	企画科目（月輪観と阿字観）	文 - 20
	観法の理論と実習2（別）	文 - 20
	企画科目（密教瞑想）	文 - 57
	密教学講義（大）	院 - 1
	祖典演習（大）	院 - 1
	密教史演習B - 1（大）	院 - 4
	密教史演習B - 2（大）	院 - 4
	密教学講読（大）	院 - 5
	事相研究Ⅱ - 1（大）	院 - 7
	事相研究Ⅰ（聖教の伝授と実習）（別）	院 - 7
	事相研究Ⅱ - 2（大）	院 - 7
	事相研究Ⅱ（聖教の伝授と実習）（別）	院 - 7
静 慈 圓	密教学特殊講義E	文 - 13
	仏教芸術1（別）	文 - 13
	密教学特殊講義F	文 - 13
	仏教芸術2（別）	文 - 13
静 春 樹	英語ⅠB	文 - 1
	英語ⅡB	文 - 4
	英会話	文 - 25
嶋 田 博	教職入門	文 - 40
	教育課程論	文 - 41
下 西 忠	国文法Ⅰ	文 - 28
	国文法Ⅱ	文 - 28
	日本文学史概説Ⅰ	文 - 33
	日本文学史概説Ⅱ	文 - 33
	国語科教育法Ⅰ	文 - 42
	国語科教育法Ⅱ	文 - 43
	国語科教育法Ⅲ	文 - 43
	国語科教育法Ⅳ	文 - 43
鈴 木 裕 範	企画科目（地域産業論）	文 - 22

【た 行】

高 倉 正 行	英語ⅠA	文 - 1
	英語Ⅰ（再履修）	文 - 2

	英語Ⅱ A	文 - 4		仏教史講読 1 (大)	院 - 9
	英語Ⅱ (再履修)	文 - 5		仏教史講読 2 (大)	院 - 9
	英語Ⅲ	文 - 47	笛 木 淳	企画科目 (地方行政論)	文 - 18
高 柳 健太郎	祖典講読Ⅰ C (即身成仏義Ⅰ)	文 - 61		企画科目 (地方自治法)	文 - 18
	祖典講読Ⅱ C (即身成仏義Ⅱ)	文 - 61	福 本 幹 雄	社会保障総論Ⅰ	文 - 38
竹 村 和 也	現代の人権	文 - 29		社会保障Ⅰ (別)	文 - 38
	人権と福祉 (別)	文 - 29		社会保障総論Ⅱ	文 - 38
	日本国憲法	文 - 29		社会保障Ⅱ (別)	文 - 38
田 村 美 幸	キャリアアカウンセリングⅠ	文 - 39		社会福祉各論 (地域福祉Ⅰ)	文 - 39
	キャリアアカウンセリングⅢ	文 - 39		地域福祉Ⅰ (別)	文 - 39
	就職スキル講座	文 - 40		社会福祉各論 (地域福祉Ⅱ)	文 - 39
辻 秀 道	企画科目 (詠歌)	文 - 21		地域福祉Ⅱ (別)	文 - 39
	企画科目 (声明上級)	文 - 22	淵 田 雲 溪	企画科目 (法式上級)	文 - 19
	声明上級 (別)	文 - 22		法式上級 (別)	文 - 19
	声明	文 - 30	戸 来 知 子	心理学Ⅰ A	文 - 26
	声明 (別)	文 - 30		心の科学Ⅰ (別)	文 - 26
テンジン・ウセル	企画科目 (チベット語会話)	文 - 22		心理学Ⅱ A	文 - 26
土 居 夏 樹	日本語 A	文 - 2		心の科学Ⅱ (別)	文 - 26
	祖典講読Ⅰ B	文 - 7		教育心理学	文 - 41
	真言宗典講読 1 - 1 (別)	文 - 7		情報技術論	文 - 44
	祖典講読Ⅱ B	文 - 7		特別教育活動	文 - 44
	真言宗典講読 1 - 2 (別)	文 - 7		生徒指導・進路指導	文 - 44
	祖典講読Ⅲ A	文 - 8		教育相談	文 - 45
	祖典講読Ⅳ A	文 - 8		教職実践演習	文 - 45
	真言密教講読演習 D	文 - 11		教育実習の研究	文 - 45
	真言宗典講読 2 - 2 (別)	文 - 11			
	密教学概論Ⅰ B	文 - 59			
	密教学概論Ⅱ B	文 - 60			
	密教史特殊研究 1 (大)	院 - 2			
	密教史特殊研究 2 (大)	院 - 2			
徳 重 弘 志	チベット語	文 - 24			
	チベット語 (別)	文 - 24			
	密教史概説Ⅰ B	文 - 61			
T ドライライン	密教学講読演習 B	文 - 9			
	密教学講読演習 C	文 - 9			
	真言密教講読演習 B	文 - 11			
	真言密教講読演習 C	文 - 11			
	真言密教講読演習 E	文 - 11			
	真言密教講読演習 F	文 - 12			
	密教学特殊研究 1 (大)	院 - 2			
	密教学特殊研究 2 (大)	院 - 2			
	現代社会と仏教の研究 1 (大)	院 - 11			
	現代社会と仏教の研究 2 (大)	院 - 11			
【な 行】			【ま 行】		
中 西 雄 泰	密教学特殊講義 A	文 - 12	前 谷 彰	釈尊伝	文 - 3
	密教学特殊講義 B	文 - 12		釈尊の生涯 (別)	文 - 3
西 川 みち子	企画科目 (発達心理学)	文 - 55		仏教学概論Ⅰ A	文 - 6
	企画科目 (家族心理学)	文 - 55		仏教学概論Ⅱ A	文 - 6
根 岸 和 政	企画科目 (メンタルヘルス)	文 - 56		仏教史概説Ⅰ	文 - 7
野 口 博	情報処理	文 - 29		仏教史概説Ⅱ	文 - 7
野 田 悟	密教学演習 A	文 - 15		仏教学特殊講義 D	文 - 14
	中国文化特殊講義 A	文 - 35		密教学演習 C	文 - 16
	漢字Ⅰ	文 - 36		サンスクリット語Ⅰ	文 - 24
	篆刻Ⅰ	文 - 37		サンスクリット語 (別)	文 - 24
	篆刻Ⅱ	文 - 37		仏教学講義 (大)	院 - 1
	書道史 (日本)	文 - 38		密教と文化 (大)	院 - 6
	真言密教特殊講義 G (空海書論Ⅰ)	文 - 60		仏教と文化 (大)	院 - 6
	真言密教特殊講義 H (空海書論Ⅱ)	文 - 61		仏教学特殊研究 1 (大)	院 - 8
				仏教史演習 1 (大)	院 - 8
				仏教史演習 2 (大)	院 - 8
【は 行】			松 下 睦	企画科目 (社会心理学)	文 - 56
土生川 正 賢	中国語 (初級)	文 - 25	松 長 恵 史	祖典講読Ⅰ A	文 - 7
	中国語 (上級)	文 - 25		真言宗典講読 1 - 1 (別)	文 - 7
橋 本 久 仁 彦	企画科目 (コミュニケーション演習Ⅰ)	文 - 57		祖典講読Ⅱ A	文 - 7
	企画科目 (コミュニケーション演習Ⅱ)	文 - 57		真言宗典講読 1 - 2 (別)	文 - 7
浜 畑 圭 吾	日本文学Ⅰ	文 - 27		祖典講読Ⅲ B	文 - 8
	日本文学Ⅱ	文 - 27		祖典講読Ⅳ B	文 - 8
	日本文学概論Ⅰ	文 - 32		密教学講読演習 A	文 - 9
	日本文学概論Ⅱ	文 - 32		真言宗典講読 2 - 1 (別)	文 - 9
	日本文化特殊講義 A	文 - 34		真言密教講読演習 A	文 - 10
	日本文化講読演習 A	文 - 35		宗教科教育法Ⅲ	文 - 42
	国語科教育法Ⅲ	文 - 43		密教史講読 A - 1 (大)	院 - 5
	国語科教育法Ⅳ	文 - 43		密教史講読 A - 2 (大)	院 - 5
	人間学概論Ⅰ	文 - 46	松 本 貴 子	企画科目 (日本語留学生上級 B)	文 - 23
	人間学特殊ゼミⅠ A	文 - 47	南 昌 宏	漢文Ⅰ A	文 - 4
	人間学特殊ゼミⅡ A	文 - 48		漢文Ⅰ B	文 - 4
				漢文Ⅱ A	文 - 4
				漢文Ⅱ B	文 - 4
				漢文学概論Ⅰ	文 - 33
				漢文学概論Ⅱ	文 - 33
				中国文化特殊講義 B	文 - 35
				中国文化講読演習	文 - 36
				密教学演習 A - 1 (大)	院 - 3
				密教学演習 A - 2 (大)	院 - 3
			宮 田 永 明	常用経典	文 - 30
				常用経典 (別)	文 - 30
			村 上 公 教	企画科目 (詠歌)	文 - 21
			森 崎 雅 好	人間学概論Ⅱ	文 - 46
				人間学特殊ゼミⅠ B	文 - 48
				人間学特殊ゼミⅡ B	文 - 48
				人間学演習Ⅰ C・D (臨床心理学演習)	文 - 49
				人間学特殊ゼミⅠ F・G (悲嘆学)	文 - 50

	人間学特殊ゼミⅡF・G（自殺学）	文 - 51
	企画科目（災害心理学）	文 - 54
森 本 一 彦	人間と宗教	文 - 3
	密教学特殊講義C	文 - 12
	密教学特殊講義D	文 - 13
	企画科目（社会調査入門）	文 - 20
	企画科目（質的調査論）	文 - 20
	社会学Ⅰ	文 - 27
	社会学Ⅱ	文 - 27
	伝統文化実習（民俗調査）	文 - 40
	教育社会学	文 - 41
	人間学概論Ⅱ	文 - 46
	比較宗教の研究（大）	院 - 10

【や 行】

山 添 正	企画科目（こころのケアとは）	文 - 54
	企画科目（深層心理学）	文 - 54
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅰ）	文 - 54
	企画科目（臨床心理学面接演習Ⅱ）	文 - 55
やまだようこ	企画科目（ものの語り心理学）	文 - 58
山 本 佳世子	企画科目（死生観）	文 - 58
山 本 圭 子	かなⅠ	文 - 36
	かなⅡ	文 - 37
	条幅制作B	文 - 38
山 脇 雅 夫	現代思想	文 - 3
	哲学A（別）	文 - 3
	哲学方法論	文 - 32
	教育原論	文 - 41
	教育方法論	文 - 43
	道德教育の研究	文 - 44
	教育実習の研究	文 - 45
	人間学基礎ゼミⅠ	文 - 45
	人間学基礎ゼミⅡ	文 - 46
	人間学概論Ⅰ	文 - 46
	人間学演習ⅠA	文 - 47
	人間学特殊ゼミⅠE（宗教学入門）	文 - 50
	人間学特殊ゼミⅡE（現代日本と宗教）	文 - 50
	教育学特殊研究（大）	院 - 11

【わ 行】

和 田 圭 子	仏教学講読演習C	文 - 10
	仏教学講読演習D	文 - 10
	仏教学特殊講義B	文 - 14
	仏教学特殊講義C	文 - 14
	企画科目（仏教芸術）	文 - 19
	仏教芸術の研究1（大）	院 - 10
	仏教芸術の研究2（大）	院 - 10

講義概要・授業計画 平成29年度(2017)

2017年4月1日発行

編集・発行 高野山大学

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385

Tel. (0736) 56-5027 (学務課)

Fax. (0736) 56-2746

E-mail: kyomu@koyasan-u.ac.jp

URL: <http://www.koyasan-u.ac.jp>

印刷 藤井印刷株式会社

KOYASAN UNIVERSITY